

# 福平小学校校舎増築その他本体工事

図 面 リ ス ト							
図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称
A-01	図面リスト	A-28	建具キープラン	A-55	南側スロープ・階段図-10 手摺・フェンス（その2）	S-01	構造設計標準仕様その1
A-02	建築工事特記仕様書 5-1	A-29	法規確認図	A-56	北校舎一体平面図（1階）	S-02	構造設計標準仕様その2
A-03	建築工事特記仕様書 5-2	A-30	建具表-1	A-57	北校舎一体平面図（2階）	S-03	新鉄筋コンクリート構造 配筋標準図（1）
A-04	建築工事特記仕様書 5-3	A-31	建具表-2	A-58	北校舎一体平面図（3階）	S-04	新鉄筋コンクリート構造 配筋標準図（2）
A-05	建築工事特記仕様書 5-4	A-32	建具表-3	A-59	北校舎一体平面図（4階）	S-05	新鉄筋コンクリート構造 配筋標準図（3）
A-06	建築工事特記仕様書 5-5	A-33	天井伏図	A-60	北校舎一体屋根伏図	S-06	ポーリング柱状図・基礎断面図
A-07	計画概要 面積表（建築基準法算定）付近見取図 配置図	A-34	サイン、誘導標識、非常用進入口、消火器 キープラン	A-61	北校舎一体面積表（2～4階）	S-07	深層混合処理工法特記仕様書
A-08	仮設計画図 南側門扉復旧計画図	A-35	家具キープラン	A-62	基礎・1階 スリーブ図	S-08	コラム伏図
A-09	求積図 面積表	A-36	家具詳細図-1	A-63	2～4階 スリーブ図	S-09	基礎・1階床伏図
A-10	仕上表	A-37	家具詳細図-2			S-10	基礎リスト（1）
A-11	工事区分表	A-38	家具詳細図-3			S-11	基礎リスト（2）
A-12	ピット・1階平面図	A-39	部分詳細図-A			S-12	地中梁リスト
A-13	2、3、4階平面図 屋根伏図	A-40	部分詳細図-B			S-13	1-2階柱2-3階梁床伏図
A-14	立面図	A-41	部分詳細図-C			S-14	3-4階柱4-R階梁床伏図
A-15	断面図	A-42	部分詳細図-D			S-15	軸組図（1）
A-16	矩計図-1	A-43	部分詳細図-E			S-16	軸組図（2）
A-17	矩計図-2	A-44	外構配置図			S-17	大梁リスト（1）
A-18	矩計図-3	A-45	外構詳細図			S-18	大梁リスト（2） 小梁リスト
A-19	屋外階段平面詳細図	A-46	南側スロープ・階段図-1（現況平面図・解体図）			S-19	柱リスト
A-20	屋外階段断面詳細図	A-47	南側スロープ・階段図-2（計画平面図）			A-20	壁・スラブリスト
A-21	1階 平面詳細図-1	A-48	南側スロープ・階段図-3（L型擁壁・直壁工展開図）			A-21	片持ちスラブ・階段配筋図
A-22	1階 平面詳細図-2	A-49	南側スロープ・階段図-4（L型擁壁H=1100）			A-22	雑配筋図
A-23	2.3.4 階 平面詳細図-1	A-50	南側スロープ・階段図-5（L型擁壁H=1200）			A-23	X1通りラーメン図
A-24	2.3.4 階 平面詳細図-2	A-51	南側スロープ・階段図-6（L型擁壁H=1600）				
A-25	展開図 1	A-52	南側スロープ・階段図-7（直壁工構造図）				
A-26	展開図 2	A-53	南側スロープ・階段図-8（階段・側壁）				
A-27	展開図 3	A-54	南側スロープ・階段図-9 手摺・フェンス（その1）				

建築工事特記仕様書		特記事項	
Ⅰ.工事概要		Ⅰ.工事概要	
1.工事名称 福平小学校校舎増築その他本体工事		26.ヤンバルトサカヤスデのまん延防止対策について	
2.工事場所 鹿児島市平川町819番地の3		ヤンバルトサカヤスデのまん延を防止するため、当該現場での土壌や植物等の搬出入に当たっては、以下の項目を参考に、十分注意を払うとともに、ヤンバルトサカヤスデの棲息が確認された場合は、棲息状況等の調査報告書を監督員に提出し、まん延防止対策を講ずること。（※発生地については、鹿児島市ホームページで確認すること。）	
3.工事種目（・新築　・増築　・改修　・その他）		1) 原則、土・樹木等は、発生地区からの搬出を極力おさえ、廃棄木材については、産業廃棄物の取扱いが可能な焼却施設にて、焼却処理を行うこと。	
4.工事期間 令和 9 年 3 月 5 日まで		2) 工事区域周辺部への拡散防止のため、周辺部に棄物散布等の措置を行うこと。	
Ⅱ.建築工事仕様		3) やむを得ず、土・樹木等が発生地区から搬出する場合は、薬剤処理・蒸蒸後、搬出を行うこと。	
○ 1. 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官営館部監修「公共建築工事標準仕様書」（建築工事編）（令和4年版）、「公共建築改修工事標準仕様書」（建築工事編）（令和4年版）及び「公共建築木造工事標準仕様書」（令和4年版）による。		4) 発生地区に搬入した建設機材等は、付着土壌の除去並びに薬剤処理後、搬出を行うこと。	
○ 2. 特記事項の適用は次のとおりとする。		5) 未発生地区においても、発生地区からの土・樹木等の搬入や、建設機材の移動等があった場合は、1)～4)の措置が講じられているかを確認すること。	
1) 項目は ○ 印の付いたものを適用する。		○ 27. 本工事の施工に伴う災害及び公害の防止は、建築基準法、労働安全衛生法、騒音規制法、振動規制法、大気汚染防止法、道路交通法及び建設工事公害災害防止対策要綱その他関係法令等に従い適切に処理すること。また、必要な届出等は滞りなく行うこと。	
2) 特記事項は ◎ 印の付いたものを適用する。		○ 28. 工事現場及びその周囲は危険防止に十分注意し工事を行い、現場周辺の公共物（特に側溝等）の維持管理及び地域住民、通行人への危害防止に万全を期すること。万一事故の起きた場合、受注者が復旧し、又、補償をするものとする。	
○ 印の付かない場合は、※ 印の付いたものを適用する。		○ 29. 工事現場への通行、諸運搬にあたっては、特に現場周辺の住民・通行人及び児童・生徒等への危害防止に万全を期すること。	
○ 印と ◎ の付いた場合は、共に適用する。		○ 30. 工事現場内での火気責任者を定め、火気の取扱いには十分注意すること。	
3) 特記事項に記載の（ ）内表示番号は、公共建築工事標準仕様書（建築工事編）の当該項目、当該図、又は当該表を示す。		○ 31. 工事において支障物件がある場合は、その処理方法等は監督員との協議による。	
4) 形状寸法の単位は、特記なきかぎりミリメートルとする。		○ 32. 工事現場の快適な作業環境を確保するため、受注者事務所、監督員事務所、従業員休憩所、便所等は関係法令に従い、適切な材料・構造などのものとする。	
Ⅲ.一般事項		○ 33. 本工事の施工に際しては、地場産業育成の立場から、できるだけ市内の専門業者や作業員を活用し、資材についても市内業者から購入し、使用するよう努めること。	
特記事項		○ 34. 再生資源利用計画書・再生資源利用促進計画書を作成し、施工計画書に含めて提出するとともに、工事現場の見やすいところに掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）して公衆の閲覧に供することとし、あわせてインターネットに公表するよう努めるものとする。また、その実施状況を記録した実施書を完成書類に含めて提出するものとする。	
○ 1. 本工事は鹿児島市建設工事請負契約書に基づき、施工するものとする		○ 35. 本工事により発生する建設廃棄物のうち、焼却施設及び最終処分場に搬入する産業廃棄物には、産業廃棄物税が課税されるので適正に処理すること。	
○ 2. 前払金 ※請求することができる ○請負代金額の10分の4の前払金の支払いを令和7年度中に請求すること		○ 36. 暴力団関係者等による不当介入を受けた場合の措置	
○ 3. 中間前金払		暴力団関係者等による不当要求又は工事妨害（以下「不当介入」という。）を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、その旨を遅滞なく発注者及び警察に通報すること。また、暴力団関係者等による不当介入を受けたことにより工程に遅れが生じた場合は、発注者と協議を行うこと。	
1) 請負金額が100万円以上で年度内に完成する工事は、契約時において中間前金払か部分払かのいずれかを選択すること。		○ 37. 駐車場は建設業者の責任において確保し、周辺道路上への駐車は絶対に行わないこと。	
なお、契約に当たり部分払をすることを選択した場合には、中間前金払は行わない。		○ 38. 工事現場隣接家屋について、事前に状況調査（建物の実情）を実施し写真等記録に残すこと。調査範囲は監督員と打合せをすること。	
2) 中間前金払を受けるための要件（全て満たすこと。）		また、工事完了後家屋、構造物に被害不具合等の申出があった場合は、速やかな対応をすること。	
7) 請負金額の10分の4の前金払がなされていること。		○ 39. 本工事に伴いスラブに設ける墨出し用の開口部については、建築基準法を満足する工法で確実に塞ぐこと。	
4) 工期の2分の1を経過していること。		○ 40. 工事完成写真の仕様について	
7) 工程表により工期の2分の1を経過するまでに実施するべきものとされている当該工事に係る作業が行われていること。		1) インク、用紙等は普通の使用条件のもとで、5年程度で顕著な劣化が生じないものとする。	
3) 既に行われた当該工事に係る作業に要する経費が請負金額の2分の1以上の額に相当するものであること。		2) カラー写真（ネガフィルムタイプ）と電子媒体による写真の混合管理は行わないこと。	
○ 4. 部分払 部分払については、鹿児島市契約規則による。		3) 完成検査若しくは、工事目的物引渡完了後5年間写真管理に利用した電子媒体を保管すること。	
○ 5. 部分払対象品目		○ 41. 再生資材（再生クラッシュラン等）については、再資源化施設製造のものを使用すること。	
工事の出来形部分並びに、工事現場に搬入した工事材料のうち、次の工事に含まれるものは部分払いの対象とする。ただし、監督員の検査に合格したものであって確認写真及び出来高等の確認ができるものに限る。		○ 42. 法定外労災保険の付保等について	
1.仮設工事 2.土工事 3.地業工事 4.鉄筋工事 5.コンクリート工事 6.鉄骨工事 7.コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事		1) 法定外の労災保険の付保	
8.防水工事 9.石工事 10.タイル工事 11.木工事 12.屋根及びとい工事 13.金属工事 14.左官工事 15.建具工事		本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。	
16.カーテュール工事 17.塗装工事 18.内装工事 19.ユニット及びその他工事 20.排水工事 21.舗装工事 22.植栽及び屋上緑化工事		なお、当該保険契約を締結したときは、その証券またはこれに代わるもの（保険証券等）の写しを直ちに監督員に提出すること。	
○ 6. 火災保険等		保証期間は工期後満21日間（24時）までとする。	
請負契約締結後速やかに次の工事保険に加入し、証券又はこれに代わるもの（保険証券等）の写しを直ちに監督員に提出すること。		2) 堅路制止用器具の使用について	
保証期間は工期後満21日間（24時）までとする。		高さが2m以上の作業床がない箇所、または作業床の端・開口部等で囲い・手すり等の設置が困難な箇所における作業については、労働者の危険を防止する手段として、堅路制止用器具の使用を講じること。	
※ 火災保険等（工事目的物及び工事材料（支給材料を含む）等）に生じる損害を填補）		○ 43. 営繕工事における退避2日試行工事について	
（※ 火災等 ※ 工事材料等の盗難等 ・ その他（ ）に対応したものを含むこと。）		1) 本工事は、営繕工事における退避2日試行工事の対象である。	
※ 請負業者賠償責任保険（工事の施工に伴い第三者に与えた損害を填補）		2) 試行に当たっては、「営繕工事における退避2日試行工事実施要領（令和6年5月7日施行）（以下、「実施要領」という。）」に基づき行うものとする。なお、実施要領は鹿児島市ホームページから入手できる。	
なお、上記の保険内容が含まれる火災保険、建設工事保険、組立保険等でも可とする。		○ 44. 電子納品	
その場合、保険証券等により保険内容が確認できるものであること。		1) 本工事は、電子納品試行対象工事とする。電子納品とは、「調査、設計、工事などの各業務段階の最終成果を電子成果品として納品すること」をいう。ここでの電子成果品とは、「鹿児島市電子納品運用ガイドライン（案）【建築・設備編】（以下、ガイドラインという。）」に定める基準に基づいて作成した電子データを指す。	
○ 7. 住宅瑕疵担保履行法について		2) ガイドラインに基づいて作成した電子成果品は電子媒体（CD－R又はDVD－R）で正本1部、副本1部の計2部提出する。電子化しない成果品については従来どおりの取扱とする。電子納品レベル及び成果品の電子化の範囲については、事前協議を行い決定するものとする。	
受注者は、「特定住宅瑕疵担保責任の履行の確保等に関する法律」（平成19年法律第66号）に基づき、保険への加入又は保証金の供託を行うものとする。なお、保険加入の場合は、着工前に保険法人に申し込む必要があるのに注意すること。		○ 45. 架空線の防護措置について	
○ 8. 契約不適合担保責任検査		架空線の防護措置における防護管設置については、受注者が架空線管理者と協議するものとし、防護管設置の必要があるとされた場合は、監督員と協議により設計変更の対象とする。	
契約不適合担保責任（鹿児島市建設工事請負契約書第41条）の確実な履行を図るため、受注者は、契約不適合責任期間の満了前に、受注者の負担で、契約不適合担保責任検査を実施すること。受注者は、発注者から契約不適合担保責任検査実施の通知を受けた場合は、発注者の指定する方法により速やかに契約不適合担保責任検査の実施日及び報告書提出日を回答したうえで、契約不適合担保責任検査を実施し、その結果を報告すること。なお、履行の追完方法は発注者と協議のうえ、実施すること。		○ 46. 施工体制点検等への協力	
○ 9. 施工体制台帳の提出等		請負代金額が4、500万円（建築一式工事は9、000万円）以上の工事においては、「鹿児島市施工体制点検要領」に基づく点検を、また請負代金額が4、500万円（建築一式工事は9、000万円）未満の建設工事の下請契約を締結した工事においては、同要領の枠組外における一括下請負に関する確認を実施するので、受注者はこれに協力すること。	
1) 建設工事の一部を下請に付する場合は、施工体制台帳及び添付書類を作成し、工事現場に備え置くとともに、その写しを監督員に遅滞なく（遅くとも下請工事の着手前までに）提出すること。また、施工体制台帳の記載事項又は添付書類に変更があったときは、その都度、当該変更があった年月日を付記して、変更に関する事項について、作成し提出すること。		○ 47. 産業廃棄物管理票（マニフェスト）の提出	
2) 工事を施工するために、建設工事の一部又は以下の各号の業務を下請に付する場合は、施工体系図を作成し、工事の期間中、工事現場の工事関係者が見やすい場所及び公衆の見やすい場所に掲示するとともに、その写しを監督員に遅滞なく（遅くとも下請工事の着手前までに）提出すること。また、施工体系図の記載事項に変更があったときは、その都度、変更に関する事項について、作成し提出すること。		工事の施工により発生する産業廃棄物については、処分状況等の記録（E票の写し及び産業廃棄物管理票（マニフェスト）総括表）を工事完成図書に添付すること。なお、工事完了時点で、最終処分が完了せず、E票が処分業者より返送されていない	

[illegible]

7  
鉄  
骨  
工  
事

4. 溶 接 接 合

開先形状(国土交通省大臣官房官庁営繕部「建築鉄骨設計基準」による)

・レ形 ・K形 ・( ) (7. 6. 4)

余盛り高さ ※鉄骨精度検査基準による ・( ) (7. 6. 7)

・鋼製エンドタブを切断する箇所及び範囲  
( )

溶接部の試験 (7. 6. 12)

※外観試験

(a)( )

(b)( )

※超音波探傷試験 ※行う

AOQL(工場溶接) ※4.0% ・2.5%

検査水準 ※第6水準 ・( )

5. 錆 止 め 塗 装

耐火被覆材の接着する面の塗装範囲( ) (7. 8. 2)

耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲( )

種類 鋼製スリーブ内面( ※A種 ・B種) (7. 8. 4)(表18. 3. 1)

耐火被覆材の接着面 ( ) (7. 8. 4)

6. 耐 火 被 覆

種類 ( ) (7. 9. 2)

材料 ( )

工法 ( )

耐火性能( ) (7. 9. 3)

7. 工 事 現 場 施 工

建方精度 ※鉄骨精度検査基準による ・( ) (7. 10. 2)

アンカーボルト ・構造用アンカーボルト 形状( )寸法( ) (7. 10. 3)

・アンカーフレーム 形状( )寸法( )

・建方用アンカーボルト 保持及び埋込工法( ・A種 ※B種 ・C種) (表7. 10. 1)

柱底均しモルタル工法 工法(※A種 ・B種) 厚さ( )

8. 軽 量 形 鋼

ボルト接合 ※普通ボルト接合 ・( ) (7. 11. 2)

9. 溶融亜鉛めっき工

亜鉛めっき

亜鉛めっき種別	材 料	適用部位
A 種	最小板厚6.0mm以上の形鋼、鋼板類	
B 種	最小板厚3.2mm以上、6.0mm未満の形鋼、鋼板類	
C 種	最小板厚1.6mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板類 普通ボルト・ナット類及びアンカーボルト類	

高力ボルト接合摩擦面 ・プラスト処理 ・( ) (7. 12. 5)

8  
コン  
クリ  
ート  
ブ  
ロ  
ック  
工  
事

1. 補 強 コンクリート  
フ ロ ッ ク 造

ブロックの種類 ( ) (8. 2. 2)

モジュール呼び寸法( )

正味厚さ ( )

各部の配筋 ※図示による (8. 2. 5)

○ 2 コンクリートブロック  
帳 壁 及 び 塀

ブロックの種類 ※表8. 3. 1 (8. 3. 2)

配筋 (8. 3. 4)

縦 筋	横 筋	開口補強筋(縦横)	端部補強筋
D10－400@	D10－400@	1－D13	1－D13

壁鉄筋の継手( ) 定着( ) 末端部折り曲げ形状( )

3 A L C パ ネ ル

区分( )単位荷重( )厚さ( )幅( )長さ( ) (8. 4. 2)

耐火性能( )

外壁パネル構造 構造の種類: (・A種 ・B種)工法( )目地幅( ) (8. 4. 3)

耐火目地材( )

4 押出成形セメント板

種類( )形状( )厚さ( )幅( ) (8. 5. 2)

外壁パネル工法 工法の種類: (・A種 ・B種)工法( )目地幅( ) (8. 5. 3)

間仕切壁パネル工法 工法の種類: (・B種 ・C種) (8. 5. 4)

9  
防  
水  
工  
事

1. 合 成 高 分 子 系  
ル－フingシート防水

工 程 種 別	適 用 箇 所	仕 上 げ 塗 料 塗 り	厚 さ
・ S－F1		・ カラー ・ シルバー	※1.2mm ・
・ S－F2			※1.5mm ・
・ S－M1		・ カラー ・ シルバー	※1.5mm ・
・ S－M2			※1.5mm ・

機械的固定方法 建築基準法に基づく風圧力に対応した工法とし監督員の承諾を受けること (9. 4. 4)

可塑性移行防止用シート ※発泡ポリエチレンシート ・( )

○ 2. 塗 膜 防 水

ウレタンゴム系塗膜防水 (9. 5. 3)(表9. 5. 1～2)

工 程 種 別	施 工 箇 所	備 考
・ X-1 (絶縁工法)	※ 屋根	
・ X-2 (密着工法)	※ 屋根 ○ 屋外避難階段	

ゴムアスファルト系塗膜防水

工 程 種 別	施 工 箇 所	備 考
・ Y-1	地下外壁	
・ Y-2	屋内	保護層 ・ 適用する ・ 適用しない

○ 3. シ ー リ ン グ

シーリングの種類は、表9. 7. 1による (9. 7. 2)(表9. 7. 1)

目地寸法 ※9. 7. 3(1)(ア～ウ) ・( ) (9. 7. 3)

接着性試験 ※簡易接着性試験 ・引張接着性試験 (9. 7. 5)

○ 4. 屋根コンクリート防水

防水工事の施工については、10年保証書を提出すること。

○ 5. 保証書及び期間

なお、保証書は、受注者と施工業者の連帯とする(シーリングを除く)。

保証書の必要な防水工事の施工業者は建設業法の許可業者とする。

10  
石  
工  
事

1. 共 通 事 項

石の割付け ・( ) ・図示による (10. 1. 3)

石材の加工

粗面仕上げの場合 ・監督員と協議 ・図示による

ワックスの使用 ・使用する ・使用しない (10. 1. 5)

2. 材 料

テラゾ

種類及び大きさ ※大理石(1.5～12mm) ・( ) (10. 2. 1)

テラゾブロック 形状 ・平物 ・役物

仕上げ面 ・片面 ・両面

寸法 ( 図示による )

表面仕上げ ・粗磨き ・水磨き ・本磨き

章適用

項 目

特 記 事 項

○ 1. 共 通 事 項

伸縮調整目地及びびびり割れ誘発目地 (11. 1. 3)  
位置 外壁( ※表11. 1. 1 ・図示による) 屋内( ・ )  
寸法 ※9. 7. 3 ・( )

○ 2. 施 工 後 の 確 認 及 び 試 験

※外観の確認 ※打診による確認 ・引張接着試験 (11. 1. 7)

○ 3. 材 料

タイルの種類 (11. 2. 2)(11. 3. 2)  

施工箇所	形状・寸法	耐凍害性	耐滑り性	役物	色
外構	100角	・有 ○無	○有 ・無	○有 ・無	○標準 ・特注
		・有 ・無	・有 ・無	・有 ・無	・標準 ・特注
		・有 ・無	・有 ・無	・有 ・無	・標準 ・特注
		・有 ・無	・有 ・無	・有 ・無	・標準 ・特注

製造所 ( 監督員の承諾を得るものとする。 )  
タイル試験張り ( ・実施する ○ 実施しない) タイル見本焼き( ・実施する ○ 実施しない)

○ 4. セメントモルタルによる  
タ イ ル 張 り

・既調合モルタル( ) (11. 2. 3)

・下地及びタイルごしらえ ( ・MCR工法 ・目荒し工法(高压水洗)) (11. 2. 7)(表11. 2. 3)

タイル張りの種別 ○( 圧着張り ) ・( )

工法 ○( 湿式工法 ) ・( )

5. 有機系接着剤  
に よ る  
タ イ ル 張 り

・外装タイルにおける目地詰め ( ・行う ・行わない) (11. 3. 3)

・下地及びタイルごしらえ ( ・MCR工法 ・目荒し工法 ) (11. 3. 5)

章適用

項 目

特 記 事 項

○ 1. 材 料

木材 木材については、市内で生産・加工された木材の使用に努めること。市内産材の確保が (12. 2. 1)  
難しい場合でも、可能な限り県産材の使用に努めること。  
・地域産材の場所 ( )地域  
ただし、次の部位については「認証かごしま材」又は「認証かごしま材」と同等の基準を満足している市内産材を使用すること。  
なお、「認証かごしま材」同等材の使用にあたっては、下記の条件を満足したものとする。  
ア. 認証かごしま材の品質(乾燥、寸法、面材品質)と同等の基準を満足している旨及び原木の生産地を記載した旨の出荷証明書が添付されたもの  
イ. 監督員の立会い検査により、上記アの品質が確認されたもの  
指定部分 ・構造材全て ○ その他( 下地材、造作材 )  
含水率 構造材 ※20%以下とする。  
下地材 ※A種 ・B種  
造作材 ※A種 ・B種

製材  
「JAS1083」による製材  
下地用針葉樹製材 樹種、等級、寸法、形状、含水率、保存処理及び材面の品質 ※図示による  
等級 ・図示による ※2級  
造作用針葉樹製材 樹種、寸法、等級、形状、含水率、保存処理及び材面の品質 ※図示による  
板類における等級 ※枠、顔縁、敷居、かもし、かまちの類の見え掛り面は上小節、それ以外は小節以上  
・図示による  
広葉樹製材 樹種、寸法、保存処理及び材面の品質 ※図示による  
等級 ※1等 ・図示による ・( )  
含水率 ※10%以下 ・図示による ・( )

「JAS1083」以外の製材  
下地、造作及び仕上げに用いる製材 樹種、寸法、材面の品質、含水率及び防虫処理 ※図示による  
造作材の材面の品質の基準 ※A種 ・B種 (表12. 2. 2)  
造作用集成材  
「集成材のJAS」による造作用集成材  
造作用集成材 品名、樹種、見付け材面数、寸法 ※図示による  
見付け材面の品質 ※1等 ・図示による  
化粧ばり造作用集成材 品名、樹種、化粧薄板の厚さ、見付け材面数、寸法 ※図示による  
見付け材面の品質 ※1等 ・図示による  
化粧ばり構造用集成柱 品名、樹種、化粧薄板の厚さ、寸法、見付け材面の品質 ※図示による

「集成材のJAS」以外の造作用集成材  
造作用集成材 樹種、寸法、見付け材面の品質 ※図示による  
含水率 ※15%以下 ・図示による ・( )  
化粧ばり造作用集成材 樹種、寸法、化粧薄板の厚さ、見付け材面の品質 ※図示による  
含水率 ※15%以下 ・図示による ・( )  
化粧ばり構造用集成柱 樹種、寸法、見付け材面の品質、化粧薄板の厚さ ※図示による  
含水率 ※15%以下 ・図示による ・( )

造作用単板積層材  
「JAS0701(単板積層材)」に基づく造作用単板積層材 品名、寸法、表面の品質及び防虫処理 ※図示による

「JAS0701(単板積層材)」以外の造作用単板積層材  
寸法、表面の品質及び防虫処理 ※図示による  
含水率 ※14%以下 ・図示による ・( )  
JAS3079 (直交集成板) 品名、曲げ強度、種別、接着性能(使用環境)、樹種及び寸法 ※図示による

合板等  
下地用普通合板 品名、単板の樹種名、防虫処理 ※図示による  
厚さ ※5. 5mm ・図示による 接着の程度 ※1類 ・図示による  
板面の品質 ※2等以上(広葉樹) ※C-D以上(針葉樹) ・図示による

下地用構造用合板 品名、単板の樹種名、保存処理、防虫処理、強度等級 ※図示による  
厚さ ※12mm ・図示による  
接着の程度 ※1類(湿潤箇所を除く) ※特類(湿潤箇所) ・図示による  
等級 ※2級以上 ・( )  
板面の品質 ※C-D以上 ・図示による

化粧ばり構造用合板 品名、厚さ、単板の樹種名、接着の程度、防虫処理 ※図示による  
湿潤状態となる場所に使用する場合の接着の程度 ※特類 ・図示による

天然木化粧合板 厚さ、接着の程度、化粧板に使用する単板の樹種名、防虫処理 ※図示による

特殊加工化粧合板 品目、厚さ、接着の程度、単板の樹種名、化粧加工の方法、防虫処理 ※図示による

パーティクルボード 表裏面の状態による区分、難燃性による区分及び厚さ ※図示による  
曲げ強さによる区分、耐水性による区分、厚さ  
※厚さ15mm、曲げ強さ13タイプ、耐水性MR1(M)又はMR2(P)タイプ

構造用パネル 品名、厚さ ※図示による

MDF 表裏面の状態による区分、曲げ強さによる区分、接着剤による区分 ※図示による  
難燃性による区分、厚さ ※図示による

接合具等 (12. 2. 2)  
造作材の化粧面の釘打ち ※隠し釘打ち ・釘頭埋め木 ・つぶし頭釘打ち ・釘頭現し  
諸金物の形状、寸法、材質 ※12. 2. 2(ア)による ・( ) ・図示による  
諸金物の形状、寸法、材質 ※12. 2. 2(ア)による ・( ) ・図示による

章適用

項 目

特 記 事 項

○ 2. 防 腐 ・ 防 蟻 ・ 防 虫 処 理

しろあり防除工事  
鹿児島県土木部建築課監修 鹿児島県しろあり防除工事特記仕様書により、社団法人日本しろあり対策協会鹿児島支所登録施工業者が施工する。(使用薬剤は、非有機リン系薬剤とする)  
土壌処理 ※行う(範囲: ( ) ・行わない)  
木材処理 ※行う(範囲:各階のFL+1m以下の下地材(合板等除く) ・行わない)  
防腐・防蟻処理 ・薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理 (12. 3. 1)  
○ 薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理  
防虫処理 ・行う ※行わない (12. 3. 2)  
土壌処理、木材処理共に行った際は、受注者と白蟻防除工事施工業者連帯の5年保証書を提出する。  
木材処理のみを行った際は、白蟻防除工事施工業者による施工証明書を提出する。

3. RC造等の内部間仕切軸組及び床

木材  
間仕切軸組に用いる製材 ・杉 ・松 ・( )  
床組に用いる製材(土間スラブ類の土台、転ばし大引、転ばし根太) ・ひのき ・保存処理木材 ・( )  
床組に用いる製材(上記以外) ・杉 ・松 ・( )

○ 4. 窓、出入口その他

木材 窓、出入口、その他に用いる製材 吊元枠、水掛りの下枠、敷居 ※ひのき ・( ) (12. 5. 1)  
その他 ・松 ※杉 ・( )

○ 5. 床 板 張 り

木材  
縁甲板、上がりがまちに用いる製材 ※ひのき ・( ) ○ 図示による

○ 6. 壁及び天井下地

木材  
○杉 ・松 ・( ) ・図示による

12  
|  
1  
軸  
組  
構  
法  
(壁  
構  
造  
系)  
工  
事

1. 共 通 事 項

※公共建築木造工事標準仕様書(平成31年版)5章の規定による。  
※建築基準法施行令第46条第4項表1に掲げる軸組を用いて、同4項の壁量を満たす建築物 木標仕(5. 1. 1)  
部材寸法、その他 木標仕(5. 2. 2)  
柱 柱法、その他  
間柱 : ( 120\*120 ) @ 950  
間柱 : ( 120\*60 ) @ 455  
胴縁 : ( 13\*45 ) @ 455  
木摺 : ( 13\*75 ) @ 455  
天井 吊木受 : ( 45\*120～150 ) @ 950  
吊木 : ( 45\*45 ) @ 950  
野縁受 : ( 45\*45 ) @ 950  
野縁 : ( 45\*45 ) @ 455  
※但し、下地材の間隔は、使用材料の規格寸法にあわせる。

2. 木 材

構造材及び下地材に対する釘の打ち込み本数等 木標仕(5. 2. 4)  
※木標仕5章の規定以外は図示による。  
ボルトの径 ( ※図示 ・( ) )  
※木標仕5章の規定以外は図示による。  
ボルトが受ける応力の種類  
・引張りを受けるボルト ( ※図示 ・( ) )  
・せん断力を受けるボルト ( ※図示 ・( ) )  
複合金物の工法等を木材に接合するためのボルト等の種類、形状、寸法及び本数  
※図示及び木標仕5章各節の規定による。  
・( )  
※構造金物はZマーク品又は(公財)日本住宅・木材技術センターにより認定されたものを使用する。

3. 接 合 金 物 ・ 接 合 具 等

構造材及び下地材に対する釘の打ち込み本数等 木標仕(5. 2. 4)  
※木標仕5章の規定以外は図示による。  
ボルトの径 ( ※図示 ・( ) )  
※木標仕5章の規定以外は図示による。  
ボルトが受ける応力の種類  
・引張りを受けるボルト ( ※図示 ・( ) )  
・せん断力を受けるボルト ( ※図示 ・( ) )  
複合金物の工法等を木材に接合するためのボルト等の種類、形状、寸法及び本数  
※図示及び木標仕5章各節の規定による。  
・( )  
※構造金物はZマーク品又は(公財)日本住宅・木材技術センターにより認定されたものを使用する。

4. 仕口及び継手の工 法

※「木造の継手及び仕口の構造方法を定める件」(平成12年5月31日 建設省告示第1460号) 木標仕(5. 4. 2)による。

13  
屋  
根  
及  
び  
と  
い  
工  
事

1. 長 尺 金 属 板 葺

屋根葺き形式	材 種 (板・コイル)	表面処理	板厚(mm)
・心木なし瓦葺葺	・塗装溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3312)	・フッソ樹脂塗装	※0.4 ・0.5
・立て平葺	・溶融アルミニウムめっき鋼板(JIS G 3314)	・亜鉛めっき塗装	・0.6 ・0.8
・横葺	・塗装溶融亜鉛－5％アルミニウム合金めっき鋼板(JIS G 3318)	・焼付塗装	・0.8 ・1.0
	・溶融55％アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板(JIS G 3321)		・1.2 ・
	・塗装溶融55％アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板(JIS G 3322)		
・鼻隠し・ケラバ	・		※0.6

専門工事業者は製造所の指定業者とする  
塗膜の耐久性の種類 表面 ・1類 ・2類 ・3類 表面 ・1類 ・2類 ・( )  
めっき付着量 ・( )  
下葺材料 ※アスファルトフーイング940 ・改質アスファルトルーフィング下葺材  
工法 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ※図示による  
横葺きの場合のけらば納め ・つかみ込み納め ・けらば納め (13. 3. 2)(13. 3. 3)

材料 ※塗装溶融亜鉛めっき鋼板 (板厚(mm) ・0.6 ・0.8 ) (13. 3. 2)(13. 3. 3)  
(板厚(mm) ・ )  
寸法 山高 ( )mm 山ピッチ ( )mm  
形式 ※重ね形 ・はぜ縮め形 ・かん合形  
直接外気の影響を受けない屋内のタイフレームに使用する材料 ※図示による  
軒前面戸板 ※有り ・無し  
断熱材張り ( 種別: 厚さ: 防火性能: )  
工法 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ※図示による

○ 2. 折 板 葺

材料 ※塗装溶融亜鉛めっき鋼板 (板厚(mm) ・0.6 ・0.8 ) (13. 3. 2)(13. 3. 3)  
(板厚(mm) ・ )  
寸法 山高 ( )mm 山ピッチ ( )mm  
形式 ※重ね形 ・はぜ縮め形 ・かん合形  
直接外気の影響を受けない屋内のタイフレームに使用する材料 ※図示による  
軒前面戸板 ※有り ・無し  
断熱材張り ( 種別: 厚さ: 防火性能: )  
工法 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ※図示による

○ 3. と い

材料等 ※図示による (13. 5. 2)(表13. 5. 1)

外部縦どい受け金物 ※ステンレス製 ・鋼製(亜鉛めっき) (13. 5. 2)  
形状・取付間隔 ※図示による

4. 保証書及び期間

屋根工事の施工については、10年保証書を提出すること。なお、保証書は、受注者と施工業者の連帯とする。  
保証書の必要な屋根工事の施工業者は建設業法の許可業者とする。

有限会社 三島建築設計事務所  
一級建築士 第 278466 号  
三島 浩幸

福平小学校校舎増築その他本体工事  
建築工事特記仕様書 5－3  
鹿児島市建設局建築部建築課

Ver.R70823

A－04



14  
金属  
工事

○ 1. 一般事項

あと施工アンカー施工後の確認引張試験 ・ 実施する ○ 実施しない (14. 1. 3)

○ 2. 表面処理

・ アルミニウム及びアルミニウム合金 (14. 2. 1)(表14. 2. 1)

種 類	施 工 箇 所
・ AB－1種(無着色)	
・ AB－2種( ・ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー)	
・ AC－1種(無着色)	
・ AC－2種( ・ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー)	
・ BA－1種(無着色)	
・ BA－2種( ・ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー)	
※BB－1種(無着色)	アルミ建具
・ BB－2種( ・ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー)	
・ BC－1種(無着色)	
・ BC－2種( ・ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー)	
・ C種	

陽極酸化皮膜着色方法 ※ 二次電解着色 (色合: ) ・ ( )

・ 鉄鋼の亜鉛めっき (14. 2. 2)(表14. 2. 2～4)

表面処理方法	種 類	施 工 箇 所
溶融亜鉛めっき	・ A種	
	・ B種	
	・ C種	
	・ D種	
電気亜鉛めっき	・ E種	
	・ F種	

○ 3. 軽 量 鉄 骨 天 井 下 地

野縁等の種類 屋内 ※ 19形 ・ 25形 (14. 4. 2)(表14. 4. 1)  
屋外 ・ 19形 ※ 25形  
・ 野縁受、吊ボルト及びびンサート間隔(屋外) ( ) (14. 4. 3)(表14. 4. 2)  
・ 野縁の間隔(屋外) ( )  
・ ダクト等により吊りボルトの間隔が900mmを超える場合の補強方法 ※ 図示による ・ ( ) (14. 4. 4)  
・ 天井ふところが1.5m以上の補強方法 ※ 図示による ・ ( )  
・ 屋外の軒・ピロティ等の天井における耐風圧性を考慮した補強 ※ 図示による ・ ( )

○ 4. 軽 量 鉄 骨 壁 下 地

スタッド、ランナーの種類 (14. 5. 1～14. 5. 4)(表14. 5. 1)

種 類	部 材	施 工 箇 所
・ 50形	・ スタッド ・ ランナ	
○ 65形	○ スタッド ○ ランナ	図示
・ 90形	・ スタッド ・ ランナ	
○ 100形	○ スタッド ○ ランナ	図示

5. 金 属 成 形 板 張 り

形 状	製 法	材 種	寸法(mm)	厚さ(mm)	表面処理 (14.2.1～3、表14.2.1～2による)
・ スパンドレル形	・ 押出し	※ アルミニウム製			
	・ ロール	・			
・ パネル形	※ プレス				

伸縮調整継手 ※ 設けない ・ 設ける(施工箇所は図示)

6. アルミニウム製  
 笠 木

種 類	表 面 処 理	備 考
・ 250形	・ AB－1種 ・ AB－2種 ・ AC－1種 ・ AC－2種	・ 隅角部及び突当たり部等の役物は本体製造所の仕様による
・ 300形	・ BA－1種 ・ BA－2種 ※ BB－1種 ・ BB－2種	
・ 350形	・ BC－1種 ・ BC－2種 ・ C種	

※ 工法は建築基準法に基づく風圧力に対応した工法とし監督員の承諾を受けること

15  
左 官  
工 事

○ 1. モ ル タ ル 塗 り

材料  
モルタル ○ 現場調合材料 ・ 既調合材料(材料は監督員の承諾による)  
防水モルタルの防水剤  
製造所( 監督員の承諾を得るものとする。 )  
・ 既製目地材 形状( )

○ 2. 仕 上 塗 材 仕 上 げ

材料  
JIS A 6909(建築用仕上塗材)

種 類	呼 び 名	仕 上 げ 形 状 等
・ 薄付け仕上塗材	※ 外装薄塗材E	・ 砂壁状 ・ 着色骨材砂壁状
○ 複層仕上塗材	※ 複層塗材E ・ 複層塗材RE ・ 防水形複層塗材E	※ ゆず肌状 ・ 凸部処理 ○ 凹凸状 耐候性 ※ 耐候形3種 溶 媒 ※ 水系 ・ 溶剤系 樹 脂 ※ アクリル系 外 観 ※ つやあり ・ つやなし ・ メタリック

16  
建 具  
工 事

○ 1. アルミニウム製  
 建 具

(16. 2. 2,4,5)(表16. 2. 1, 2)

種 別	外 部 に 面 する 建 具	内 部 建 具	枠見込み(mm)
※ 普通ドア セット、サッシ	※ コンクリート系・ 鉄骨下地	・ A種 ○ B種	※ 70 ・
	・ 木下地	・ D種 ・ E種	※ 100 ・ 図示
			※ 70
・ 防音ドアセット	遮音性の等級( )		
・ 断熱ドアセット	断熱性の等級( )		
・ 耐震ドアセット	面内変形追随性の等級( )		
表面処理(表14.2.1による)	※ BB-1種 ・	※ AC-1種 ・	

網戸防虫網 ※ 合成樹脂製 ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ ステンレス(SUS316)製 (16. 2. 3)  
製造所 ( 監督員の承諾を得るものとする。 )

17  
装 飾  
工 事

○ 2. 鋼 製 建 具

(16. 4. 2,4,5)(表16. 4. 1,2)

種 別	簡易気密型ドアセットの性能	外部に面する建具の耐風圧性	鋼 板 類 の 厚 さ
○ 標準型建具	・ 表16. 4. 1を適用する ○ 適用しない	・ S－4 ○ S－5 ・ S－6 ・	※ 表16. 4. 2による ・ 適用しない
・ 標準型建具 以外の建具	・ 表16. 4. 1を適用する ・ 適用しない	・ S－4 ・ S－5 ・ S－6 ・	※ 表16. 4. 2による ・ 適用しない

製造所 ( 監督員の承諾を得るものとする。 )  
材料 ※ SUS304 ・ SUS430J1L ・ SUS443J1 ・ ( ) (16. 6. 3)  
表面仕上げ ※ HL ・ No.8(鏡面) ・ #400 ・ No.2B ・ ( ) (16. 6. 4)  
曲げ加工 ※ 普通曲げ ・ 角出し曲げ (16. 6. 5)  
製造所 ( 監督員の承諾を得るものとする。 )

3. ステンレス製建具

材料 ※ SUS304 ・ SUS430J1L ・ SUS443J1 ・ ( ) (16. 6. 3)  
表面仕上げ ※ HL ・ No.8(鏡面) ・ #400 ・ No.2B ・ ( ) (16. 6. 4)  
曲げ加工 ※ 普通曲げ ・ 角出し曲げ (16. 6. 5)  
製造所 ( 監督員の承諾を得るものとする。 )

○ 4. 木 製 建 具

建具材の含水率 ※ A種 ・ B種 ・ C種 (16. 7. 2)(表16. 7. 1)  
かまち戸の樹種 かまち ( ) 鍍板 ( )  
ふすま紙の上張り ・ 新鳥の子 ・ 鳥の子 ・ ビニル紙 ・ 雲花紙  
枠 ○ 木製枠 ・ 鋼製枠 ( )  
くつずり ○ ステンレス製(HL仕上げ) ・ ( )  
フラッシュ戸 表面板の厚さ ※ 表16.7.6 ・ ( ) (16. 7. 3)  
見込み寸法 かまち戸( ※ 36mm ・ ) ふすま戸( ※ 19.5 ・ 21 ・ 18 ) (16. 7. 3)  
戸ふすま( ※ 30mm ・ ) 紙張り障子( ※ 30mm ・ )

○ 5. 建 具 用 金 物

※ 建具製作所の仕様による ・ 図示による (16. 8. 1,2,3)(表16. 8. 1)  
マスターキー ※ 製作する ・ 製作しない (16. 8. 4)  
鍵箱 ※ 必要 ( 組用) ・ 不要

6. 重 量 シャ ッ タ ー

(16. 11. 2～5)

種 類	耐 風 圧 性 能	開 閉 機 能	シャッターケースの設置	危 害 防 止 機 構
・ 管理用シャッター	・ 50 ・ 80	※ 上部電動式 ( 有 ・ 無	・ 有 ・ 無	※ 危険防止措置 ・ シャッターの二段降下方式
・ 外壁用防火シャッター	・ 120 ・	(手動併用)		
・ 屋内用防火シャッター		・ 上部手動式		
・ 防煙シャッター				

7. 軽 量 シャ ッ タ ー

開閉形式 ※ 手動式 ・ 上部電動式(手動併用) (16. 12. 2)  
耐風圧性能 ・ 50 ・ 65 ・ 80  
スラットの材質 ※ 塗装亜鉛めっき鋼板又は鋼帯 ・ ( ) (16. 12. 3)  
スラットの形状 ・ インターロック形 ・ オーバーラッピング形 (16. 12. 4)

○ 8. ガ ラ ス

JIS規格品 (16. 14. 2)  
※ 材料、厚みは図示による

○ 9. ガ ラ ス 留 め 材

アルミニウム製建具 ※ シーリング(SR-1) (16. 14. 2,3)  
・ ガasket(グレイジングチャンネル形)(窓に適用)  
鋼製・ステンレス製建具 ※ シーリング(SR-1) (表 9. 7. 1)  
木製建具 ※ シーリング(SR-1)

10. ガ ラ ス ブ ロ ッ ク 積 み

JIS A 5212(ガラスブロック(中空)) (16. 14. 5)  
表面形状( ) 呼び寸法( ) 厚さ( )  
壁用金属枠及び補強材 ( )  
力骨  

材 質	寸 法	形 状
※ ステンレス鋼(SUS304)	※ 径5.5mm	※ はしご形状腹筋及び単筋
・	・	・

シーリング材( )  
金属製化粧カバー 材質( ) 寸法( ) 形状( )  
ガラスブロックの目地幅の寸法  
平積み ※ 8～15mm ・ ( )  
曲面積み ※ 外側15mm以下、内側6mm以上 ・ ( )  
伸縮調整目地位置 ※ 6m以下 ・ ( )  
目地部の力骨の補強方法 ※ 製造所の仕様 ・ ( )

18  
塗 装  
工 事

○ 1. 材 料

※ 屋内の壁及び天井の塗装仕上げ材は、防火材料の指定がある場合は建築基準法に基づき、指定又は認定を受けたものとする。基材同等の認定表示のあるものとする。

○ 2. 素 地 ご し ら え

○ 木部 不透明塗料塗り ( ※ A種 ・ B種 ) (18. 2. 2)(表18. 2. 1)  
透明塗料塗り ( ・ A種 ※ B種 )  
○ 鉄鋼面 ( ・ A種 ○ B種 ※ C種 ) (18. 2. 3)(表18. 2. 2)  
(耐候性塗料塗り(DP)の場合は、B種とする)  
・ 亜鉛めっき鋼面 ( ・ A種 ・ B種 ) (18. 2. 4)(表18. 2. 3)  
○ モルタル及びせっこうプラスター面 ( ・ A種 ※ B種 ) (18. 2. 5)(表18. 2. 4)  
○ コンクリート及びALCパネル及び押出成形セメント板面 ( ・ A種 ※ B種 ) (18. 2. 6)(表18. 2. 5)  
(耐候性塗料塗り(DP)、2液形ポリウレタンエマル塗り、アクリリコン樹脂エマル塗り、  
常温乾燥形ふっ素エマル塗りについては、表18. 2. 6による)  
○ せっこうボード及びその他ボード面 継目処理工法 ( ※ A種 ※ B種 ) (18. 2. 7)(表18. 2. 7)  
その他 ( ・ A種 ・ B種 )

○ 3. 塗 料 塗 り

○ 錆止め塗料塗り (18. 3. 2～3)(表18. 3. 1～6)

下 地	塗 料 種 別	塗 り 種 別
鉄鋼面	SOP	※ A種
	EP-G	・ A種 ※ B種
	1回目	※ C種
	DP	2・3回目 ※ D種
	表18. 3. 4	
亜鉛めっき鋼面	SOP	※ A種 ・ B種
	EP-G	※ C種
	DP	※ B種
		鋼製建具 ※ A種 ・ B種 その他 ・ A種 ※ B種

○ 合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)  
塗料種類 ※ 1種 ・ 2種 (18. 4. 2)  
木部塗り種別 (屋外) ※ A種 ・ B種 (18. 4. 3)  
(屋内) ・ A種 ※ B種 (多孔質広葉樹の場合を除く)  
鉄鋼面塗り種別 ・ A種 ※ B種 (18. 4. 4)  
○ クリヤラッカー塗り(CL) (18. 5. 2)(表18. 5. 1)  
塗り種別 ・ A種 ※ B種  
・ アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD) (18. 6. 2)(表18. 6. 1)  
塗り種別 ・ A種 ※ B種

19  
内 装  
工 事

○ 1. ビ ニ ル 床 シ ー ト、  
ビ ニ ル 床 タ イ ル 及 び  
コ ム 床 タ イ ル 張 り

接着剤 壁紙、ビニル床タイル、ビニル床シート、ビニル幅木に使用する接着剤は、ホルマリン (19. 2. 2)  
不検出のもので、水性形のものとする。  
接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする(水廻り及び湿度の高い箇所を除く)。  
ビニル床シート  

種 類	色 柄	厚 さ	工 法	備 考
※ FS	・ 無地	※ 2.0	※ 熱溶接	・ 防滑性ビニル床シート
・	・ 模様	・	・ 突付け	

ビニル床タイル  

種 類	色柄	厚さ(mm)	備考
・ 単層ビニル床タイル(TT)	・ 無地	※ 2	・ 防滑性床タイル
・ 複層ビニル床タイル(FT)	・ 模様	・ 3	
・ コンポジションビニル床タイル(KT)			

特殊機能床材  
帯電防止床シート又は床タイル 種類( ) 性能( ) 厚さ( )  
視覚障害者用床タイル 種類( ) 形状( )  
耐動荷重性床シート 種類( ) 厚さ( )  
ビニル幅木 厚さ( ※ 1.5mm以上 ・ ) 高さ( ※ 60mm ) ○ 75mm 種類 ( )  
ゴム床タイル 種類( ) 厚さ( ) 色柄( ) 色柄( ) 寸法( )  
下地がセメント系及び木質系以外の場合の接着剤種別 ビニル床シート、タイル( )  
ゴム床タイル( )

2. カーベット敷き

・ 織じゅうたん 種類 ( ・ A種 ・ B種 ・ C種 ) 織り方( ) (19. 3. 2～3)(表19. 3. 1～2)  
バイル形状 ( ・ カットバイル ・ ループバイル ・ )  
帯電性(人体帯電圧 ※ 3kv以下 ・ )  
・ タフテッドカーベット バイル形状 ( ・ カットバイル ・ ループバイル ・ )  
バイル長( ) 帯電性(人体帯電圧 ※ 3kv以下 ・ )  
工法 ( ・ グリッパ ・ 全面接着 )  
・ タイルカーベット 種類 ( ※ 第1種 ・ ) バイル形状( ※ ループバイル ・ )  
寸法 ( ※ 500mm角 ・ ) 総厚さ( ※ 6.5mm ・ )  
平場敷き方 ( ※ 市松敷き ・ )  
階段敷き方 ( ※ 模様流し ・ )  
下敷き材 ( ※ JIS L 3204 第2種2号 呼び厚さ8mm ・ )  
取付け用付属品 見切り 材質( ) 種類( ) 形状( )  
押え金物 材質( ) 種類( ) 形状( )

3. 合 成 樹 脂 塗 床

(19. 4. 2～3)(表19. 4. 4～8)

材 料	種 類	仕 上 げ の 種 類
・ 厚膜型塗床材	・ 弾性ウレタン樹脂系塗床材	※ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ
	・ エポキシ樹脂系塗床材	・ 薄膜流しのペ工法 ( ※ 平滑 ・ 防滑 )
		・ 厚膜流しのペ工法 ( ※ 平滑 ・ 防滑 ) ・ 樹脂モルタル工法 ( ※ 平滑 ・ 防滑 )
・ 薄膜型塗床材	・ エポキシ樹脂系塗床材	・ 平滑仕上げ

○ 4. フローリング張り

(19. 5. 2～7)(表19. 5. 1～5)

工 法	フローリング種類	寸 法 等	樹 種	
※ 釘留め工法 (接着剤併用)	※ 根太張り工法	単層 ※ フローリングボード	表19. 5. 1	・ なら ・ さくら ・
		複合 ・ A種 ・ B種 ・ C種	表19. 5. 2	
	・ 直張り工法	単層 ※ フローリングボード	表19. 5. 3	・ なら ・ さくら ・
		複合 ・ A種 ・ B種 ・ C種	表19. 5. 4	
○ 接着工法	単層	※ フローリングブロック	※ 図示による	・ なら ・ さくら ・
		○ フローリングボード	表19. 5. 5	
	複合	・ A種 ・ B種 ・ C種	表19. 5. 6	

5. 畳 敷 き

畳の種類 (和室) ・ A種 ・ B種 ・ C種 (19. 6. 2)(表19. 6. 1)  
・ D種 ( ・ KT-I ・ KT-II ・ KT-III ・ KT-K ・ KT-N )  
(柔道場) 製造所 ( 監督員の承諾を得るものとする。 )

有限会社 三島建築設計事務所  
一級建築士 第 278466 号  
三島 浩幸

福平小学校校舎増築その他本体工事  
建築工事特記仕様書 5－4  
鹿児島市建設局建築部建築課

A－05

Ver.B70823

19  
内装工事

○

6. せっこうボード、その他ボード及び合板張り

せっこうボード、その他ボード類

(19. 7. 2～3) (表 19. 7. 1～5)

種 類	種 別	張 り 方	厚 さ	備 考	
○ せっこうボード	○ GB-R ○ GB-S ○ GB-F ○ GB-L	天 井 壁 ○ 下地張り	※ 突付け ・ 継目処理 ・ 目透し ○ 突付け ・ 突付けV目地 ・ 継目処理 ・ 目透し	※ 9.5 ・ 12.5 ・ 15.0 ・ ○ 9.5 ○ 12.5 ・ 15.0 ・	
	GB-D	天 井 壁 ・ 上張り	※ 突付け ・ 継目処理 ・ 目透し ・ 突付け ・ 突付けV目地 ・ 継目処理 ※ 目透し	○ 9.5 ・ 12.5 ・ 15.0 ・ ・ 9.5 ※ 12.5 ・ 15.0 ・	
○ 化粧せっこうボード	○ トラバーチン模様 (GB-D)	直 張 り	※ 突付け ・ 継目処理 ・ 目透し	※ 9.5 ※ 455×910 ・ 910×910	※ 不燃 ・ 準不燃 ※ 455×910
	・ 木目模様 (裏棧付) (GB-D)		・ 突付け ・ 継目処理 ※ 目透し	※ 9.5 ・ 12.5 ・ 15.0 ・	防火認定は準不燃とし専用軽鉄下地材付き
○ 無石綿けい酸カルシウム板			○ 突付け ○ 継目処理 ※ 目透し	○ 6 ○ 8 ・ 10 ・ 12 ・	JIS A5430に準拠したノンアスベストのもの
・ 木毛セメント板	・ 難燃木毛セメント板 (2級以上)	・ 30分耐火以上	継目用金物	・ 15 ・ 20 ※ 25 ・ 30 ・ 40 ・ 50	監督員の承諾による工場
	・ 断熱木毛セメント板	・ 準不燃			

合板類

材 種	樹 種 など	厚 さ(mm)	工 法
○ 普通合板	○ 生地のまま又は透明塗料塗りの場合 (○ ラワン ・ しな ・ )	・ 5.5 ・ 9 ・ 12	○ 図示 ・ A種 ※ B種
	・ 不透明塗料塗りの場合 (・ ラワン ・ しな ・ )	・ 5.5 ・ 9 ・ 12	・ A種 ※ B種
・ 特殊合板	・ 天然化粧合板の化粧単板 (・ ラワン ・ しな ・ )	化粧単板厚 ※ 0.3未満 板厚 ・ 4.2 ・	・ A種 ※ B種
	・ 特殊加工化粧合板の仕上の種類 (・ )	板厚 ・ 4.0 ・	・ A種 ※ B種

下地 ○ 軽量鉄骨下地 ・ 木下地 ・

○

7. 壁紙張り

施工箇所

壁紙の種類

防火性能の級別

素地ごしらえ

紙	織物	ビニル	化学繊維	無機質	
・	・	○	・	・	※ 1級 ・ 級 ・ A種 ※ B種
・	・	・	・	・	※ 1級 ・ 級 ・ A種 ※ B種
・	・	・	・	・	※ 1級 ・ 級 ・ A種 ※ B種

(19. 8. 2～3)

○

8. 断熱・防露

種 類

施行箇所

厚さ(mm)

品 質 等

○ 押出法ポリスチレンフォーム保温材	※ 2種b ・	・ 一般部 ・	・ 20 ・ 45.50	特定フロンを使用しないもの
	※ 3種b ○ 屋根 ○ ビット上部	○ 図示 ・ 45.50		
○ 吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材 (現場発泡断熱材)	※ 断熱材補修部分 ○ 一般部 ○ 熱橋部	○ 20 ・ 25.40	特定フロンを使用しないもの ・ 難燃性 ( ※ 3級 ・ ) ※ A種 1 ・ A種 1H	
	製造所	・ 監督員の承諾する製造所		

(19. 9. 2～3)

○

9. その他

・ メラミン樹脂化粧板 厚さ(mm) ※ 1.2 ・ 1.6 ・ 2.5～3.0  
・ 内装プレハブ工法: 製造所の仕様による  
○ メラミン化粧不燃板 厚さ(mm) ○ 3.0

20  
ユニット及びその他の工事

1. フリーアクセスフロア

床面から仕上げ材天端までの寸法 ※ 100 ・ 110 ・ (20. 2. 2)  
表面仕上材 ※ カーペット ・ 帯電防止ビニル床タイル ( ・ 置敷タイプ ・ パネル一体タイプ )  
床パネルの材質 ※ アルミ合金ダイカスト製 ・ スチール製又は複合材等 ・  
寸法 ※ 450角以上、600角以下 ・  
適用地震時水平震度(Ks) (1階及び地階) ※ 0.6以上 ・  
(中間階) ※ 0.6以上、1.0以下 ・  
(最上階) ※ 1.0以上 ・  
耐荷重性能 ※ 3,000N(製造所は評価名簿による) ・ 5,000N ・  
空調用孔あきパネル 枚数 ( ) 材質 ( )  
コンセント開口 適用室 ( )  
コンセント部分以外にフリーアクセスフロア内からフロア面上へ配線取り出し開口を全パネルに有すること。  
試験方法は、JIS A 1450(フリーアクセスフロア試験方法)による。  
特記以外の仕様は製造所の仕様とする。

(20. 2. 2)

2. 可動間仕切り (既製間仕切り)

構造形式	表面板及び厚さ	パネル仕上げ	パネル見込み
※ パネル式 ・ スタッド式	鋼板厚さ(mm) ※ 0.5以上 ・	※ 焼付塗装(常備色程度) ・	※ 60以上 ・ 50
・ スタッドパネル式	鋼板厚さ(mm) ※ 0.5以上 ・ スタッド アルミニウム製 40角	※ 焼付塗装(常備色程度) ・	※ 30以上 ・

品質 JIS A 6512 又は 評価名簿による

パネル操作方法 ( ) (20. 2. 4)  
パネル表面材の材質 ( ※ 鋼板 ・ )  
パネル表面材仕上げ ( ・ 焼付け塗装 ・ 壁紙張り ・ )  
パネル圧接装置操作方法 ( ) 遮音性能 ( ・ 一般タイプ(36dB未満) ・ 遮音タイプ(36dB以上) )  
ハンガーレール 取付下地補強方法 ( ※ 20. 2. 4(3)ウ) ・  
固定方法 ( ・ あと施工アンカー(材質: ・ 寸法: ) ・  
製造所 評価名簿による

○

4. トイレブース

表面仕上材 ※ メラミン樹脂系化粧板同等品以上(標準色 アルミ製コーナーエッジ付き) (20. 2. 5)  
・ ポリエステル樹脂系化粧板  
脚部 ※ 幅木タイプ ・ 足金物型  
製造所 評価名簿による

○

5. 手すり及びタラップ

種 類	材 料 の 種 別	表面処理(14.2.1～3、表14.2.1～2 による)
○ 手すり	※ ステンレスSUS304	※ HL程度 ・ 鏡面程度 ・ #400
	・ 鉄(亜鉛めっき) ・ アルミ	(外部) ※ C種 ・ (内部) ・ (外部) ・ (内部) ・
○ タラップ	※ ステンレスSUS304	※ 研磨無し ・
	・ 鉄(亜鉛めっき)	(内外部) ※ C種 ・

ステンレスSUS430を使用する箇所 ( )

(20. 2. 6) (20. 2. 12)

○

6. 階段 滑り止め

材種 ※ SUS ○ ( ノンスリップタイル ) (20. 2. 7)  
形状 ※ ビニルタイヤ又は合成ゴムタイヤ入り ・ ゴムタイヤなし  
両端フラットエンド ・ 無 ※ 有  
幅(mm) ・ 35 ※ 40  
取付け工法 ※ 接着工法 ・ 埋込み工法(溶接)

○

7. 床 目 地 棒

床仕上の異なる箇所には目地棒を入れる。  
・ 黄銅製 4×12 ・ ステンレス製 4×12 ※ ステンレス製 H 型 (幅40 内外厚さ2)

(20. 2. 8)

○

8. 黒 板 及 び  
ホワイトホ ー ト

	種 類	寸 法(mm)	色 彩	備 考
○ 黒板	※ 研出し ・ 焼付け	○ 図示	※ 緑 ・ 黒 ※ 緑 ・ 黒	※ 曲面 ・ スクリーン付引分け
	・ ホワイトボード	※ ほうろろ白板	※ 白 ※ 白	・ 曲面 ・ スクリーン付引分け

黒板及びホワイトボードについて5年保証書を提出すること。なお、保証書は受注者と施工業者の連帯とする。  
(製品には、製造年月、製作所記名プレートを取り付ける。)

(20. 2. 9)

9. 鏡

厚さ ※ 5mm ・

(20. 2. 10)

○

10. 表 示

・ 対人衝突防止表示 ※ 図示(市販品 ※ ステンレス製 径約30mm ・ ) ・ 無し  
・ 誘導標識、非常用進入口等の表示は消防法に適合する市販品とし、その他は共通詳細図による。(20. 2. 11)  
・ 室名表示 ※ 図示による

(20. 2. 11)

11. ブ ラ イ ン ド

形 式	スラットの材種	開 閉 方 式	スラットの幅 (mm)	ヘッドボックス及びボトムレール
・ 横形	※ アルミニウム合金	※ キヤ式 ・ コード式 ・ 操作棒式	※ 25 ・	※ 鋼製
・ 縦形	・ アルミスラット ・ クロススラット	※ 2本操作コード式	・ 80 ・ 100	

(20. 2. 13)

○

12. カー テ ン 及 び  
カー テ ン レー ル

レール、ブラケットの強さによる区分 ※ 10-90 ・ ( ) (20. 2. 16) (表 20. 2. 1)  
 カーテンレール ※ アルミニウム及びアルミニウム合金の押出成型材(アルマイト仕上げ)  
 ・ ステンレス製  
 工法 暗幕用カーテン両端、上部及び召合せ重なり ※ 300mm以上 ・

(20. 2. 16)

21  
排水工事

○

1. 屋 外 雨 水 排 水

材料 ※ 図示による

○

2. 縁 石 及 び 側 溝

材料 ※ 図示による

○

1. 路 盤

・ 厚さ: ※ 図面による (22. 3. 2)  
・ 材料: ※ 再生クラッシュヤランRC-40 ・ クラッシュヤランC-40 ・ 図面による (22. 3. 3)  
再生クラッシュヤランは、原則としてかごしま認定リサイクル製品認定制度の認定を受けた製品を使用すること。

(22. 3. 3)

○

2. アスファルト舗装

・ 構成及び厚さ: ※ 図面による (22. 4. 2)  
・ 再生アスファルトの種類 ・ 60～80 ・ 80～100 ・ ( )  
・ シールコートの適用: ・ 行う ※ 行わない (22. 4. 3)  
・ 表層の加熱アスファルトの混合物の種類: ・ ( ) (22. 4. 4)  
・ 切取り検査: ・ 行う ※ 行わない (22. 4. 6)  
・ アスファルト混合物等の抽出試験: ・ 行う ※ 行わない

(22. 4. 2)

○

3. コンクリート舗装

・ 構成及び厚さ: ※ 図面による (22. 5. 2)  
・ 寒冷期に施工する場合で早強セメントを用いる場合: ※ 用いない ・ 用いる (22. 5. 3)  
・ 注入目地材料のタイプ: ※ 低弾性タイプ ・ ( )  
・ 溶接金網の網目の形状寸法、鉄線の径: ※ 鉄線径 6mm 網目150mm

(22. 5. 2)

4. 透水性アスファルト舗装

・ 構成及び厚さ: ※ 図面による (22. 7. 2)

5. ブロック系舗装

・ 種類: ・ コンクリート平板舗装 ・ インターロッキングブロック舗装 ・ 舗石舗装 (22. 8. 1)  
・ 構成及び厚さ: ※ 図面による (22. 8. 2)  
・ ブロックの敷設パターン: ※ 監督員の指示による ・ ( )

(22. 8. 1)

6. 砂 利 敷 き

・ 構成及び厚さ: ※ 図面による  
・ 種別: ・ A種 ・ B種  
再生クラッシュヤランは、原則としてかごしま認定リサイクル製品認定制度の認定を受けた製品を使用すること。

(22. 9. 2)

有限会社 三島建築設計事務所  
一級建築士 第 278466 号  
三島 浩幸

福平小学校校舎増築その他本体工事  
建築工事特記仕様書 5－5  
鹿児島市建設局建築部建築課

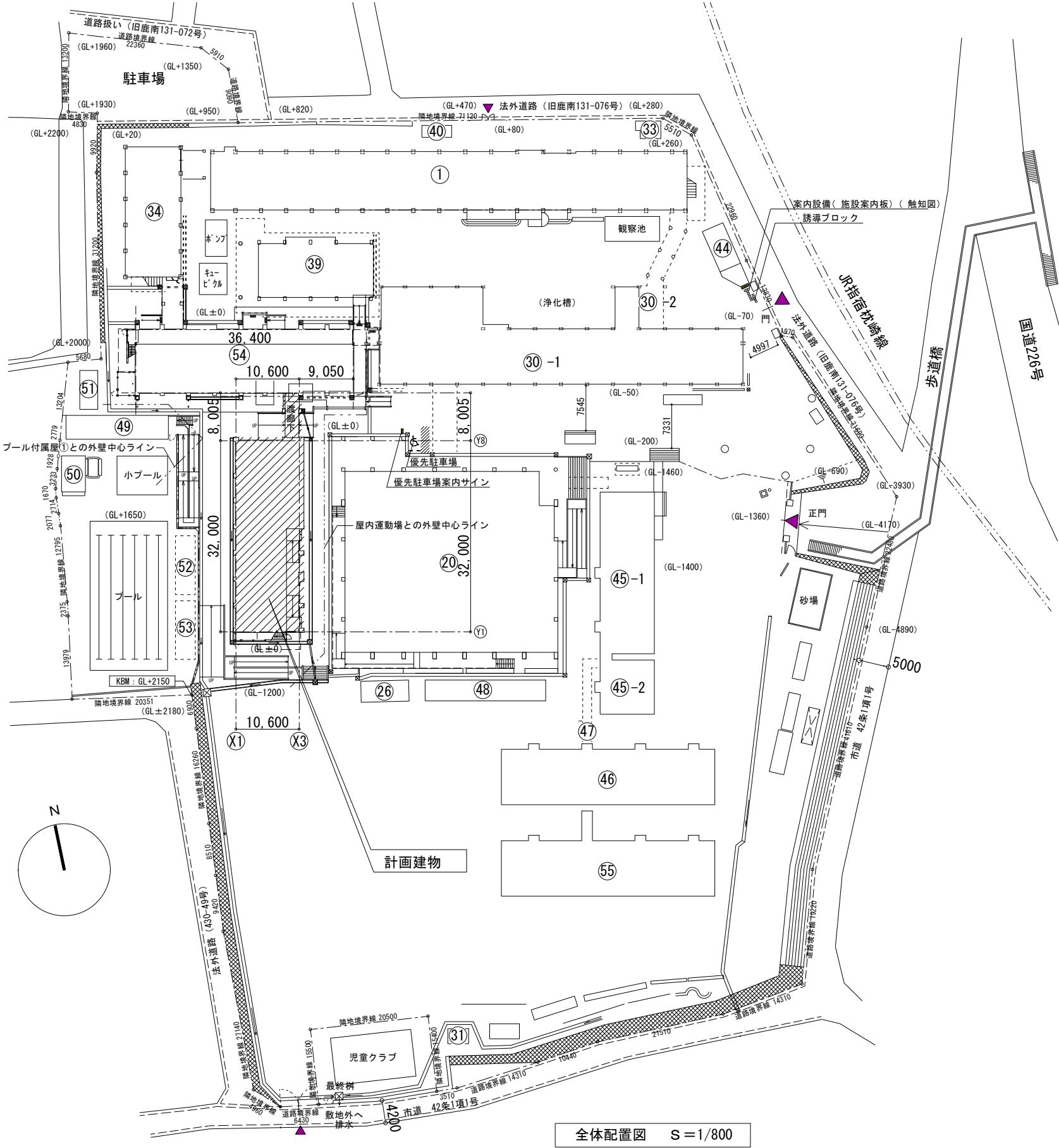
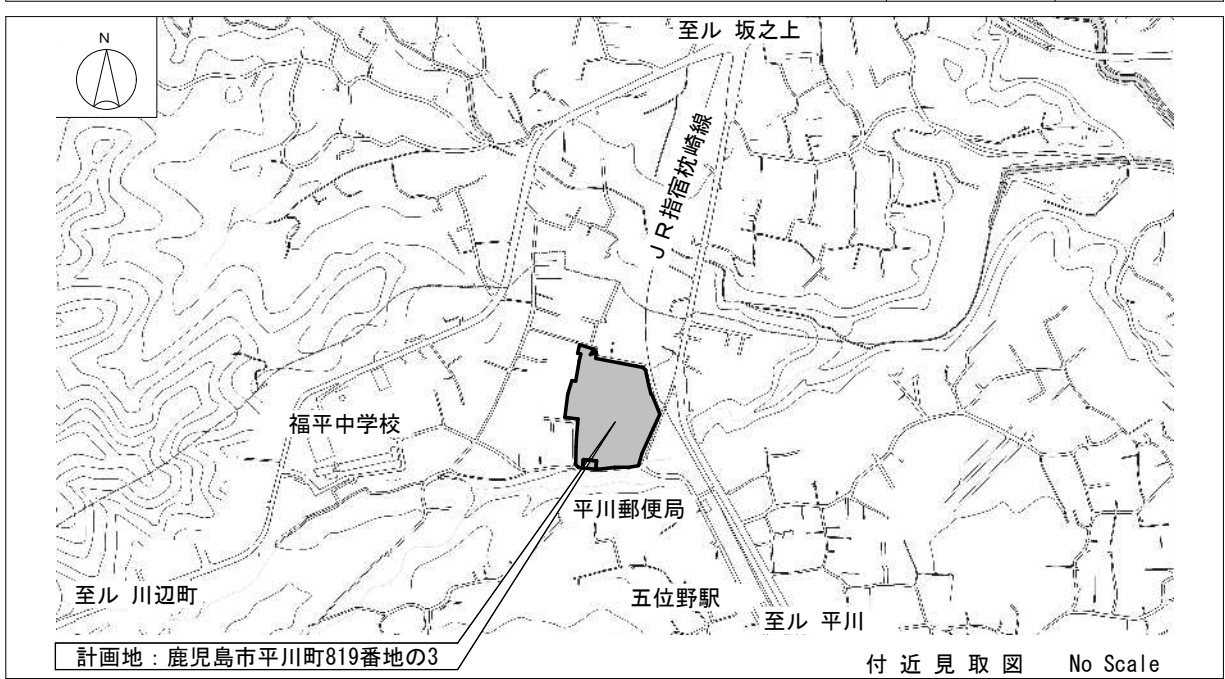
A－06

Ver.R70623

計 画 概 要			
工 事 名	福平小学校校舎増築その他本体工事		
工 事 場 所	鹿児島県鹿児島市平川町819番地の3		
用 途 地 域	市街化調整区域 指定なし	防 火 地 域	指定なし
そ の 他	景観計画区域：自然緑地ゾーン		
構 造	鉄筋コンクリート造	最 高 高 さ	16.02 m
敷 地 面 積	16,504.93 ㎡	軒 高	14.83 m
法定容積率	80 %	法定建ぺい率	50 %
実質容積率	71.06%	実質建ぺい率	34.06 %
合計床面積	1,438.37+10,315.43 = 11,753.80 ㎡	合計建築面積	389.42+5,231.85 = 5,621.27 ㎡
容積率算定用床面積	1,438.37+10,289.03 = 11,727.40 ㎡	(対象外：増築北校舎EV部分 26.40 ㎡)	

■ 増築建物面積表（建築基準法算定）			
建 築 面 積	389.42 ㎡		
床 面 積	容積率算定対象部分		容積率算定対象外部分
	4階	373.32 ㎡	無し
	3階	373.32 ㎡	無し
	2階	373.32 ㎡	無し
	1階	318.41 ㎡	無し
	計	1,438.37 ㎡	

■ 既存建築物面積表（建築基準法算定）						
		延べ面積（㎡）	建築面積（㎡）		延べ面積（㎡）	建築面積（㎡）
①	教室棟	2,023.00	674.30	④5-2	仮設校舎	172.24
②0	屋内運動場	1,230.35	1,309.08	④6	仮設校舎	664.48
②6	物品倉庫	28.00	28.00	④7	渡り廊下	0.00
③0-1	管理教室棟	2,521.56	768.26	④8	体育倉庫	76.59
③0-2	管理教室棟	12.00	58.69	④9	プール付属屋①	68.80
③1	屋外便所	9.00	9.00	⑤0	プール付属屋②	24.00
③3	楽焼釜庫	11.00	11.00	⑤1	物品倉庫	19.50
③4	教室棟	405.00	269.29	⑤2	屋根付休憩所	32.55
③9	給食室	203.97	273.10	⑤3	屋根付休憩所	32.55
④0	プロパン庫	10.00	10.00	⑤4	増築北校舎（EV：26.4㎡）	467.23
④4	飼育小屋	44.00	44.00	⑤5	仮設校舎（渡り廊下共）	343.43
④5-1	仮設校舎	497.88	262.23			
合 計		[                      ]：容積率算定対象延べ面積			10,315.43	5,231.85
					[ 10,289.03 ]	



≡：雨水排水経路（側溝）を示す

敷地面積表	合計面積（㎡）
敷地面積	16,504.93 ㎡

※工事を施工するにあたり、学校関係車両の通行の支障にならないよう十分配慮し施工すること。  
※作業中は工事関係者であることがわかる腕章を身に着けること。  
※申請建物の1FLの高さは増築北校舎の1FLと揃えること。

一級建築士事務所 知事登録 第1-5-126号	福平小学校校舎増築その他本体工事
有限会社 三島建築設計事務所	計画概要 面積表（建築基準法算定） 1/800
一級建築士 第278466号 三島 浩幸	付近見取図 配置図 A-07
	鹿児島市建設局建築部建築課



	仮 設 等 仕 様	備 考
A	a 鋼板仮囲い	新設
	b 鋼板仮囲い	新設
	c 鋼板仮囲い (通用口1ヶ所)	新設
	d 鋼板仮囲い	移設
B	クロスゲート	新設
C	仮設ネットフェンス : H=1.8m L=6.0m	工事完了時 解体撤去 (基礎共)
D	既設メッシュフェンス (H2.0m) L=3.5m + 両開きメッシュフェンス扉 (H2.0m) W=2.0m	工事完了時 保管物を復旧 (基礎共)
E	両開きネットフェンス扉 (H2.0m) W=2.0m + 欄間部ネットフェンス (H1.0m) W=2.0m	工事完了時 保管物を復旧 (欄間部新設)
F	ネットフェンス扉 (H2.0m) W=6.0m	工事完了時 保管物を復旧
G	D フェンス用片側支柱 (H2.0m)	新設 (コア削孔)
H	E フェンス用片側支柱 (H3.0m)	新設 (コア削孔)
I	F 扉用片側支柱 (H3.0m)	新設 (コア削孔)
J	側溝RCふた L=6.0m	撤去/新設

※施工に伴い必要となる諸手続き (道路使用許可等) については、関係機関と協議の上、適切に処理すること。

※こまめに散水し、隣地へ砂・粉塵の飛散防止に努めること。


※工事に際しては、北校舎増築工事、プール新築工事、仮設校舎解体工事の受注業者と協力し、施工を行うこと。

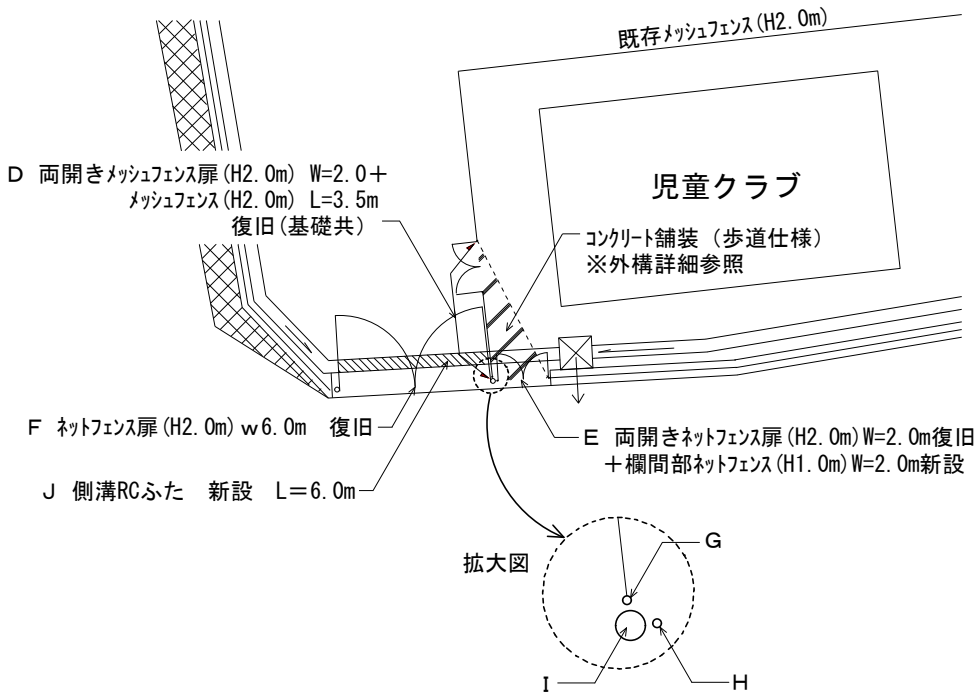
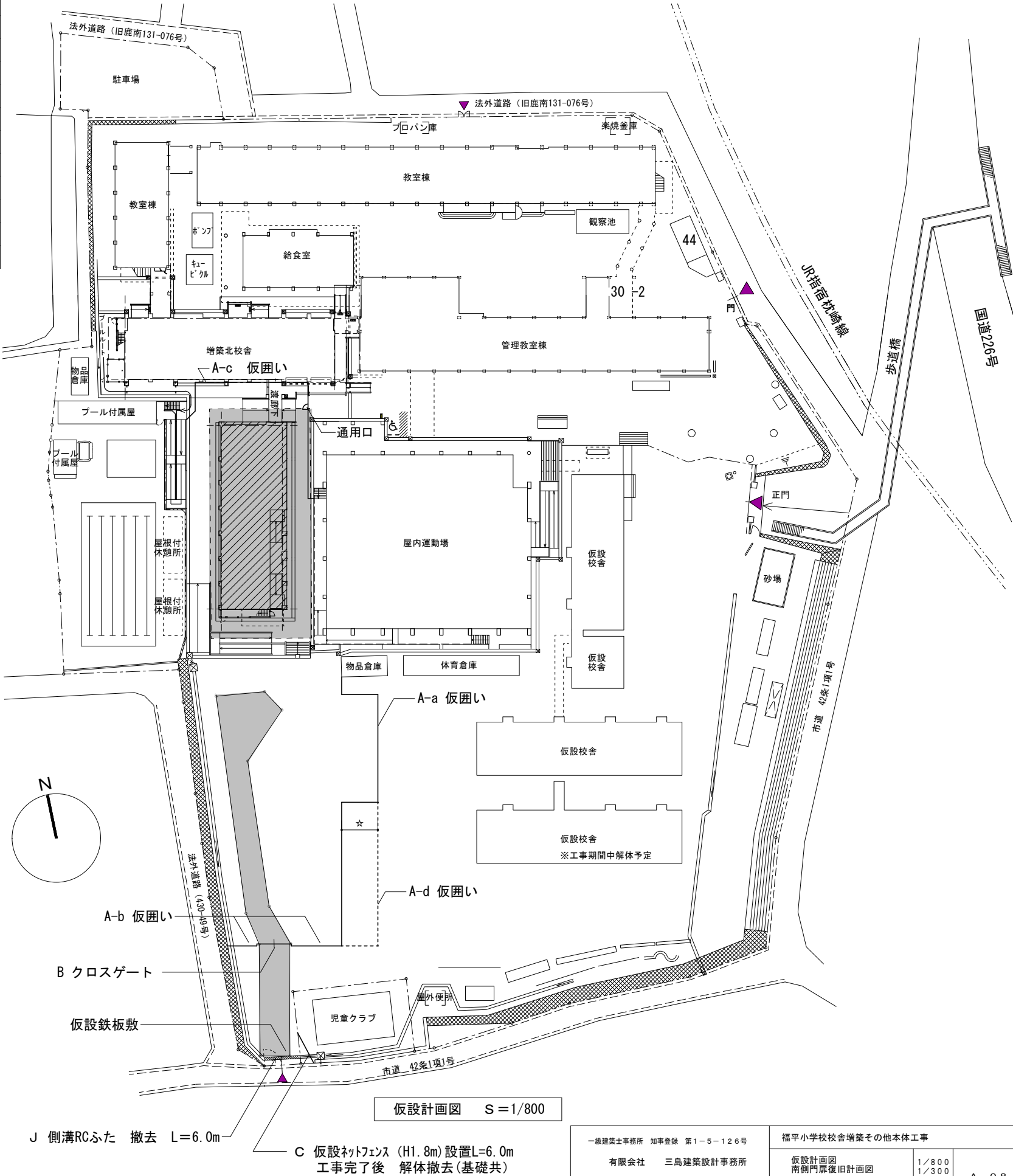
参考工事期間 (予定) : 北校舎 (R6.12~R8.1)、プール (R7.2~R8.1)、仮設校舎 (R8.2~R8.4)

※仮囲い位置 (特に☆寸法と時期) については、監督員及び学校管理者との協議により決定すること。

※本体工事完了後、仮囲い内等の範囲を整地すること。

クレイ舗装改良土・表層土 (7) 100入替 (土壌改良材混合) 1,445㎡程度

※  部分の碎石敷込を撤去すること。(根切り前: 校舎周り、工事完了後: 校庭)



南側門扉復旧計画図 S=1/300

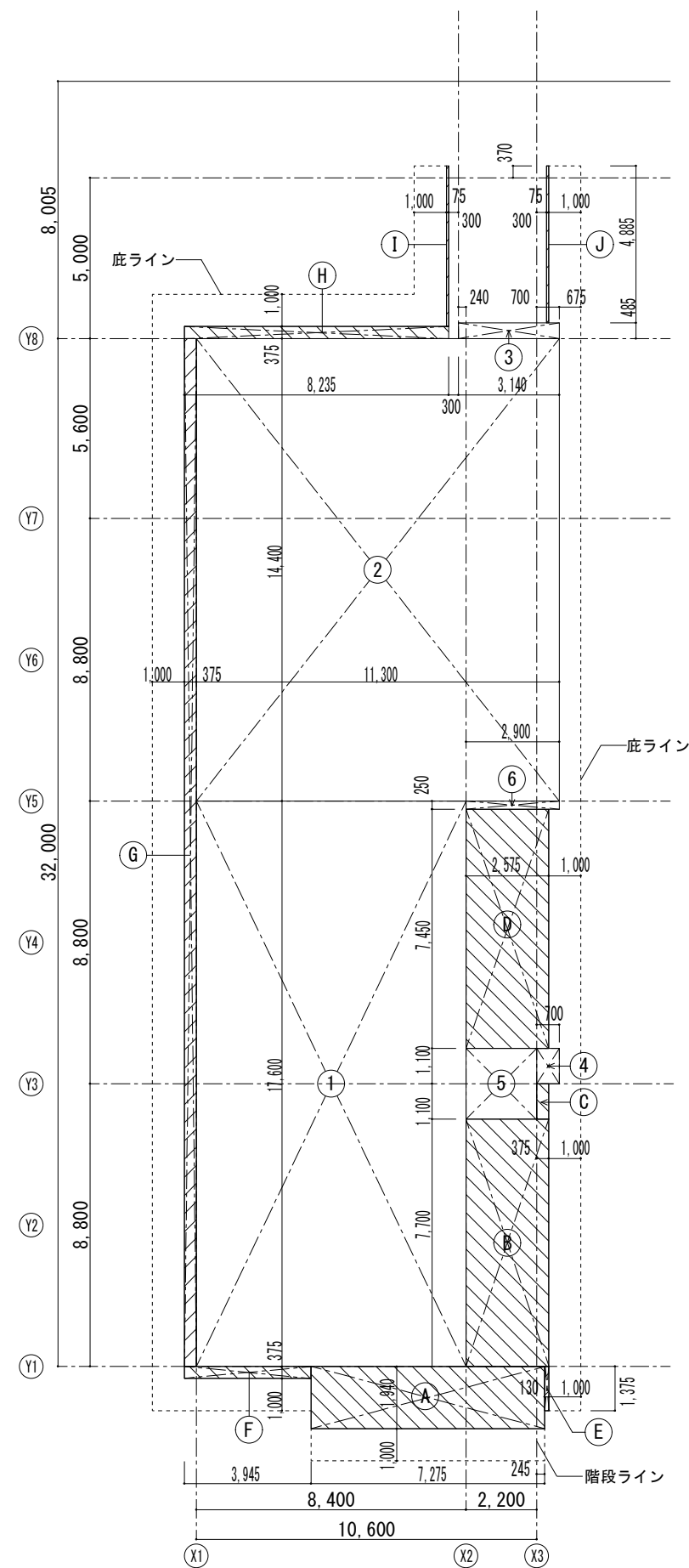
仮設計画図 S=1/800

J 側溝RCふた 撤去 L=6.0m

C 仮設ネットフェンス (H1.8m) 設置L=6.0m  
工事完了後 解体撤去 (基礎共)

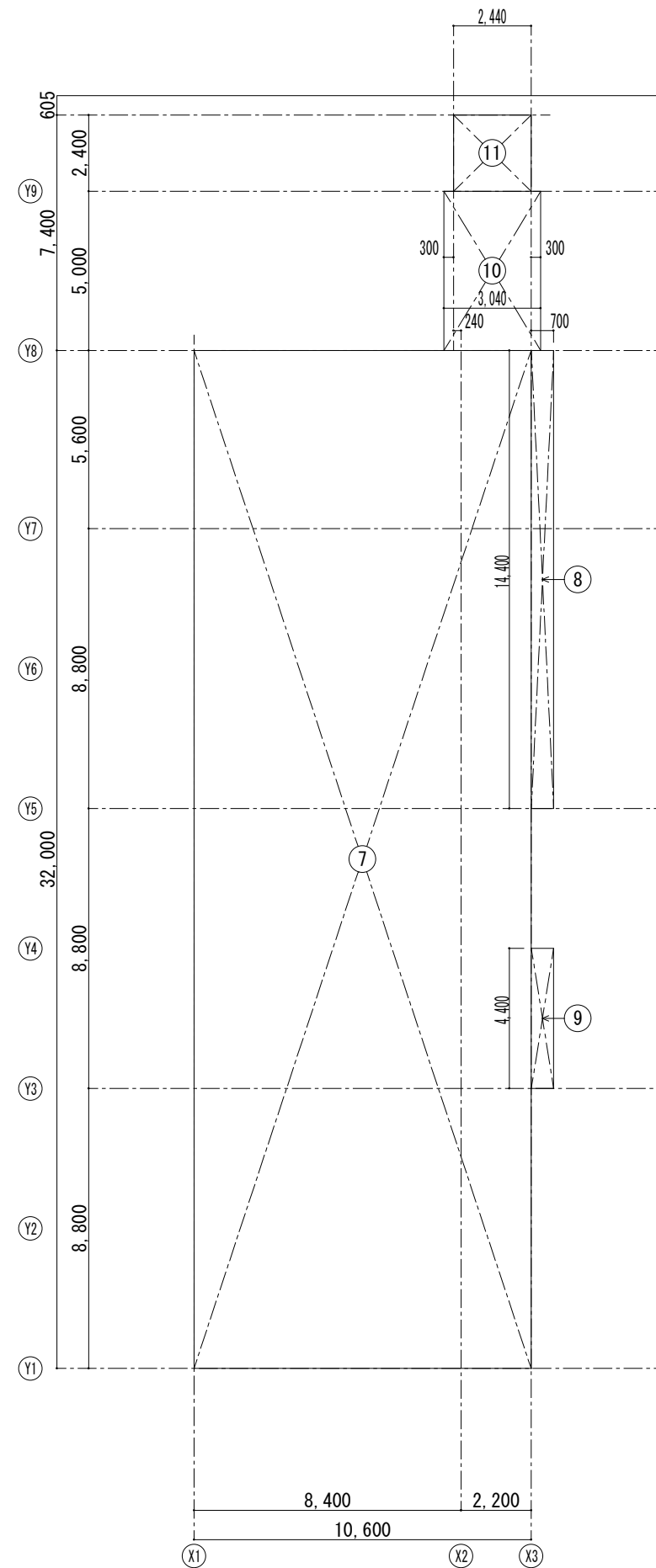
一級建築士事務所 知事登録 第1-5-126号		福平小学校校舎増築その他本体工事	
有限会社 三島建築設計事務所		仮設計画図	1/800
一級建築士 第278466号 三島 浩幸		南側門扉復旧計画図	1/300
		鹿児島市建設局建築部建築課	
		A-08	





1階求積図 1:200

建築面積算入部分



2～4階求積図 1:200

番号				面積
①	8.400	×	17.600	= 147.840
②	11.300	×	14.400	= 162.720
③	3.140	×	0.485	= 1.522
④	0.700	×	1.100	= 0.770
⑤	2.200	×	2.200	= 4.840
⑥	2.900	×	0.250	= 0.725
小計				318.417
⑦	10.600	×	32.000	= 339.200
⑧	0.700	×	14.400	= 10.080
⑨	0.700	×	4.400	= 3.080
⑩	3.040	×	5.000	= 15.200
⑪	2.400	×	2.400	= 5.760
小計				373.320
A	7.275	×	1.940	= 14.113
B	2.575	×	7.700	= 19.827
C	0.375	×	1.100	= 0.412
D	2.575	×	7.450	= 19.183
E	0.130	×	1.375	= 0.178
F	3.945	×	0.375	= 1.479
G	0.375	×	32.000	= 12.000
H	8.235	×	0.375	= 3.088
I	0.075	×	4.885	= 0.366
J	0.075	×	4.885	= 0.366
小計				71.012
1階床面積： ① ～ ⑥				= 318.417
2～4階床面積： ⑦ ～ ⑪				= 373.320
延床面積： 318.41 + 373.32 × 3				= 1,438.37
建築面積： 318.41 + A ～ J				
= 318.41 + 71.01				= 389.42

部 位		仕 上	部 位		仕 上		部 位		仕 上		部 位		仕 上	
屋 根	平 場	防水コンクリート金コテ押え 増打t40 (ワイヤーメッシュφ6×150×150)	床	渡り廊下	t120 土間コンクリート金コテ押え 刷毛引仕上 (目地切@2,000内外) 水勾配：1/100以上	金物・他	床下ビット 換気孔	ステンレス製フラット型フード φ100 ステンレス網付 V P φ100 エルボ付き (位置はビット平面参照)	児童クラブ ポーチ 軒天	L G S (外部用) 下地 けい酸カルシウム板t6.0目透張り E P－G塗装				
	バラベットの 天端	防水コンクリート金コテ押え 複層塗材 E (模様なし)		犬走り	t120 土間コンクリート金コテ押え (目地切@2,000内外) 水勾配：1/100以上		天井裏 換気孔	ステンレス製フラット型フード φ100 ステンレス網付 V P φ100 エルボ付き		1階外部渡廊下 軒天	L G S (外部用) 下地 けい酸カルシウム板t6.0目透張り E P－G塗装			
	バラベットの 見付面	防水コンクリート打放し 複層塗材 E		スロープ (児童クラブ)	床		コンクリート金コテ押え 刷毛引仕上	オーバー フロー管		ステンレス角パイプ (ツバ付き) 80×40 t2.0				
	庇軒裏	防水コンクリート打放し アクリル系軒天用仕上塗材			立上り壁		コンクリート化粧打放し (A種)	スロープ 手摺		ステンレス製φ34				
外 壁	一般部	コンクリート打放し 複層塗材 E	同上 天端		コンクリート金コテ押え	屋外避難階段	外部階段 手摺	ステンレス製φ34						
	外部巾木	コンクリート化粧打放し (A種)		床	防水モルタル金コテ押え 4階～R階：カルゴム系塗膜防水(X-2)		外部階段 フェンス・扉	アルミ製格子 (ホテル錠)						
梁 型	天端	防水モルタル金コテ押え 複層塗材 E (模様なし)	踏面		防水モルタル金コテ押え ステンレス製ノンスリップ (ビニルタイヤ入)	蹴上		E X P・J	アルミ製、 床：ステンレス製					
	見付	コンクリート打放し 複層塗材 E			防水モルタル金コテ押え		縦樋	カラー硬質塩化ビニル管φ125						
	軒裏	コンクリート打放し 複層塗材 E			巾木		防水モルタル金コテ押え H100	握み金物	ステンレス製 (滑り止め：1つおき) @1,100内外					
窓 庇	天端	コンクリート金コテ押え 複層塗材 E (模様なし)	上裏		コンクリート打放し アクリル系軒天用仕上塗材	壁		ドレイン	鋳鉄製コールタール焼付 125					
	見付	コンクリート打放し 複層塗材 E			コンクリート打放し 複層塗材 E									
	軒裏	コンクリート打放し アクリル系軒天用仕上塗材		手摺天端			コンクリート金コテ押え 複層塗材 E (模様なし)							

階	室 名	床			巾 木			壁			天 井			廻縁	カーテン ブラインド BOX	室名札 サイン	備 考
		下地			H			下地	腰壁	H	壁	下地	天井高				
1	児童クラブ	R C	セルフレベリング (セメント系) クッションシートt2.0のうえ 集成材フローリングt15.0張 U C塗装  踏込：モルタル下地 アンダーレイ t4.5のうえ 防滑性ビニル床シート張りt2.0	木製 C L塗装	90	RC壁：石膏ボードt9.5 (GL工法) LGS壁：石膏ボードt9.5  LGS壁 (防火)：強化石膏ボードt12.5	杉板t12張り C L塗装	1,175	揭示板用クロス張り 流し合 コンロ合上部：メラミン不燃化粧板t3.0張  LGS壁 (防火)：けい酸カルシウム板t6.0 のうえ 杉板t12張り C L塗装		L G S	吸音石膏ボードt9.5 (準不燃)	2,600	塩ビ製	アルミ	—	下足入れ、靴棚・木製棚、流し台、吊戸棚 コンロ台 (火気使用無)、食器棚、配膳台 消火器 B O X
	同 上 トイレ	R C	防水モルタル金コテ押え アンダーレイ t4.5のうえ ビニル床シートt2.0 (トイレ用)	シート立上げ	100	RC壁：耐水石膏ボードt9.5 (GL工法) LGS壁：耐水石膏ボードt9.5  LGS壁 (防火)：強化石膏ボードt12.5	メラミン不燃化粧板t3.0張り	1,155 又は 1,500 (展開図 参照)	LGS壁 (防火)：けい酸カルシウム板t6.0 のうえメラミン不燃化粧板t3.0張り		L G S	化粧石膏ボードt9.5 (準不燃)	2,400	塩ビ製	—	—	
共 通	普通教室 少人数教室	R C	セルフレベリング (セメント系) クッションシートt2.0のうえ 集成材フローリングt15.0張 U C塗装	木製 C L塗装	90	RC壁：石膏ボードt9.5 (GL工法) LGS壁：石膏ボードt9.5 LGS壁 (防火)：強化石膏ボードt12.5	杉板t12張り C L塗装	745	けい酸カルシウム板t6.0 E P－G塗装		L G S	吸音石膏ボードt9.5 (準不燃)	2,600	塩ビ製	アルミ	室名札	UD黒板、揭示板、児童用ロッカー、掃除具入 教師用ロッカー、タブレット充電棚
	廊下 遮廊下 (2～4階)	R C	モルタル金コテ押え 防滑性ビニル床シートt2.0 (1階にはアンダーレイ t4.5を施す)	ビニル巾木	75	RC壁：石膏ボードt9.5 (GL工法) LGS壁：石膏ボードt9.5 LGS壁 (防火)：強化石膏ボードt12.5	—		けい酸カルシウム板t6.0 E P－G塗装		L G S	化粧石膏ボードt9.5 (準不燃)	2,500	塩ビ製	—		S U S製手洗い、消火器 B O X、揭示板 鏡 (設備工事) 荷物掛け (ピクチャーレール)：学校間仕切腰壁
	男子トイレ 女子トイレ	R C	防水モルタル金コテ押え ビニル床シートt2.0 (トイレ用) (1階にはアンダーレイ t4.5を施す) 小便器前：防水モルタル金コテ押え 汚垂タイル	シート立上げ	100	RC壁：耐水石膏ボードt9.5 (GL工法) LGS壁：耐水石膏ボードt9.5 LGS壁 (防火)：強化石膏ボードt12.5	メラミン不燃化粧板t3.0張り	1,350	けい酸カルシウム板t6.0 E P－G塗装		L G S	化粧石膏ボードt9.5 (準不燃)	2,400	塩ビ製	—	ビクト サイン	洗面カウンター、面台、S Kアース トイレブース、1階：床下点検口 (鍵付き)
	P S	R C	モルタル金コテ押え	—		LGS壁 (ﾄｲﾚ)：強化石膏ボードt12.5	—		RC壁：R C打放し (断熱材表し) LGS壁：表し (一部 ケイ酸カルシウム板t8.0) LGS壁 (ﾄｲﾚ)：けい酸カルシウム板t6.0		R C	R C打放し	—	—	—	シート 切文字	
	E P S	R C	モルタル金コテ押え	—			—		RC壁：R C打放し (断熱材表し) LGS壁：表し (一部 ケイ酸カルシウム板t8.0)		R C	R C打放し	—	—	—	シート 切文字	

特 記 事 項		
〈建築基準法関係規定等〉 ・建築設備は令第129条の2の3第2号による。 ・電気設備は建築基準法第32条を遵守する。 ・換気設備は令第129条の2の5による。 ・給水、排水その他配管設備は、建築基準法第36条、 令第129の2の4に基づき施工する。 ・建築材料の品質は、建築基準法第37条を遵守する。 ・ガス事業法第162条を遵守する。 ・水道法第16条を遵守する。 ・下水道法第16条を遵守する。	〈建築材料等〉 ・建築基準法第37条に該当する部分の材料は、国土交通大臣の指定する 日本工業規格又は日本農林規格に適合するものとする。 ・使用する下地材・仕上材・家具等は、表示等級F☆☆☆☆で施工する。 ・天井裏に使用する全ての材料はF☆☆☆☆以上で施工する。 ・壁、天井等、室内に用いる全ての物は、下地補強を施すこと。 ・棚、金物、什器等のための下地補強は、施主・監理者から要望を十分 聴取し、全て施工すること。 ・壁等の出隅部分には、下地補強を施すこと。	・陸屋根には、t35押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種b (スキン付)敷込とする。 ・外部に面する壁/柱/梁には、t20吹付硬質ウレタンフォーム断熱材A種1 (現場発泡) を 吹付ける。また、熱橋部の折り返しは、W=450とする。 ・グラスウールは、一般型24Kとする。 ・断熱材は、隙間なく施工すること。 ・内部壁ボード目地処理で、防火壁は継目処理工法とする。 ・工事に用いる金物関係は、特記なき限りステンレス (S U S 3 0 4) とする。 ・ステンレス仕上について、内部はH L、外部は特記以外は400#程度とする。 ・内部において本部は特記なき限りC L塗装、鉄部は特記なき限りS O P塗りとする。 ・天井下地は全てL G Sとする。 ・壁下地L G Sは 主要な間仕切壁及びﾄｲﾚの隔壁はw100 (ｸﾞﾗｽｶｰﾙ充填) その他はw65とする。 ・R C壁際の設備配管L G S壁下地 (位置は平面詳細図参照) はw65とする。
・フローリングと建具の取り合いは、10×10シール打設とする。 ・今回使用する木材 (下地材) には、認証がごしま材を使用すること。 ・各階の家具の床部は、防腐防蟻処理すること。 ・各階の床高さ1mの範囲の家具木下地の壁設置面には、防腐防蟻処理すること。 ・家具の下は、フローリングを張ること。 ・黒板はホーロー製とし、日本産業規格許可工場において製作するものとする。 ・地下ビット等の内側コンクリート面の型枠緊結金物の処理は止水タイプコーン付とし、 コーン除去の後樹脂モルタル充填とする。 ・地下ビット等周りの打継箇所には止水材 (ケシ+MML同等品) を打込む。 ・樋の外壁貫通部はツバ付スリーブ打込とし、外側の周囲はシール材を充填する。 ・コンクリートに取付ける金物等の支持部分は、シール材を充填する。 ・シール材については、外壁等を汚さないように十分注意すること。 ・P Sは、水平区画 (防火区画仕様) とし、特記なき限り常時閉鎖式不燃扉設置とする。	・手摺の高さ、隙間、強度等については、建築基準法施行令、B L認定基準等に合致すること。 ・アルミ建具性能は、耐風圧S－5、気密性A－3、水密性W－4とする。 ・特記なきケイ酸カルシウム板の継目処理は、V目地突付 (タテ目地) とする。 ・ケイ酸カルシウム板の出隅部分については、塩ビ製コーナー材を採用すること。 ・防滑性ビニルシート等は、フラットタイプ粒子入とする。 ・フローリングのU C塗装は 研磨のうえ液湿硬化型ウレタン樹脂塗装2回塗りとする。 ・特記なき コンクリート打放し仕上は B種 とする。 ・校舎周りコンクリート土間は@2,000で目地を切ること。	

防火上主要な間仕切壁

耐火間仕切壁：1時間  
耐火構造認定番号：FP060NP-0384 (参考)

スラブ下/梁下まで

t6.0 ケイ酸カルシウム板  
t12.5 強化せつこうボード

t6.0 ケイ酸カルシウム板  
t12.5 強化せつこうボード

L G S w100@455以下

上張面材：t6.0 ケイ酸カルシウム (認定NM-2773)  
下張面材：t12.5 強化せつこうボード

6  
12.5  
137

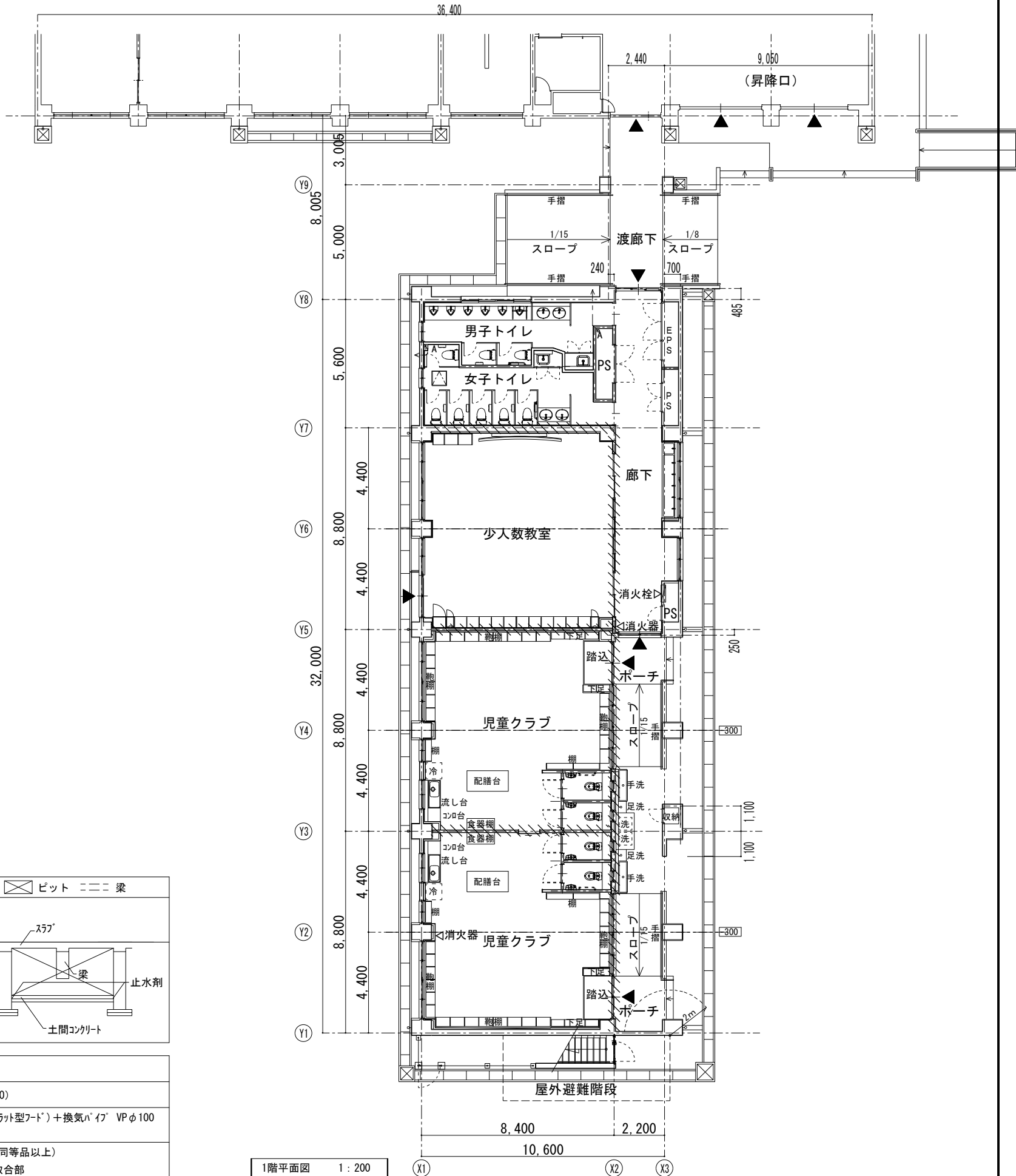
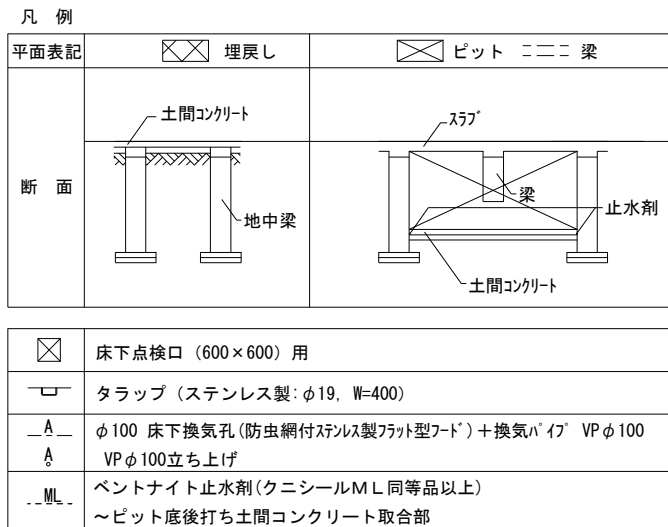
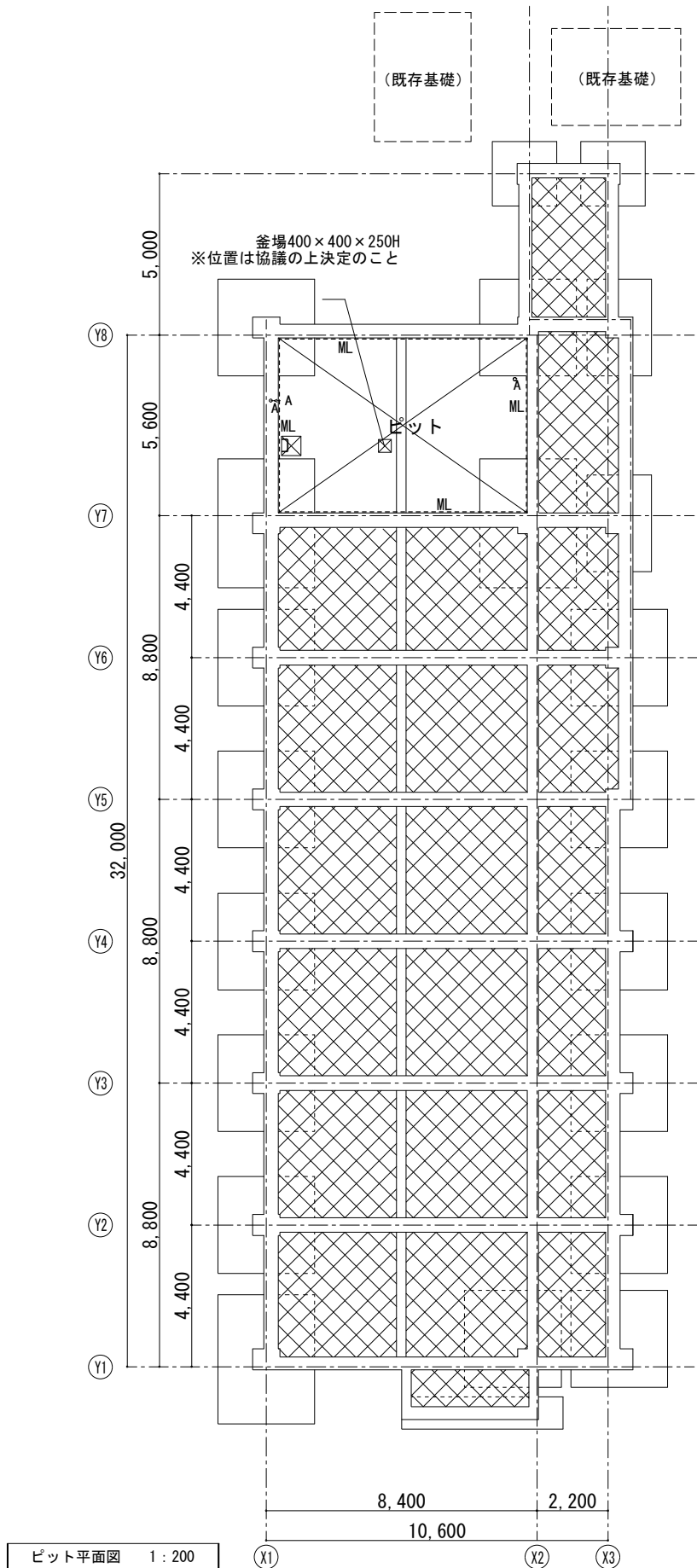
防火材料			防火材料		
区分	材料の名称・規格	符 号	区分	材料の名称・規格	符 号
不 燃 材 料	強化せつこうボード	t12.5 NM-8615	準 不 燃 材 料	石膏ボード	t9.5 OM-9828
	けい酸カルシウム板	t6.0 NM-2773		耐水石膏ボード	t9.5 OM-9826
	メラミン不燃化粧板	t3.0 NM-8577		化粧石膏ボード	t9.5 OM-9824
				吸音石膏ボード	t9.5 OM-9822

その他

- 2～4階渡り廊下 北側校舎の押出成形板の撤去処分を行い  
その後 仮設間仕切り設置を行う。

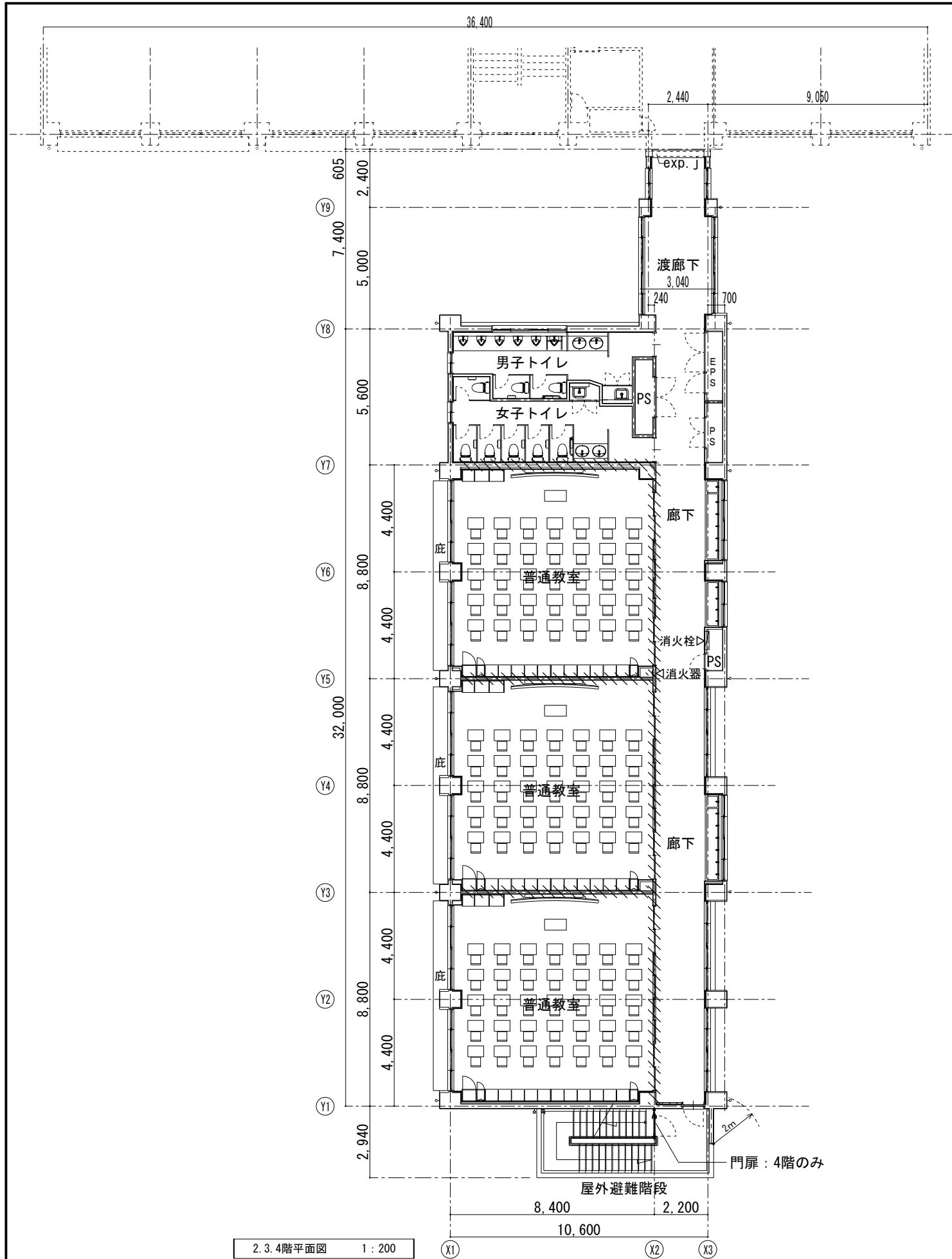
シーリング		
部 位	材 質	形状 (mm)
外壁コンクリート 打継/伸縮	ポリウレタン系シーリング材 (PU-2)	20×10
外部建具廻り	変成シリコーン系シーリング (MS-2)	10×10
スリーブ廻り (外壁貫通部)	変成シリコーン系シーリング (MS-2)	10×10
手摺等支柱脚部廻り	変成シリコーン系シーリング (MS-2)	10×10
流し台廻り	変成シリコーン系シーリング (MS-2)	10×10
一級建築士事務所 知事登録 第1-5-126号  有限会社 三島建築設計事務所  一級建築士 第278466号  三島 浩幸	福平小学校校舎増築その他本体工事	
	仕上表	/
	A-1	
	鹿児島市建設局建築部建築課	

工 事 区 分 表																														
項 目		建築	電気設備	給排水衛生	空調設備	別途	備 考	項 目	建築	電気設備	給排水衛生	空調設備	別途	備 考	項 目	建築	電気設備	給排水衛生	空調設備	別途	備 考	項 目	建築	電気設備	給排水衛生	空調設備	別途	備 考		
共 通	仮設電力の電気料金	○	○	○	○			設備工事等	空調調和機室外機				○		防火戸等	防火戸	○						その他	カーテン				○		
	本設受電後引渡しまでの電気料金	○	○	○	○				空調調和機室外機基礎・フェンス	○								カーテンレール	○											
	仮設上下水道・ガスの使用料金	○	○	○	○				空調調和機分電盤		○							カーテンボックス	○											
	本設上下水道・ガスの引渡しまでの使用料金	○	○	○	○				空調調和機室外機・室内機電源送り		○			7～8線 共	防災設備	防災盤・連動装置の配管配線		○							サイン	○				
	電力・ガス・上下水道・電話引込負担金	○	○	○	○				空調調和機室外機～室内機間制御線				○				感知器配管配線		○											
	仮囲い	○							空調調和機リモコン（配線）				○				発信機、標示灯取付配管配線		○											
	仮設仕切壁	○							空調調和機個別リモコン（配管・スイッチボックス）		○					消火器				○	（備品）									
	外部仮設足場	○							換気設備				○			消火器BOX		○												
	内部仮設足場	○							換気用コントロールスイッチ（配管・配線・スイッチボックス）		○					屋内消火栓			○											
	外構・植栽	○							換気用コントロールスイッチ（本体）（24時間換気用）				○			発信機・表示灯		○												
									換気用スイッチ（本体）		○					非常用進入口 赤色反射マーク		○												
機械基礎	床上機械基礎及び仕上げ（RC）	○													家 具	誘導標識		○												
	架台、アンカーボルト等		○	○	○											タブレット充電棚		○												
躯体関係	構造体設備用貫通箱入れ及びスリーブ		○	○	○			便所流し等								上記配線、コンセント		○												
	同上開口補強	○																												
	同上開口補修		○	○	○																									
	防水スリーブ及び防水処理		○	○	○				既成鏡（WC）				○																	
	RC部分梁貫通スリーブ		○	○	○				洗面器用石鹸入れ、紙巻き器および取付				○																	
	同上用補強工事	○							洗面カウンター		○																			
	梁壁貫通部補修埋戻し		○	○	○				同上洗面器および配管				○																	
	ダクト、パイプ等の防水貫通部補修		○	○	○				既成手摺（便所等）				○																	
	EPS、PS点検口	○							衛生器具面台		○																			
	ベントキャップ給排気			○	○				衛生器具				○																	
	天井点検口・開口補強	○							水栓類				○																	
	設備器具用天井開口		○	○	○				廊下：流し台		○																			
	同上開口補強	○							廊下：流し台排水トラップ		○																			
排水工事	雨水ルーフトレイン、縦樋、横引樋	○						廊下：流し台鏡				○																		
	雨水枟、排水管	○						衛生器具、手摺等の裏板				○																		
	設備用吊ボルト		○	○	○																									
ビッドマンホール等	屋内点検口（補強共）	○																												



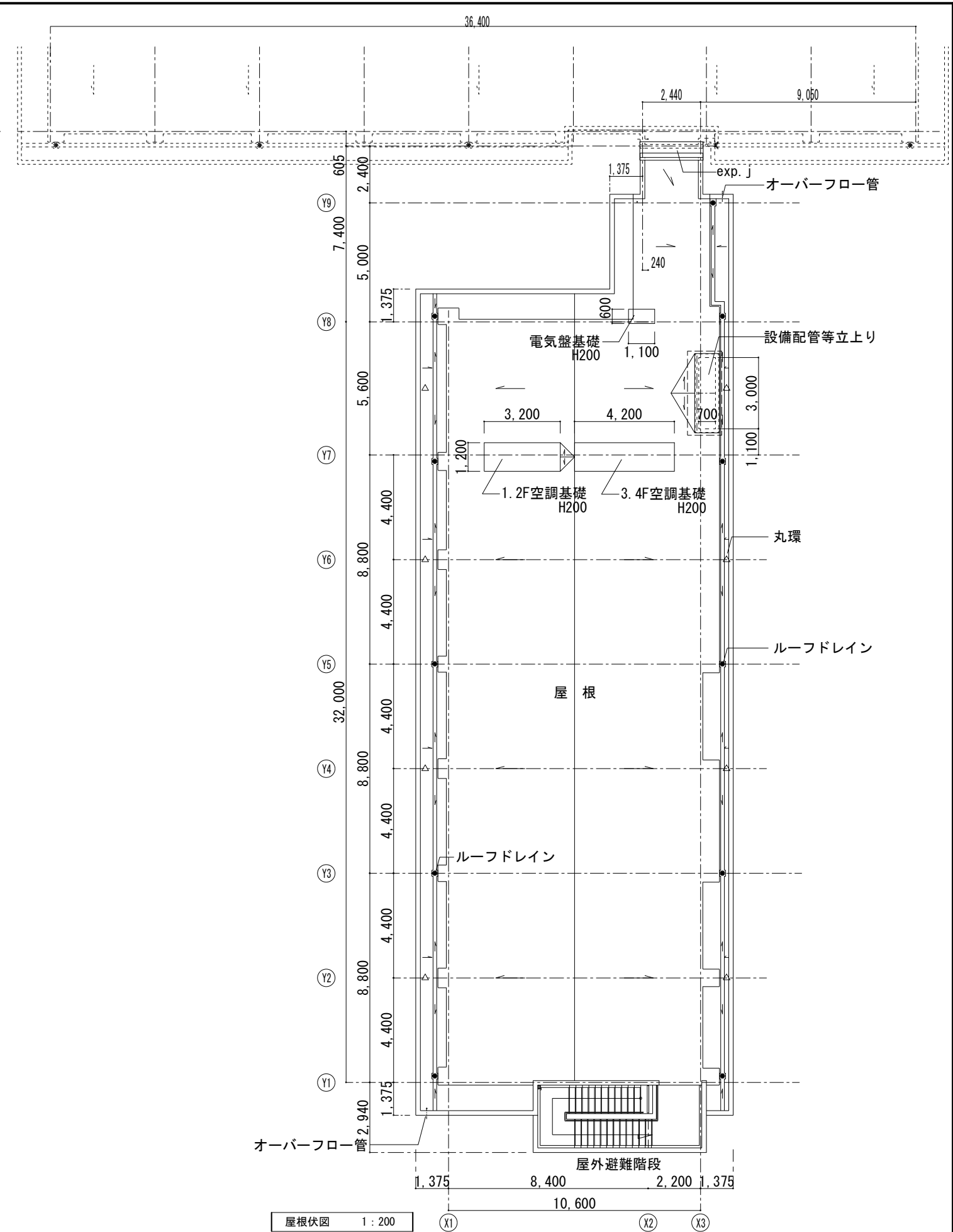
\\\\\\\\\\\\: 防火上主要な間仕切り



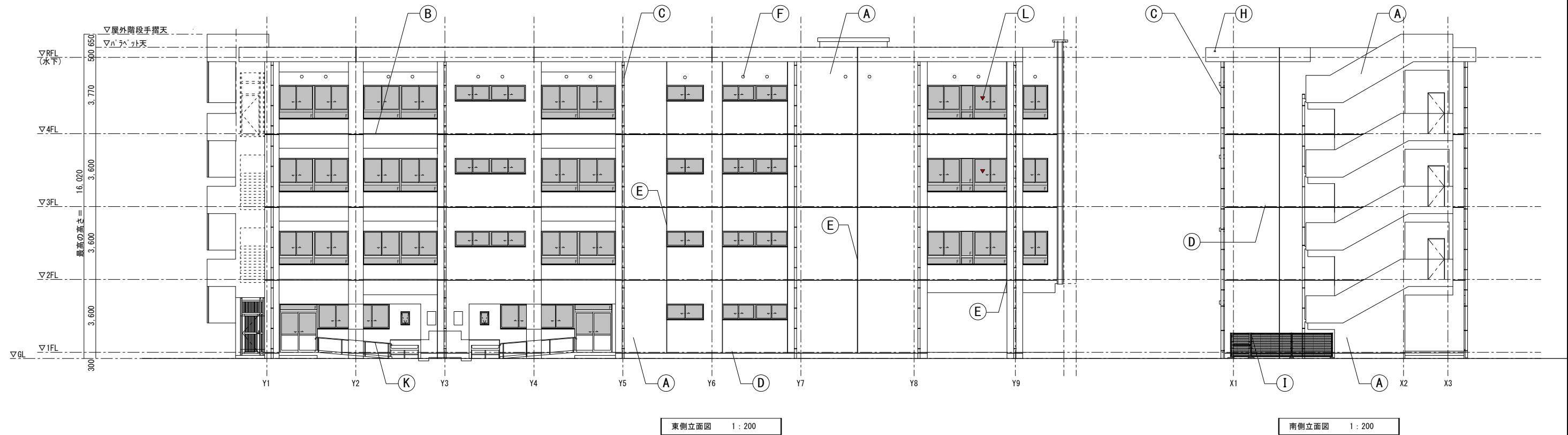
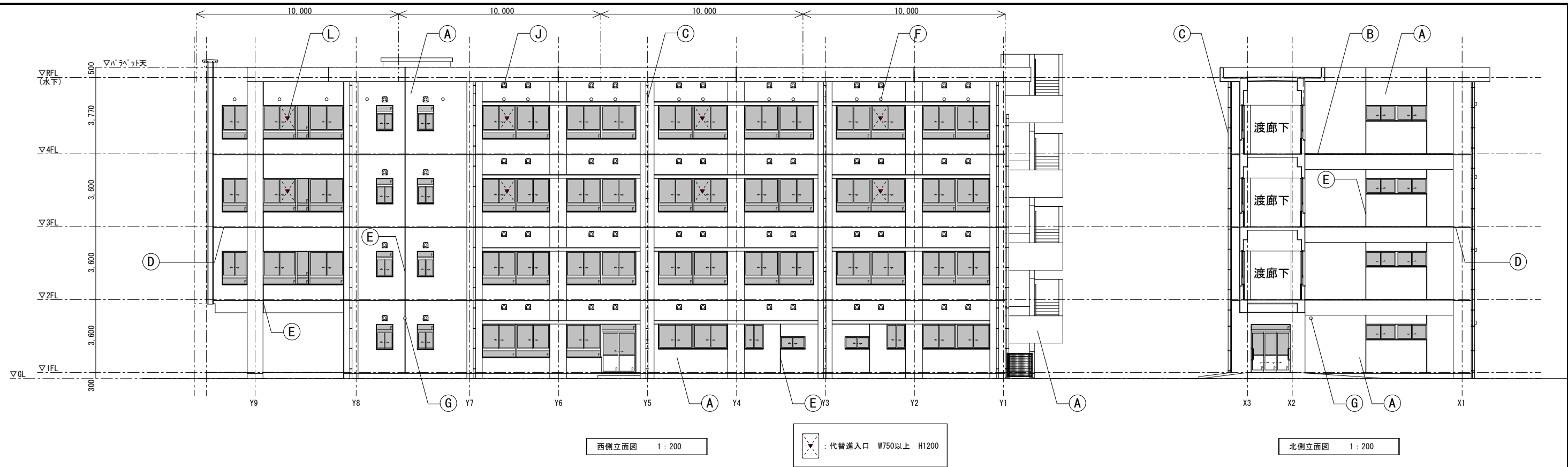


2.3.4階平面図 1:200

\\\\\\\\\\\\\\\\: 防火上主要な間仕切り

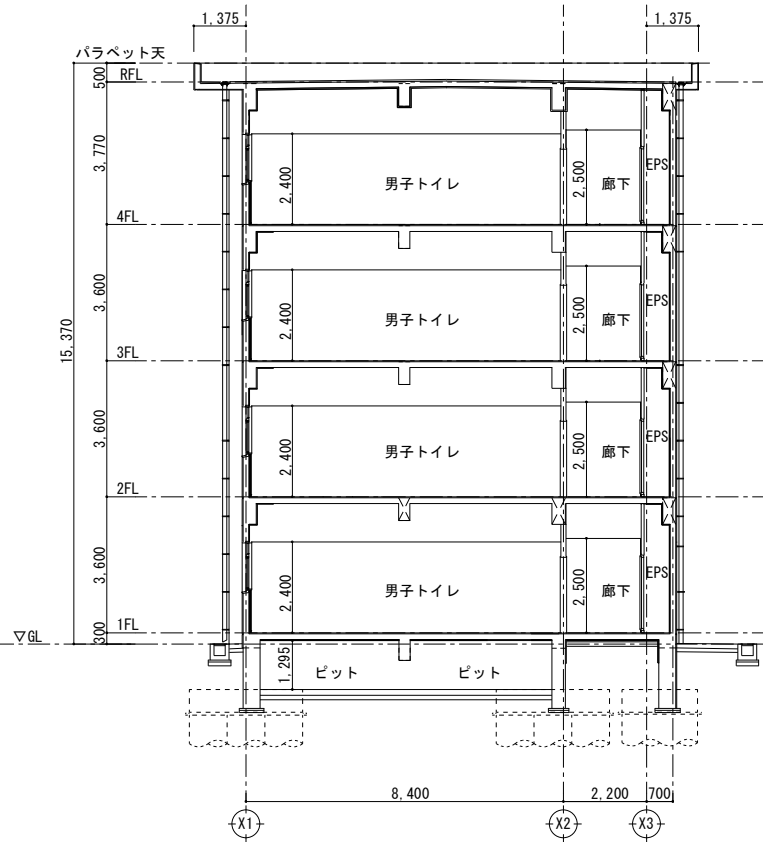
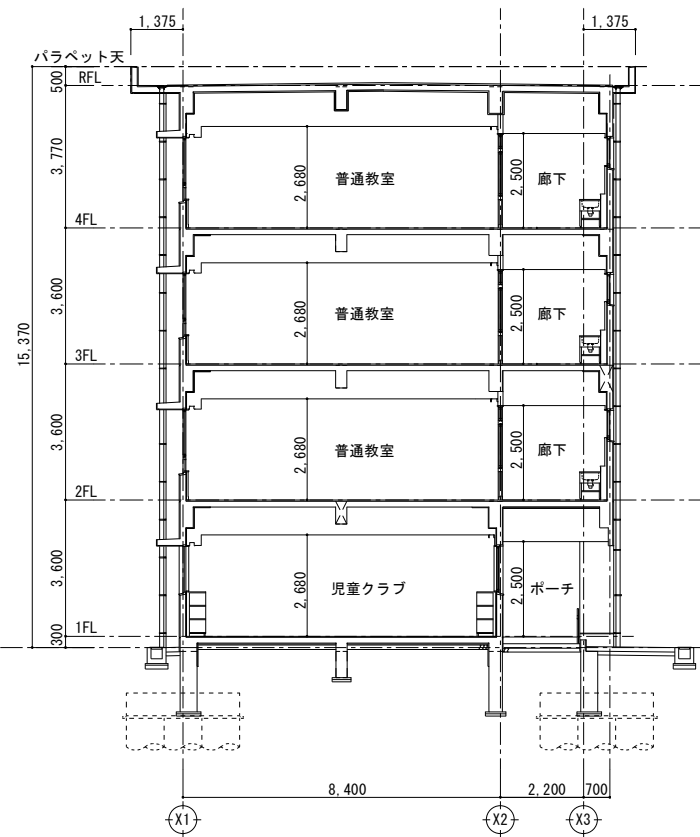
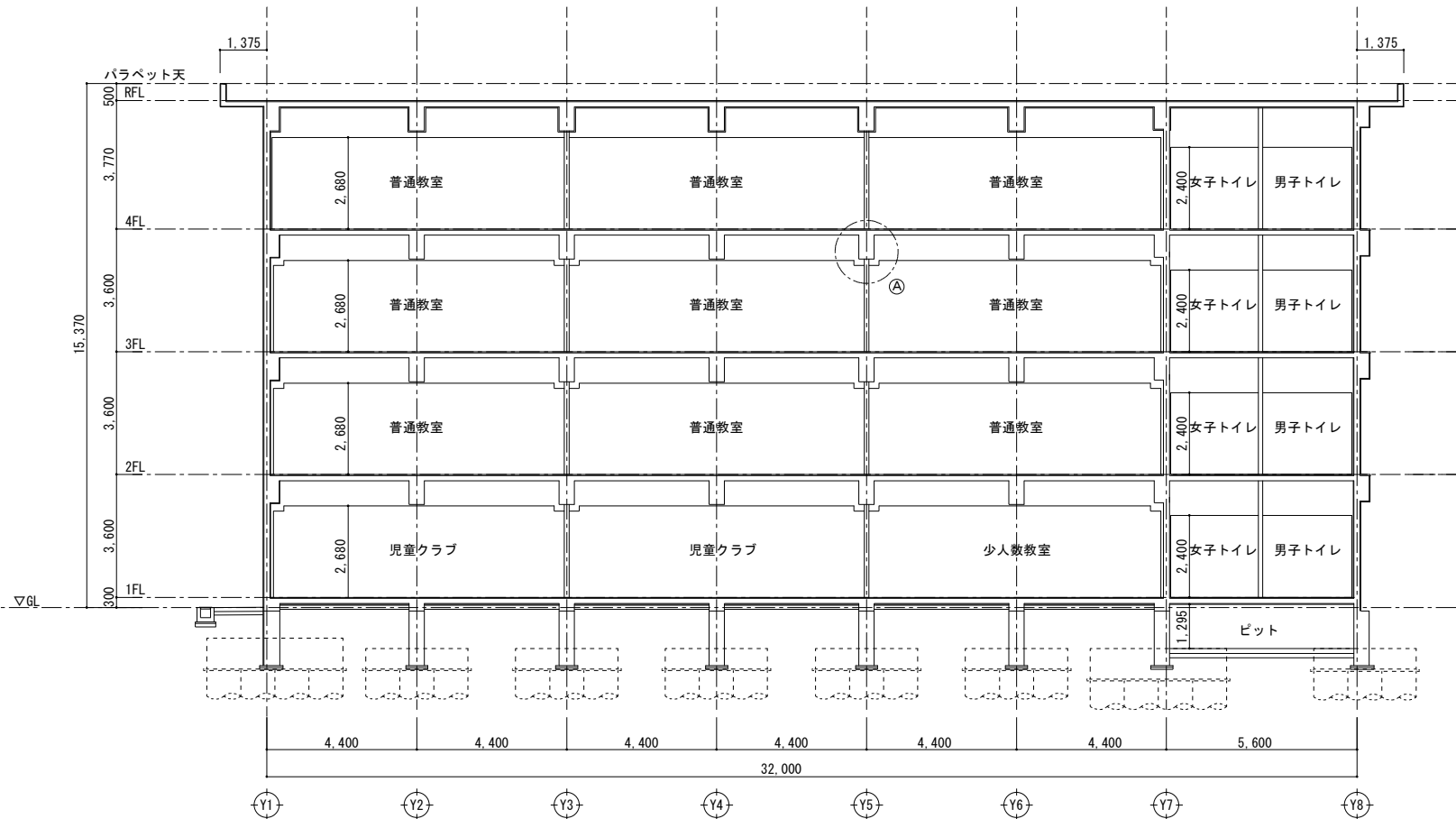


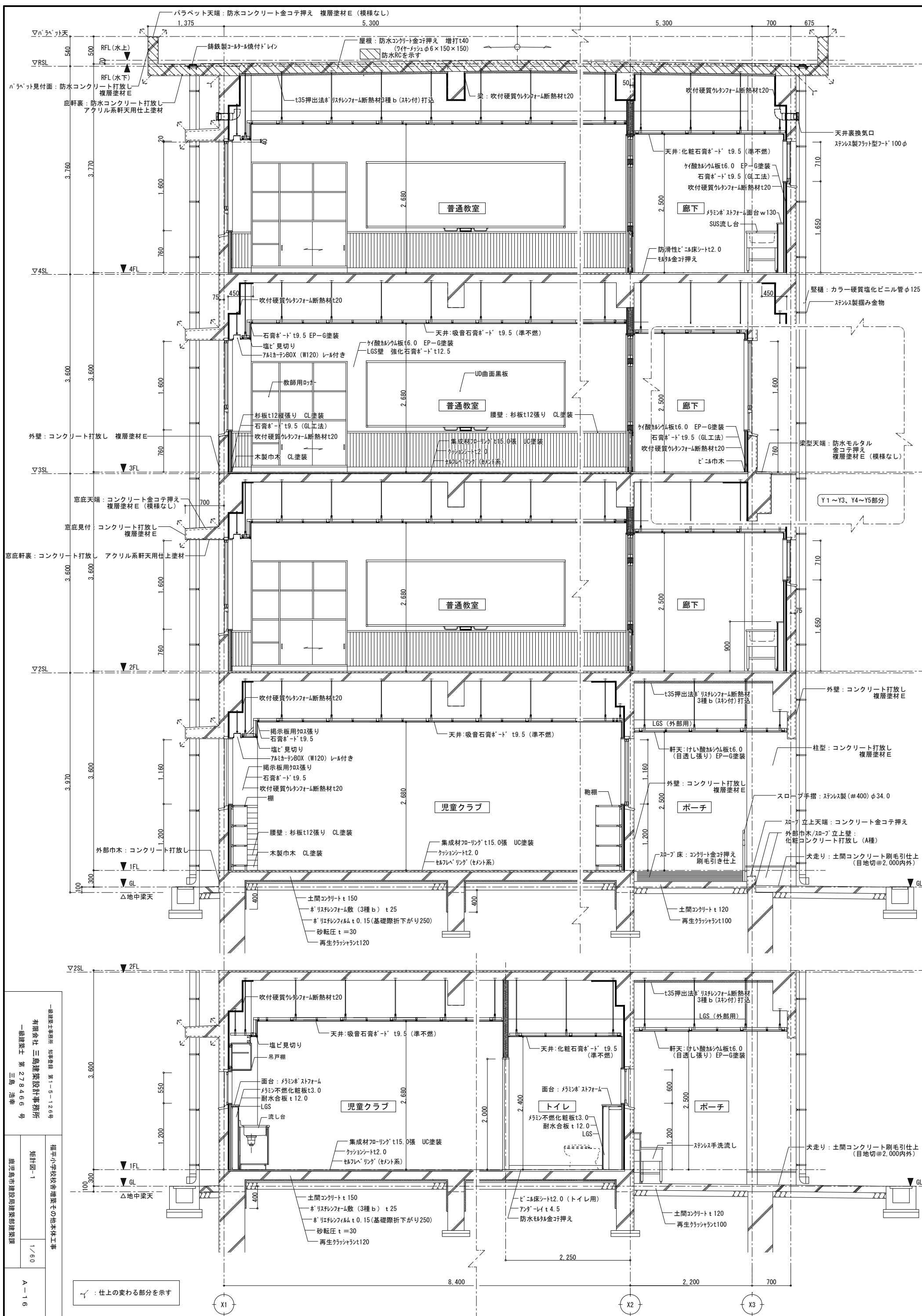
屋根伏図 1:200



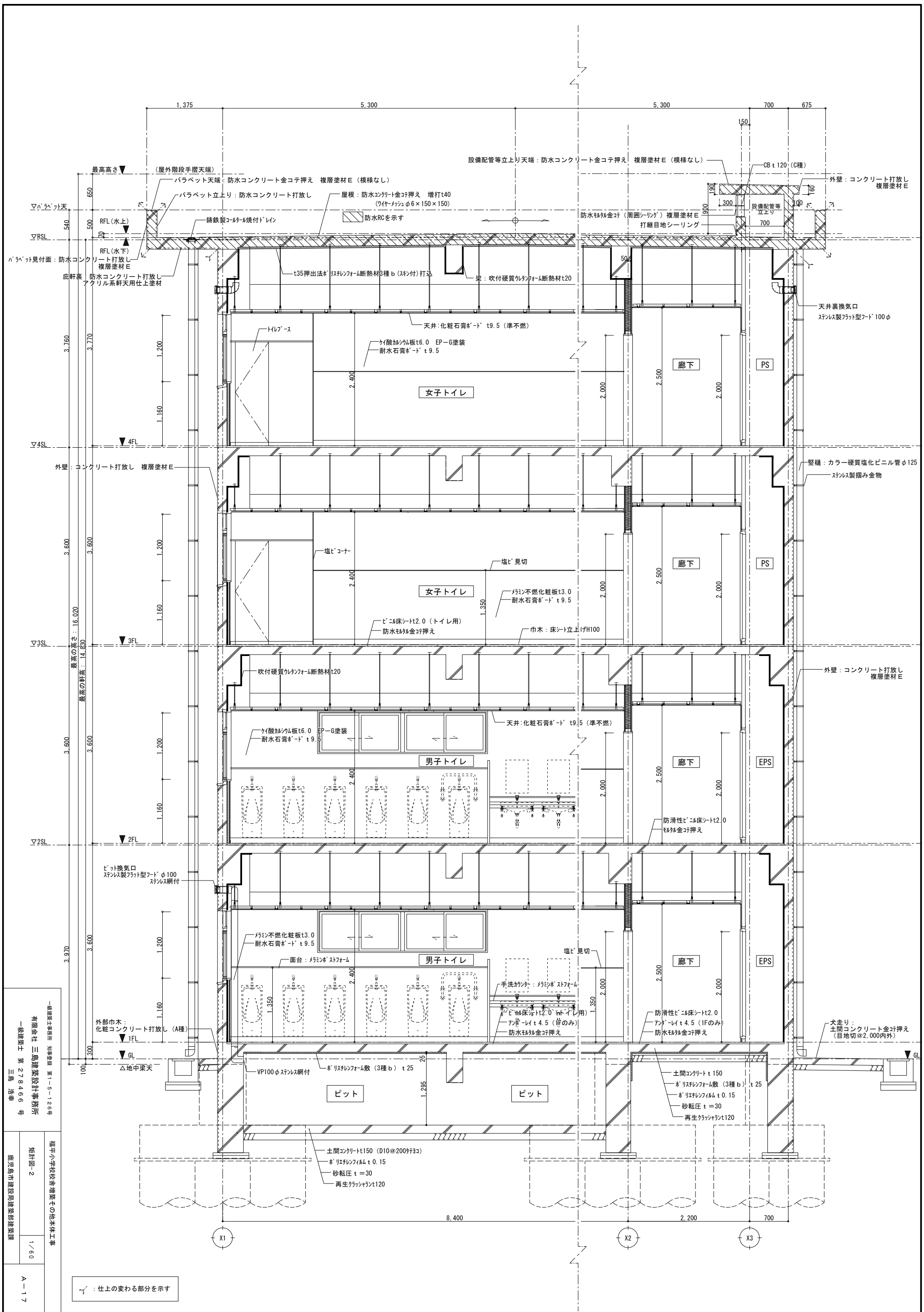
凡 例

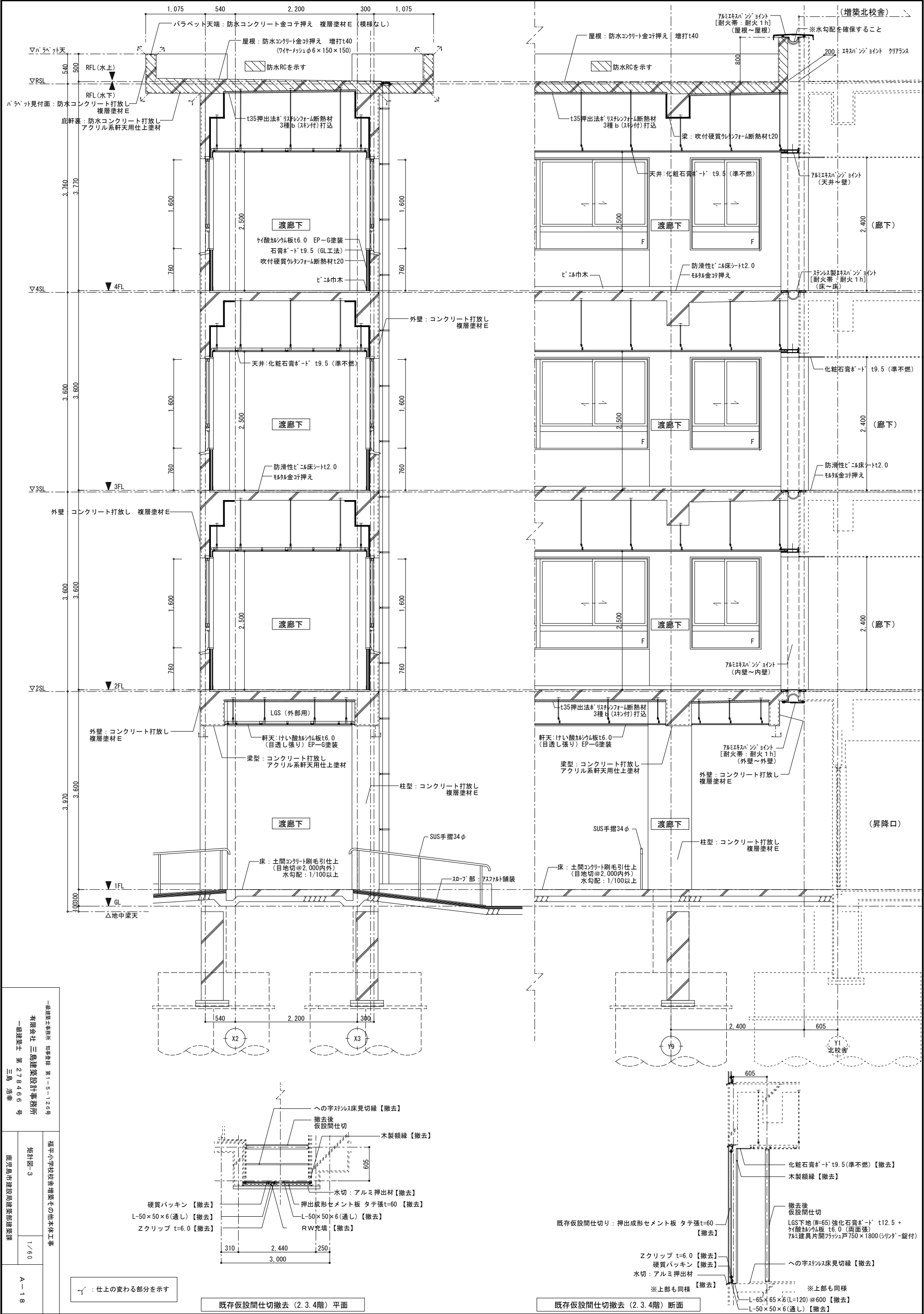
(A) コンクリート打放し 複層塗材E	(H) オバーフロー管：SUS角パイプ（ツバ付き）80×40 t2.0
(B) 梁天端 防水マルチ金ゴテ押え 複層塗材E（模様なし）	(I) 室外機フェンス（外構図参照）
(C) 縦樋～カラー硬質塩化ビニル管φ125 括み金物～ステンレス製1,100内外	(J) 換気フード（設備工事）
(D) 打継目地 20×10 ポリウレタン系シーリング材（PU-2）	(K) 手摺：ステンレス製（鏡面400#）φ34.0（外構図参照）
(E) 誘発目地 20×10 ポリウレタン系シーリング材（PU-2）	(L) 片面赤色反射ステッカー（アクリル系フィルム素材）
(F) 天井裏換気口～ステンレス製フラット型フード φ100ステンレス網付	
(G) ビット換気口～ステンレス製フラット型フード φ100ステンレス網付	

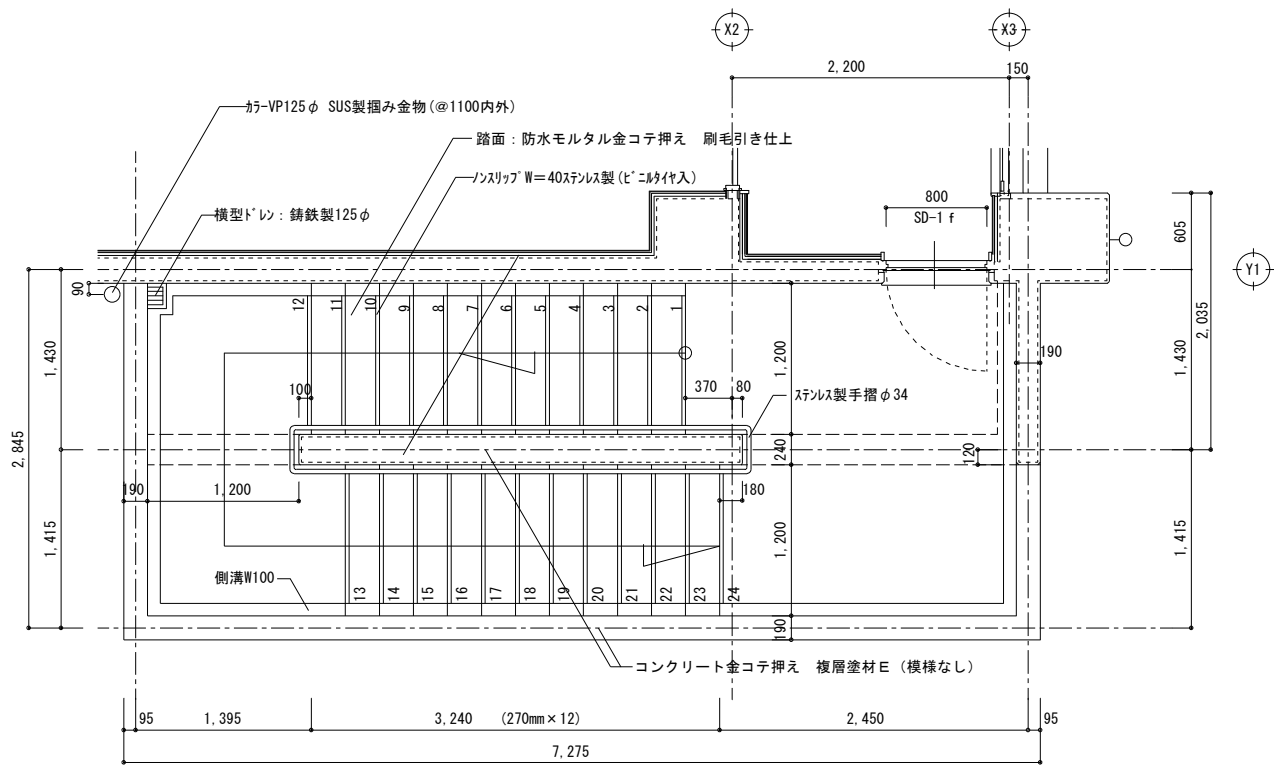




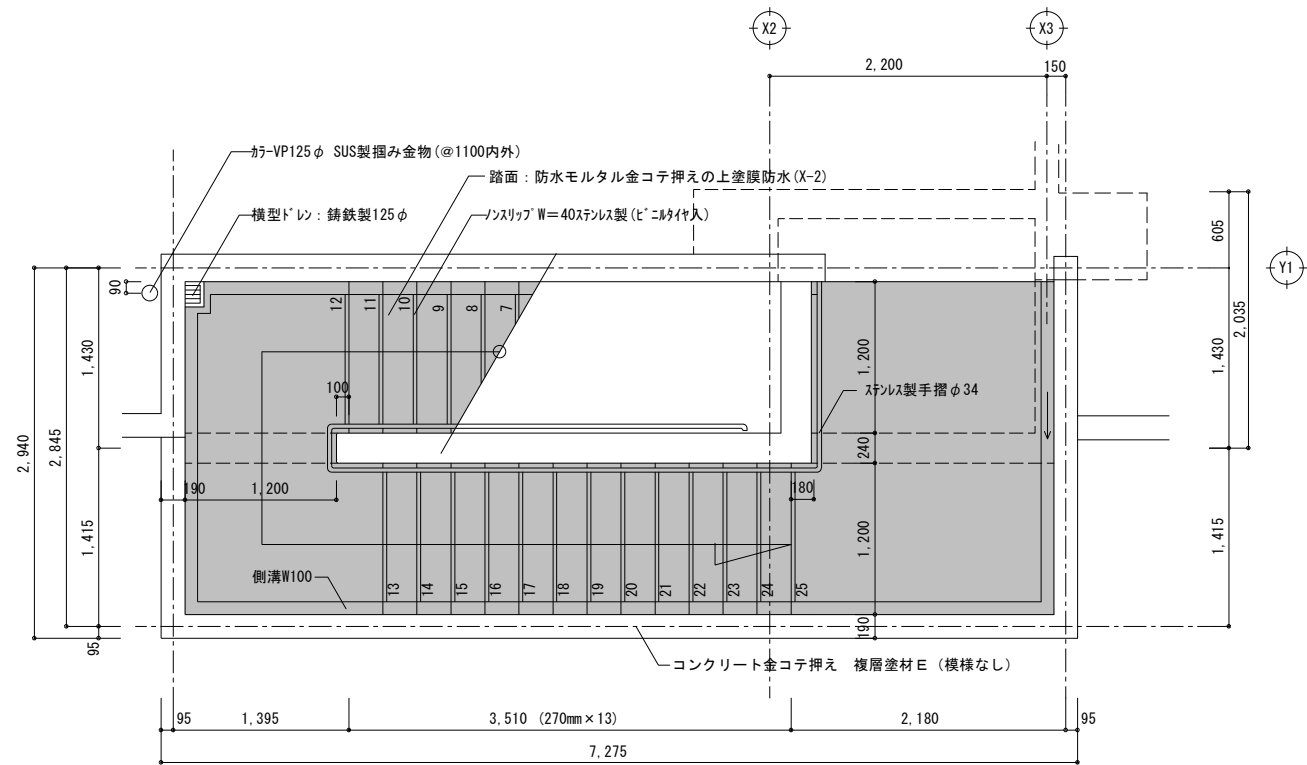




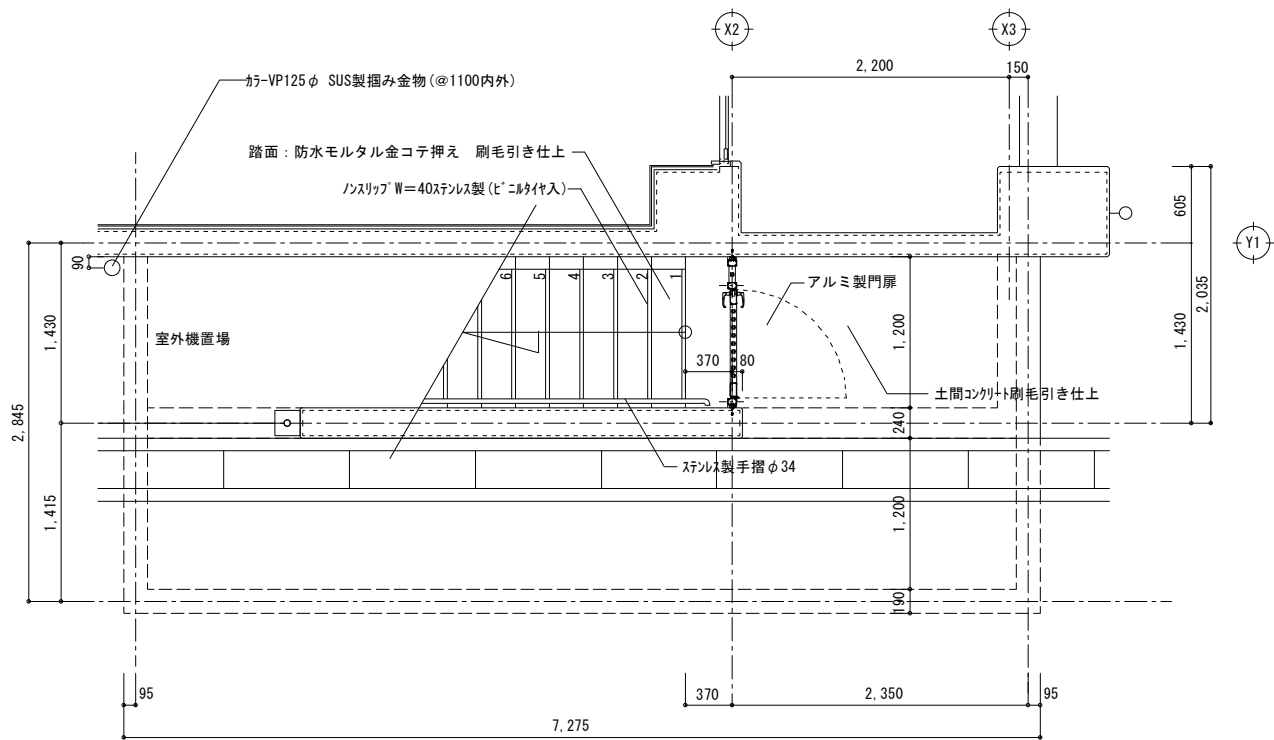




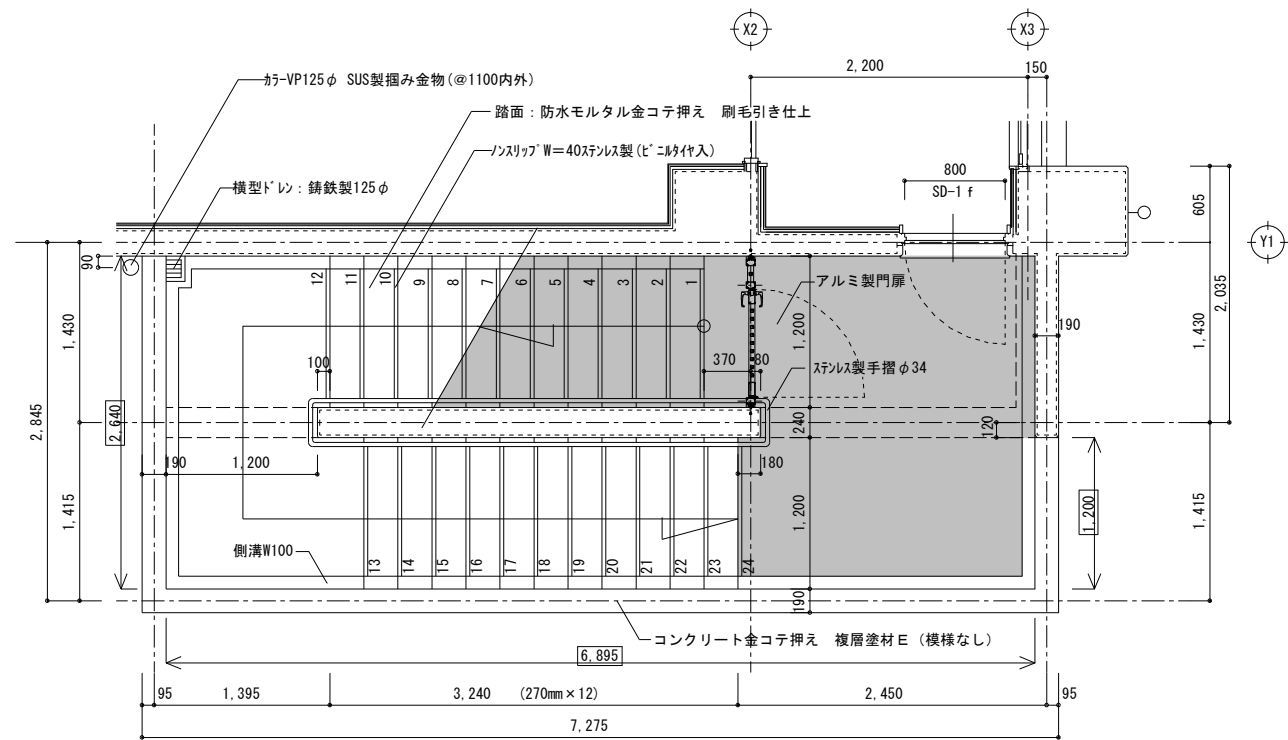
2・3階平面詳細図 1:60



R階平面詳細図 1:60



1階平面詳細図 1:60

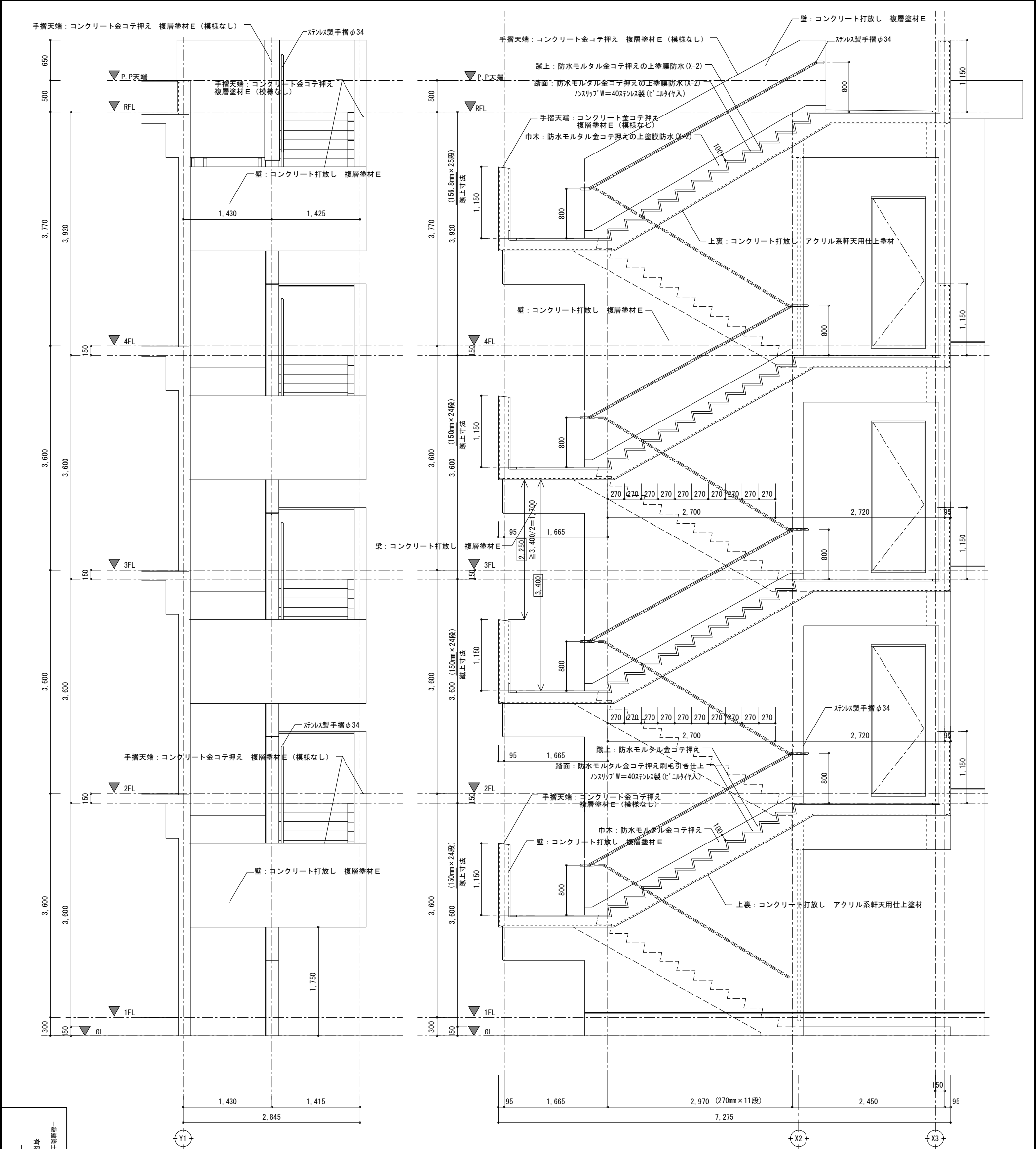


4階平面詳細図 1:60

階段の周長:  $(2,640 + 6,895) \times 2 = 19,070$   
開放部周長:  $2,640 + 6,895 + 1,200 = 10,735 \geq 19,070 / 2 = 9,535$

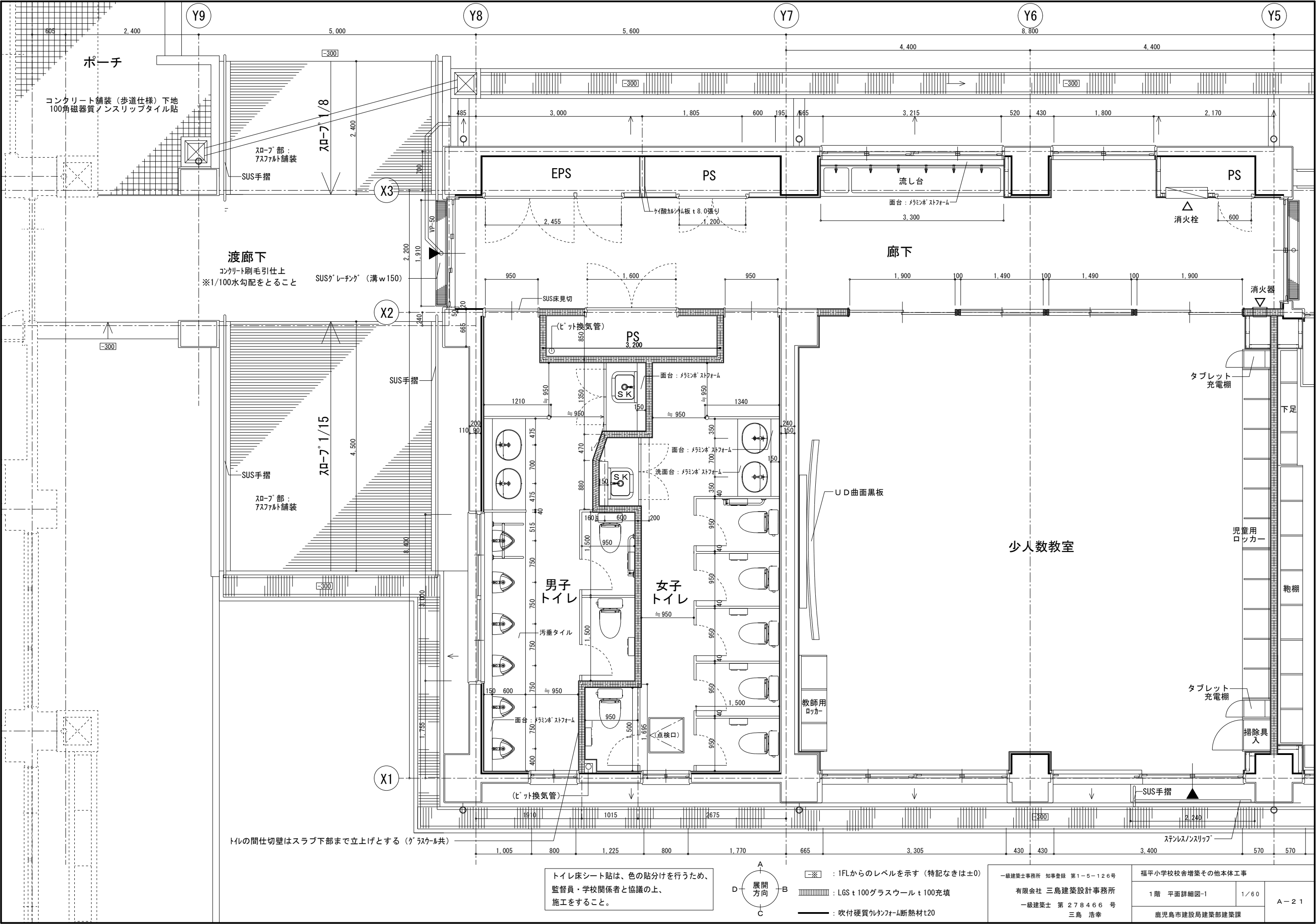
凡例 ■ : 塗膜防水 (X-2)

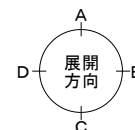
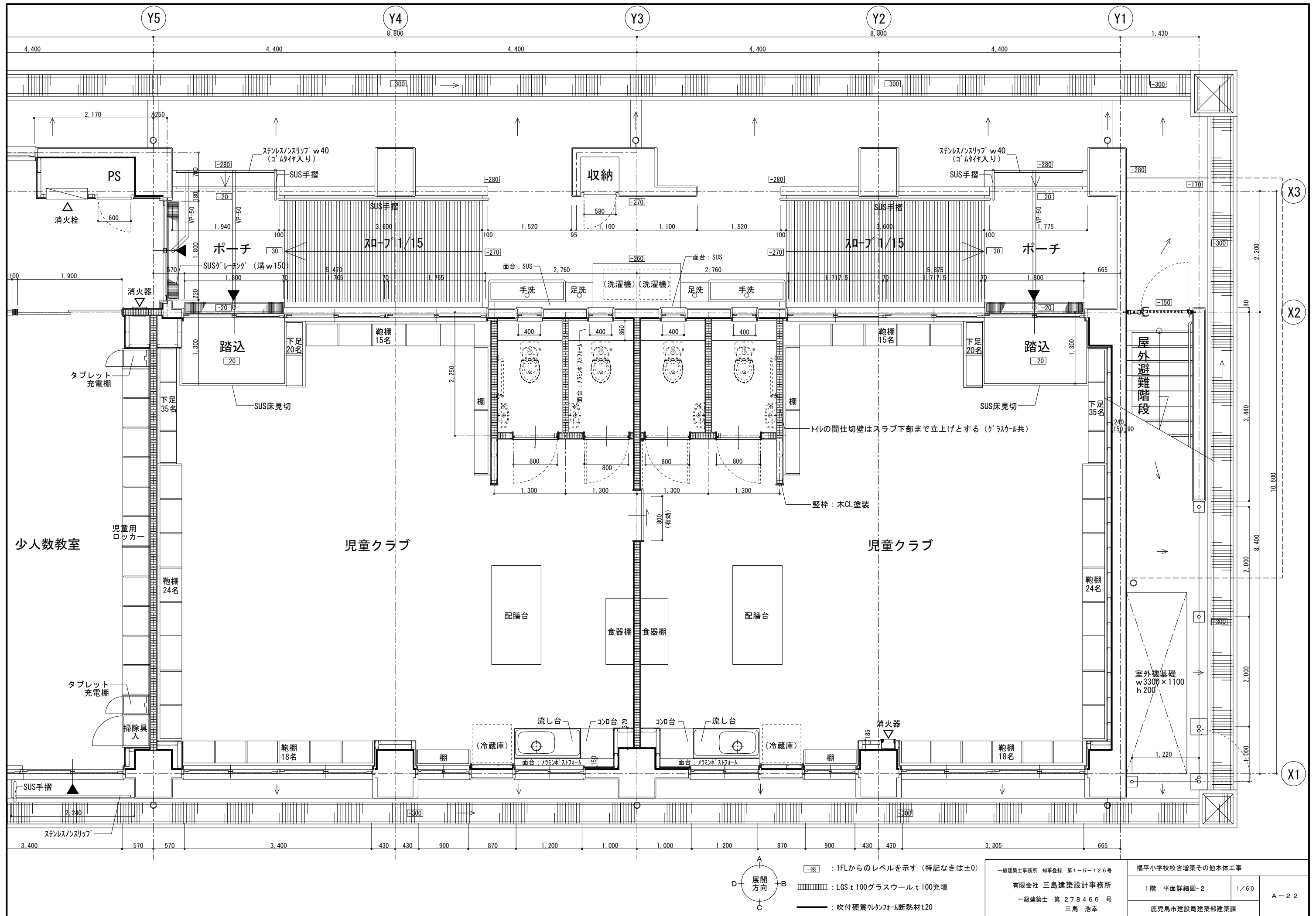
一級建築士事務所 知事登録 第1-5-126号 有限会社 三島建築設計事務所 一級建築士 第278466号 三島 浩幸		福平小学校校舎増築その他本体工事	
		屋外階段平面詳細図	1/60
		鹿児島市建設局建築部建築課	



屋外階段立面図 1 : 60

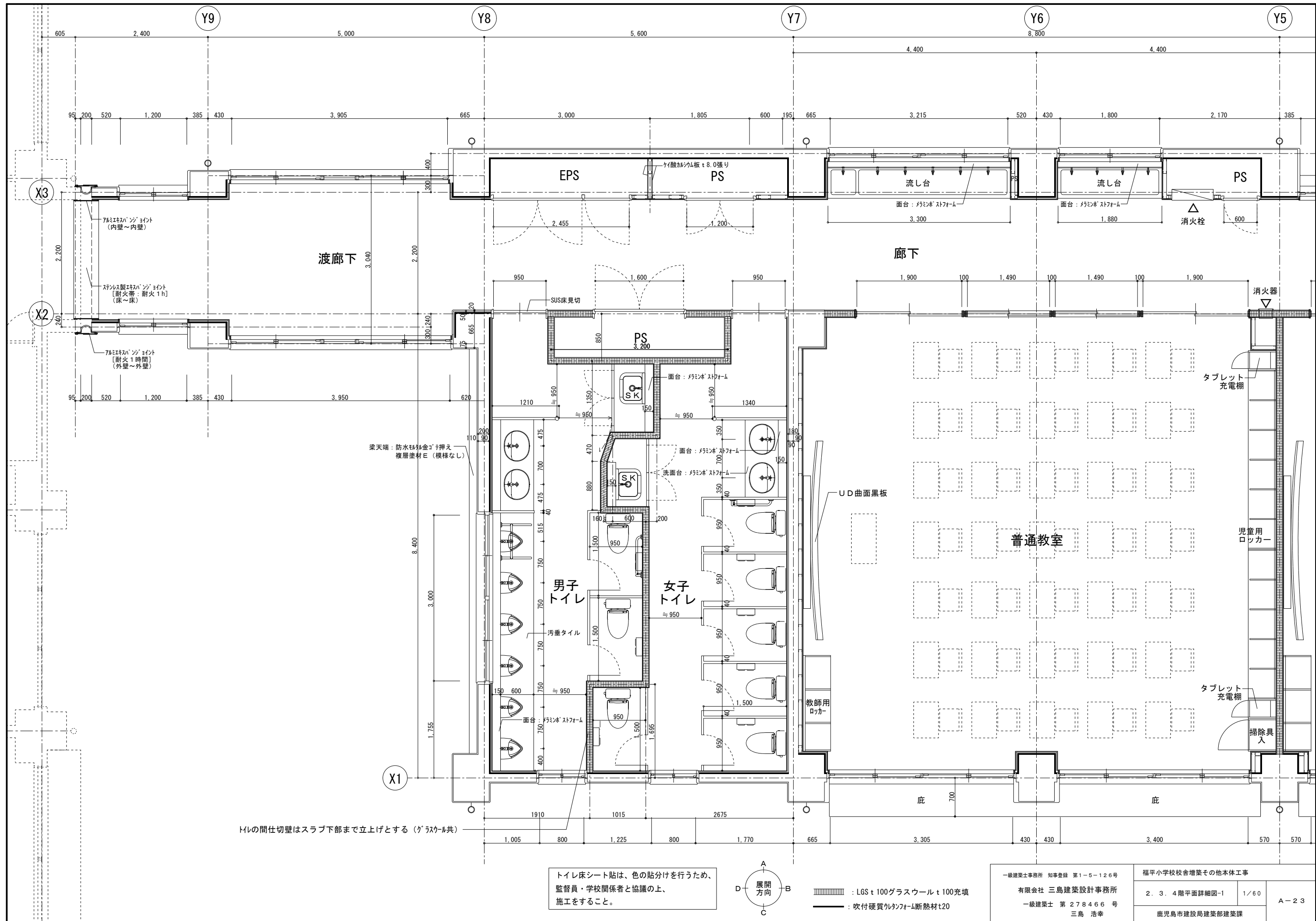
屋外階段断面詳細図 1 : 60





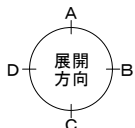
- ◻※ : 1FLからのレベルを示す (特記なきは±0)
- ||||| : LGS t100グラスウール t100充填
- : 吹付硬質ウレタンフォーム断熱材t20

一級建築士事務所 知事登録 第1-5-126号		福平小学校校舎増築その他本体工事	
有限会社 三島建築設計事務所		1階 平面詳細図-2	1/60
一級建築士 第278466号 三島 浩幸		A-22	
		鹿児島市建設局建築部建築課	



トイレの間仕切壁はスラブ下部まで立上げとする（ガラスール共）

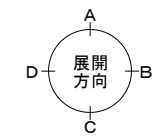
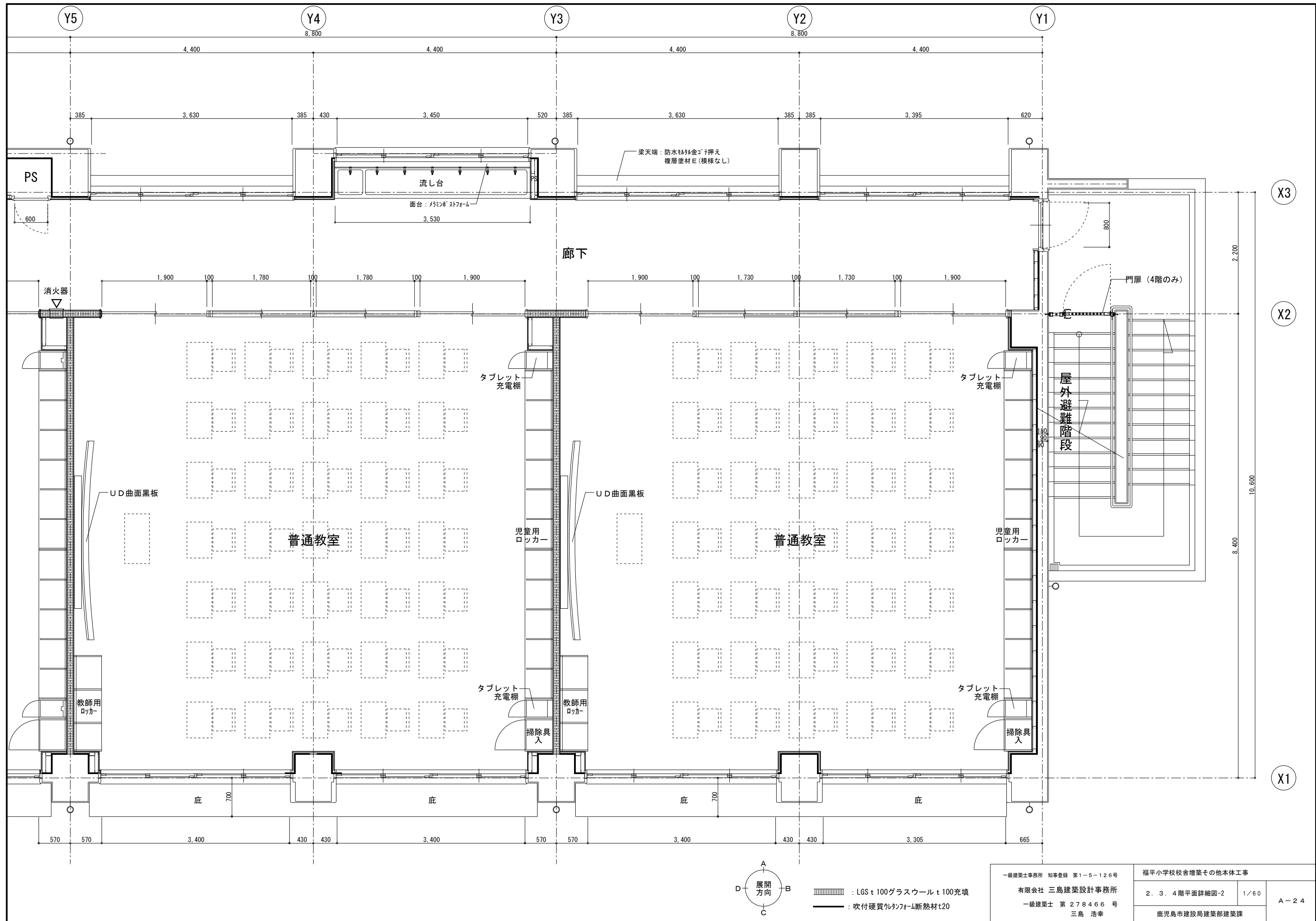
トイレ床シート貼は、色の貼分けを行うため、  
監督員・学校関係者と協議の上、  
施工をすること。



||||||| : LGS t100ガラスール t100充填  
—— : 吹付硬質ウレタン断熱材 t20

一級建築士事務所 知事登録 第1-5-126号 有限会社 三島建築設計事務所 一級建築士 第278466号 三島 浩幸		福平小学校校舎増築その他本体工事 2. 3. 4階平面詳細図-1 鹿児島市建設局建築部建築課	
		1/60	A-23

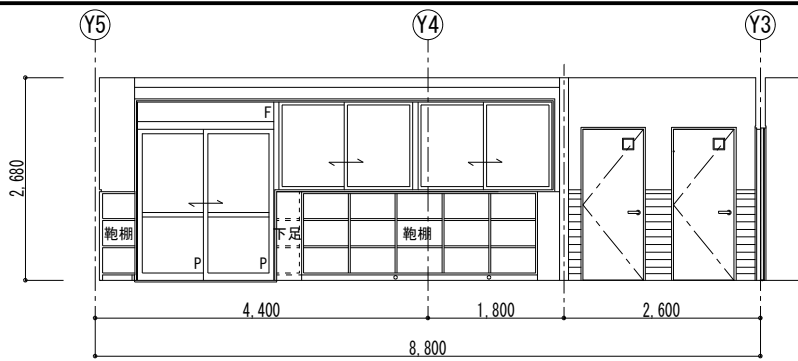




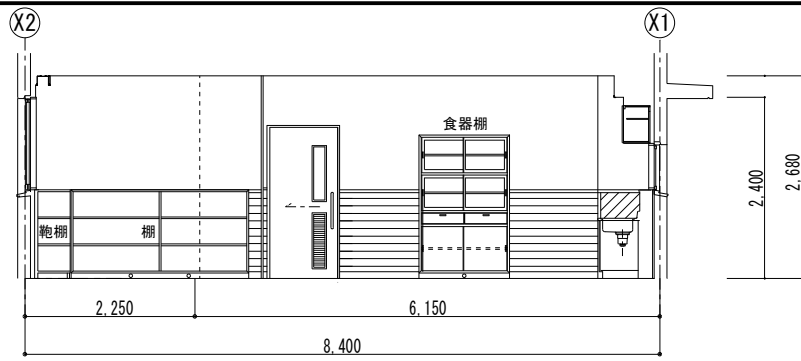
||||||| : LGS t100ガラスウール t100充填  
—— : 吹付硬質ウレタン断熱材 t20

一級建築士事務所 知事登録 第1-5-126号		福平小学校校舎増築その他本体工事	
有限会社 三島建築設計事務所		2. 3. 4階平面詳細図-2	1/60
一級建築士 第278466号 三島 浩幸		鹿児島市建設局建築部建築課	
		A-24	

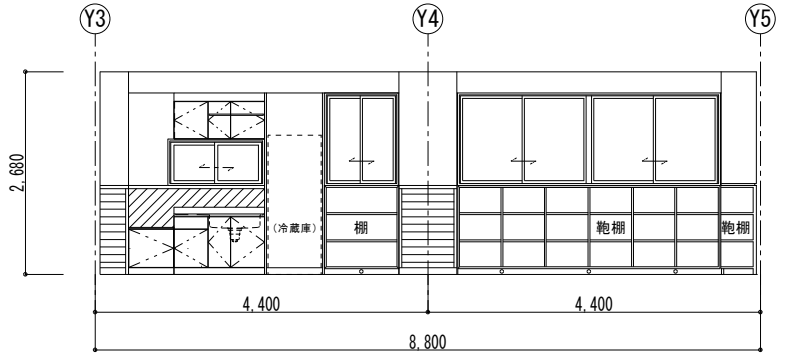
1階	児童クラブ	CH=2,680
床	切羽ベリタ（タタ系）タタシートt=2.0のうえ 集成材フロータタ張りt=15 UCタタ装	
巾木	木製 CLタタ装 H=90	
壁	下地	RC壁：石膏ボードt=9.5（GL工タ） LGS壁：石膏ボードt=9.5 LGS壁（防火）：強化石膏ボードt=12.5
	腰壁	杉板t12横張り CLタタ装 LGS壁（防火）：けい酸カルシウム板t6.0のうえ 杉板t12横張り CLタタ装
	壁	掲示板用タタ張り 流し台・コンロ台上部：メラミン不燃化タタ板t3.0張 LGS壁（防火）：けい酸カルシウム板t6.0 合板t5.5のうえ 掲示板用タタ張り
天井	吸音石膏ボード t=9.5（準不燃） 塩ビ製見切	
備考	下足入れ、靴棚・木製棚、流し台、吊戸棚 コンロ台（火気使用無）、食器棚、配膳台、消火器BOX	



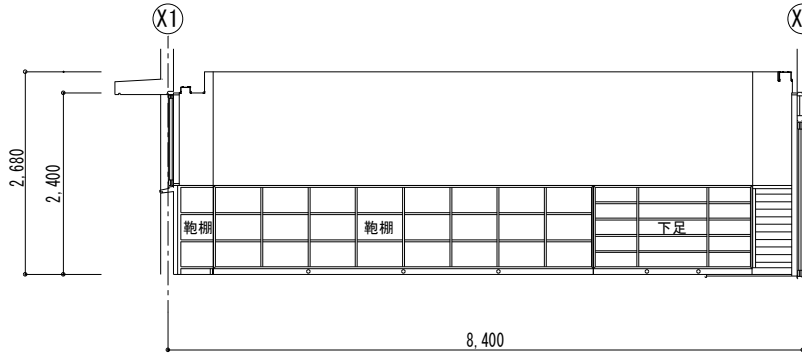
A



B



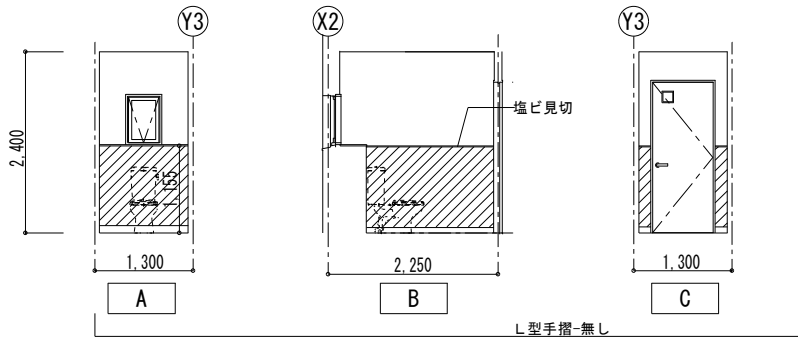
C



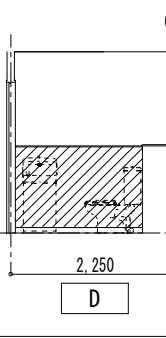
D

：メラミン不燃化タタ板張り部分

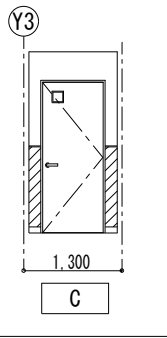
1階	児童クラブ トイレ	CH=2,400
床	防水モルタル金コテ押え アンダーレイt4.5のうえ ビニル床シートt2.0（トイレ用）	
巾木	シート立上げ H=100	
壁	下地	RC壁：耐水石膏ボードt=9.5（GL工タ） LGS壁：耐水石膏ボードt=9.5 LGS壁（防火）：強化石膏ボードt=12.5
	腰壁	メラミン不燃化タタ板t3.0張り LGS壁（防火）：けい酸カルシウム板t6.0 のうえ メラミン不燃化タタ板t3.0張り
	壁	掲示板用タタ張り LGS壁（防火）：けい酸カルシウム板t6.0 合板t5.5のうえ 掲示板用タタ張り
天井	化粧石膏ボード t=9.5（準不燃） 塩ビ製見切	
備考	—	



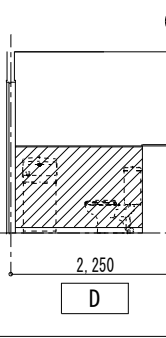
A



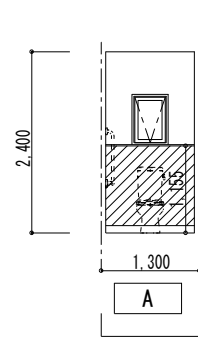
B



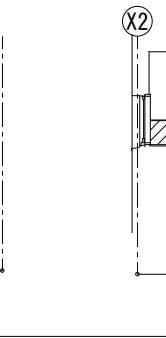
C



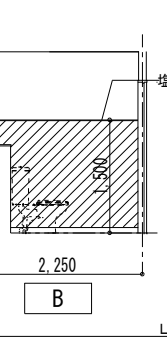
D



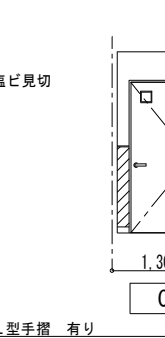
A



B



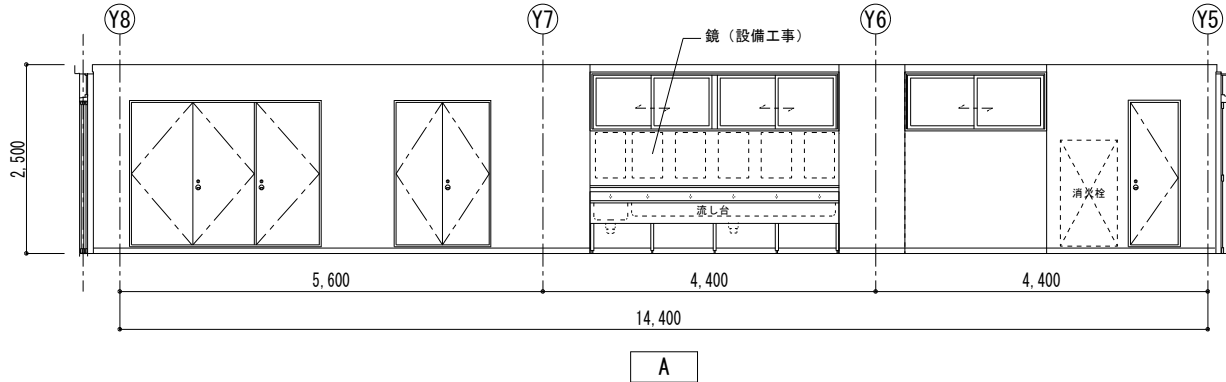
C



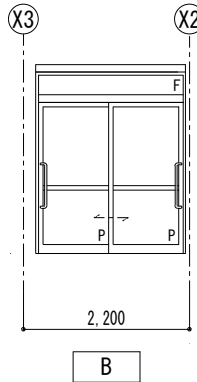
D

：メラミン不燃化タタ板張り部分

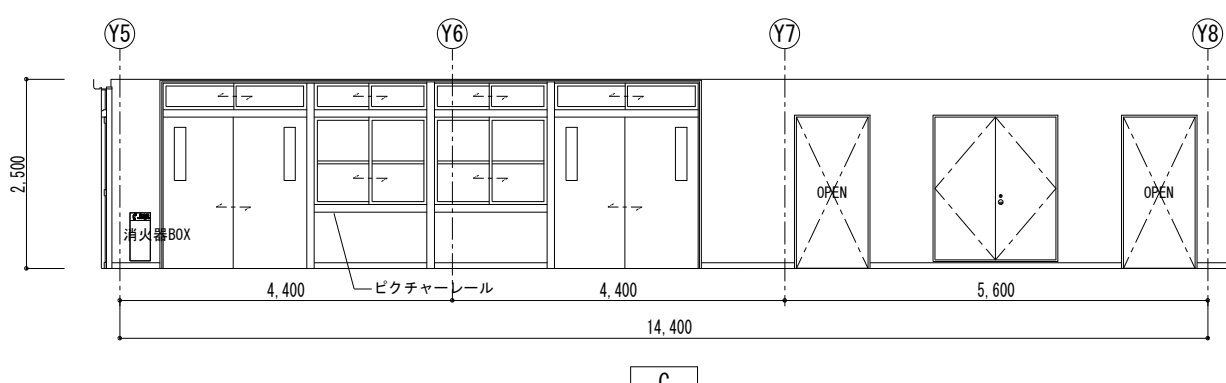
1階	廊下	CH=2,500
床	防水モルタル金コテ押え アンダーレイt4.5のうえ 防滑性ビニル床シート t=2.0	
巾木	ビニル巾木 H=75	
壁	下地	RC壁：石膏ボードt=9.5（GL工タ） LGS壁：石膏ボードt=9.5 LGS壁（防火）：強化石膏ボードt=12.5
	腰壁	—
	壁	けい酸カルシウム板t6.0 EP-Gタタ装
天井	化粧石膏ボード t=9.5（準不燃） 塩ビ製見切	
備考	SUS製手洗い、消火器BOX、掲示板、鏡（設備工タ） 荷物架け（ピクチャーレール）：学校間仕切腰壁	



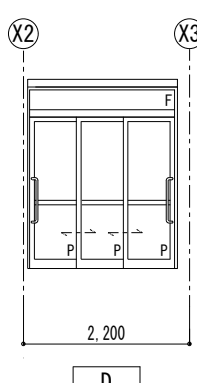
A



B

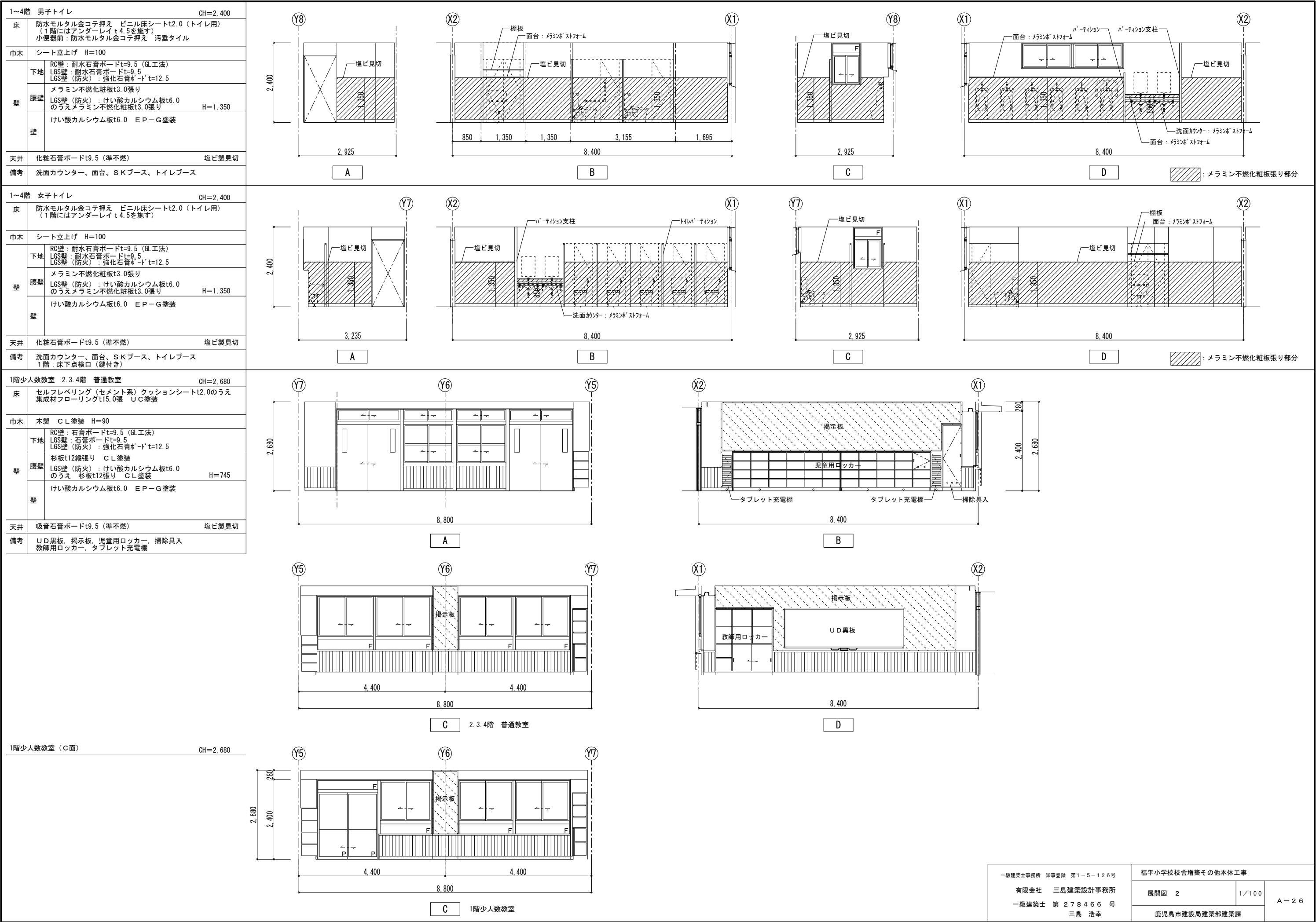


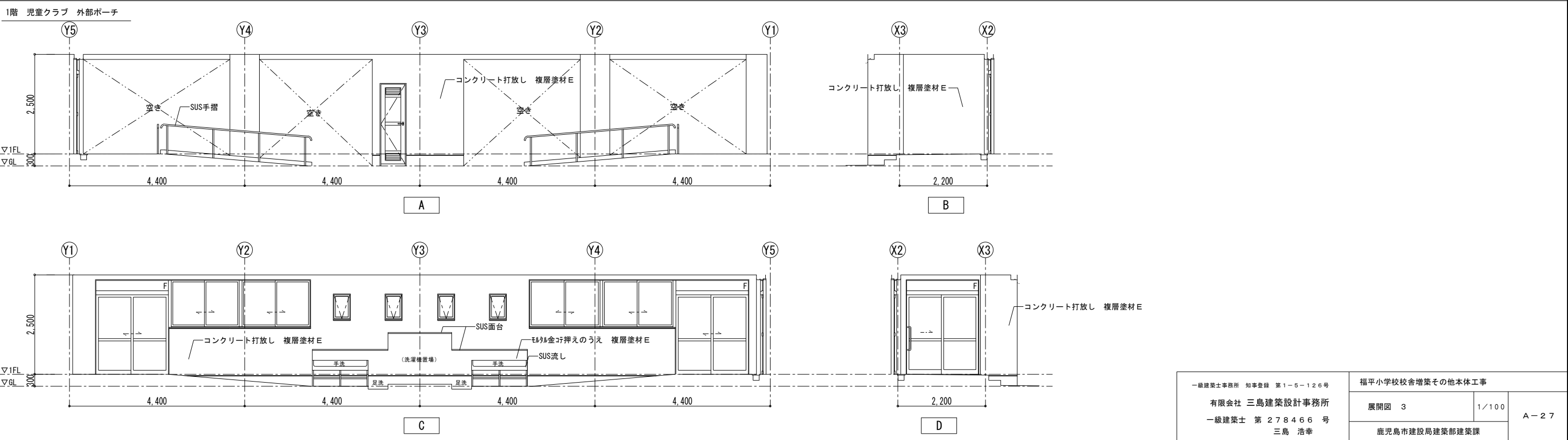
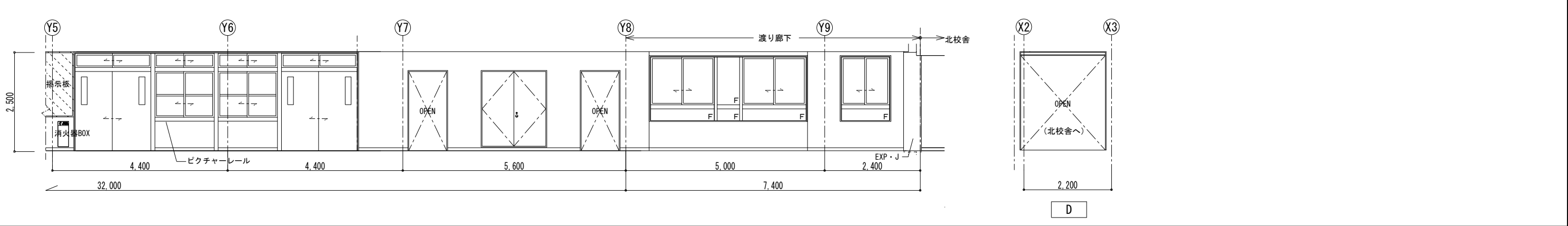
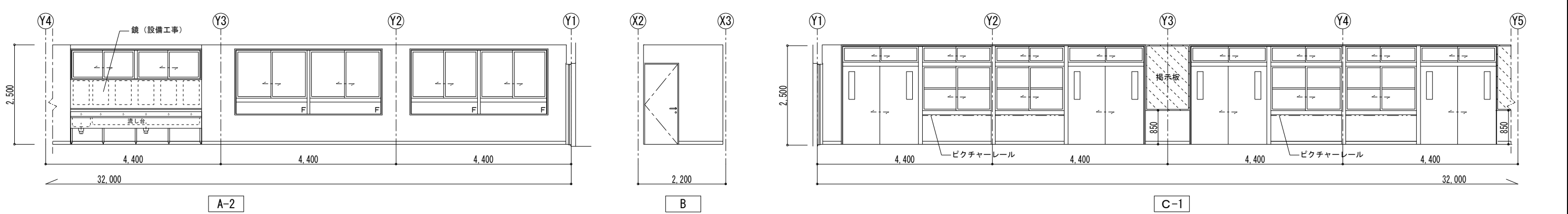
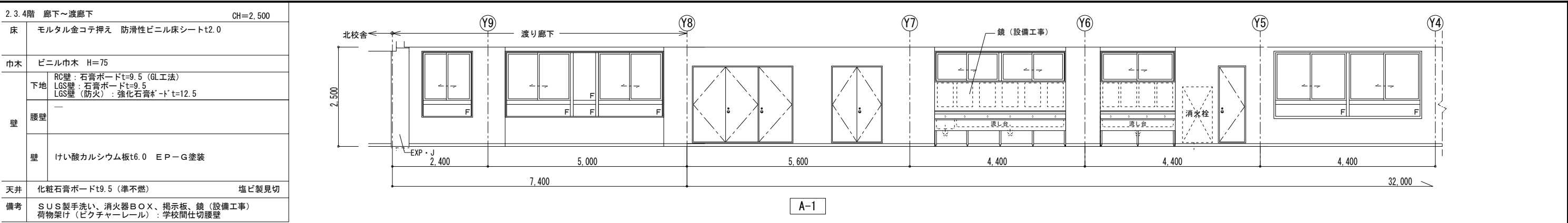
C

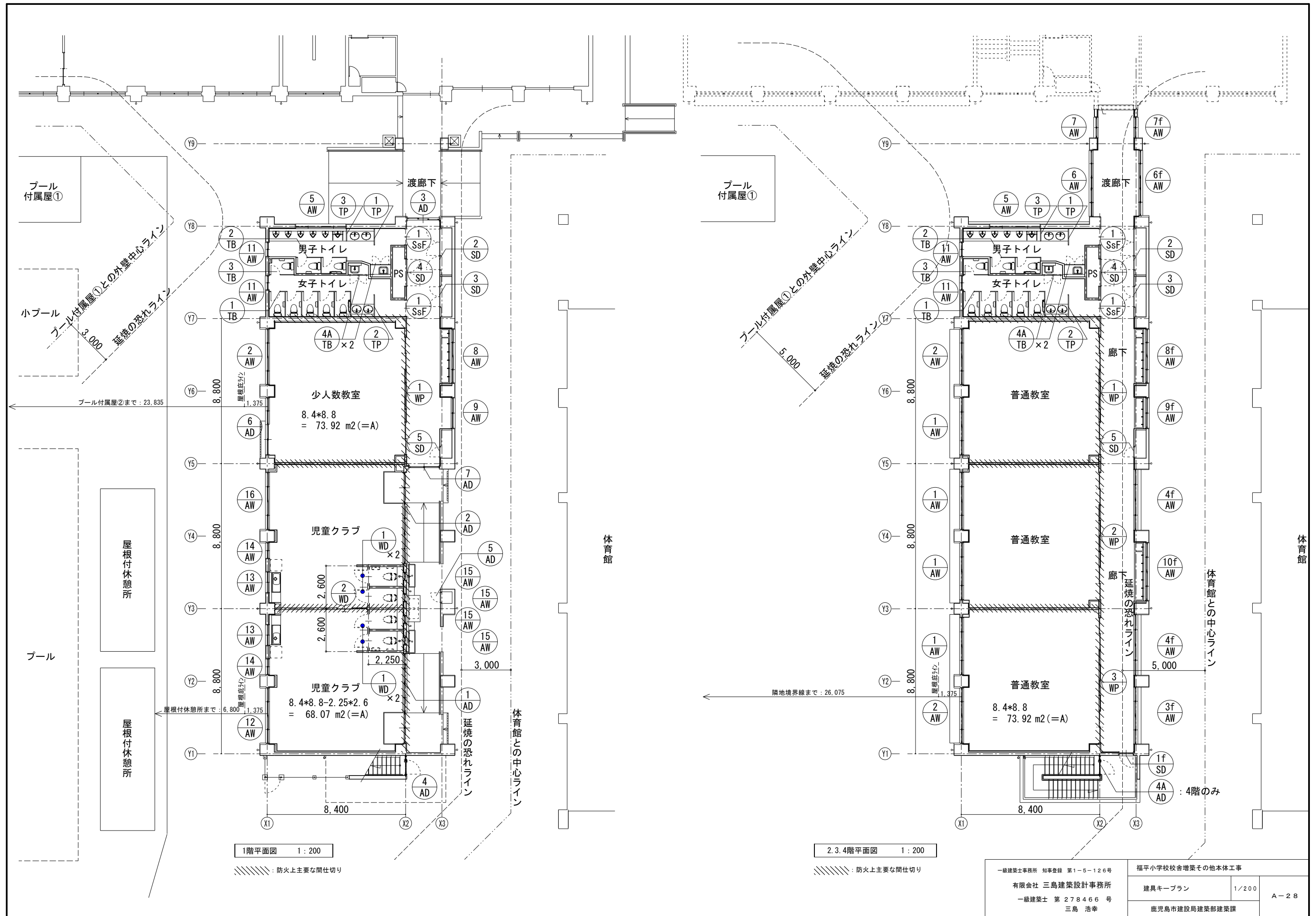


D

一級建築士事務所 知事登録 第1-5-126号  有限会社 三島建築設計事務所  一級建築士 第278466号  三島 浩幸	福平小学校校舎増築その他本体工事		
	展開図 1	1/100	A-25
	鹿児島市建設局建築部建築課		

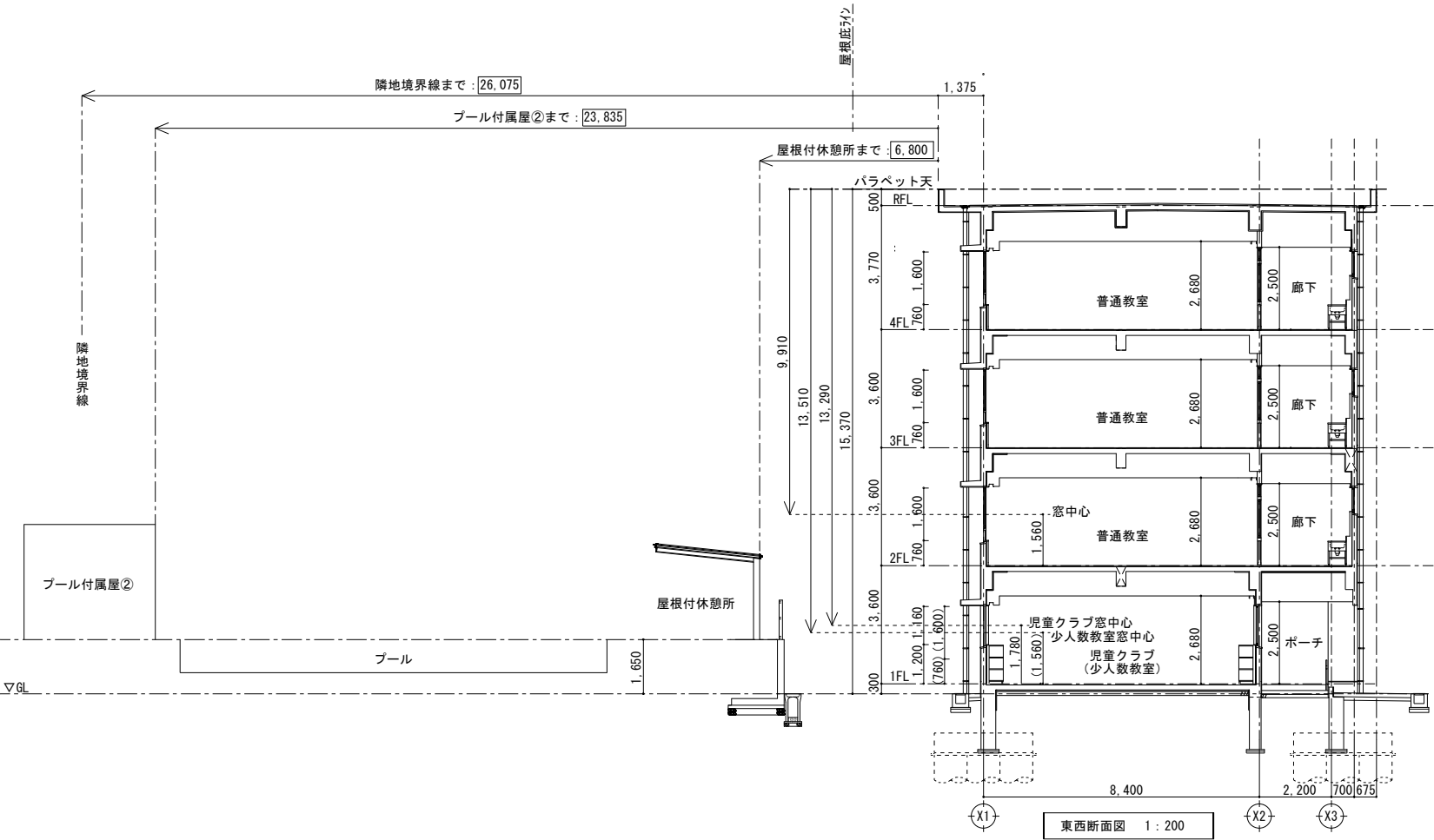








階	室名	床面積 (=A)	■ 採 光						■ 換 気						□排 煙					
			必要面積		建具名称	W * H * 個数 * 補正係数	合計面積	判定	必要面積		建具名称	W * H * 個数	合計面積	判定	必要面積		建具名称	W * H * 個数	合計面積	判定
1	児童クラブ	68.07	A／5	13.62	AW-12 AW-13 AW-14	1.61 * 1.16 * 2 * 3.0 = 11.20 1.20 * 0.55 * 1 * 3.0 = 1.98 0.90 * 1.16 * 1 * 3.0 = 3.13	16.31	0. K	A／20	3.41	AW-12 AW-13 AW-14 AD-1	0.76 * 1.16 * 2 = 1.76 0.58 * 0.55 * 1 = 0.31 0.43 * 1.16 * 1 = 0.49 0.83 * 1.16 * 2 + 0.80 * 2.0 * 1 = 3.52	6.08	0. K	A／50	1.37	AW-12 AW-14 AD-1	0.76 * 0.48 * 2 = 0.73 0.43 * 0.48 * 1 = 0.20 0.83 * 0.48 * 2 = 0.79	1.72	0. K
	少人数教室	73.92	A／5	14.79	AW-2 AD-6	1.61 * (1.2+0.3) * 2 * 3.0 = 14.49 1.53 * (1.2+0.3) * 1 * 3.0 = 6.88 1.80 * (1.1+0.26) * 1 * 3.0 = 7.34	28.71	0. K	A／20	3.70	AW-2 AD-6	0.78 * 1.2 * 2 = 1.87 0.74 * 1.2 * 1 + 0.87 * 2.0 * 1 = 2.62 2.628	4.49	0. K						
2 3 4	普通教室	73.92	A／5	14.79	AW-1 AW-2	1.66 * (1.2+0.3) * 2 * 3.0 = 14.94 1.61 * (1.2+0.3) * 2 * 3.0 = 14.49	29.43	0. K	A／20	3.70	AW-1 AW-2	0.81 * 1.2 * 2 = 1.94 0.78 * 1.2 * 2 = 1.87	3.81	0. K						



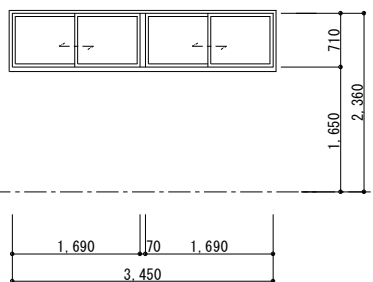
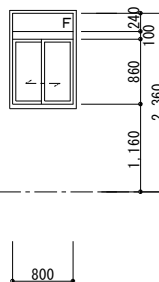
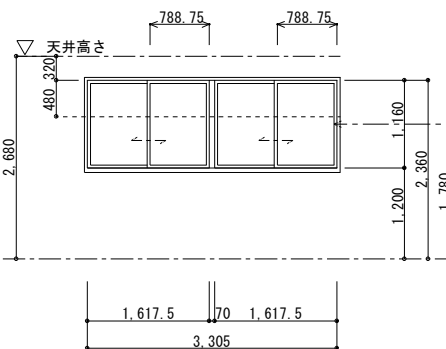
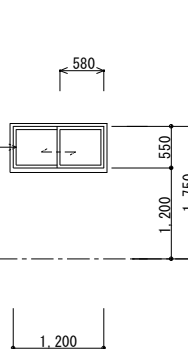
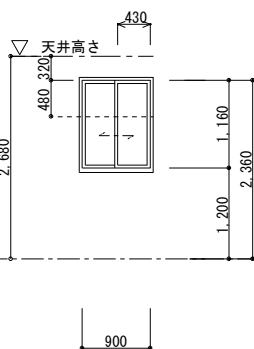
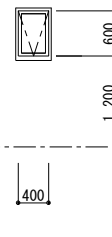
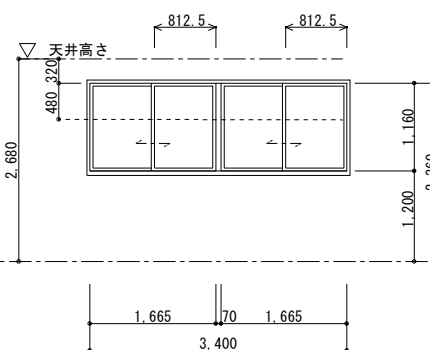
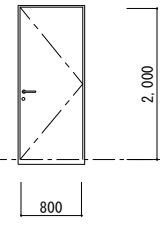
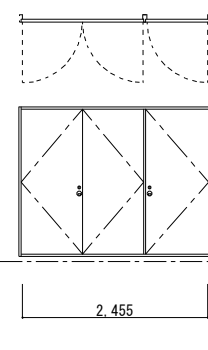
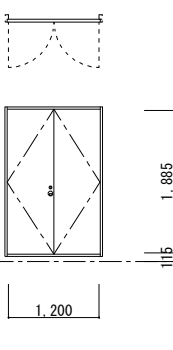
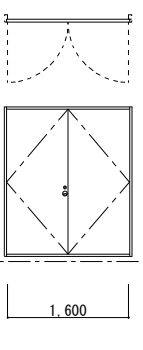
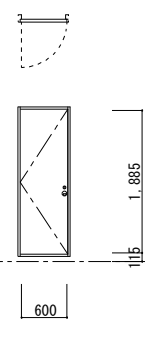
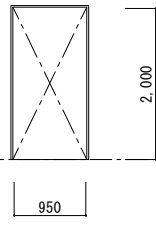
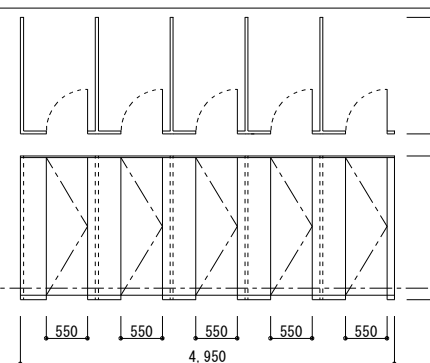
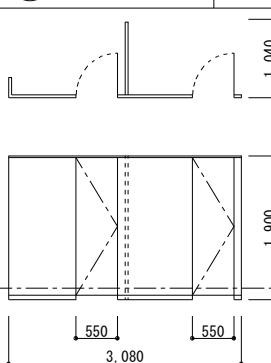
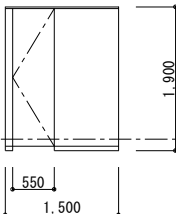
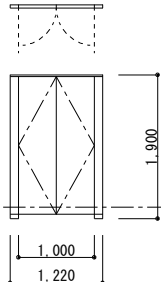
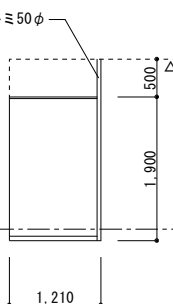
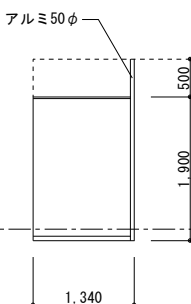
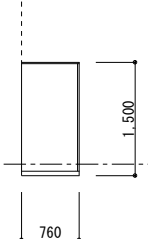
□採光補正係数

普通教室	
D/H*10-1（無指定地域） AW-1.2：26,075/9,910*10-1 = 25.31 →3.0	
少人数教室	児童クラブ
D/H*10-1（無指定地域） AW-2、AD-6（引違部）：23,835/13,510*10-1 = 16.64 →3.0 AD-6（掃出部）：23,835/（13,510+380）*10-1 = 16.16 →3.0	D/H*10-1（無指定地域） AW-12.14：6,800/13,290*10-1 = 4.11 →3.0 AW-13：6,800/（13,290+305）*10-1 = 4.00 →3.0

※採光補正係数は全て3.0

■消防無窓判定	
1階面積：317.69㎡ 318.41÷30 = 10.61㎡ AW-2：0.78×1.20×2 = 1.87㎡ AW-12：0.78×1.16×2 = 1.80㎡ AW-16：0.81×1.16×2 = 1.87㎡ AD-1：0.80×2.00 = 1.60㎡ 0.83×1.20×2 = 1.99㎡ AD-2：0.80×2.00 = 1.60㎡ 0.86×1.20×2 = 2.06㎡ AD-3：0.95×2.00 = 1.90㎡ AD-6：0.80×2.00 = 1.60㎡ 0.74×1.20 = 0.88㎡ AD-7：0.75×2.00 = 1.50㎡ 有効開口面積合計= 18.67㎡ 1階面積/30 < 有効開口面積なので消防有窓階	2～4階面積：373.32㎡ 373.32÷30 = 12.44㎡ AW-1：0.81×1.20×2×4 = 7.77㎡ AW-2：0.78×1.20×2×2 = 3.74㎡ AW-6：0.79×1.20×2×2 = 3.79㎡ 有効開口面積合計= 15.30㎡ 2～4階面積/30 < 有効開口面積なので消防有窓階

記 号	① AD	1階 児童クラブ	1カ所	② AD	1階 児童クラブ	1カ所	③ AD	1階 廊下～渡廊下	1カ所	④ AD ④A AD	1・4階 屋外階段 4A：1カ所	⑤ AD	1階 屋外収納	1カ所	⑥ AD	1階 少人数教室	1カ所	⑦ AD	1階 廊下～渡廊下	1カ所								
姿 図																												
型 式	引違戸（バリアフリー）引違窓 連窓			引違戸（バリアフリー）引違窓 連窓			3枚建て引戸 バリアフリーサッシ			片開き格子戸			片開き戸			引違戸 引違窓 連窓			引違戸 バリアフリーサッシ									
材質見込	アルミ合金押出型材 見込：70			アルミ合金押出型材 見込：70			アルミ合金押出型材 見込：120			アルミ合金押出型材 見込：70			アルミ合金押出型材 見込：70			アルミ合金押出型材 見込：70			アルミ合金押出型材 見込：105									
硝 子	透明ガラスt5.0 + A6+ Low-E5.0			透明ガラスt5.0 + A6+ Low-E5.0			透明ガラスt5.0 + A6+ Low-E5.0									透明ガラスt5.0 + A6+ Low-E5.0			透明ガラスt5.0 + A6+ Low-E5.0									
仕 上	アルミシルバー（B-1種）			アルミシルバー（B-1種）			アルミシルバー（B-1種）			アルミシルバー（B-1種）			アルミシルバー（B-1種）			アルミシルバー（B-1種）			アルミシルバー（B-1種）									
附属金物	サムターン付引戸錠、アルミ水切、戸車、アルミアングル、クレセント 指詰め防止ゴム、外れ止め、方立、他付属金物一式			サムターン付引戸錠、アルミ水切、戸車、アルミアングル、クレセント 指詰め防止ゴム、外れ止め、方立、他付属金物一式			サムターン付引戸錠、アルミ水切、戸車、アルミアングル、クレセント 指詰め防止ゴム、外れ止め、方立、他付属金物一式			SUS丁番、ドアノブ、レバーハンドル 他付属金物一式			SUS製丁番、レバーハンドル、シリンダー錠、 サムターン、SUS下枠、アルミ角材、 他付属金物一式			サムターン付引戸錠、アルミ水切、戸車、アルミアングル、クレセント 指詰め防止ゴム、外れ止め、方立、他付属金物一式			サムターン付引戸錠、アルミ水切、戸車、アルミアングル、クレセント 指詰め防止ゴム、外れ止め、方立、他付属金物一式									
備 考	[日射遮蔽型複層硝子]			[日射遮蔽型複層硝子]			[日射遮蔽型複層硝子]			鍵：4（1F）：ホテル錠 4A（4F）：シリンダー～サムターン						[日射遮蔽型複層硝子]			[日射遮蔽型複層硝子]									
記 号	① AW	2～4階 普通教室	12カ所	② AW	1～4階 少人数教室、普通教室	7カ所	③f AW	2～4階 廊下	※防火設備	3カ所	④f AW	2～4階 廊下	※防火設備	6カ所	⑤ AW	1～4階 男子トイレ	4カ所											
姿 図																												
型 式	段窓、連窓（上段：引違い窓・下段FIX）			段窓、連窓（上段：引違い窓・下段FIX）			段窓、連窓（上段：引違い窓・下段FIX）			段窓、連窓（上段：引違い窓・下段FIX）			段窓、連窓（上段：引違い窓・下段FIX）			引違い窓連窓			引違い窓連窓									
材質見込	アルミ合金押出型材 見込：70			アルミ合金押出型材 見込：70			アルミ合金押出型材 見込：70			アルミ合金押出型材 見込：70			アルミ合金押出型材 見込：70			アルミ合金押出型材 見込：70			アルミ合金押出型材 見込：70									
硝 子	透明ガラスt5.0 + A6+ Low-E5.0			透明ガラスt5.0 + A6+ Low-E5.0			網入り透明ガラスt6.8 + A6+ Low-E5.0			網入り透明ガラスt6.8 + A6+ Low-E5.0			網入り透明ガラスt6.8 + A6+ Low-E5.0			型板ガラスt4.0 + A6+ Low-E5.0			型板ガラスt4.0 + A6+ Low-E5.0									
仕 上	アルミシルバー（B-1種）			アルミシルバー（B-1種）			アルミシルバー（B-1種）			アルミシルバー（B-1種）			アルミシルバー（B-1種）			アルミシルバー（B-1種）			アルミシルバー（B-1種）									
附属金物	アルミ水切、戸車、アルミアングル、クレセント 指詰め防止ゴム、外れ止め、方立、他付属金物一式			アルミ水切、戸車、アルミアングル、クレセント 指詰め防止ゴム、外れ止め、方立、他付属金物一式			アルミ水切、戸車、アルミアングル、クレセント 外れ止め、方立、他付属金物一式			アルミ水切、戸車、アルミアングル、クレセント 外れ止め、方立、他付属金物一式			アルミ水切、戸車、アルミアングル、クレセント 外れ止め、方立、他付属金物一式			アルミ水切、戸車、アルミ額縁、クレセント 指詰め防止ゴム、外れ止め、方立、他付属金物一式			アルミ水切、戸車、アルミ額縁、クレセント 指詰め防止ゴム、外れ止め、方立、他付属金物一式									
備 考	[日射遮蔽型複層硝子]			[日射遮蔽型複層硝子]			[日射取得型複層硝子]			[日射取得型複層硝子]			[日射取得型複層硝子]			[日射遮蔽型複層硝子]			[日射遮蔽型複層硝子]									
記 号	⑥ AW	2～4階 渡廊下	3カ所	⑥f AW	2～4階 渡廊下	※防火設備	3カ所	⑦ AW	2～4階 渡廊下	3カ所	⑦f AW	2～4階 渡廊下	※防火設備	3カ所	⑧ AW	1階 廊下	1カ所	⑧f AW	2～4階 廊下	※防火設備	3カ所	⑨ AW	1階 廊下	1カ所	⑨f AW	2～4階 廊下	※防火設備	3カ所
姿 図																												
型 式	段窓、連窓（上段：引違い/FIX窓・下段FIX）			段窓、連窓（上段：引違い/FIX窓・下段FIX）			引違い窓			引違い窓			引違い窓連窓			引違い窓			引違い窓									
材質見込	アルミ合金押出型材 見込：70			アルミ合金押出型材 見込：70			アルミ合金押出型材 見込：70			アルミ合金押出型材 見込：70			アルミ合金押出型材 見込：70			アルミ合金押出型材 見込：70			アルミ合金押出型材 見込：70									
硝 子	透明ガラスt5.0 + A6+ Low-E5.0			網入り透明ガラスt6.8 + A6+ Low-E5.0			AW-7：透明ガラスt5.0 + A6+ Low-E5.0 AW-7f：網入り透明ガラスt6.8 + A6+ Low-E5.0			AW-8：透明ガラスt5.0 + A6+ Low-E5.0 AW-8f：網入り透明ガラスt6.8 + A6+ Low-E5.0			AW-9：透明ガラスt5.0 + A6+ Low-E5.0 AW-9f：網入り透明ガラスt6.8 + A6+ Low-E5.0			AW-9：透明ガラスt5.0 + A6+ Low-E5.0 AW-9f：網入り透明ガラスt6.8 + A6+ Low-E5.0			AW-9：透明ガラスt5.0 + A6+ Low-E5.0 AW-9f：網入り透明ガラスt6.8 + A6+ Low-E5.0									
仕 上	アルミシルバー（B-1種）			アルミシルバー（B-1種）			アルミシルバー（B-1種）			アルミシルバー（B-1種）			アルミシルバー（B-1種）			アルミシルバー（B-1種）			アルミシルバー（B-1種）									
附属金物	アルミ水切、戸車、アルミアングル、クレセント 指詰め防止ゴム、外れ止め、方立、他付属金物一式			アルミ水切、戸車、アルミアングル、クレセント 外れ止め、方立、他付属金物一式			アルミ水切、戸車、アルミアングル、クレセント 指詰め防止ゴム、外れ止め、他付属金物一式			アルミ水切、戸車、アルミアングル、クレセント 指詰め防止ゴム、外れ止め、方立、他付属金物一式			アルミ水切、戸車、アルミアングル、クレセント 指詰め防止ゴム、外れ止め、方立、他付属金物一式			アルミ水切、戸車、アルミアングル、クレセント 指詰め防止ゴム、外れ止め、方立、他付属金物一式			アルミ水切、戸車、アルミアングル、クレセント 指詰め防止ゴム、外れ止め、方立、他付属金物一式									
備 考	[日射遮蔽型複層硝子]			[日射取得型複層硝子]			AW-7：[日射遮蔽型複層硝子] AW-7f：[日射取得型複層硝子]			AW-8：[日射遮蔽型複層硝子] AW-8f：[日射取得型複層硝子]			AW-9：[日射遮蔽型複層硝子] AW-9f：[日射取得型複層硝子]			AW-9：[日射遮蔽型複層硝子] AW-9f：[日射取得型複層硝子]												
															一級建築士事務所 知事登録 第1-5-126号			福平小学校校舎増築その他本体工事										
															有限会社 三島建築設計事務所			図集表-1		1/100		A-30						
															一級建築士 第278466号			三島 浩幸		鹿児島市建設局建築部建築課								

記 号	10f AW 2～4階 廊下 ※防火設備	3カ所	11 AW 1～4階 男子・女子トイレ	8カ所	12 AW 1階 児童クラブ	1カ所	13 AW 1階 児童クラブ	2カ所	14 AW 1階 児童クラブ	2カ所	15 AW 1階 児童クラブトイレ	4カ所				
姿 図																
型 式	引違い窓連窓		ランマFIX 引違い窓		引違い窓連窓		引違い窓		引違い窓		内倒し窓					
材質見込	アルミ合金押出型材 見込：70		アルミ合金押出型材 見込：70		アルミ合金押出型材 見込：70		アルミ合金押出型材 見込：70		アルミ合金押出型材 見込：70		アルミ合金押出型材 見込：70					
硝 子	網入り透明ガラスt6.8 + A6+ Low-E5.0		型板ガラスt4.0 + A6+ Low-E5.0		透明ガラスt5.0 + A6+ Low-E5.0		透明ガラスt5.0 + A6+ Low-E5.0		透明ガラスt5.0 + A6+ Low-E5.0		型板ガラスt4.0 + A6+ Low-E5.0					
仕 上	アルミシルバー（B－1種）		アルミシルバー（B－1種）		アルミシルバー（B－1種）		アルミシルバー（B－1種）		アルミシルバー（B－1種）		アルミシルバー（B－1種）					
附属金物	アルミ水切、戸車、アルミアングル、クレセント 外れ止め、方立、他付属金物一式		アルミ水切、戸車、アルミ額縁、クレセント 指詰め防止ゴム、外れ止め、他付属金物一式		アルミ水切、戸車、アルミアングル、クレセント 指詰め防止ゴム、外れ止め、方立、他付属金物一式		アルミ水切、戸車、アルミアングル、クレセント 指詰め防止ゴム、外れ止め、他付属金物一式		アルミ水切、戸車、アルミアングル、クレセント 指詰め防止ゴム、外れ止め、他付属金物一式		アルミアングル、アルミ額縁 他付属金物一式					
備 考	〔日射取得型複層硝子〕		〔日射遮蔽型複層硝子〕		〔日射遮蔽型複層硝子〕		〔日射遮蔽型複層硝子〕		〔日射遮蔽型複層硝子〕		〔日射遮蔽型複層硝子〕					
記 号	16 AW 1階 児童クラブ	1カ所	1f SD 2～4階 廊下-屋外階段	3カ所	2 SD 1～4階 EPS	4カ所	3 SD 1～4階 PS	4カ所	4 SD 1～4階 PS	4カ所	5 SD 1～4階 PS	4カ所	1 SsF 1～4階 男子/女子トイレ	8カ所		
姿 図																
型 式	引違い窓連窓		片開きフラッシュ防火戸 〔特定防火設備〕 スチール溶融垂鉛メッキ鋼板 t＝1.6 枠：80 扉：40		点検口扉、片面フラッシュ扉		点検口扉、片面フラッシュ扉		点検口扉、片面フラッシュ扉		点検口扉、片面フラッシュ扉		三方枠			
材質見込	アルミ合金押出型材 見込：70				スチール溶融垂鉛メッキ鋼板 t＝1.6 枠：100 扉：40		スチール溶融垂鉛メッキ鋼板 t＝1.6 枠：100 扉：40		スチール溶融垂鉛メッキ鋼板 t＝1.6 枠：100 扉：40		スチール溶融垂鉛メッキ鋼板 t＝1.6 枠：100 扉：40		ステンレス 枠：170			
硝 子	透明ガラスt5.0 + A6+ Low-E5.0															
仕 上	アルミシルバー（B－1種）		DP塗装		SOP		SOP		SOP		SOP		ヘアーライン			
附属金物	アルミ水切、戸車、アルミアングル、クレセント 指詰め防止ゴム、外れ止め、方立、他付属金物一式		サムターン、シリンダー錠、SUS下枠 他付属金物一式		丁番、点検口錠 他附属金物一式		丁番、点検口錠 他附属金物一式		丁番、点検口錠 他附属金物一式		丁番、点検口錠 他附属金物一式		ステンレス製沓摺			
備 考	〔日射遮蔽型複層硝子〕															
記 号	1 TB 1～4階 女子トイレ	4カ所	2 TB 1～4階 男子トイレ	4カ所	3 TB 1～4階 女子トイレ	4カ所	4A TB 1～4階 男子/女子トイレ	8カ所	1 TP 1～4階 男子トイレ	4カ所	2 TP 1～4階 女子トイレ	4カ所	3 TP 1～4階 男子トイレ	4カ所		
姿 図																
型 式	トイレブース		トイレブース		SKブース		トイレパーティション		トイレパーティション		トイレパーティション					
材質見込	ペーパーコア芯材 見込：40		ペーパーコア芯材 見込：40		ペーパーコア芯材 見込：40		ペーパーコア芯材 見込：40		ペーパーコア芯材 見込：40		ペーパーコア芯材 見込：40					
硝 子																
仕 上	高圧メラミン樹脂化粧板		高圧メラミン樹脂化粧板		高圧メラミン樹脂化粧板		高圧メラミン樹脂化粧板		高圧メラミン樹脂化粧板		高圧メラミン樹脂化粧板					
附属金物	アルミ笠木、SUS巾木、アルミアールエッジ、非常開錠表示錠 自重式丁番、戸当り（兼帽子掛）、他付属金物一式		アルミ笠木、SUS巾木、アルミアールエッジ、非常開錠表示錠 自重式丁番、戸当り（兼帽子掛）、他付属金物一式		アルミ笠木、SUS巾木、アルミアールエッジ 自重式丁番、戸当り、他付属金物一式		アルミ笠木、SUS巾木、アルミ支柱、他付属金物一式		アルミ笠木、SUS巾木、アルミ支柱、他付属金物一式		アルミ笠木、SUS巾木、アルミ支柱、他付属金物一式					
備 考																
										一級建築士事務所 知事登録 第1-5-126号 有限会社 三島建築設計事務所 一級建築士 第278466号 三島 浩幸		福平小学校校舎増築その他本体工事 建具表-2 1/100 A-3 1 鹿児島市建設局建築部建築課				

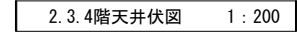




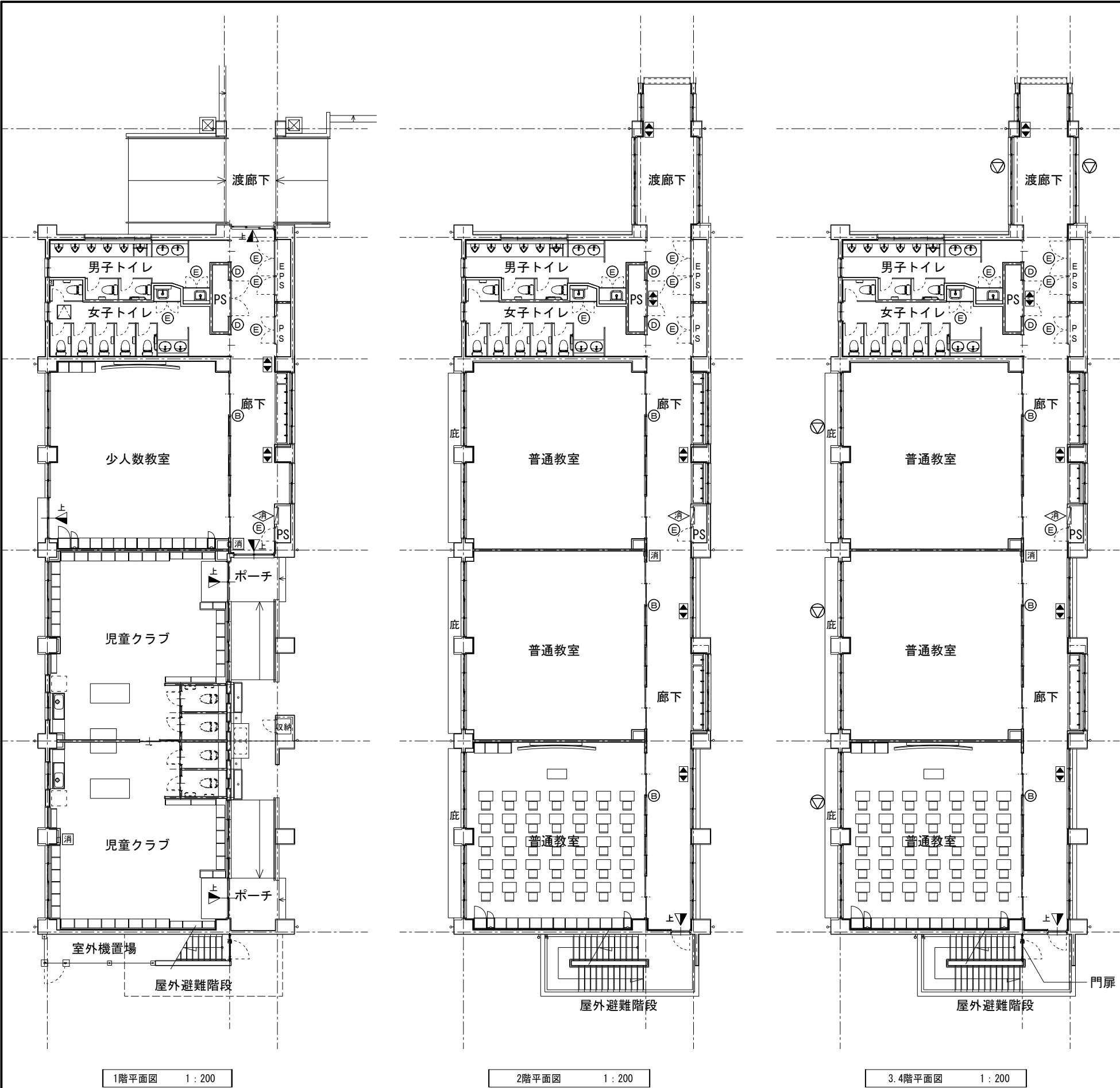
凡 例	凡 例	開口補強寸法	数 量				計
			1 階	2 階	3 階	4 階	
	室内機	900×900	6	6	6	6	24
	換気扇	300×300	14	10	10	10	44
 ①	給気口	300×300	2	6	6	6	20
 ②	給気口	300×300	2	—	—	—	2
	点検口	450×450	19	21	21	26	87

※開口補強なし  
※教室内は機械設備点検口を共有します。  
※弱電設備開口補強なし

2.3.4階天井伏図	1 : 200
------------	---------







サイン

符号	名 称	数量					備 考
		1 F	2 F	3 F	4 F	合計	
Ⓐ	室名札 面付	0	0	0	0	0	
Ⓑ	室名札 突出型	1	3	3	3	10	
Ⓒ	ピクトサイン 面付	0	0	0	0	0	
Ⓓ	ピクトサイン 突出型	2	2	2	2	8	
Ⓔ	シート切り文字サイン	6	6	6	6	24	

代替進入口

符号	名 称	数量					備 考
		1 F	2 F	3 F	4 F	合計	
⓪	片面赤色反射ステッカー (アクリル系フィルム素材)	0	0	5	5	10	
特記 一辺20cmの正三角形とする。							

避難誘導標識

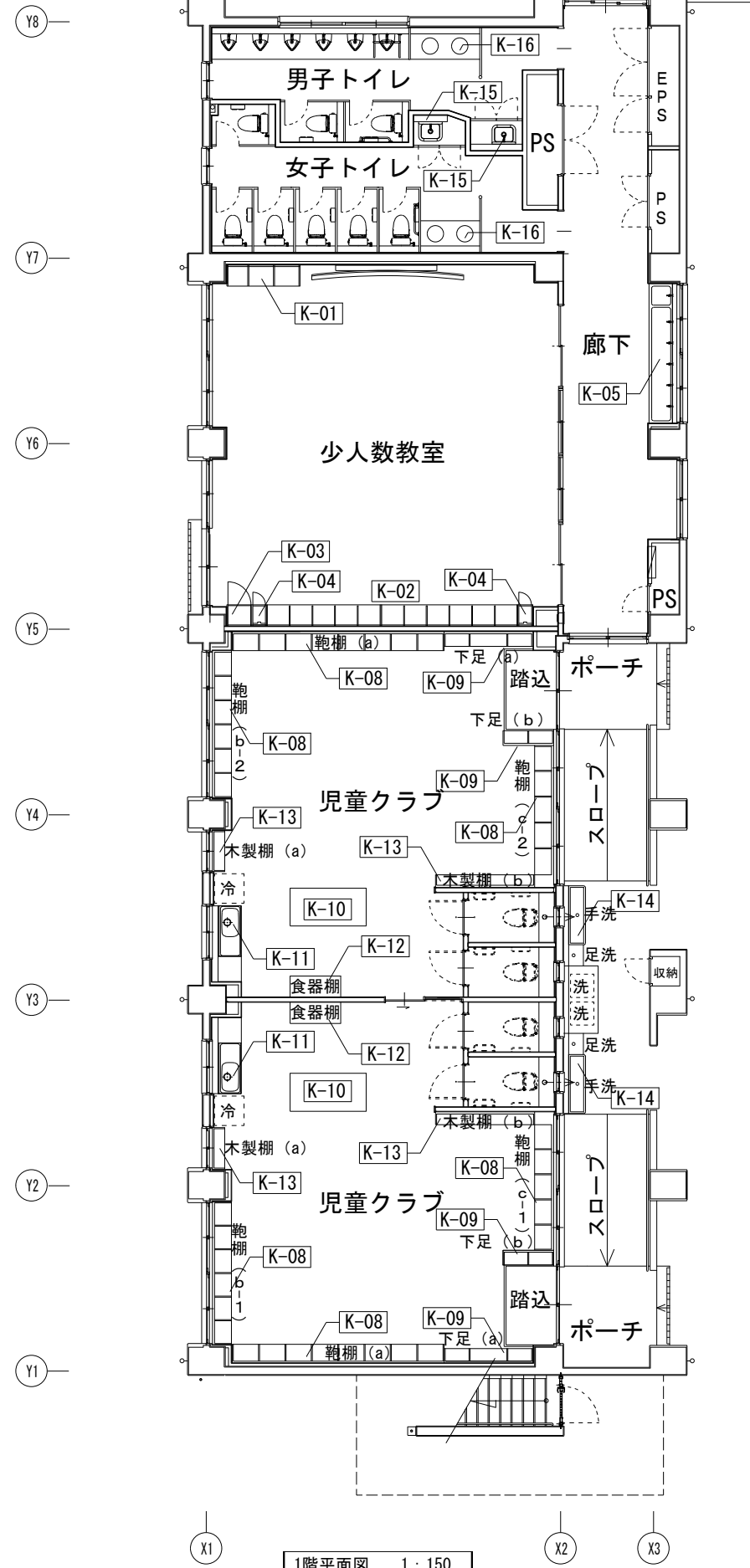
符号	名 称	数量					備 考
		1 F	2 F	3 F	4 F	合計	
▲上	避難誘導標識 (避難口用 建具上壁)	5	1	1	1	8	
◀▶	避難誘導標識 (通路用 腰壁付) ※@7.5m	2	5	5	5	17	

消火器BOX/屋内消火栓

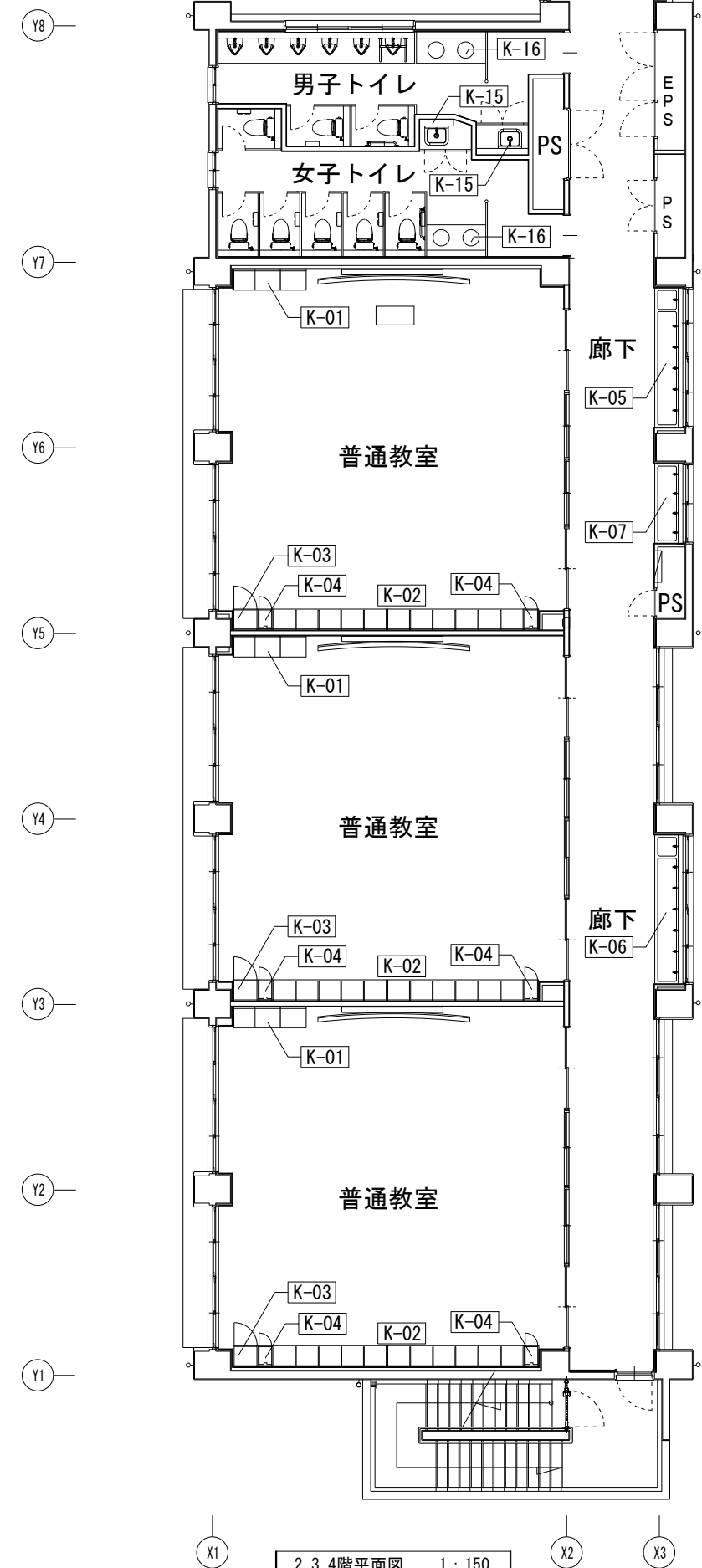
符号	名 称	数量					備 考
		1 F	2 F	3 F	4 F	合計	
消	消火器BOX (単独埋込)	2	1	1	1	5	
消	(屋内消火栓埋込) (設備工事)	1	1	1	1	4	

避難器具の考え方

項 目	数 量	根 拠
各階の収容人数 (2～4階)	M=111名	37名 (児童35名+教師2名) × 3クラス
必要個数	1個	学校M≤200までに1個
設置個数	0個	屋外避難階段設置による緩和 (避難器具必要数-1)

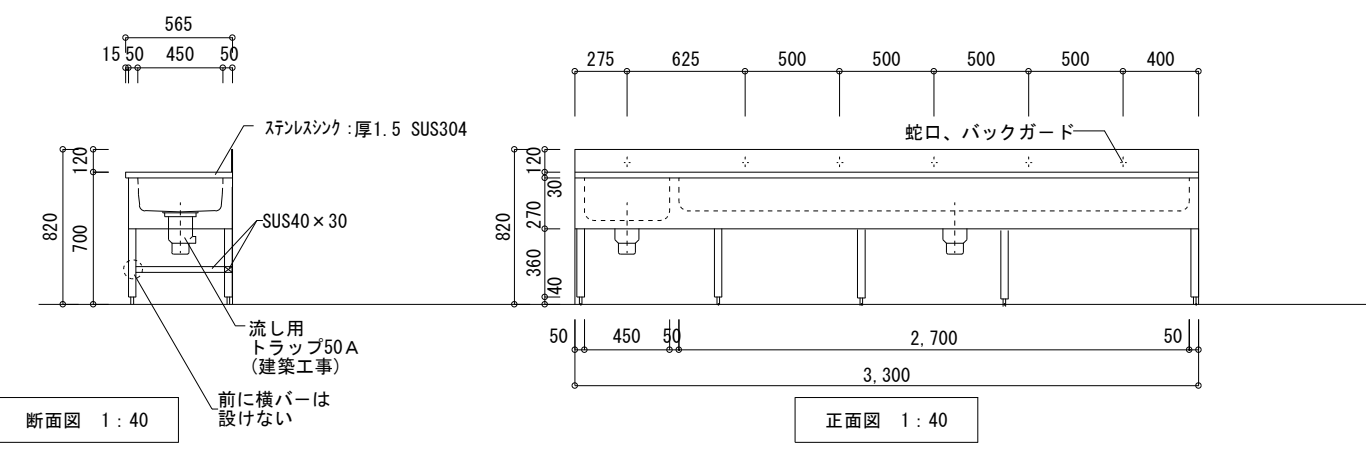
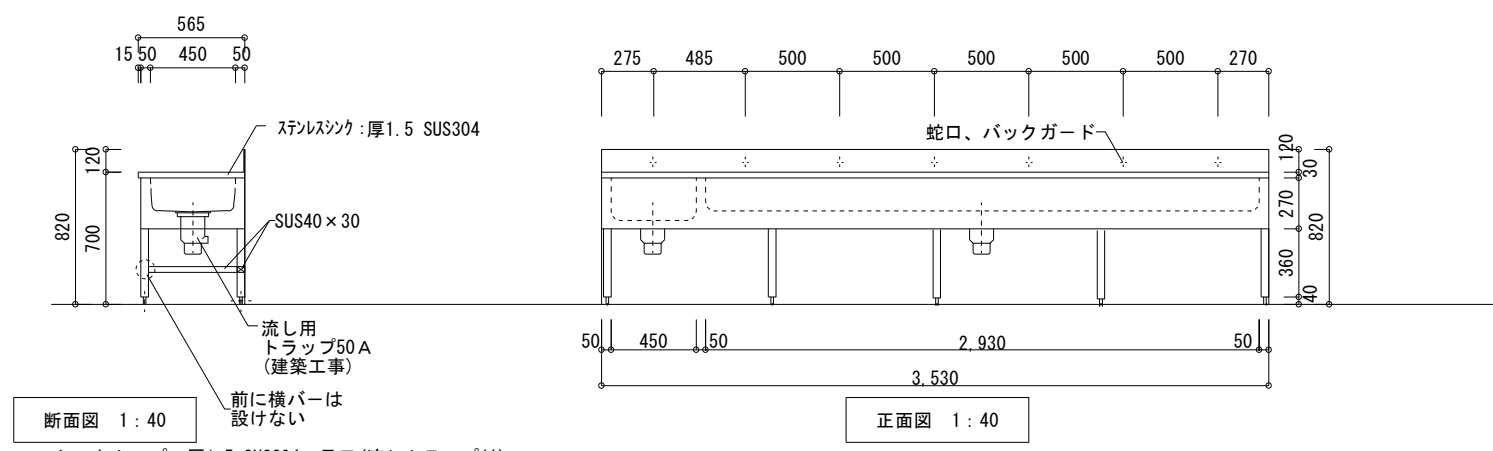
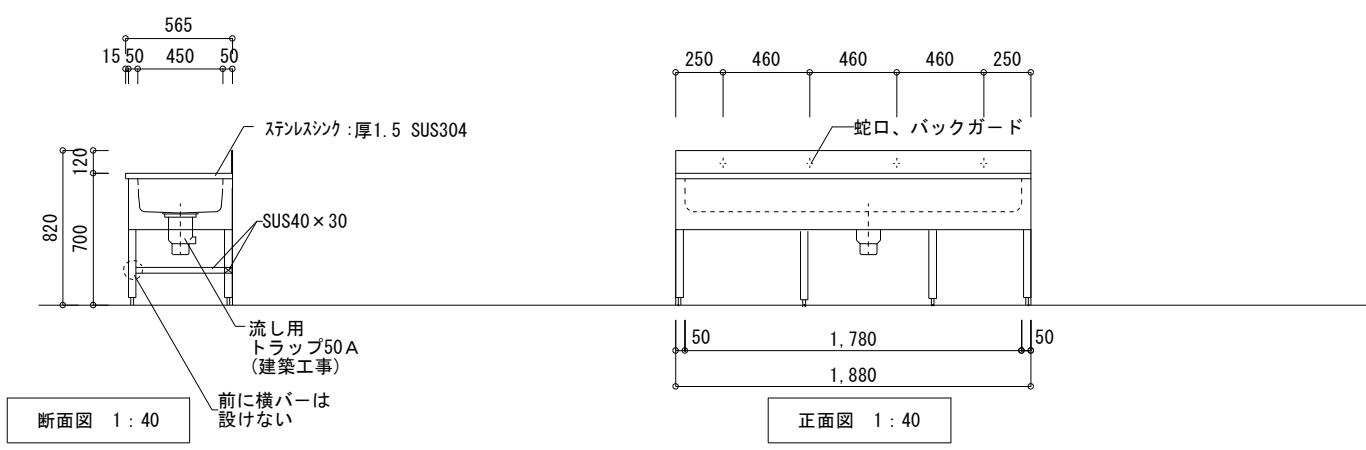
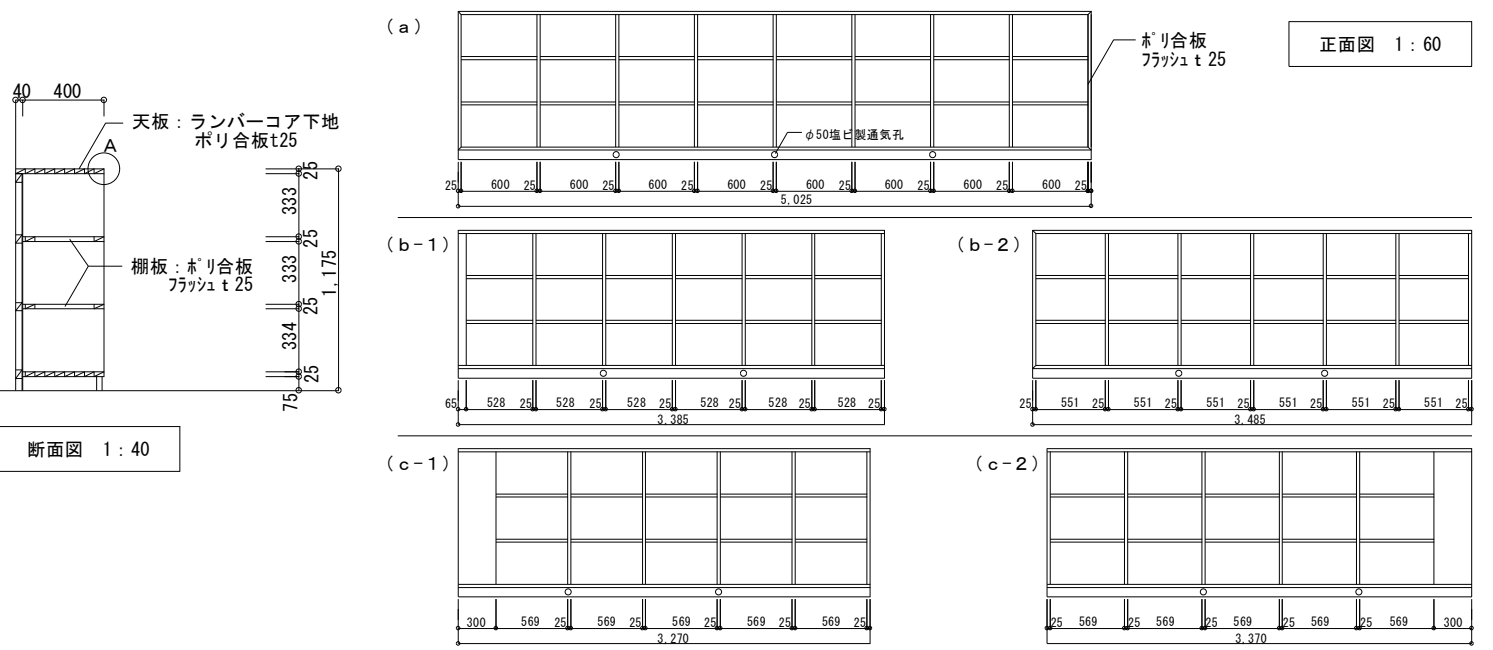
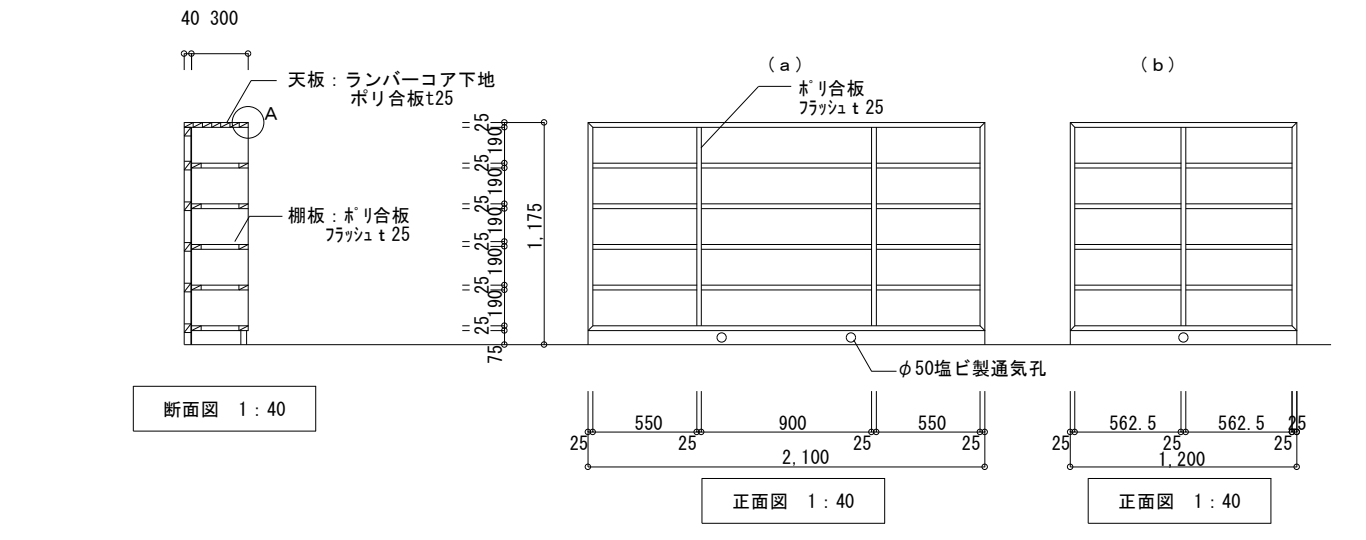
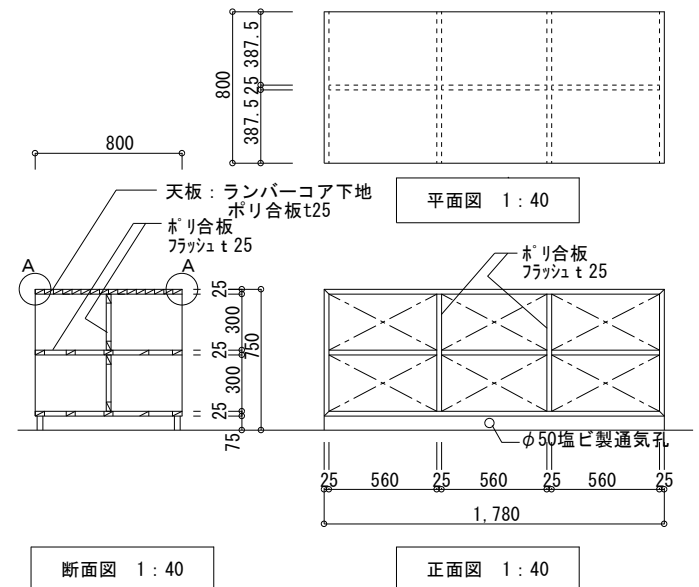
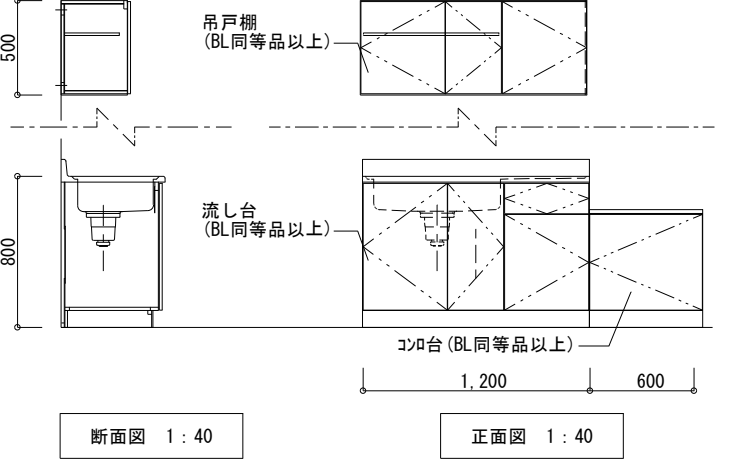


1階平面図 1 : 150



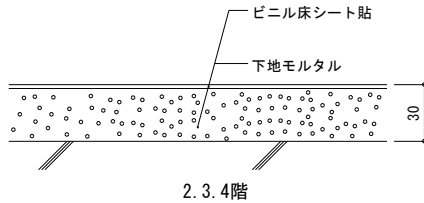
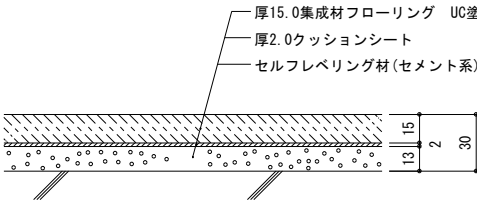
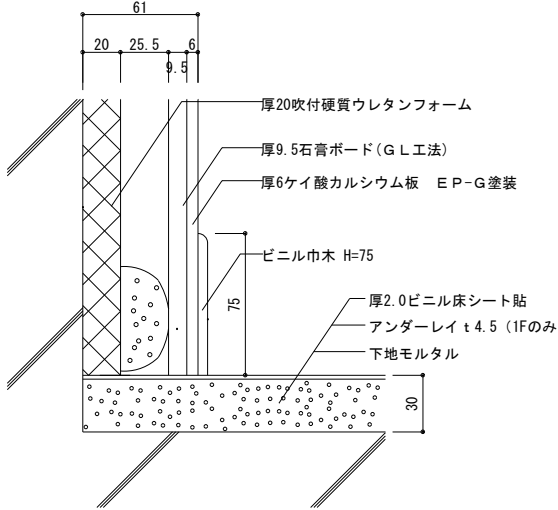
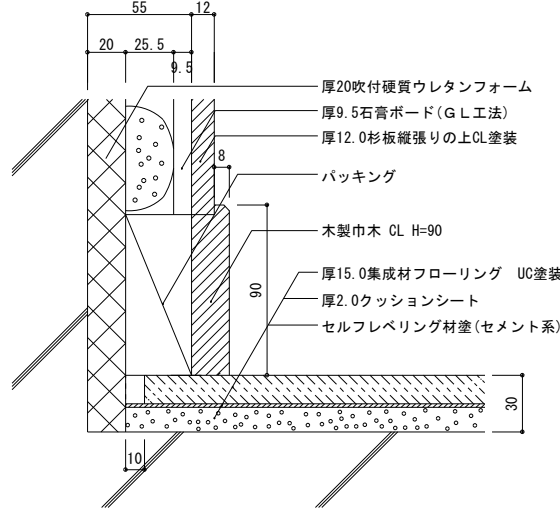
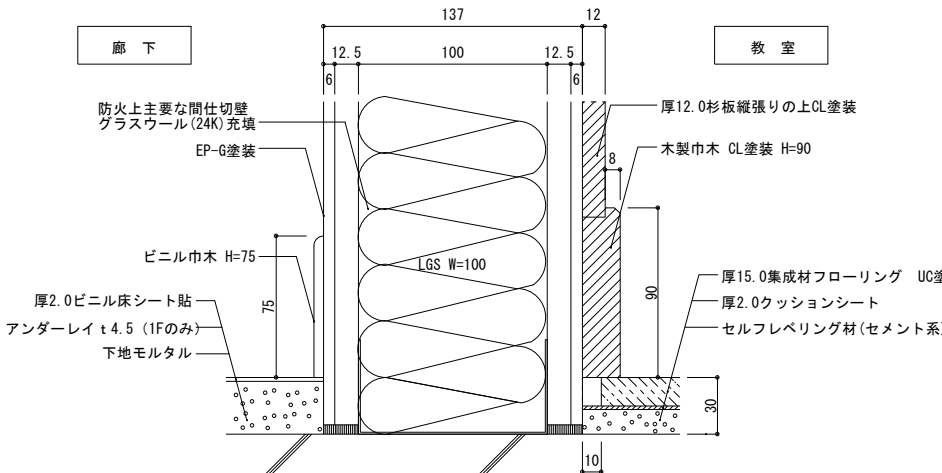
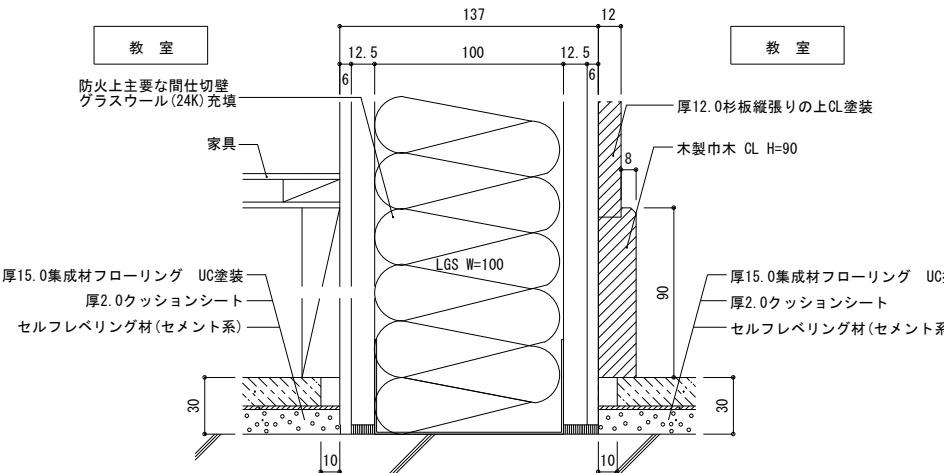
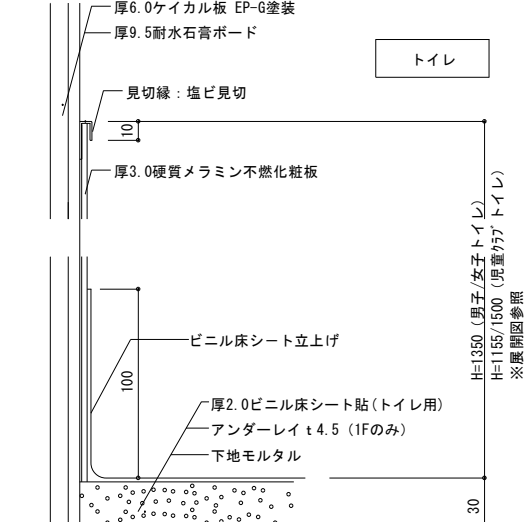
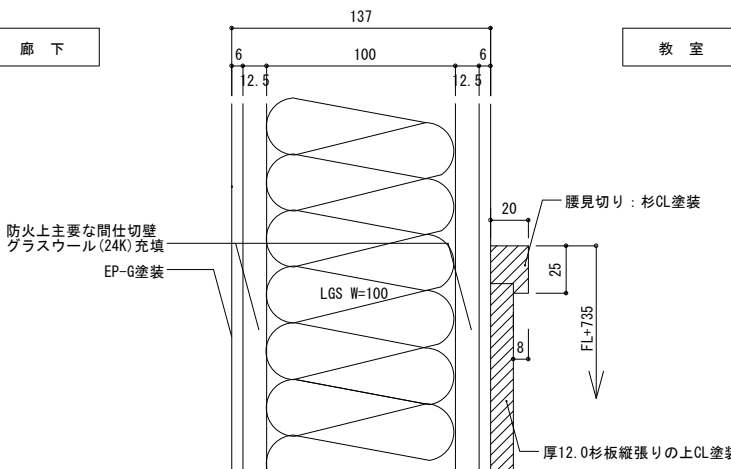
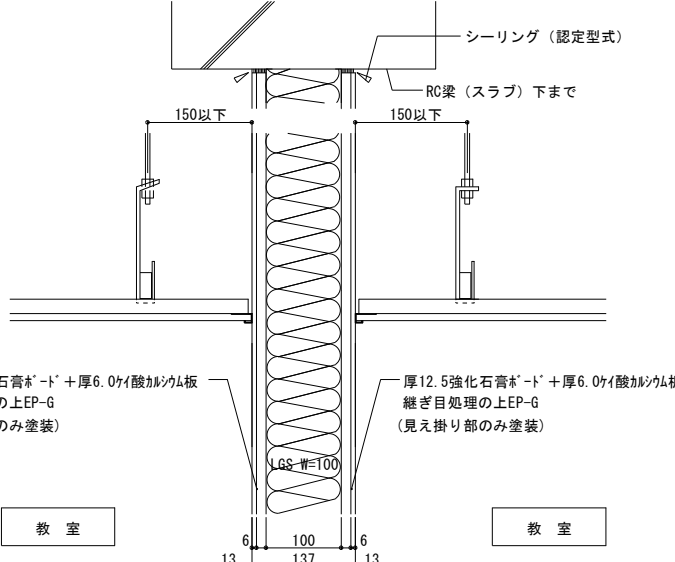
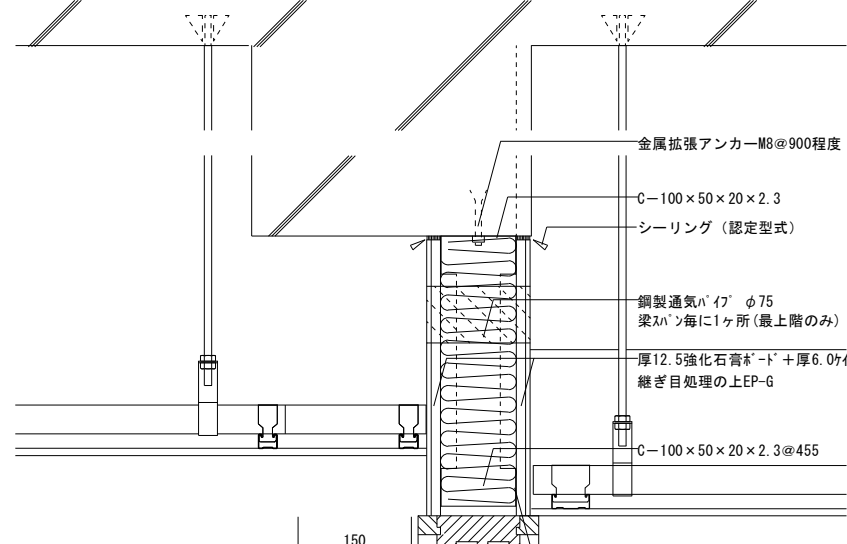
2.3.4階平面図 1 : 150

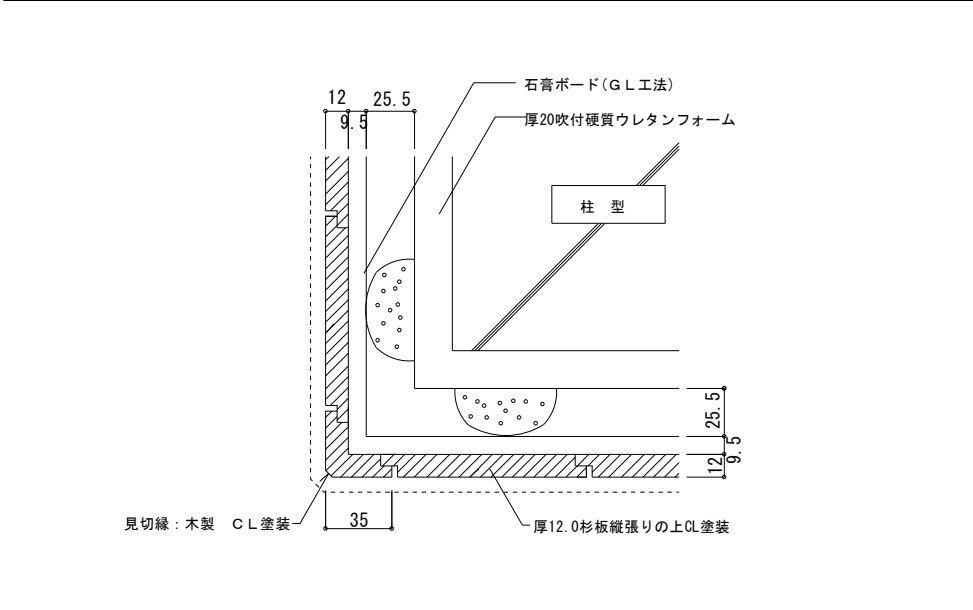
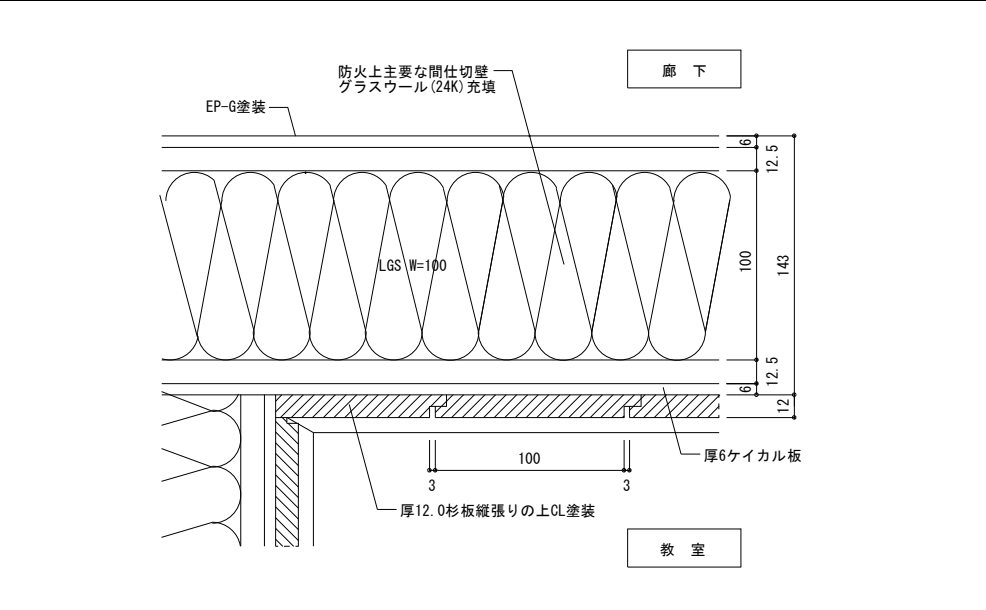
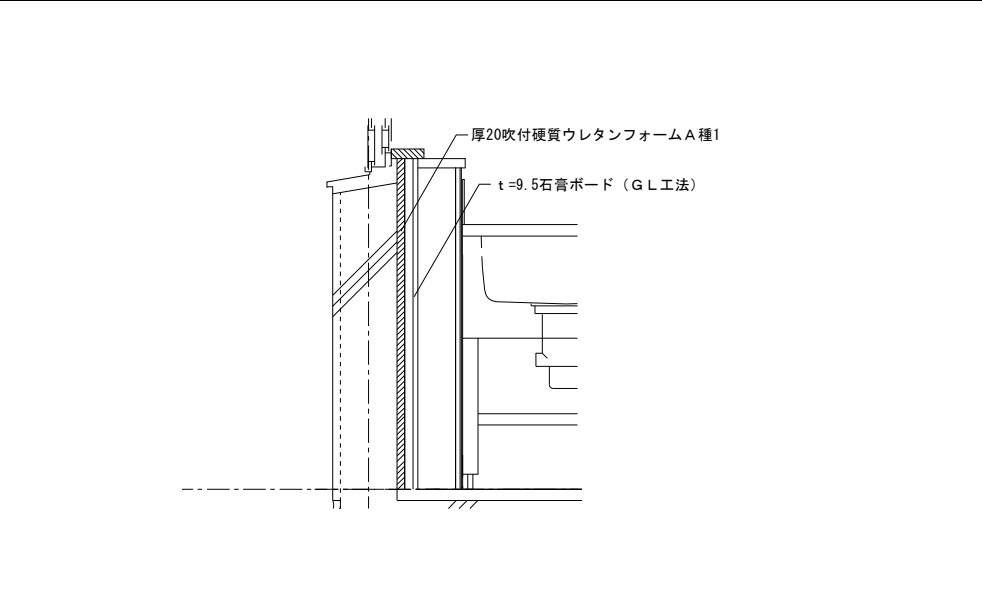
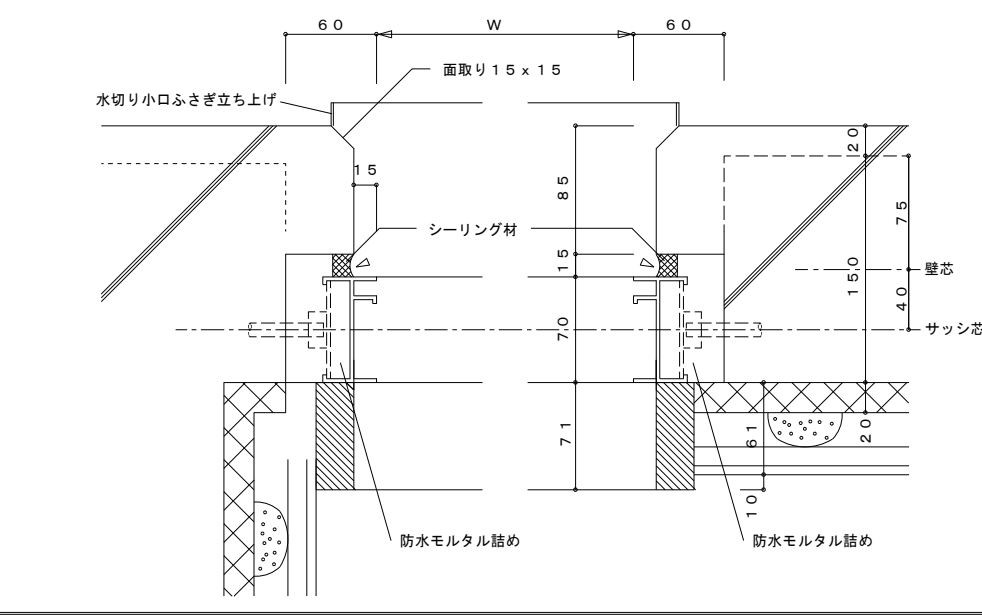
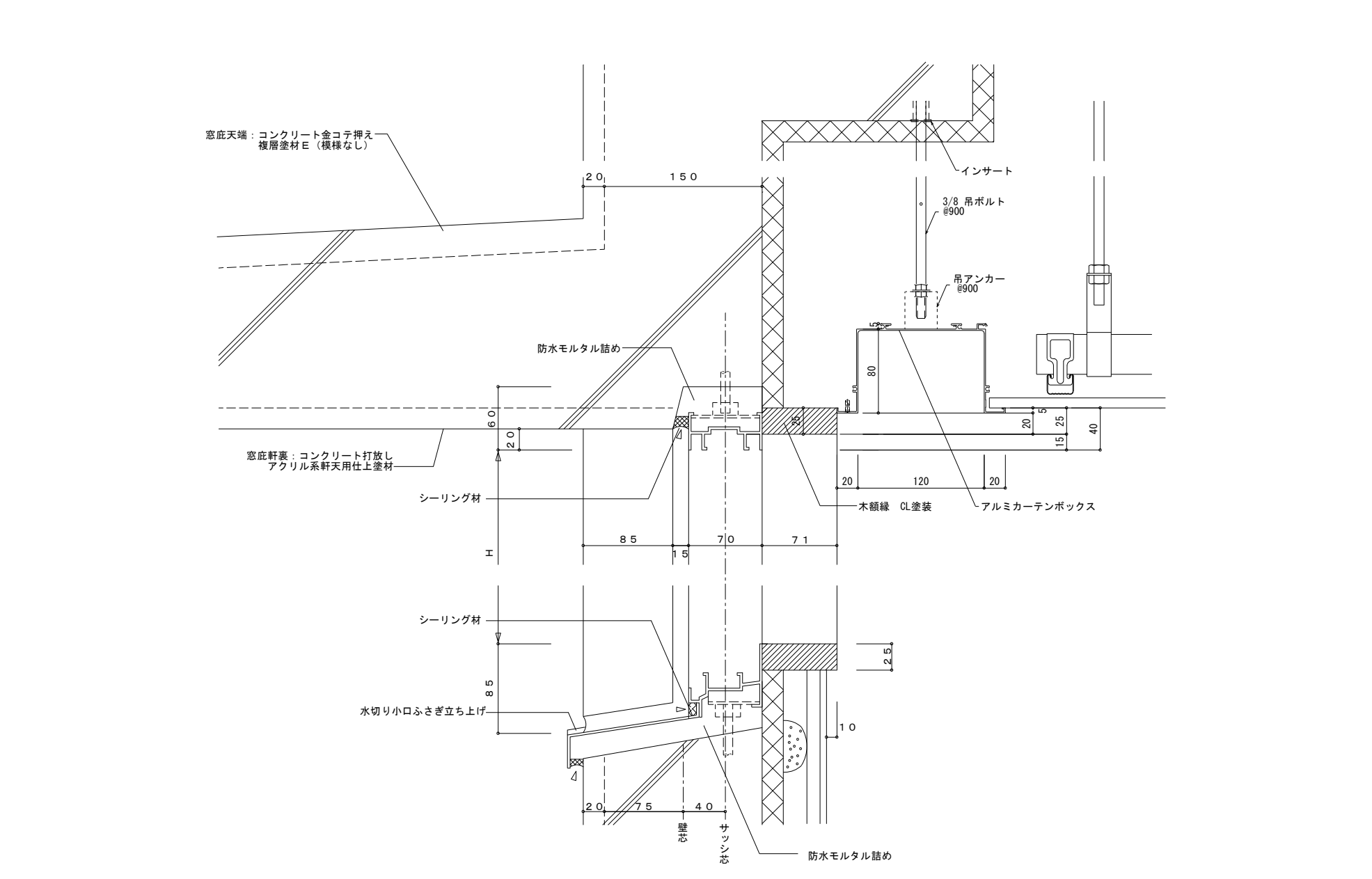
共通仕様（特記なき場合）		K-01	（少人数教室・普通教室）教師用ロッカー		10ヶ所																								
<table><tr><th>部位</th><th>仕上</th></tr><tr><td>本体 見え掛かり部</td><td>ポリ合板フラッシュ t=25</td></tr><tr><td>隠ペイ部（内部、内部棚も含む）</td><td>ポリ合板フラッシュ t=25</td></tr><tr><td>本体 天板トップ（腰棚含む）</td><td>ポリ合板フラッシュ t=25</td></tr><tr><td>棚 木口（見え掛かり部、隠ペイ部全て）</td><td>木ムク材（メルサワ）t=6 CL 面取り</td></tr><tr><td>扉 フラッシュ戸</td><td>ポリ合板フラッシュ t=20</td></tr><tr><td>カマチ付ガラス戸</td><td>アクリル板 t 4mm、戸車付</td></tr><tr><td></td><td>戸カマチ ポリ合板、木口 メラミン化粧板張り</td></tr><tr><td>ガラス戸</td><td>特記以外アクリル板 t 4mm、戸車付</td></tr><tr><td></td><td>アルミハカマ、アルミVレール付</td></tr><tr><td>棚板 見え掛かり部</td><td>ポリ合板フラッシュ t=25</td></tr><tr><td>巾木</td><td>ポリ合板</td></tr></table>		部位	仕上	本体 見え掛かり部	ポリ合板フラッシュ t=25	隠ペイ部（内部、内部棚も含む）	ポリ合板フラッシュ t=25	本体 天板トップ（腰棚含む）	ポリ合板フラッシュ t=25	棚 木口（見え掛かり部、隠ペイ部全て）	木ムク材（メルサワ）t=6 CL 面取り	扉 フラッシュ戸	ポリ合板フラッシュ t=20	カマチ付ガラス戸	アクリル板 t 4mm、戸車付		戸カマチ ポリ合板、木口 メラミン化粧板張り	ガラス戸	特記以外アクリル板 t 4mm、戸車付		アルミハカマ、アルミVレール付	棚板 見え掛かり部	ポリ合板フラッシュ t=25	巾木	ポリ合板	<div>特記</div> <div>1. 家具幅木にはφ50塩ビ製通気孔（防虫網付き）を@1000で設置すること。 家具通気孔も同仕様とする。</div> <div>2. 記載商品名同等以上とする。</div> <div>3. 洗面カウンター等の巾木は70程度控えること。</div> <div>4. 棚板は特記以外可動棚とする（SUS棚柱 埋め込み）</div> <div>5. 図面に特記なきものは全て1台とする。</div> <div>6. 集成材はナラ程度とする。</div> <div>7. 倉庫棚の木材は『認証かごしま材』とする。</div> <div>8. 流し台等の排水目皿は、本工事とする。</div> <div>9. 家具図面は全て参考図とする。</div> <div>10. 棚木口木ムク材仕様（図中○A部分）は下図による。</div> <div><div></div><div>木ムク材（メルサワ）t=6 面取り CL塗装</div></div> <div><div></div><div>断面図 1：40</div></div> <div><div></div><div>正面図 1：40</div></div> <div>引違フラッシュ戸、引手、戸車、アルミレール、差込栓鍵</div>			
部位	仕上																												
本体 見え掛かり部	ポリ合板フラッシュ t=25																												
隠ペイ部（内部、内部棚も含む）	ポリ合板フラッシュ t=25																												
本体 天板トップ（腰棚含む）	ポリ合板フラッシュ t=25																												
棚 木口（見え掛かり部、隠ペイ部全て）	木ムク材（メルサワ）t=6 CL 面取り																												
扉 フラッシュ戸	ポリ合板フラッシュ t=20																												
カマチ付ガラス戸	アクリル板 t 4mm、戸車付																												
	戸カマチ ポリ合板、木口 メラミン化粧板張り																												
ガラス戸	特記以外アクリル板 t 4mm、戸車付																												
	アルミハカマ、アルミVレール付																												
棚板 見え掛かり部	ポリ合板フラッシュ t=25																												
巾木	ポリ合板																												
K-02		（少人数教室・普通教室）児童用ロッカー			10ヶ所																								
<div></div> <div>断面図 1：40</div>		<div></div> <div>正面図 1：40</div>																											
片開きフラッシュ戸、取手（裏まで貫通）、丁番（2個）、マグネットキャッチ（金属ケース）、アームストッパー（扉側貫通ボルト止め）、コート掛（Z-10ダイカスト製 同等品）両サイド3本 正面4本 計10本		コート掛け（ダイカスト製）参考図 1/5																											
K-03		（少人数教室・普通教室）掃除具入れ	10ヶ所	K-04	（少人数教室・普通教室）タブレット充電棚	20ヶ所																							
<div></div> <div>断面図 1：40</div>		<div></div> <div>正面図 1：40</div>																											
取手（裏まで貫通）、丁番（3個）、マグネットキャッチ（2カ所、金属ケース）、アームストッパー（扉側貫通ボルト止め）		<div></div> <div>正面図 1：30</div>																											
		<div></div> <div>断面図 1：30</div>																											
		※電源工事前開口は設備工事と調整の上決定すること。																											
		<div><table><tr><td>一級建築士事務所 知事登録 第1-5-126号</td><td colspan="2">福平小学校校舎増築その他本体工事</td></tr><tr><td>有限会社 三島建築設計事務所</td><td>家具詳細図-1</td><td>1/40他</td></tr><tr><td>一級建築士 第278466号 三島 浩幸</td><td colspan="2">A-36</td></tr><tr><td></td><td colspan="2">鹿児島市建設局建築部建築課</td></tr></table></div>				一級建築士事務所 知事登録 第1-5-126号	福平小学校校舎増築その他本体工事		有限会社 三島建築設計事務所	家具詳細図-1	1/40他	一級建築士 第278466号 三島 浩幸	A-36			鹿児島市建設局建築部建築課													
一級建築士事務所 知事登録 第1-5-126号	福平小学校校舎増築その他本体工事																												
有限会社 三島建築設計事務所	家具詳細図-1	1/40他																											
一級建築士 第278466号 三島 浩幸	A-36																												
	鹿児島市建設局建築部建築課																												

K-05	(廊下) 1階～4階 流し台 (Y6-Y7)	4ヶ所	K-06	(廊下) 2階～4階 流し台 (Y3-Y4)	3ヶ所					
 <p>断面図 1:40</p> <p>正面図 1:40</p> <p>シンクトップ: 厚1.5 SUS304、目皿(流しトラップ付)、流し裏: 厚20発泡ウレタン裏打ち ※トラップは建築工事とする(ステンレス製流し用トラップ50A、水封50mm以上)</p>			 <p>断面図 1:40</p> <p>正面図 1:40</p> <p>シンクトップ: 厚1.5 SUS304、目皿(流しトラップ付) 流し裏: 厚20発泡ウレタン裏打ち ※トラップは建築工事とする(ステンレス製流し用トラップ50A、水封50mm以上)</p>							
K-07	(廊下) 2階～4階 流し台 (Y5-Y6)	3ヶ所	K-08	(児童クラブ) 靴棚 (a) (b) (c)	a: 2ヶ所 b-1: 1ヶ所 b-2: 1ヶ所 c-1: 1ヶ所 c-2: 1ヶ所					
 <p>断面図 1:40</p> <p>正面図 1:40</p> <p>シンクトップ: 厚1.5 SUS304、目皿(流しトラップ付)、流し裏: 厚20発泡ウレタン裏打ち ※トラップは建築工事とする(ステンレス製流し用トラップ50A、水封50mm以上)</p>			 <p>断面図 1:40</p> <p>正面図 1:60</p>							
K-09	(児童クラブ) 下足入れ (a) (b)	a: 2ヶ所 b: 2ヶ所	K-10	(児童クラブ) 配膳台	2ヶ所					
 <p>断面図 1:40</p> <p>正面図 1:40</p>			 <p>断面図 1:40</p> <p>正面図 1:40</p>							
			K-11	(児童クラブ) 流し台・コンロ台・吊戸棚	2ヶ所					
			 <p>断面図 1:40</p> <p>正面図 1:40</p>							
			<table><tr><td colspan="2">一級建築士事務所 知事登録 第1-5-126号 有限会社 三島建築設計事務所 一級建築士 第278466号 三島 浩幸</td><td colspan="2">福平小学校校舎増築その他本体工事 家具詳細図-2 鹿児島市建設局建築部建築課</td><td>1/40他 A-37</td></tr></table>			一級建築士事務所 知事登録 第1-5-126号 有限会社 三島建築設計事務所 一級建築士 第278466号 三島 浩幸		福平小学校校舎増築その他本体工事 家具詳細図-2 鹿児島市建設局建築部建築課		1/40他 A-37
一級建築士事務所 知事登録 第1-5-126号 有限会社 三島建築設計事務所 一級建築士 第278466号 三島 浩幸		福平小学校校舎増築その他本体工事 家具詳細図-2 鹿児島市建設局建築部建築課		1/40他 A-37						

K-12	(児童クラブ) 食器棚	2ヶ所	K-13 (児童クラブ) 木製棚 (a) (b)	a : 2ヶ所 b : 2ヶ所
	<p>※見え掛り部は全てCL塗装とする。</p> <p>厚377mm</p> <p>ホリ合板フラッシュ t 25</p> <p>1,200</p> <p>1,900</p> <p>1,000</p> <p>470</p> <p>30</p> <p>795</p> <p>585</p> <p>30</p> <p>75</p> <p>100</p> <p>300</p> <p>引違ホリ合板フラッシュ t 25</p> <p>引違ホリ合板フラッシュ t 25</p> <p>ホリ合板フラッシュ t 25</p> <p>天板: ランバーコア下地 ポリ合板 t25</p> <p>転倒防止金具 (2ヶ所)</p> <p>ホリ合板フラッシュ t 25</p> <p>ステンレスホ</p> <p>ホリ合板フラッシュ t 25</p> <p>φ50塩ビ製通気孔</p> <p>正面図 1 : 40</p> <p>断面図 1 : 40</p>		<p>40</p> <p>250</p> <p>天板: ランバーコア下地 ポリ合板 t25</p> <p>ホリ合板フラッシュ t 25</p> <p>ホリ合板フラッシュ t 25</p> <p>φ50塩ビ製通気孔</p> <p>断面図 1 : 40</p> <p>正面図 1 : 40</p> <p>正面図 1 : 40</p>	
K-14	(児童クラブ) 手洗流し台	2ヶ所	K-15 (トイレ掃除流しSK) 棚板・掃除用具フック	8ヶ所
	<p>400</p> <p>15</p> <p>50</p> <p>285</p> <p>50</p> <p>770</p> <p>120</p> <p>650</p> <p>ステンレスシンク: 厚1.5 SUS304</p> <p>SUS40 × 30</p> <p>流し用 トラップ50A (建築工事)</p> <p>前に横バーは 設けない</p> <p>断面図 1 : 40</p> <p>シンクトップ: 厚1.5 SUS304、目皿 (流しトラップ付)、流し裏: 厚20発泡ウレタ裏打ち</p> <p>※トラップは建築工事とする (ステンレス製流し用トラップ50A、水封50mm以上)</p> <p>正面図 1 : 40</p>		<p>掃除用具フック</p> <p>棚板</p> <p>棚板: 厚25 メラミン化粧板</p> <p>L型受け金物: ステンレス</p> <p>掃除用具フック</p> <p>※取付位置は、監督員との協議による。</p> <p>300</p> <p>150</p> <p>1,450</p> <p>500</p> <p>パイプブラケット</p> <p>SUS製 S字フック</p> <p>SUSパイプ φ32</p> <p>φ32</p> <p>SUS製 S字フック × 5</p> <p>掃除用具入フック詳細図 S=1/20</p> <p>正面図 1 : 40</p> <p>断面図 1 : 40</p>	
K-16	(男子/女子トイレ) 手洗カウンター	男子: 4ヶ所/女子: 4ヶ所		
	<p>鏡 (別途)</p> <p>面台: メラミンポストフォーム t 19</p> <p>メラミンポストフォームカウンター</p> <p>700</p> <p>600</p> <p>850</p> <p>150</p> <p>厚3.0メラミン不燃化粧板 (目透かし部: シーリング) t=12耐水合板 LGS W=100</p> <p>断面図 1 : 20</p>		<p>W</p> <p>男子: 1650</p> <p>女子: 1400</p> <p>600</p> <p>断面図 1 : 20</p>	



A-1	ビニル床シート貼	1/4	A-2	集成材フローリング張	1/4	A-3	ビニル巾木(外壁側)	1/4	A-4	木製巾木(外壁側)	1/4						
																	
			厚15.0集成材フローリング：単層フローリングボード(集成材)厚15.0mm(かば)とする。														
			UC塗装：シーラー1回塗りの上リキリ系が7-2回塗とする。														
A-5	ビニル巾木及び木製巾木(廊下-教室間)			1/4	A-6	木製巾木(教室-教室間)			1/4	A-7	ビニル床シート立上げ～見切縁：塩ビ見切(トイレ)		1/4				
																	
A-8	杉板張り腰壁(廊下-教室間)			1/4	A-9	防火上主要な間仕切壁(教室-教室間：天井面)			1/10	A-10	防火上主要な間仕切壁(廊下-教室間：天井面)		1/10				
				<p>※主要間仕切壁の仕様は、認定書の構造方法等による。(メーカー仕様)</p> 													
<p>一級建築士事務所 知事登録 第1-5-126号</p> <p>有限会社 三島建築設計事務所</p> <p>一級建築士 第278466号</p> <p>三島 浩幸</p>										<p>福平小学校校舎増築その他本体工事</p> <table><tr><td>部分詳細図-A</td><td>1/4他</td><td rowspan="2">A-39</td></tr><tr><td colspan="2">鹿児島市建設局建築部建築課</td></tr></table>			部分詳細図-A	1/4他	A-39	鹿児島市建設局建築部建築課	
部分詳細図-A	1/4他	A-39															
鹿児島市建設局建築部建築課																	

B-1	柱型面 腰壁出隅見切縁：平面	1/4	B-2	腰壁(入隅)：平面	1/4	B-3	外壁に面する面台・家具び内部納まり	1/20
								
B-4	アルミサッシ納まり（断面）	1/5	B-5	アルミサッシ納まり（平面）	1/5			
								
						<div>一級建築士事務所 知事登録 第1-5-126号</div> <div>有限会社 三島建築設計事務所</div> <div>一級建築士 第 278466 号</div> <div>三島 浩幸</div>		
						福平小学校校舎増築その他本体工事		
						部分詳細図-B		1/4他
						鹿児島市建設局建築部建築課		
						A-40		

C-1天井見切縁(突付け目地)1/4

C-2天井(一般部)1/4

C-3天井開口補強1/30

C-4天井点検口(平面)1/30

C-5天井下地仕様1/50

	吊りボルト 12φ(屋外) 9φ(屋内)	野縁(バ-)受 亜鉛鉄板厚 1.6(屋外) 1.2(屋内)	ダクトバ-(W) 亜鉛鉄板厚 0.8(屋外) 0.5(屋内)	シングルバ-(S) 亜鉛鉄板厚 0.8(屋外) 0.5(屋内)	仕上材
捨張り用	@900以下	@900以下	1方向のみ @1,800	@300	岩綿吸音板
目地割 900×900			X、Y方向共 @900	@300	石膏ボード、石綿板、 フレキシブル板
目地割 900×1,800			X方向@1,800 Y方向@900	@300	ケイカル板、目地鉄共
直張り用			1方向のみ @300	@225	岩綿吸音板
吹付下地			X、Y方向共 目地当り	@300 @225※	ジョイントボード張

注) 1.ピッチ寸法は全て以内とする。  
2.ダクト等で吊ボルト@900以上とする場合は、ダクト下に吊ボルト受けの補強材を入れること。  
3.天井面は水平加速度0.6Gに耐える様に壁際及び天井面の補強を施すこと。  
4.外装天井の場合、耐風圧強度は±200kg/m<sup>2</sup>とし、プレース、圧縮材にて補強すること。  
5.金属板天井材の締結には、ステンレス製ビス(φ200以内)を使用する。  
6.異種金属と接する部分には、ジंकロメートル錆び止めペイント塗布のこと。

C-6面台：メラミンポストフォーム1/30

設置場所	数量	D	W	H
男子トイレ洗面	4	150	1650	850
男子トイレ小便器	4	150	4665	1370
男子トイレSK	1	150	800	1370
女子トイレ洗面	4	150	1400	850
女子トイレSK	1	150	1230	1370
廊下流し洗面Y6～Y7	4	130	3300	900
廊下流し洗面Y5～Y6	3	130	1880	900
廊下流し洗面Y3～Y4	3	130	3530	900
児童クラブトイレ便器	4	150	1170	1175
児童クラブ流し/コンロ台	2	150	1800	1175

C-7掲示板1/10

- ・表面 難燃性表面材(掲示クロス)貼り
- 下地 ヴィンール t5.5
- ・枠: 木製 防腐防蟻材塗 CL塗装 面取りをする
- ・板の接着剤はJIS S6040 4種合成ゴム系接着剤

C-8天井裏換気口・ビット換気孔1/10

※・外部:SUS製フラット型フード付ガラリ  
・内部:φ100VP管 エルボ  
・変成シリコン系シーリング(MS-2)

C-9オーバーフロー管1/10

C-10消火器BOX納まり標準図1/20

※ナカ工業㈱:NHED-FC1 同等品以上とする。

C-11EXP.J(クリアランスw200)1/30

C-12ステンレス丸環1/6

D-1室名札ピクトサイン1/10

室名札面付型

仕様	材質	仕上
平付型	表示ケース：アクリル樹脂（透明） 表示板：塩ビ（乳白） 1.0mm 支持具：アルミ（シルバー）	文字無し

室名札突出型

仕様	材質	仕上
突出型	表示ケース：アクリル樹脂（透明） 表示板：塩ビ（乳白） 1.0mm 支持具：アルミ（シルバー）	文字無し

ピクトサイン面付型

取付場所は監督員の指示により決定のこと。

ピクトサインカッティングシートについては監督員の指示により決定のこと。

ピクトサイン突出型

正面図

平面図

シート切文字

D-4ピット内タラップ1/20

※・SUS304  
・ピット：3段

断面図

※杉田エース ローレット93Aタイプ同等品以上とする

平面図

D-5WP（学校間仕切）出入口部断面詳細図1/10

参考図

レール：ステンレスM型フラットレール、アルミY型溝レール、  
戸車：非脱輪仕様 枠：ステンレス、車：樹脂性戸車  
※枠取付は溶接固定とする。 ※木部は全てCL塗装とする。

一級建築士事務所 知事登録 第1-5-126号  
有限会社三島建築設計事務所  
一級建築士 第278466号  
三島 浩幸

福平小学校校舎増築その他本体工事  
部分詳細図-D 1/10他  
鹿児島市建設局建築部建築課

A-42

D-6WP（学校間仕切）出入口部断面詳細図1/10

参考図

一級建築士事務所 知事登録 第1-5-126号  
有限会社三島建築設計事務所  
一級建築士 第278466号  
三島 浩幸

福平小学校校舎増築その他本体工事  
部分詳細図-D 1/10他  
鹿児島市建設局建築部建築課

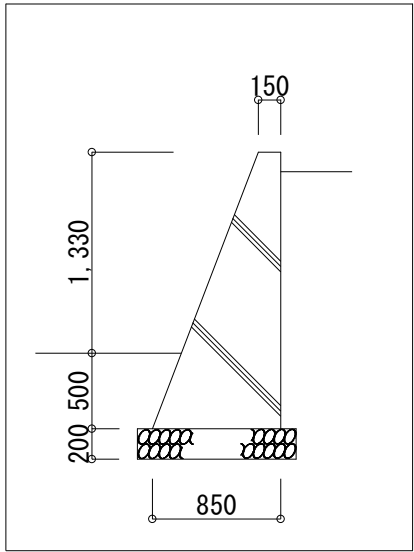
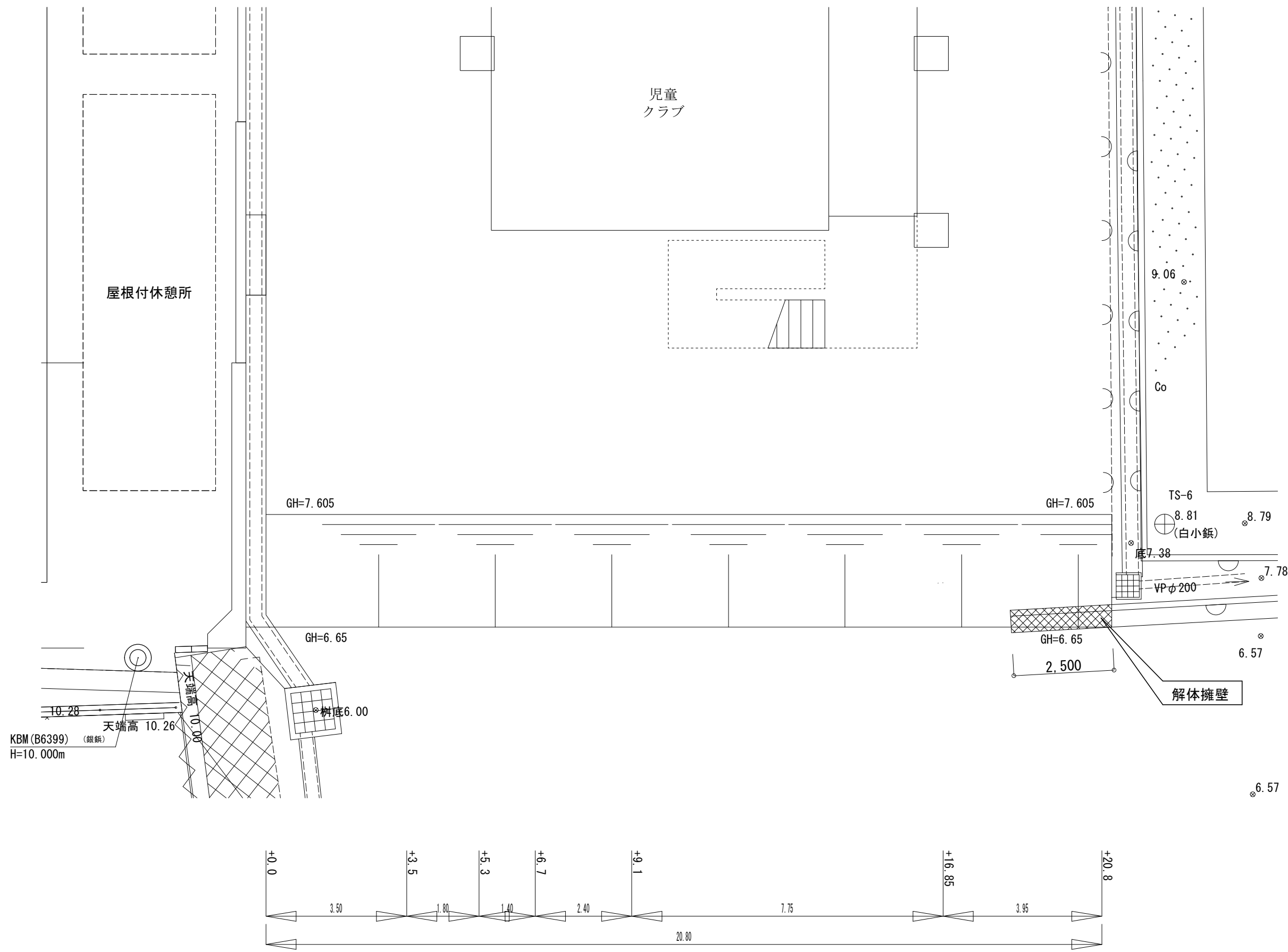
A-42

<div><div>E-1UD曲面黑板</div><div>1/10</div><div><div>参考図</div><div></div></div></div>	<div><div>E-2床下点検口</div><div>1/20他</div><div><div>参考図</div><div></div></div></div>	<div><div>E-3児童クラブ外部手洗</div><div>1/10</div><div></div></div>	<div><div>E-4児童クラブ外部足洗</div><div>1/10</div><div></div></div>	<div><div>E-5児童クラブ洗濯機置場</div><div>1/10</div><div></div><div><div>一級建築士事務所 知事登録 第1-5-126号</div><div>有限会社 三島建築設計事務所</div><div>一級建築士 第278466号 三島 浩幸</div><div>福平小学校校舎増築その他本体工事</div><div>部分詳細図-E 1/10他</div><div>鹿児島市建設局建築部建築課</div><div>A-43</div></div></div>
--	--	--	--	--





現況平面図 S=1:100

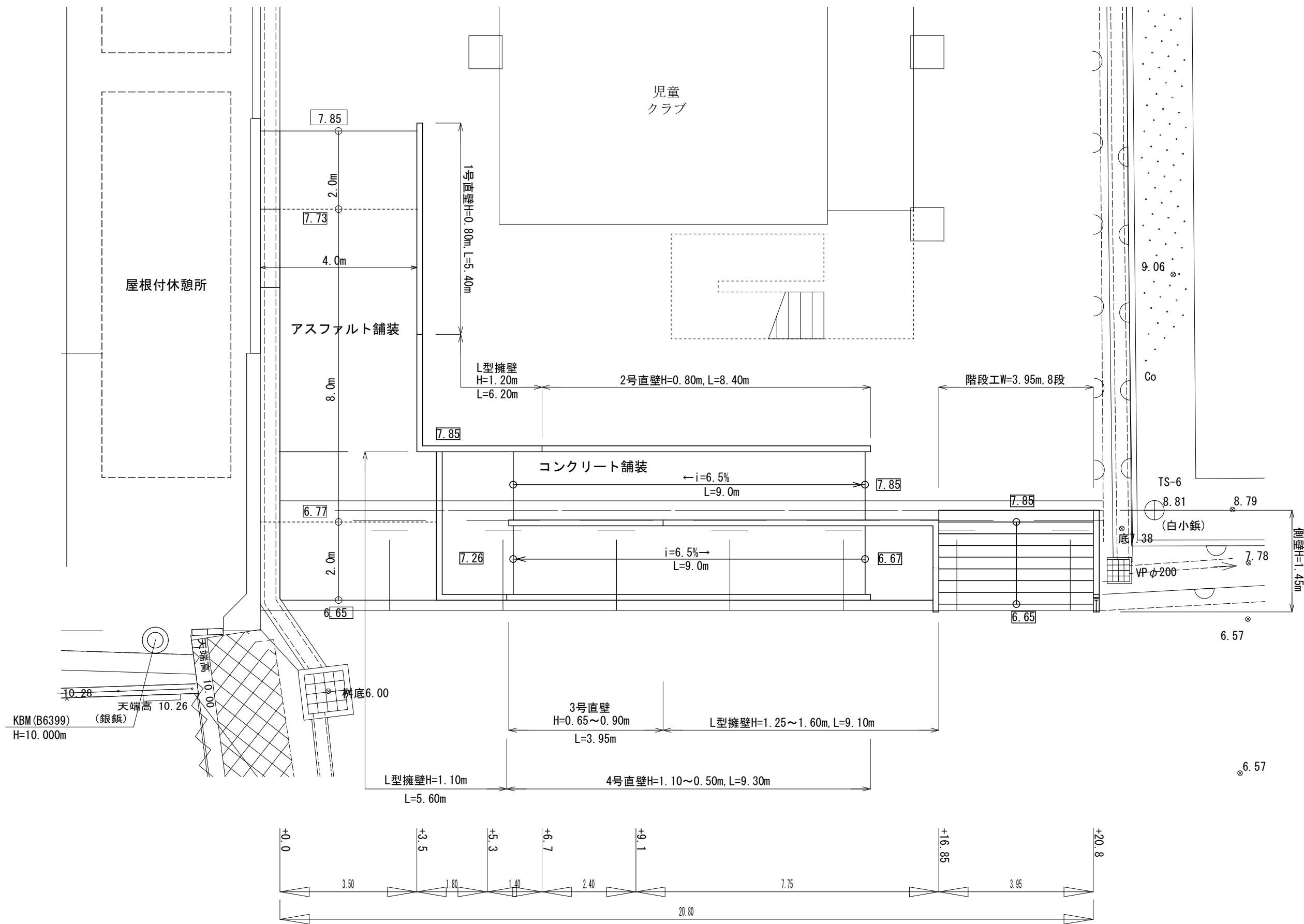


解体擁壁断面図 S=1:50

一級建築士事務所 知事登録 第1-5-126号  有限会社 三島建築設計事務所  一級建築士 第278466号  三島 浩幸	福平小学校校舎増築その他本体工事		
	南側Z07・階段図-1 (現況平面図・解体図)	1/100	A-46
	鹿児島市建設局建築部建築課		

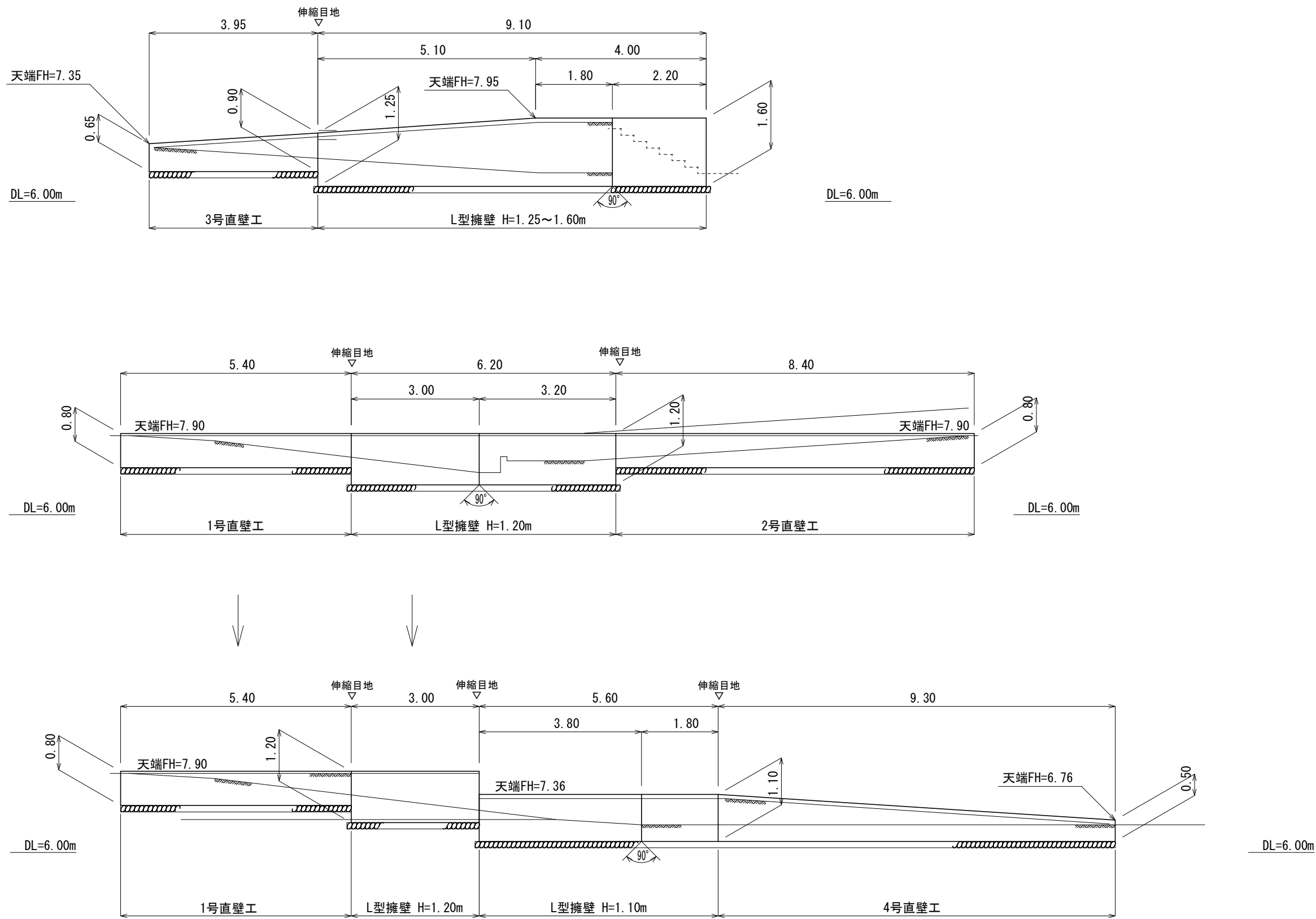


計画平面図 S=1:100



L型擁壁・直壁工展開図 S=1:100

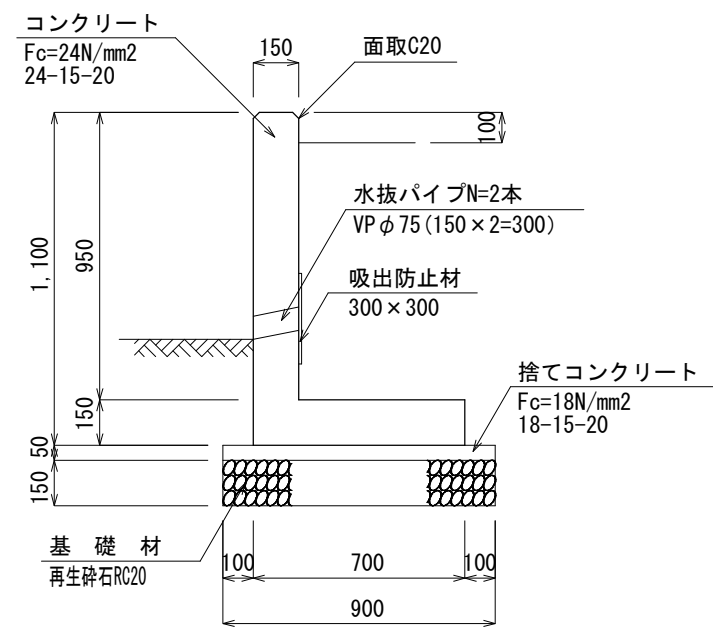
※擁壁種類の切替場所には伸縮目地（瀝青繊維質板 t 20）を入れる



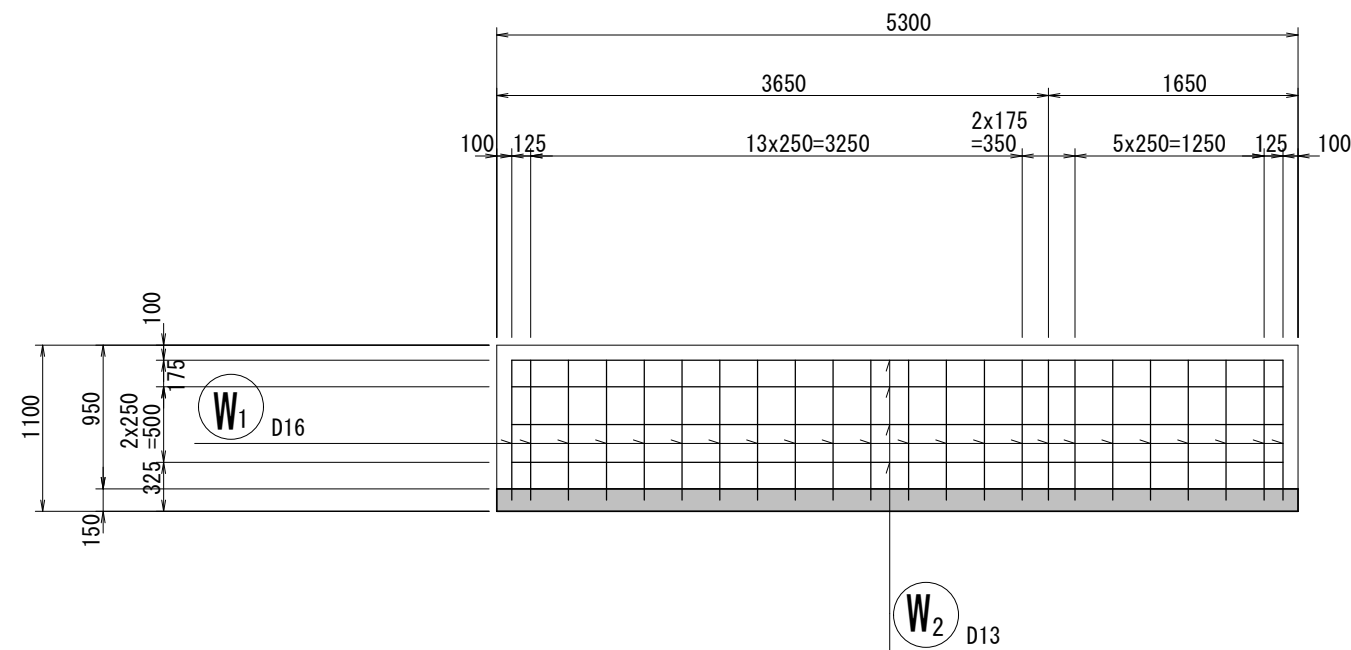
一級建築士事務所 知事登録 第1-5-126号		福平小学校校舎増築その他本体工事		
有限会社 三島建築設計事務所		南側30-7・階段図-3 (L型擁壁・直壁工展開図)	1/100	A-48
一級建築士 第278466号 三島 浩幸		鹿児島市建設局建築部建築課		

L型擁壁 H=1100

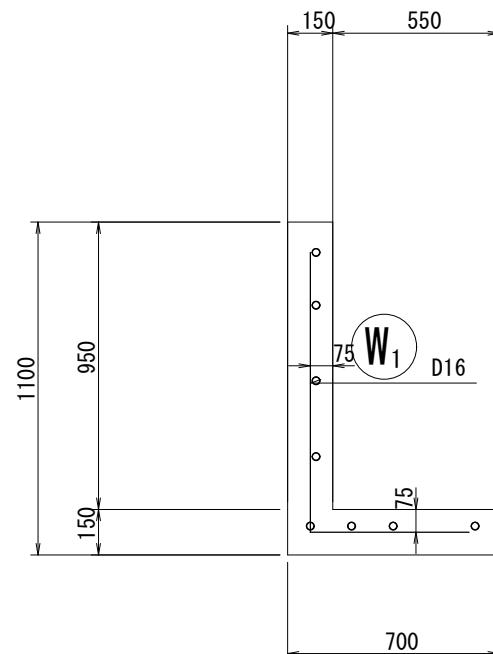
標準断面図 S=1:25



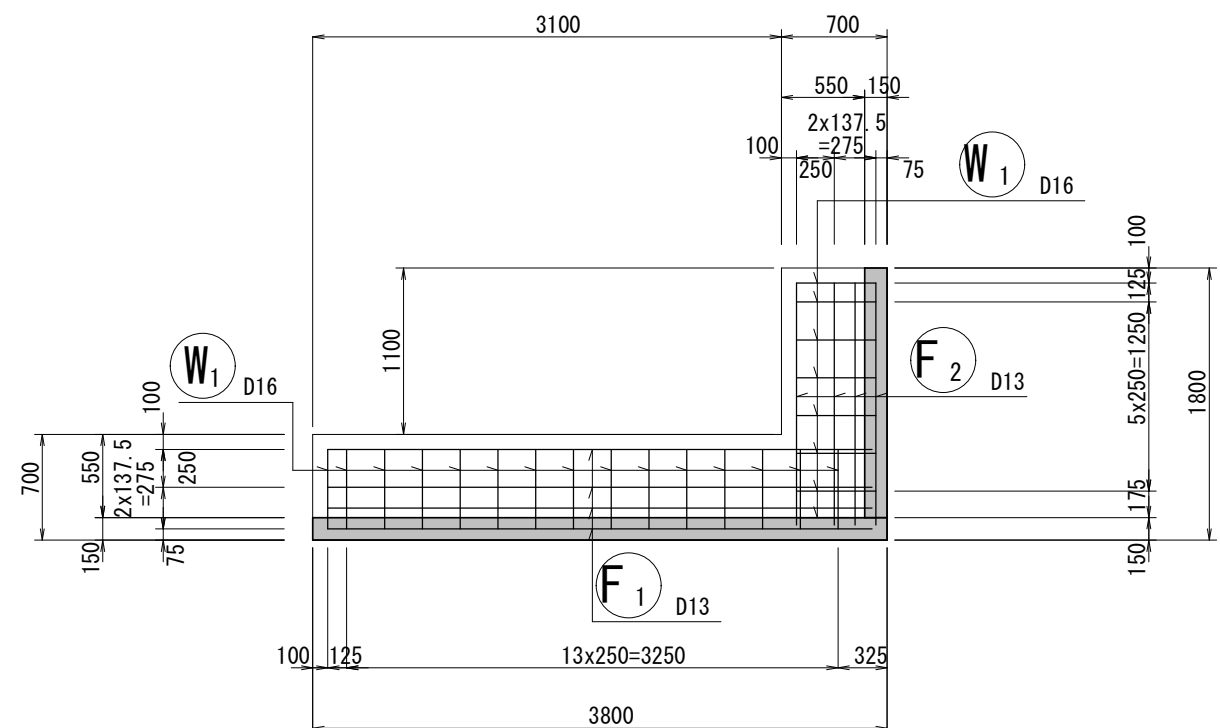
背面図 S=1:50  
1-1



断面図 1 S=1:25  
3-3

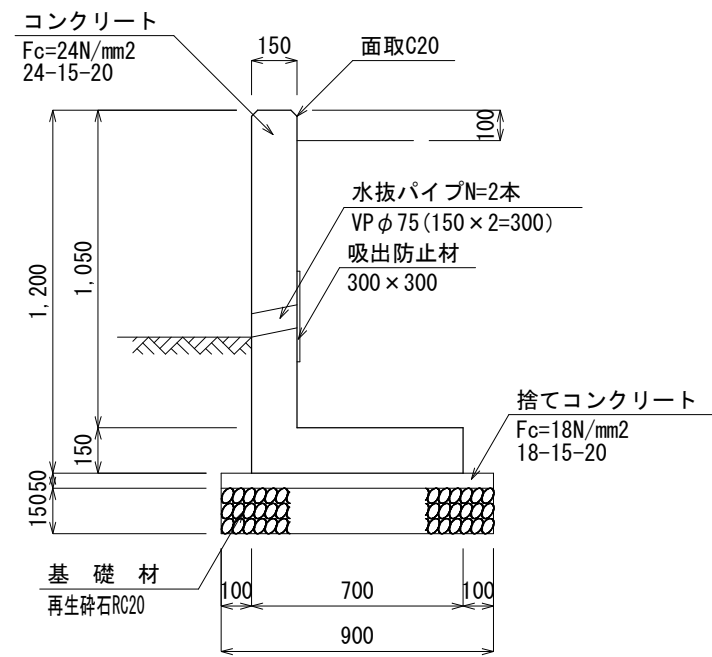


底版上面図 S=1:50  
2-2

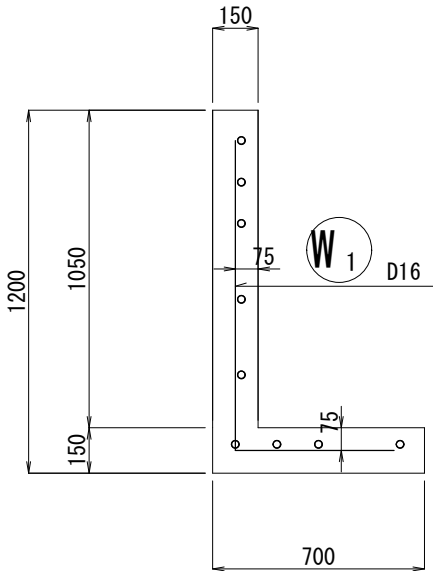


L型擁壁 H=1200

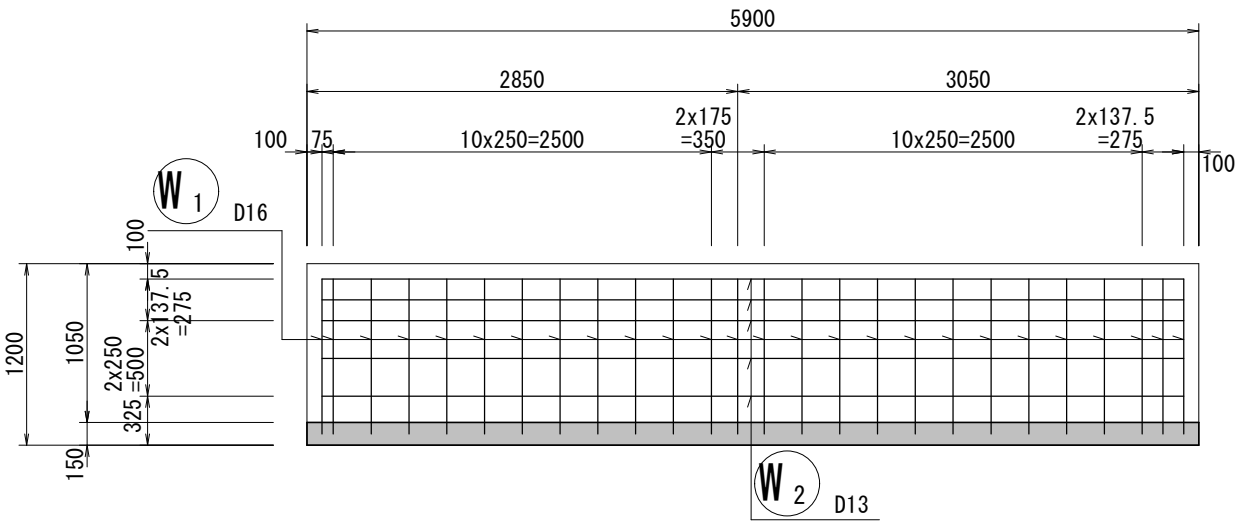
標準断面図 S=1:25



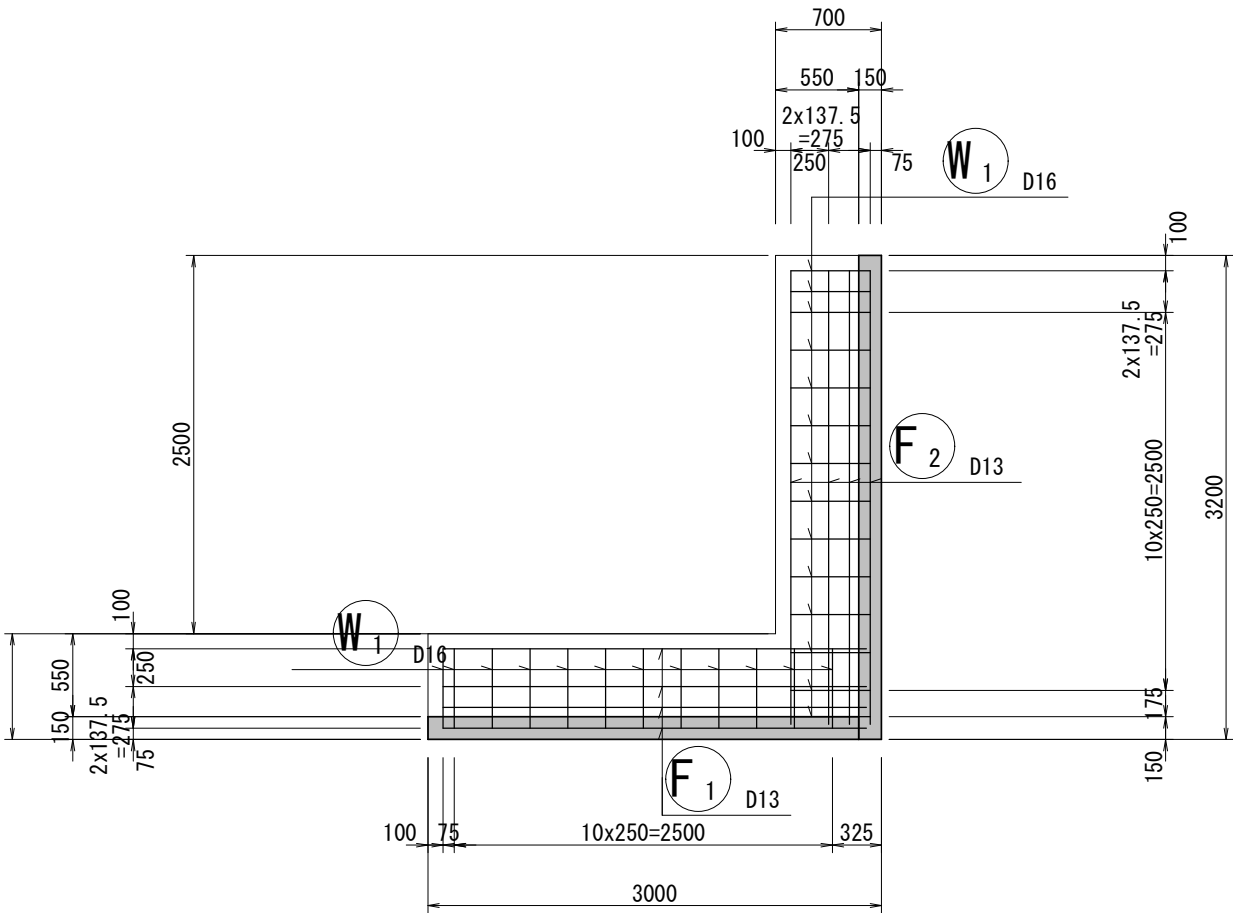
断面図 1 S=1:25  
3-3



背面図 S=1:50  
1-1

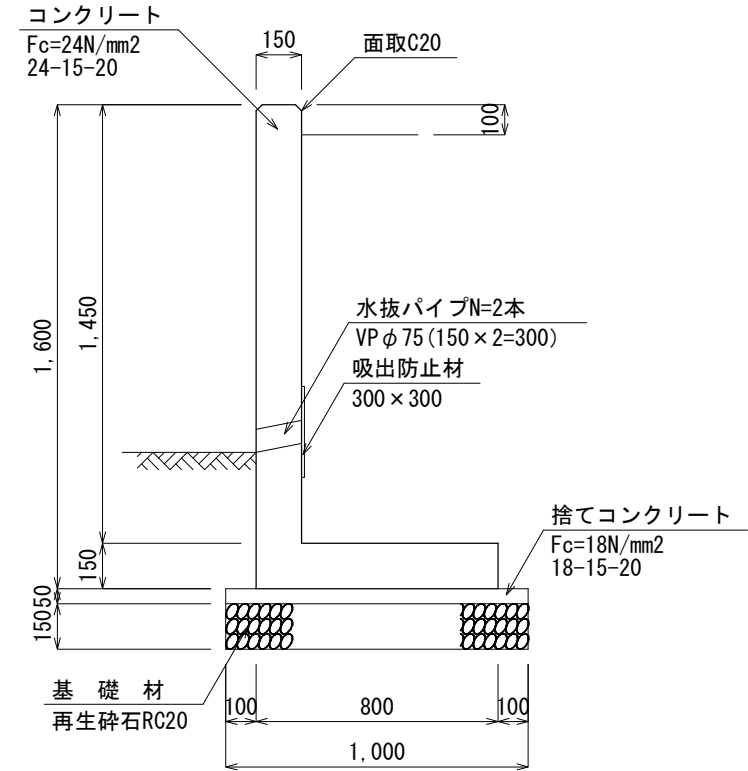


底版上面図 S=1:50  
2-2

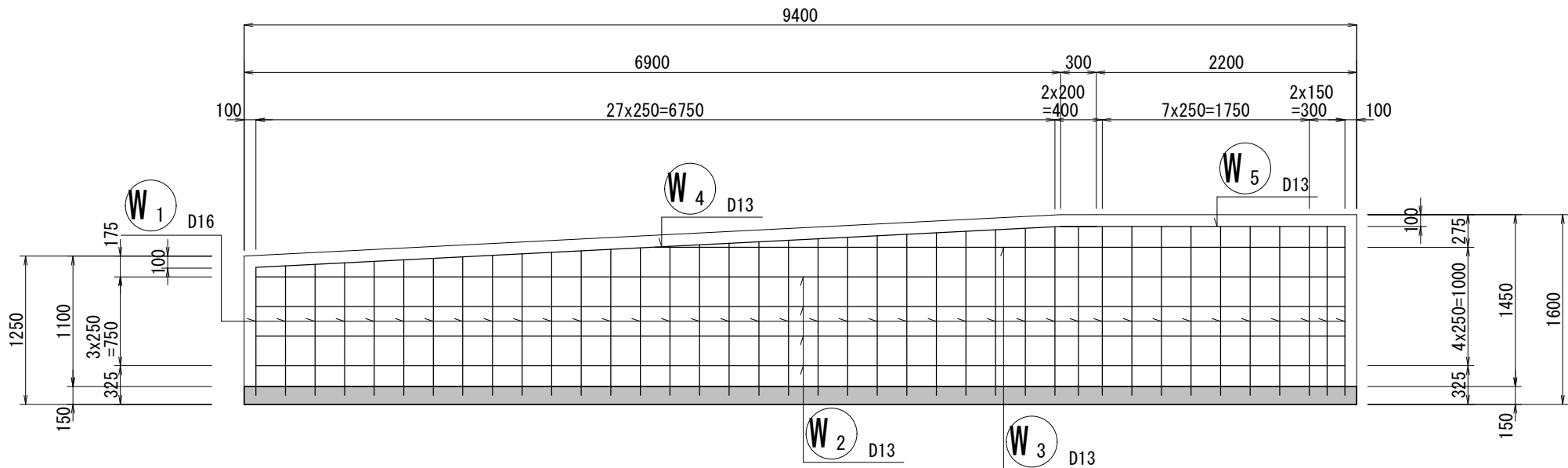


L型擁壁 H=1600

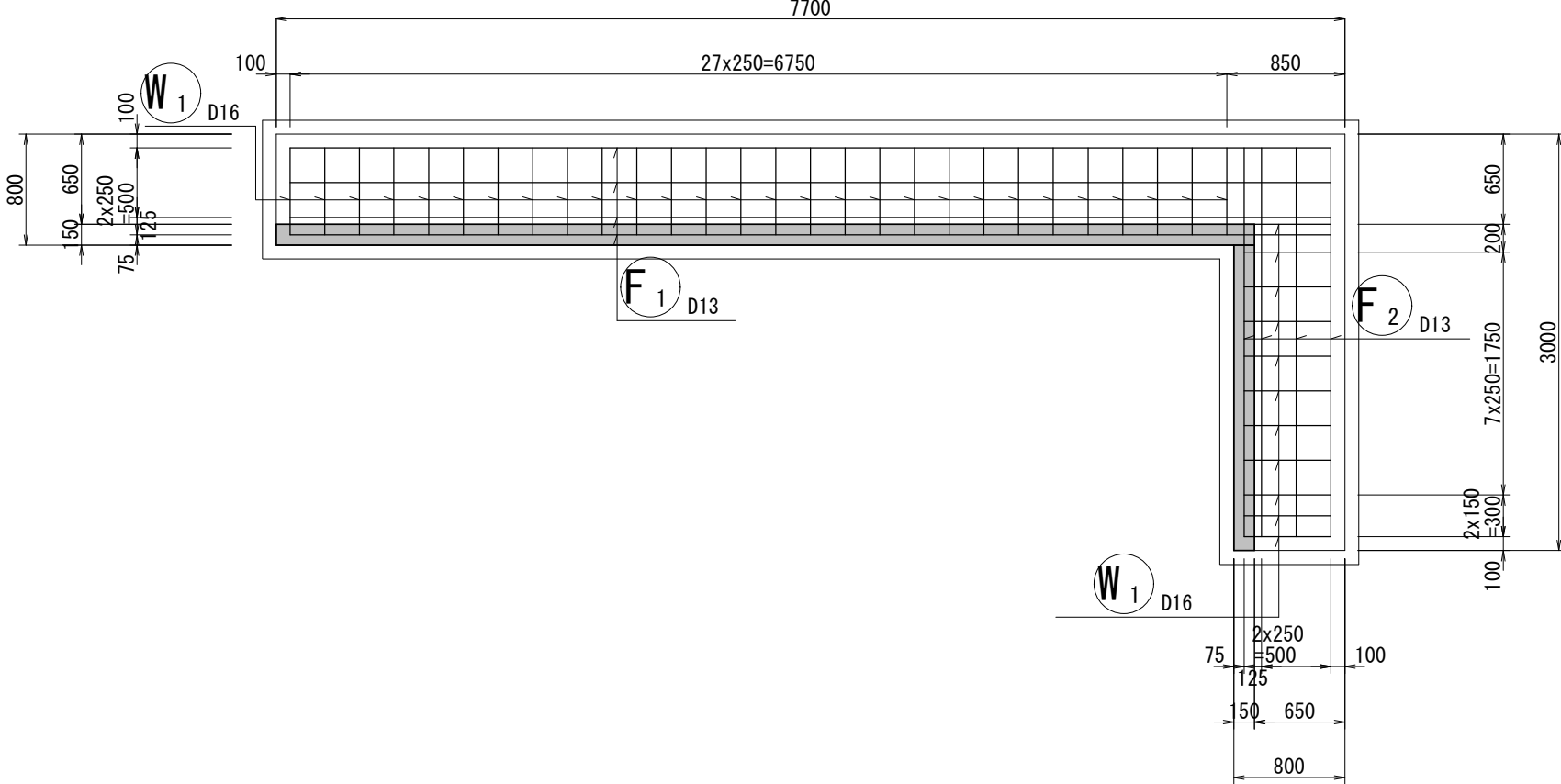
標準断面図 S=1:25



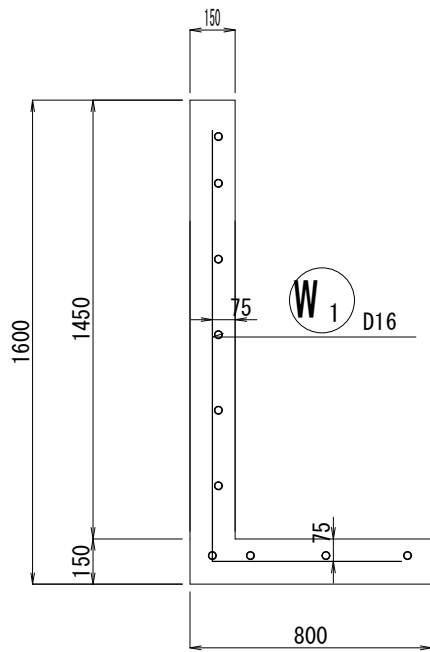
背面図 S=1:50  
1-1



底版上面図 S=1:50  
2-2

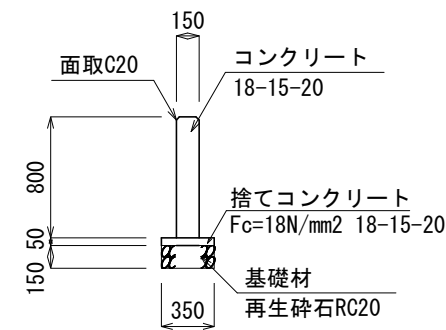


断面図1 S=1:25  
3-3



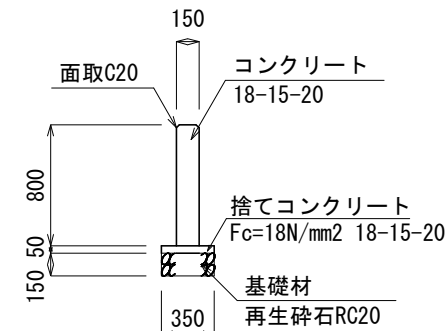
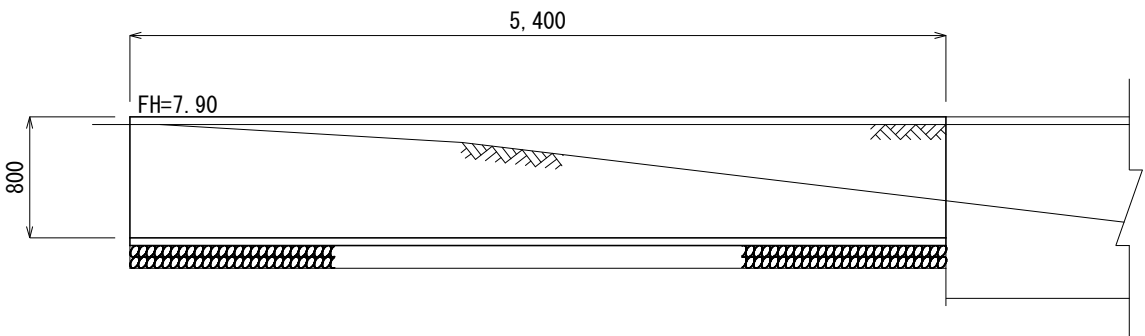
直壁工構造図 S=1:50

※鉄筋D10@200（好コ）を施す



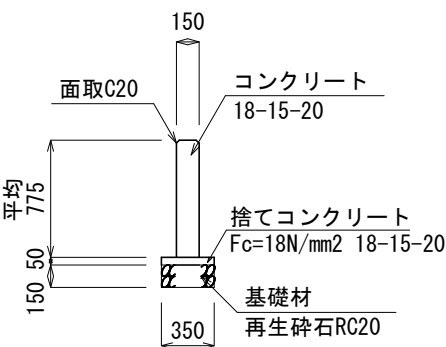
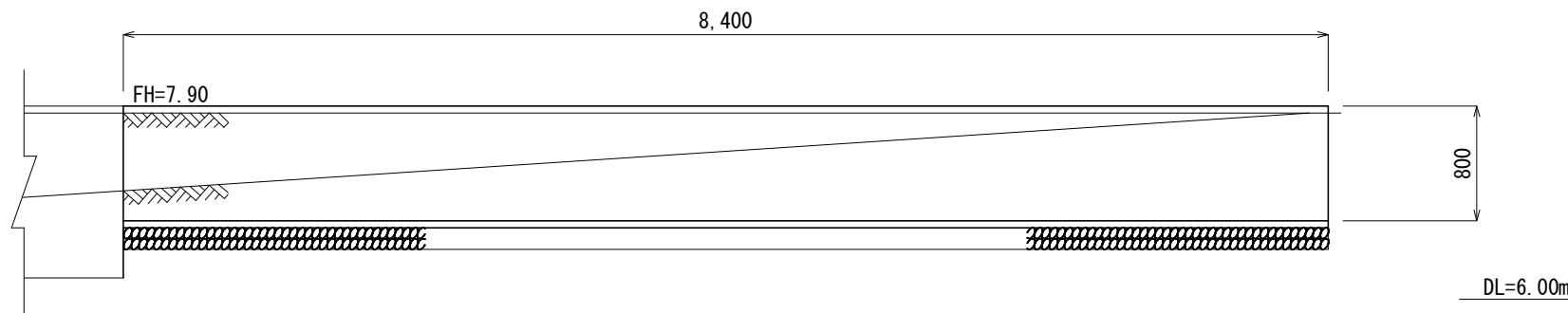
1号直壁工

展開図



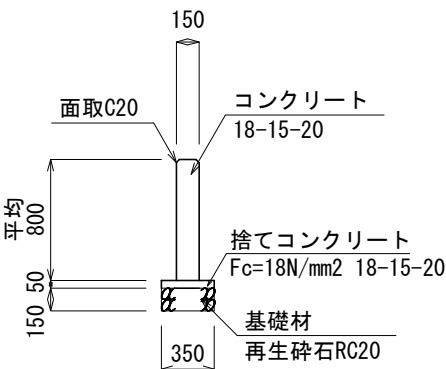
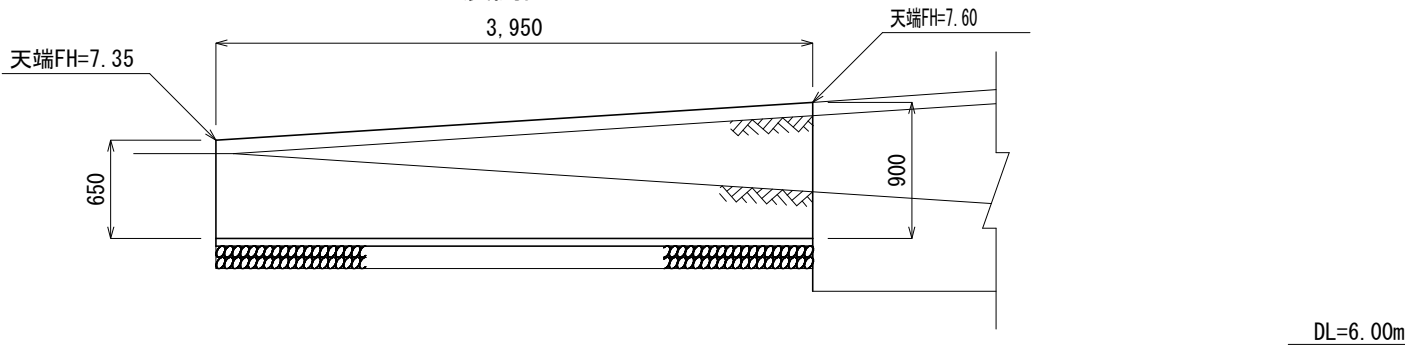
2号直壁工

展開図



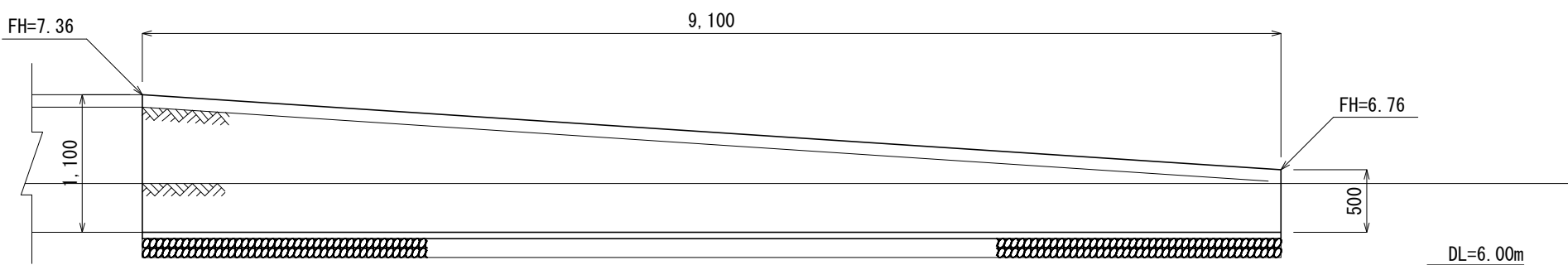
3号直壁工

展開図



4号直壁工

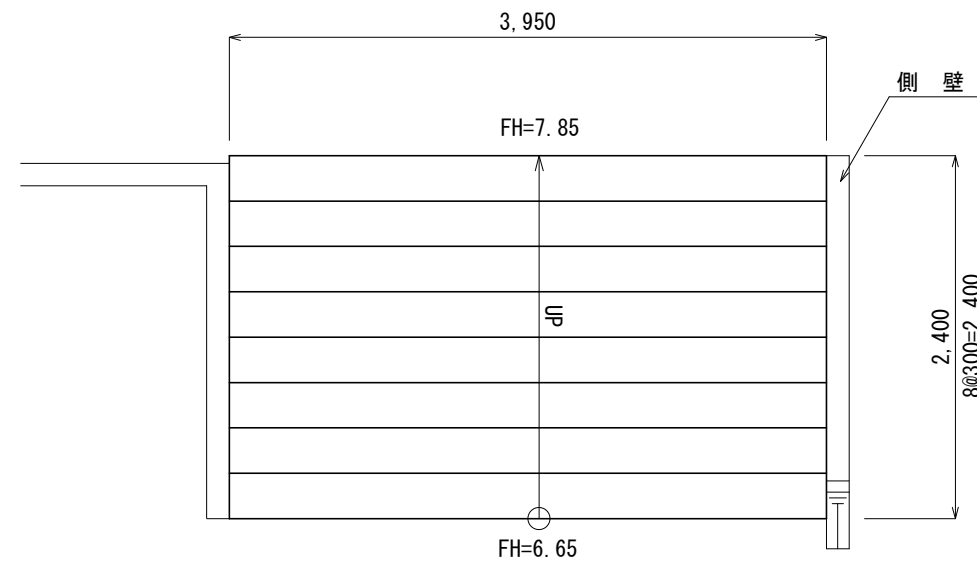
展開図



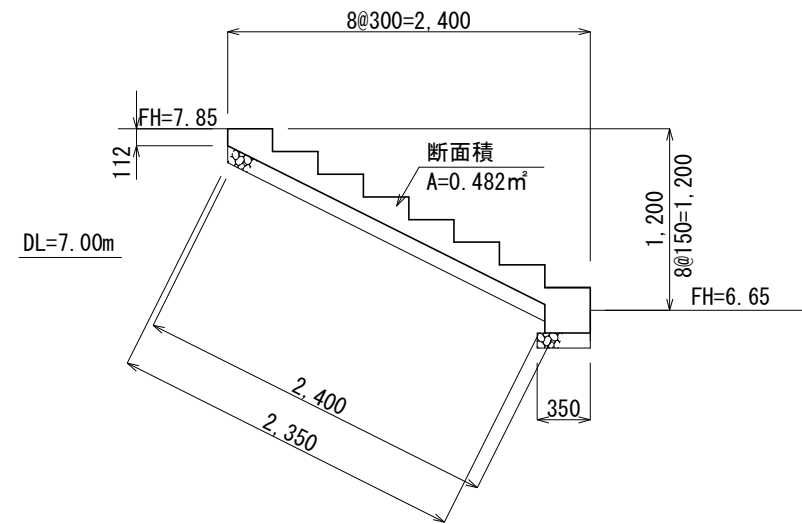
## 階段・側壁

※鉄筋D10@200（ﾀﾞﾂｺ）を施す  
※階段鉄筋端部にはD13を施す  
※階段と側壁はｱﾝｶｰ鉄筋D10@200で接続する

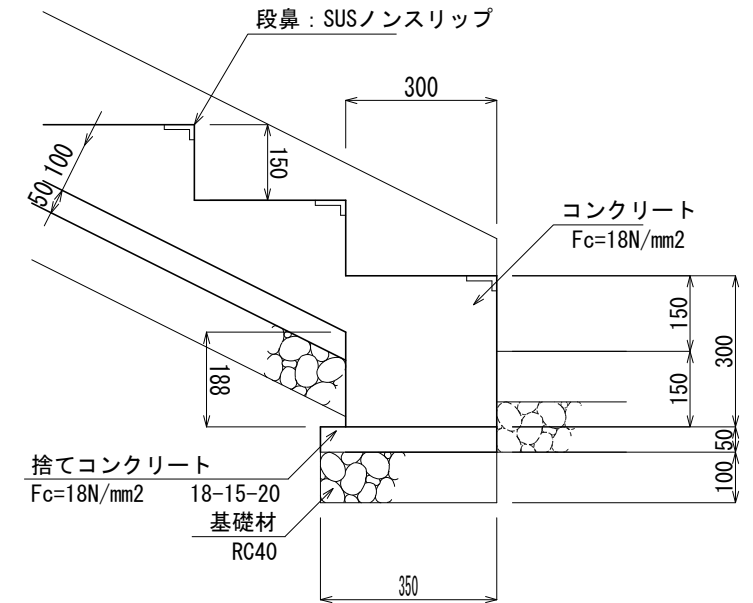
平面図 S=1:50



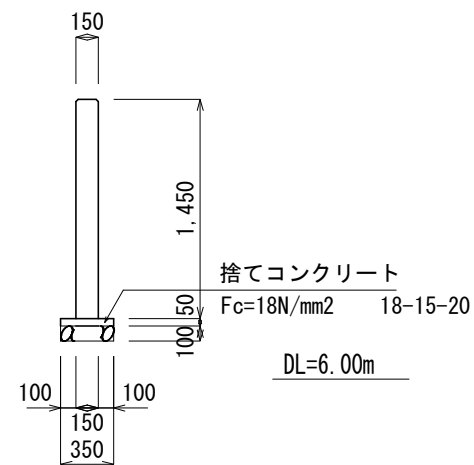
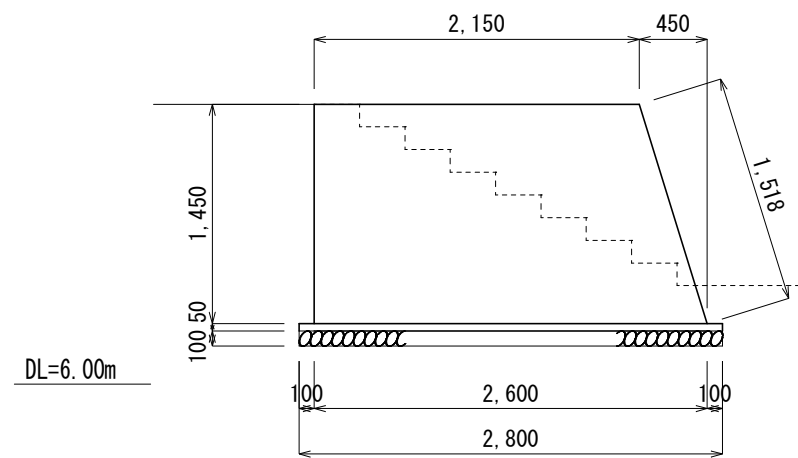
断面図 S=1:50



階段部拡大図 S=1:15

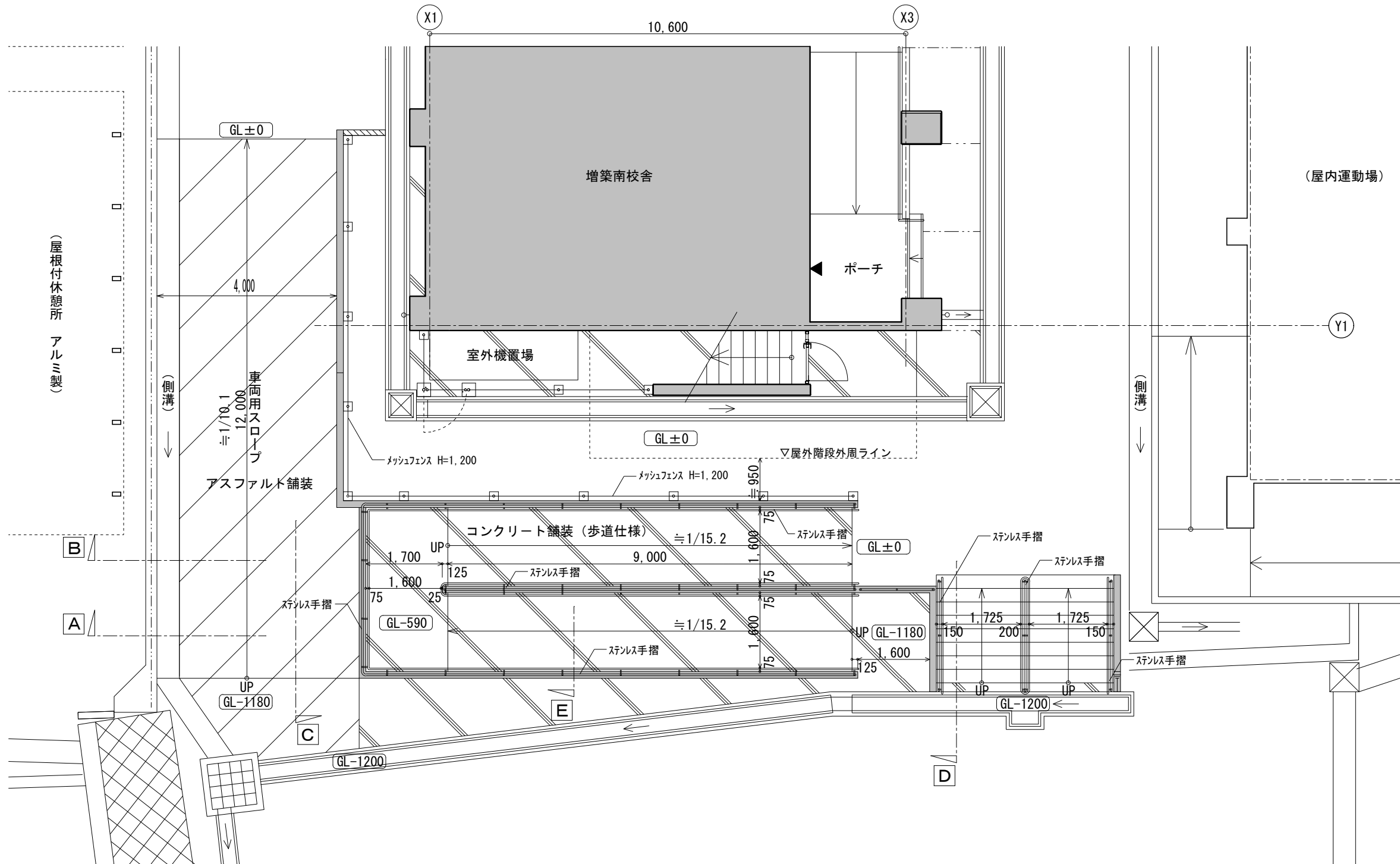


側 壁 工



一級建築士事務所 知事登録 第1-5-126号 有限会社 三島建築設計事務所 一級建築士 第278466号 三島 浩幸	福平小学校校舎増築その他本体工事 南側A-7・階段図-8 (階段・側壁)	1/50 1/15	A-53
	鹿児島市建設局建築部建築課		

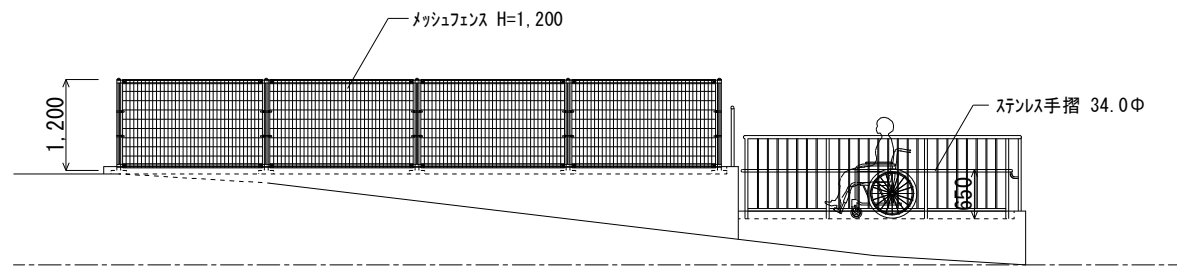
# 手摺・フェンス（その1）



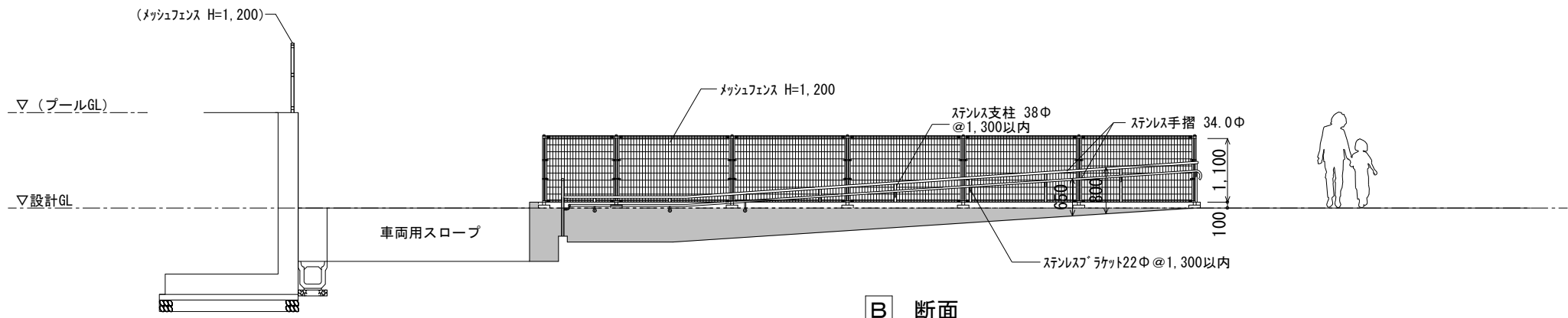
配置図 1 : 100



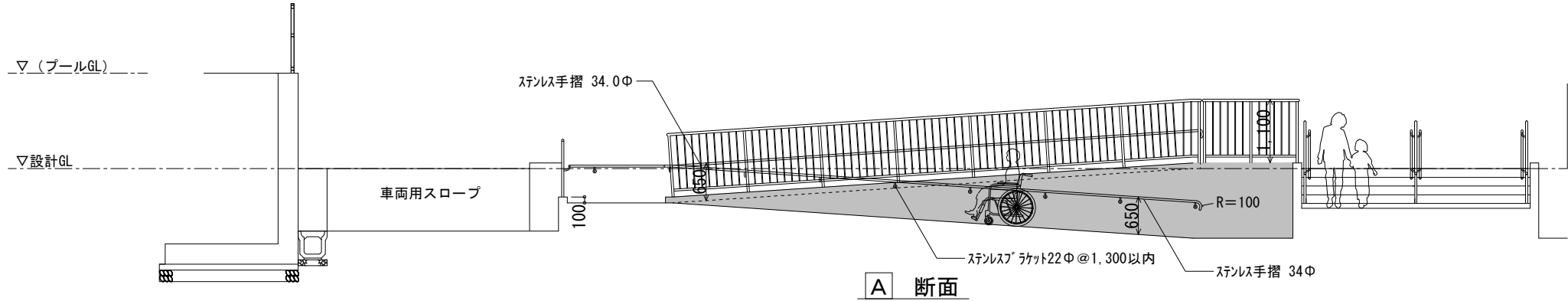
手摺・フェンス（その2）



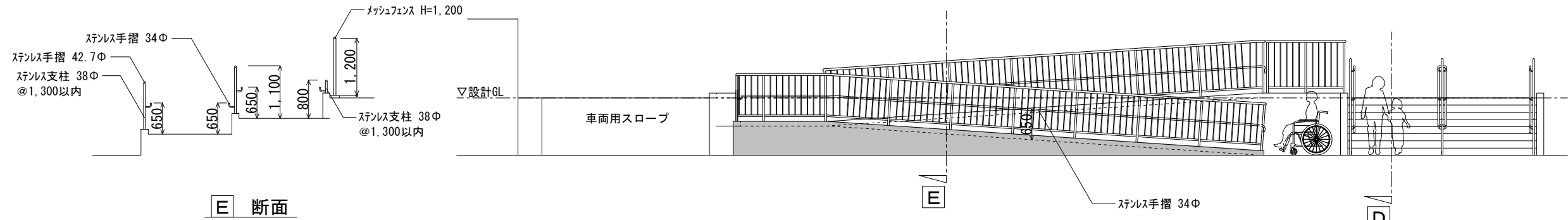
C 断面



B 断面

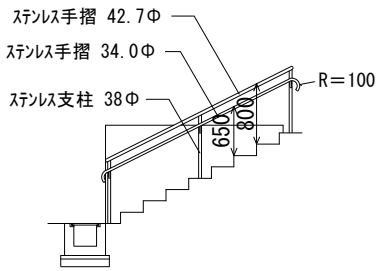


A 断面



E 断面

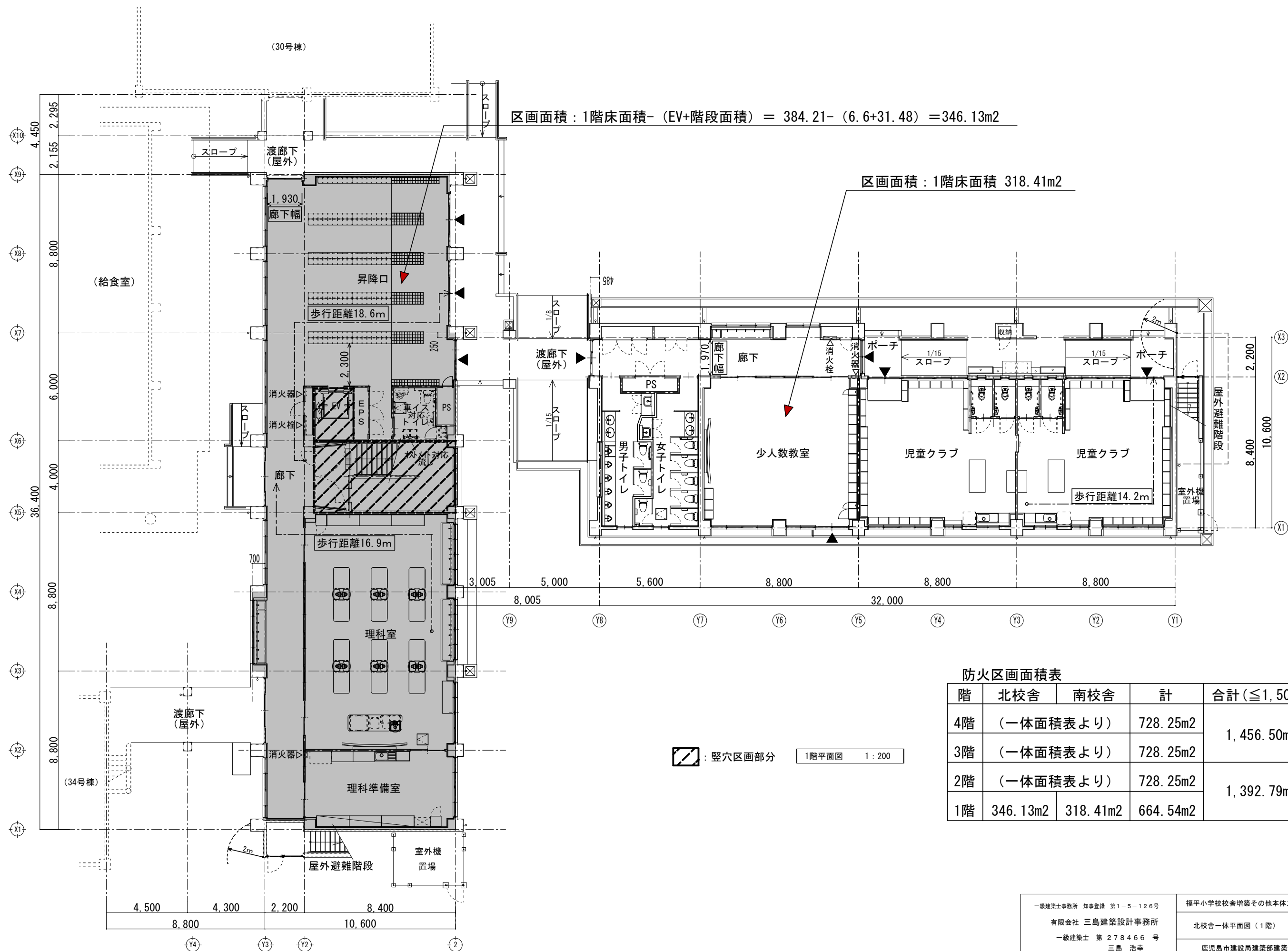
正面図



D 断面

※特記なきステンレス鋼はSUS304（t=1.5 #400仕上）とする

一級建築士事務所 知事登録 第1-5-126号		福平小学校校舎増築その他本体工事	
有限会社 三島建築設計事務所		南側ｽﾎｰﾌﾟ・階段図-10 手摺・フェンス（その2）	1/100
一級建築士 第278466号 三島 浩幸		A-55	
		鹿児島市建設局建築部建築課	



防火区画面積表				
階	北校舎	南校舎	計	合計(≦1,500m2)
4階	(一体面積表より)		728.25m2	1,456.50m2
3階	(一体面積表より)		728.25m2	
2階	(一体面積表より)		728.25m2	1,392.79m2
1階	346.13m2	318.41m2	664.54m2	

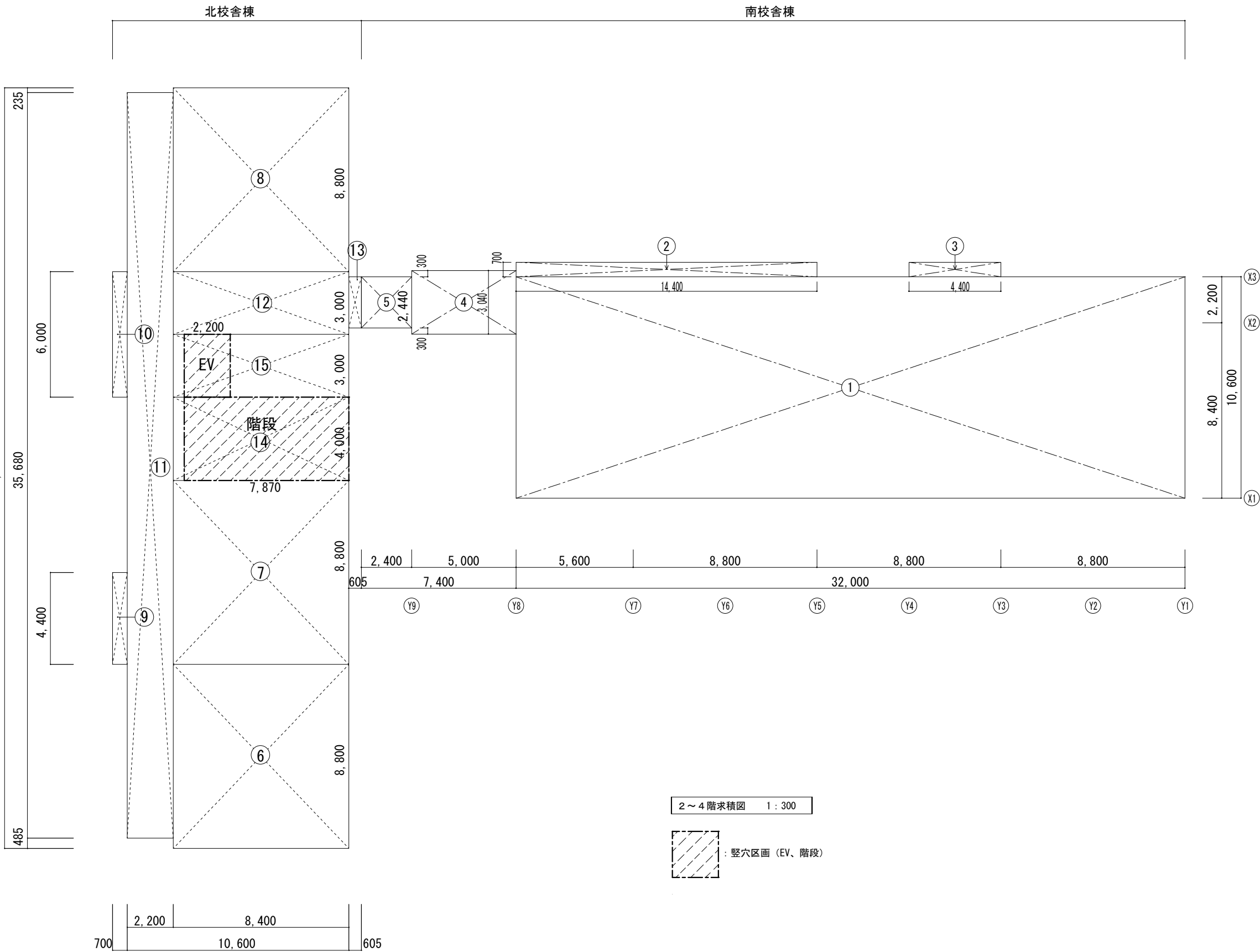








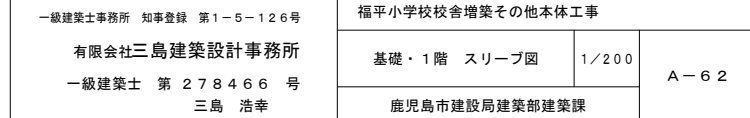
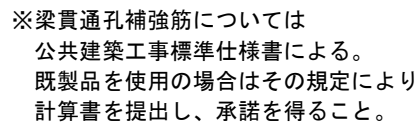
一級建築士事務所 知事登録 第1-5-126号  有限会社 三島建築設計事務所 一級建築士 第278466号 三島 浩幸	福平小学校校舎増築その他本体工事		A-60
	北校舎一休屋根伏図	1/200	
	鹿児島市建設局建築部建築課		



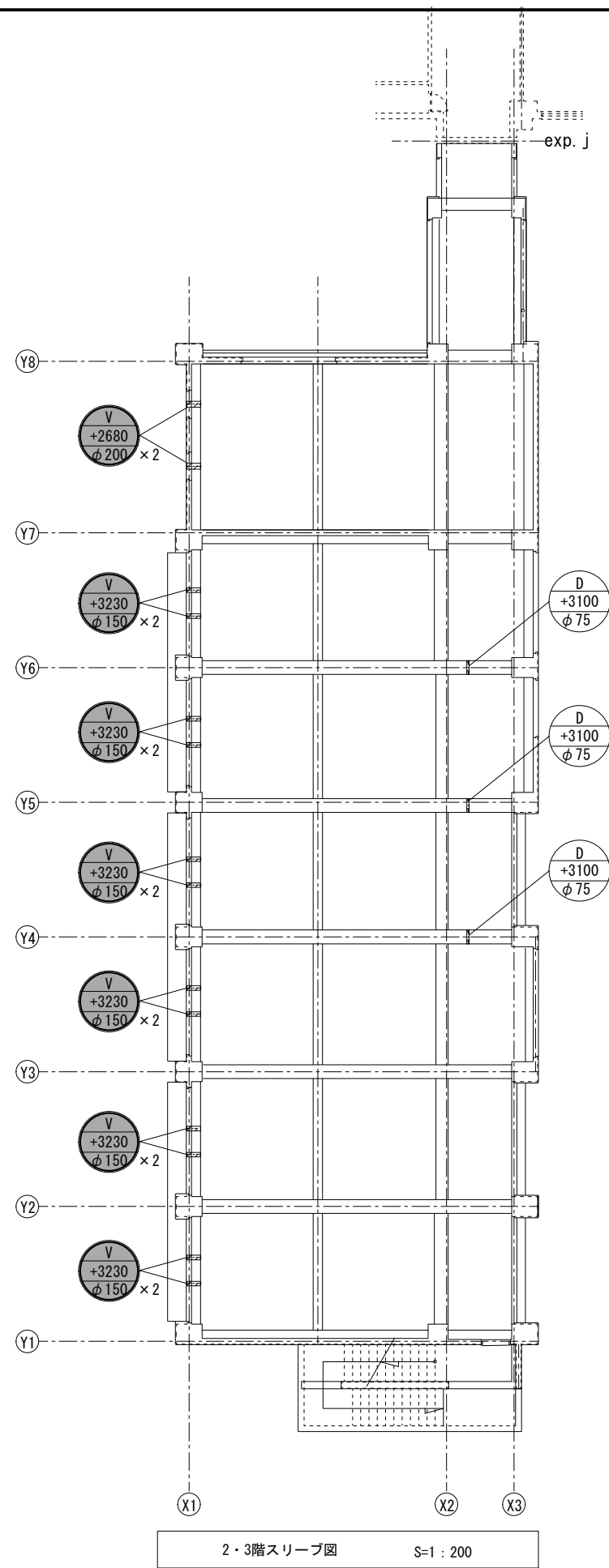
南校舎棟		
番号		面 積
①	10.600 × 32.000 =	339.200
②	0.700 × 14.400 =	10.080
③	0.700 × 4.400 =	3.080
④	3.040 × 5.000 =	15.200
⑤	2.400 × 2.400 =	5.760
	小計	373.320

北校舎棟		
番号		面 積
⑥	8.800 × 8.400 =	73.920
⑦	8.800 × 8.400 =	73.920
⑧	8.800 × 8.400 =	73.920
⑨	4.400 × 0.700 =	3.080
⑩	6.000 × 0.700 =	4.200
⑪	35.680 × 2.200 =	78.496
⑫	3.000 × 8.400 =	25.200
⑬	2.440 × 0.605 =	1.476
⑭	4.000 × 8.400 =	33.600
⑮	3.000 × 8.400 =	25.200
階段	4.000 × 7.870 =	-31.480
EV	2.200 × 3.000 =	-6.600
	小計	354.932

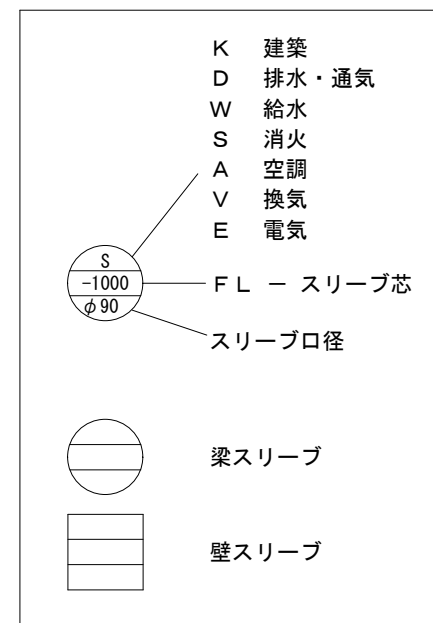
合計	728.252
----	---------





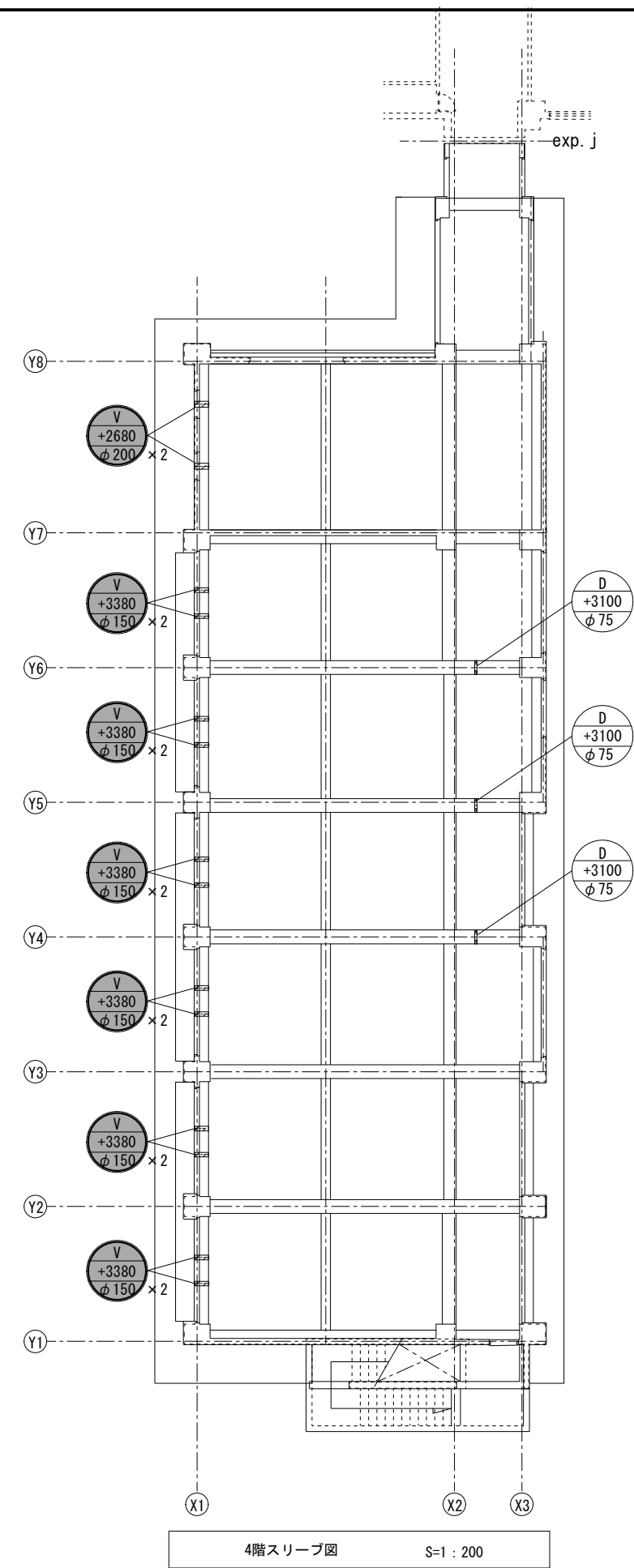


2・3階スリーブ図 S=1 : 200



● : 梁貫通孔補強筋必要部分

※梁貫通孔補強筋については  
公共建築工事標準仕様書による。  
既製品を使用の場合はその規定により  
計算書を提出し、承諾を得ること。



4階スリーブ図 S=1 : 200



# 新構造設計標準仕様 その2

・修正箇所は下線を引くこと  
適用は ■ 印を記入する。

## 9. 鉄筋コンクリート工事

- (1) コンクリート
- 鉄筋コンクリート工事の施工に関しては記載無きは、JASS 5 2015 による。
- (a) コンクリートの仕様
- 本仕様書では、JSA A 5に規定する普通骨材を用いた一般仕様のコンクリートを「普通コンクリート」と定義し、表9.1に示す様に設計基準強度が36N/mm<sup>2</sup>以下のコンクリートについてはJASS5の3節～11節を適用し、36N/mm<sup>2</sup>を超えるコンクリートについてはJASS5の17節（高強度コンクリート）を適用する。また、設計基準強度もしくは品質基準強度と構造体強度補正値から定める調合管理強度以上とし、免注するレディーミストコンクリートの呼び強度が表9.2に示すJIS規格外となる場合は、法第37条の大臣認定を受けた製品を用いる必要がある。
- 軽量コンクリートについてはJASS 5の14節によること。
- | 設計基準強度 $F_c$ | 18       | 21 | 24 | 27 | 30 | 33 | 36 | 39 | 42 | 45 | 48        | 51 | 54 | 57 | 60 |
|--------------|----------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----------|----|----|----|----|
| JASS 5での区分   | 普通コンクリート |    |    |    |    |    |    |    |    |    | 高強度コンクリート |    |    |    |    |
- | 設計管理強度(N/mm <sup>2</sup> ) | 21 | 24 | 27 | 30 | 33 | 36 | 39 | 42 | 45 | 48 | 51 | 54 | 57 | 60 | 60超 |
|----------------------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|
|----------------------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|
- |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |   |
|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|---|
| 21 | 24 | 27 | 30 | 33 | 36 | 39 | 42 | 45 | 48 | 51 | 54 | 57 | 60 | ※ |
|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|---|
- ※印は規格外
- (b) 品質と施工
- 構造体の計画共用機関の級は特記による。特記が無い場合は標準とする。
    - 標準 □長期 □超長期
  - コンクリートは JIS A 5308（レディーミストコンクリート）に適用するJIS認定工場の製品とする。
  - 設計基準強度が 36 N/mm<sup>2</sup>を超えるコンクリートを扱うレディーミストコンクリート工場は、「高強度コンクリート」の製品認証を受けているか、建築基準法第37条第二号によって国土交通大臣が指定建築材料として認定した高強度コンクリートの製品工場とする。
  - コンクリート主任技士またはコンクリート技士、あるいはこれらと同等以上の知識経験を有すると認められた技術者が常駐していなければならない。
  - 施工者は、事前に先立ち、コンクリートの調合・製造計画、施工計画、品質管理計画書を作成し、工事監理者の承認を得ること。
  - フレッシュコンクリートの流動性は、スランプまたはスランプフローで表し、設計基準強度が 36N/mm<sup>2</sup>以下 33N/mm<sup>2</sup>以上の場合スランプ21cm以下、33N/mm<sup>2</sup>未満の場合スランプ18cm以下とし設計基準強度が 36 N/mm<sup>2</sup>超 45N/mm<sup>2</sup>未満の場合はスランプ21cm以下またはスランプフロー50cm以下、設計基準強度が 45N/mm<sup>2</sup>以上の場合スランプ23cm以下またはスランプフロー60cm以下とし、特記による。
  - コンクリートに含まれる塩化物量は、塩化物イオン量として0.3kg/m<sup>3</sup> 以下とする。
  - コンクリートの練混ぜかた打込み終了までの時間は、原則として120分を限度とする。
  - コンクリート打込み時の自由落下高さは、コンクリートが分離しない範囲とする。
  - 打継ぎ部は構造的に影響の少ない位置を選び打継ぎ処理を行い、打込み前に十分な水湿しを行う。
  - 打込み後の湿潤養生の期間は、セメントの種類および設計基準強度に応じて3日以上とする。
- (c) 調合および構造体コンクリート強度
- i) 高強度コンクリート
- 調合強度を定めるための基準とする材齢は、特記による。特記がない場合は28日とする。
  - 構造体コンクリート強度の保証する材齢は、特記による。特記がない場合は91日とする。
  - 構造体コンクリート強度は、次の①または②を満足するものとする。
    - ① 標準養生した供試体による場合、調合強度を定めるための基準とする材齢において調合管理強度以上とする。
    - ② 構造体温度養生した供試体による場合、構造体コンクリート強度を保証する材齢において設計基準強度 3N/mm<sup>2</sup>加えた値以上とする。
  - 調合管理強度は、以下による。 $H_{Fm} = F_c + mSn$  (N/mm<sup>2</sup>)
    - $H_{Fm}$  : 高強度コンクリートの調合管理強度 (N/mm<sup>2</sup>)
    - $F_c$  : コンクリートの設計基準強度 (N/mm<sup>2</sup>)
    - $mSn$  : 高強度コンクリートの構造体強度補正値で JASS 5 による。
  - 調合強度は標準養生供試体の圧縮強度で表すものとし、下記の両式を満足するように定める。 $H_F \geq H_{Fm} + 1.73\sigma_H$  (N/mm<sup>2</sup>) $H_F \geq 0.85H_{Fm} + 3\sigma_H$  (N/mm<sup>2</sup>)
    - $H_F$  : 高強度コンクリートの調合強度 (N/mm<sup>2</sup>)
    - $\sigma_H$  : 高強度コンクリートの圧縮強度の標準偏差 (N/mm<sup>2</sup>) で、レディーミストコンクリート工場の実績による。実績がない場合は、0.1 (F<sub>o</sub>+mSn) とする。

- ii) 普通コンクリート
- 調合を定めるための基準とする材齢は、原則として28日とする。
  - 構造体コンクリート強度は表9.3を満足すれば合格とする。
- | 供試体の養生方法 | 試験材齢(1) | 判定基準         |
|----------|---------|--------------|
| 標準養生(2)  | 28日     | $X \geq F_m$ |
| コ ア      | 91日     | $X \geq F_q$ |
- ただし、X：1回の試験における3個の供試体の圧縮強度の平均強度(N/mm<sup>2</sup>)  
F<sub>m</sub>：コンクリートの調合管理強度 (N/mm<sup>2</sup>)  
F<sub>q</sub>：コンクリートの品質基準強度 (N/mm<sup>2</sup>)
- [注] (1) 早い材齢において試験を行い、合否判定基準を満たした場合は、合格とする。  
(2) 工事監理者の承認を得て、供試体成型後、翌日までは20±10° の日光および風が直接当たらない箇所、乾燥しないように養生して保管することができる。
- \* 標準養生供試体の代わりにあらかじめ準備した現場水中養生供試体によることができる。その場合の判定基準は材齢28日までの平均気温が20° 以上の場合は、3個の供試体の圧縮強度の平均値が調合管理強度以上あり、平均気温が20° 未満の場合は、3個の供試体の圧縮強度の平均値から 3 N/mm<sup>2</sup>を減じた値が品質基準強度以上あれば合格とする。
  - \* コア供試体の代わりにあらかじめ準備した現場封かん養生供試体によることができる。その場合の判定基準は材齢28日を超え91日以内のn日において3個の供試体の圧縮強度の平均値から 3 N/mm<sup>2</sup>を減じた値が品質基準強度以上あれば合格とする。
- 調合管理強度は、以下による。 $F_m = F_q + mSn$  (N/mm<sup>2</sup>)
  - F<sub>m</sub> : コンクリートの調合管理強度 (N/mm<sup>2</sup>)
  - F<sub>q</sub> : コンクリートの品質基準強度 (N/mm<sup>2</sup>)
  - mSn : 標準養生した供試体の材齢 m 日における圧縮強度と構造体コンクリートの n 日における圧縮強度の差による構造体強度補正 (N/mm<sup>2</sup>)
- 調合強度は標準養生した供試体の材齢 m 日における圧縮強度で表すものとし、下記の両式を満足するよう定める。調合強度を定める材齢 m 日は、原則として 28 日とする。 $F \geq F_m + 1.73\sigma$  (N/mm<sup>2</sup>) $F \geq 0.85 F_m + 3\sigma$  (N/mm<sup>2</sup>)
  - F : コンクリートの調合強度 (N/mm<sup>2</sup>)
  - $\sigma$  : 使用するコンクリートの圧縮強度の標準偏差 (N/mm<sup>2</sup>) で、レディーミストコンクリート工場の実績による。実績がない場合は 2.5N/mm<sup>2</sup>、または0.1Fmの大きい方の値とする。
- (d) 検査
- フレッシュコンクリートの塩化物測定は、原則として工事現場で(一財)国土開発技術センターの技術評価を受けた測定器を用いて行い、試験結果の記録及び測定器の表示部を一回の測定ごとに撮影した写真（カラー）を保管し、工事監理者の承認を得る。測定検査の回数は、通常の場合1日1回以上とし、1回の検査における測定試験は、同一試料から取り分けて3回行い、その平均値を試験値とする。
  - スランプの許容差は普通コンクリートの場合、スランプが8cm以上18cm以下の場合±2.5cm 21cmの場合±1.5cm（呼び強度27以上で高性能AE減水剤を使用する場合は±2cm）とする。高強度コンクリートの場合は、スランプが18cm以下の場合±2.5cm、21cm以上の場合±2cmとし、スランプフローの許容差は、目標スランプフローが50cm以下の時は±7.5cm、50cmを超える時は±10cmとする。
  - 使用するコンクリートの圧縮強度試験は、普通コンクリートでは標準養生を行った供試体を用いて材齢 28日で行い、1回の試験は、打込み区ごと、打込み日ごと、かつ 150m3またはその端数ごとに3個の供試体を用いて行う、3回の試験で、1検査ロットを構成する。高強度コンクリートでは、打込み日かつ300m3ごとに検査ロットを構成して行う、1検査ロットにおける試験回数は3回とする。検査は適当な間隔をあけた任意の3台のトラックアジテータから採取した合計9個の供試体による試験結果を用いて行う。検査に用いる供試体の養生方法は標準養生とする。
  - 構造体コンクリートの圧縮強度の検査は普通コンクリートでは、打込み区ごと、打込み日ごと。かつ 150m3またはその端数ごと1回行う。1回の試験には適当な間隔をおいた3台の運搬車から1個ずつ採取した合計3個の供試体を用いる。高強度コンクリートでは打込み日、打込み区ごとかつ300m3ごとに行う。検査には適当な間隔をあけた任意の3台のトラックアジテータから採取した合計9個の供試体を用いる。検査に用いる供試体の養生方法は標準養生または構造体温度養生とする。
  - 使用するコンクリートの圧縮強度の判定は、JASS 5 による。構造体コンクリートの圧縮強度の判定は、(c)調合および構造体コンクリート強度による。
  - コンクリートの試験は、「建築物の工事における試験および検査に関する東京都取扱要綱」第4条の試験機関で行うこと。

(都知事登録 号)

試験・検査機関名(登録番号 号)
  - 代行業者名(登録番号 号)
  - 代行業者とは、試験・検査に伴う業者を代行するものを言う。

- (2) 鉄 筋
- (a) 施工
- 鉄筋はJIS G 3112（鉄筋コンクリート用棒鋼）に適合するものを用いる。溶接金網および鉄筋格子は、JIS G 3551（溶接金網および鉄筋格子）に適合するものを用いる。
  - 高強度せん断補強筋は、技術評価を取得し、建築基準法37条の材料認定を受けたものを用いる。
  - 鉄筋の加工法、形状、鉄筋の継手位置、継手の重ね長さ、定着長さは「新鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)～(3)」による。
  - 鉄筋の継手は重ね継手、ガス圧接継手、機械式継手または溶接継手によることとし、鉄筋径と使用箇所を定め特記による。
- | 鉄筋継手工法  | 継手の位置等の設計条件による仕様・等級 |                  |       |   | 鉄筋の径     | 使用箇所 |
|---------|---------------------|------------------|-------|---|----------|------|
|         | (1) 引張力最小部位         | (2) (1)以外の部位 (注) |       |   |          |      |
|         | A 級                 | B 級              | S A 級 |   |          |      |
| ■ 重ね継手  | 標準図による              |                  |       |   | □D(16)以下 | 全て   |
| ■ 圧接継手  | ■ 告示1463号第2項各号      | ■                |       |   | □D(19)以上 | 梁・柱  |
| □ 溶接継手  | □ 告示1463号第3項各号      | □                | □     |   | □D( )以上  |      |
| □ 機械式継手 | □ 告示1463号第4項各号      | □                | □     | □ | □D( )以上  |      |
- (注) (1)以外の部位に設ける継手は、平成12年告示1463号ただし書きに基づき、日本鉄筋継手協会、日本建築センター等の認定・評価等を取得した継手工法の等級で、構造計算にあたって『鉄筋継手使用基準（建築物の構造関係技術基準解説書2007）』によって検討した部材の条件。仕様によること。
- 機械式継手及び圧接継手及び溶接継手は（公社）日本鉄筋継手協会「鉄筋継手工事標準仕様書」による他、所要の品質が得られるように工事計画および工事管理計画を定めて、工事監理者の承認を受ける。
  - ガス圧接の施工は、強風時または降雨時には原則として作業を行わない。ただし、風除け覆いなどの設置をした場合には、工事監理者の承認を得て作業を行うことができる。
  - 圧接技量資格者は、(公社)日本鉄筋継手協会によって認証された技量適格性能証明書を工事監理者に提出し、承認を受ける。
  - 機械式鉄筋定着工法に用いる定着板には信頼できる機関による性能証明書等を取得した定着金物を用いる。
- (b) 検査
- 継手部の検査方法
- 各継手工法ごとの検査は平成12年告示1463号による他、具体的な検査方法は、（公社）日本鉄筋継手協会の仕様書を参考のこと。
- |   | 継手方法  | 外観検査     | 引 張 試 験        | 超音波探傷試験   |
|---|-------|----------|----------------|-----------|
| 1 | ガス圧接  | ■有 100 % | ■有 □無 %3個/1ロット | □有 □無 % 個 |
| 2 | 溶 接   | ■有 %     | □有 □無 % 個      | □有 □無 % 個 |
| 3 | 機 械 式 | ■有 %     |                | □有 □無 % 個 |
- ガス圧接部分の検査を超音波探傷検査によって行う場合、最初のロットについては引張試験も併用し、1回の引張試験は5本以上とする。（1ロットは同一作業班が同一日中に作業した圧接箇所で200箇所程度とする。）
- 鉄筋の継手の試験・検査は、「要綱」第4条の試験機関、又は第8条の検査機関で行うこと。試験・検査機関名(都知事登録 号)

★平成27年5月1日 発行 一般社団法人 東京都建築士事務所協会 監修 東京都建築構造行政連絡会

- (3) かぶり厚さ
- 最小かぶり厚さは、表9.6に規定する設計かぶり厚さを10mm減じた値とする。
  - 設計かぶり厚さは、コンクリート打込み時の変形・移動などを考慮して、最小かぶり厚さが確保されるように、部位・部材ごとに定めるものとし、表9.6以上の値とする。
- | 構造体の計画共用期間の級                      | 標準・長期                |     | 超長期     |      |         |
|-----------------------------------|----------------------|-----|---------|------|---------|
|                                   | 部材の種類                | 屋 内 | 屋 外 (2) | 屋 内  | 屋 外 (2) |
| 構造部材                              | 柱・梁・耐力壁              | 40  | 50      | 40   | 50      |
|                                   | 床スラブ・屋根スラブ           | 30  | 40      | 40   | 50      |
| 非構造部材                             | 構造部材と同等の耐久性を要求する部材   | 30  | 40      | 40   | 50      |
|                                   | 計画共用期間中に維持保全を行う部材(1) | 30  | 40      | (30) | (40)    |
| 直接土に接する柱・梁・壁・床および布基礎の立上り部分、擁壁の壁部分 |                      | 50  |         |      |         |
| 基礎、擁壁の基礎・底盤                       |                      | 70  |         |      |         |
- 注) (1)計画共用期間の級の超長期で計画共用期間中に維持保全を行う部材は、維持保全の周期に応じて定める。  
(2)計画共用期間の級が標準・長期及び超長期で、耐久性上有効な仕上げを施す場合は、屋外側では設計かぶり厚さを10mm減じることができる。

- 完成した構造体の各部位における最外側鉄筋のかぶり厚さは、最小かぶり厚さ以上とする。
- コンクリート構造体に誘発目地・施工目地などを設ける場合は、建築基準法施行令第79条に規定する数値を満足し、構造耐力上必要な断面寸法を確保し、防水上および耐久性上有効な措置を講じれば上記によらなくても良い。

- (4) 型 枠
- 型枠および支保工の存置期間は、昭和63年告示1655号に基づき下表による。
- | 種別<br>部位      | せ き 板                 |                  |            |             | 支 柱          |                  |            |    |
|---------------|-----------------------|------------------|------------|-------------|--------------|------------------|------------|----|
|               | 基礎、梁側、柱、壁             | スラブ下、はり下         |            |             | スラブ下         |                  |            |    |
| セメントの種類       | 早強ポルトランドセメント          | 普通ポルトランドセメント A 種 | 高炉セメント A 種 | シリカセメント A 種 | 早強ポルトランドセメント | 普通ポルトランドセメント A 種 | 高炉セメント A 種 |    |
|               | 早強ポルトランドセメント          | 普通ポルトランドセメント A 種 | 高炉セメント A 種 | シリカセメント A 種 | 早強ポルトランドセメント | 普通ポルトランドセメント A 種 | 高炉セメント A 種 |    |
| コンクリートの材令 (B) | 15° C以上               | 2                | 3          | 4           | 6            | 8                | 17         | 28 |
|               | 5° ～15° C             | 3                | 5          | 6           | 10           | 12               | 25         | 28 |
|               | 5° C未満                | 5                | 8          | 10          | 16           | 15               | 28         | 28 |
| コンクリートの圧縮強度   | ※ 5 N/mm <sup>2</sup> | 設計基準強度の50%       |            |             |              | 設計基準強度の          |            |    |
|               |                       |                  |            |             |              | 85%              | 100%       |    |
- ※ JASS 5 では普通コンクリートの場合計画共用期間の級が標準にあつては5N/mm<sup>2</sup>以上、長期及び超長期の場合は10N/mm<sup>2</sup>以上、また高強度コンクリートの場合は10N/mm<sup>2</sup>以上。
- 注) 1 片持ち梁、庇、スパン9.0m以上の梁下は、工事監理者の承認による。  
注) 2 大梁の支柱の盛替えは行わない。また、その他の梁の場合も原則として行わない。  
注) 3 支柱の盛替えは、必ず直上階のコンクリート打ち後とする。  
注) 4 盛替え後の支柱頂部には 厚い受板、角材または、これに代わるものを置く。  
注) 5 支柱の盛替えは、小梁が終わってからスラブを行う。一時に全部の支柱を取り払って盛替えをしてはならない。  
注) 6 直上階に著しく大きい積載荷重がある場合においては、支柱（大梁の支柱を除く）の盛替えを行わないこと。  
注) 7 支柱の盛替えは、養生中のコンクリートに有害な影響をもたらすおそれのある振動または衝撃を与えないように行うこと。

一級建築士事務所 知事登録 第1-5-126号	福平小学校校舎増築その他本体工事		
有限会社 三島建築設計事務所 一級建築士 第278466号 三島 浩幸	構造設計標準仕様その2	NO. SCALE	S
	鹿児島市建設局建築部建築課		

# 新鉄筋コンクリート構造配筋標準図（１）

※修正箇所は下線を引くこと

## １．一般事項

- (１) 構造図面に記載された事項は、本標準図に優先して適用する。
- (２) 記号
- d・・・異径棒鋼の呼び名に用いた数値(径) D・・・部材の成、又は鉄筋内法直径  
e・・・間隔 r・・・半径 c・・・中心線 lo・・・部材間の内法距離 ho・・・部材間の内法高さ  
S T・・・あばら筋 H O O P・・・帯筋 S. H O O P・・・補強帯筋

## ２．鉄筋加工

### (１) 鉄筋の折曲げの形状

図	折り曲げ角度	鉄筋の種類	鉄筋の径による区分	鉄筋の折曲げ内法寸法(D)
	180°	SD295 SD295B SD345	D16以下	3d以上
	135°		D19～D41	4d以上
	90°	SD390	D41以下	5d以上
	90°	SD490	D25以下	5d以上
	90°		D29～D41	6d以上

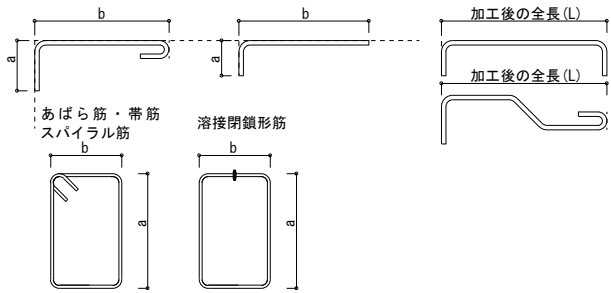
- [注] (1) dは呼び名に用いた数値とする。
- (2) スパイラル筋の重ね継手部に90° フックを用いる場合は、余長12d以上とする。
- (3) 片持ちスラブ先端、壁筋に自由端側の先端で90° フック又は135° フックを用いる場合は、余長4d以上とする。
- (4) スラブ筋、壁筋には、溶接金網を除いて丸鋼を使用しない。
- (5) 折り曲げ内法直径を上表の数値よりも小さくする場合は、事前に鉄筋の曲げ試験を行い、支障ないことを確認した上で、工事監理者の承認を得る。
- (6) SD490の鉄筋を90° を超える曲げ角度で折り曲げ加工する場合は、事前に鉄筋の曲げ試験を行い、支障ないことを確認した上で、工事監理者の承認を得る。

### (２) 加工寸法の許容差

(mm)

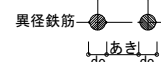
項	目	符 号	許 容 差
各加工寸法(1)	主 筋	D25以下	a、b ± 15
		D29以上D41以下	a、b ± 20
	あばら筋・帯筋・スパイラル筋	a、b	± 5
加工後の全長		L	± 20

[注] (1) 各加工寸法及び加工後の全長の測り方の例を数に示す。



### (３) 鉄筋のあき

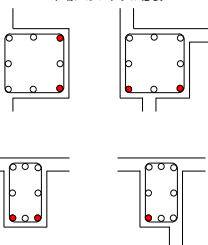
異形鉄筋では呼び名に用いた数値1.5d以上、粗骨材の最大寸法の1.25倍以上かつ25mmのうち最も大きい値。



### (４) 鉄筋のフック

- a～eに示す鉄筋の末端部にはフックを付ける。
- a.. あばら、帯筋、および幅止り筋
- b.. 煙突の鉄筋(壁の一部となる場合を含む)
- c.. 柱、梁(基礎梁は除く)の出すみ部分
- d.. および下端の両端にある場合の鉄筋(右図参照)
- e.. 単純梁の下端筋
- その他、本配筋標準に記載する箇所

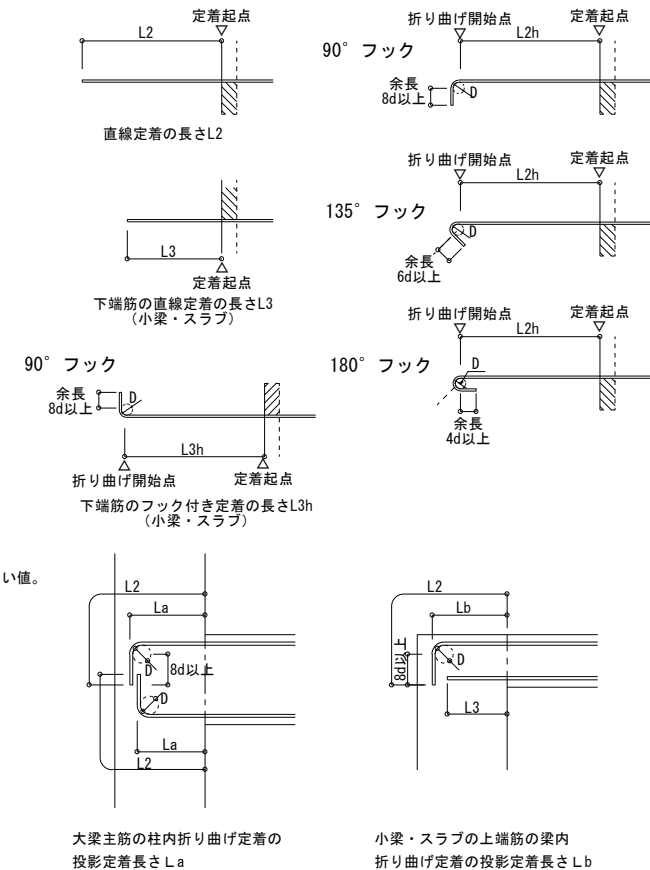
図の●印の鉄筋の重ね継手の  
末端にはフックが必要



### (５) 定着長さ

鉄筋種類	コンクリートの 設計基準強度 (Fc) N/mm <sup>2</sup>	定着の長さ					
		一 般				小梁下端筋	スラブ下端筋
		L2 (フックなし)	L2h (フックあり)	La <sup>(3)</sup>	Lb	L3 (フックなし)	L3h (フックあり)
SD295 SD295B	18	40d	30d	20d	15d		
	21	35d	25d	15d	15d		
	24～27	30d	20d	15d	15d		
	30～36	30d	20d	15d	15d		
	39～45	25d	15d	15d	15d		
	48～60	25d	15d	15d	15d		
SD345	18	40d	30d	20d	20d	20d	10d
	21	35d	25d	20d	20d		10d
	24～27	35d	25d	20d	15d		10d
	30～36	30d	20d	15d	15d		10d
	39～45	30d	20d	15d	15d		10d
	48～60	25d	15d	15d	15d		10d
SD390	21	40d	30d	20d	20d		
	24～27	40d	30d	20d	20d		
	30～36	35d	25d	20d	15d		
	39～45	35d	25d	15d	15d		
	48～60	30d	20d	15d	15d		
	24～27	45d	35d	25d	—		
SD490	30～36	40d	30d	25d	—		
	39～45	40d	30d	20d	—		
	48～60	35d	25d	20d	—		
	48～60	35d	25d	20d	—		

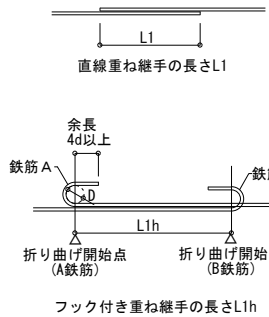
- [注] (1) フック付き鉄筋の定着長さL2hは、定着起点から鉄筋の折り曲げ開始点までの距離とし、折り曲げ開始点以降のフックぶは定着長さに含まない。
- (2) フック部の折り曲げ内法直径D及び余長は、「鉄筋の折り曲げ加工」の表による。
- (3) 梁主筋を柱へ定着する場合、水平定着長さがLh2確保できない場合は折り曲げ定着とし、全定着長をL2以上とするともに、水平投影長さLa以上とし、余長を8d以上とする。尚、Laの値は原則として柱せいの3/4倍以上とする。
- (4) 耐圧スラブの下端筋の定着長は一般定着L2とする。



### (６) 継手

#### ■重ね継手

鉄筋種類	コンクリートの 設計基準強度 (Fc) N/mm <sup>2</sup>	重ね継手長さ	
		L1 (フックなし)	L1h (フックあり)
SD295 SD295B	18	45d	35d
	21	40d	30d
	24～27	35d	25d
	30～36	35d	25d
	39～45	30d	20d
SD345	18	50d	35d
	21	45d	30d
	24～27	40d	30d
	30～36	35d	25d
	39～45	35d	25d
SD390	21	50d	35d
	24～27	45d	35d
	30～36	40d	30d
	39～45	40d	30d
	48～60	30d	25d
SD490	24～27	55d	40d
	30～36	50d	35d
	39～45	45d	35d
	48～60	40d	30d

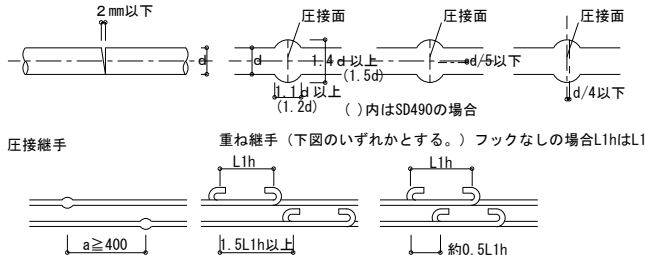


- [注] (1) 表中のdは、異形鉄筋の呼び名の数値を表し、丸鋼には適用しない。
- (2) 直径の異なる鉄筋相互の重ね継手の長さは、細い方のdによる。
- (3) フック付き重ね継手の長さは、鉄筋相互の折り曲げ開始点間の距離とし、折り曲げ開始点以降のフック部は継手長さに含まない。

#### ■継手に関する注意

- 継手位置は、応力の小さい位置に設けることを原則とする。
- D29以上の異形鉄筋は、原則として、重ね継手としてはならない。
- 鉄筋径dの差が7mmを超える場合は、圧接としてはならない。
- ガス圧接継手の形状、および継手の配置は下図による。

・ガス圧接形状(平成12年建設省告示1463号下図のほか、折れ曲がり、焼き割れ、へこみ、垂れ下がり及び内部欠損がないもの)



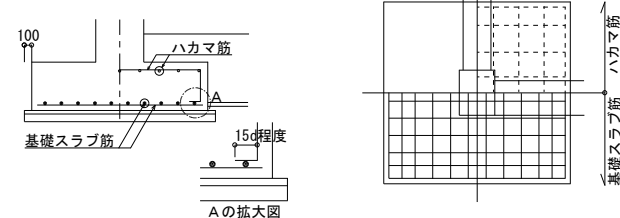
- 溶接継手および機械式継手を用いる場合は、信頼できる機関の評定等を受けたA級継手工法とする。
- 非破壊検査は工事監理者が承認した信頼できる検査機関で行うこと。

## ３．杭・基礎

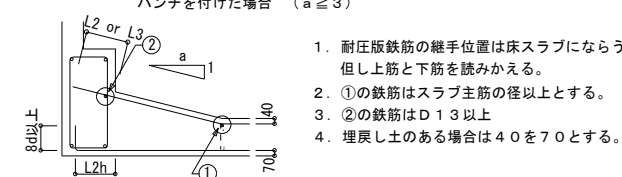
(配筋については地震力等の水平力等を考慮して別途検討すること。)

### (１) 直接基礎

#### ①独立基礎



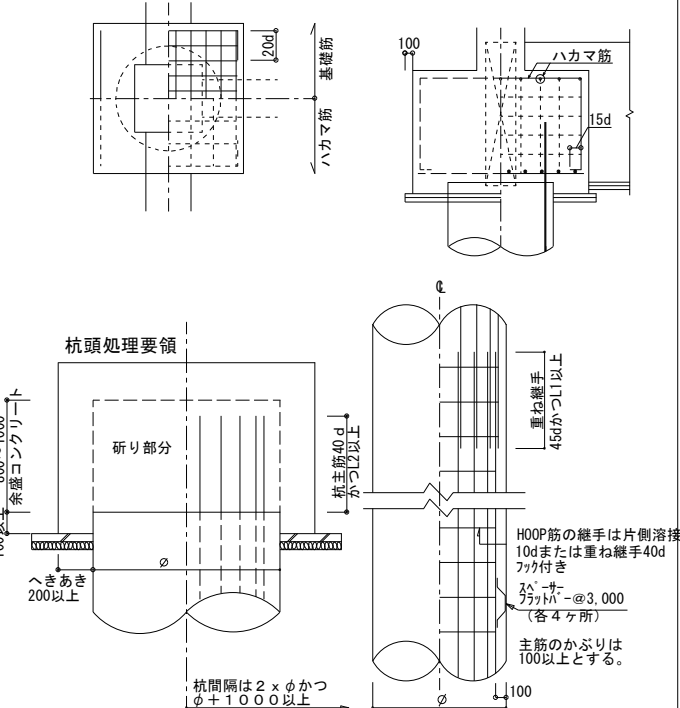
#### ②べた基礎



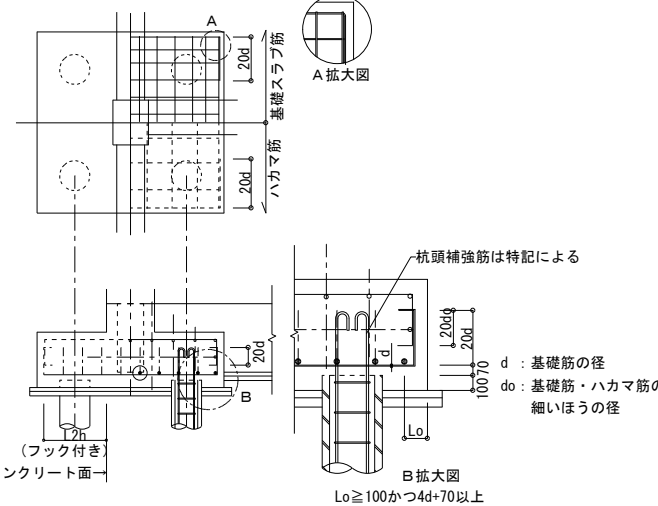
- 耐圧版鉄筋の継手位置は床スラブにならう但し上筋と下筋を読みかえる。
- ①の鉄筋はスラブ主筋の径以上とする。
- ②の鉄筋はD13以上
- 埋戻し土のある場合は40を70とする。

### (２) 杭基礎

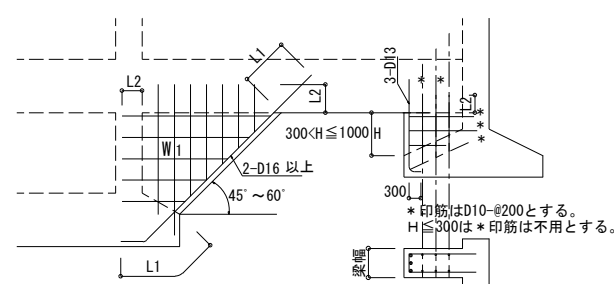
#### ①場所打ち杭



#### ②P H C 杭



### (３) 基礎接合部の補強



W1の三角壁厚さは、200以上または地中梁幅とし、配筋は同厚の壁リストにならう

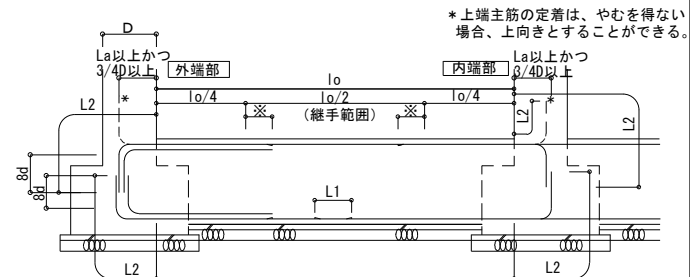


# 新鉄筋コンクリート構造配筋標準図（2）

※修正箇所は下線を引くこと

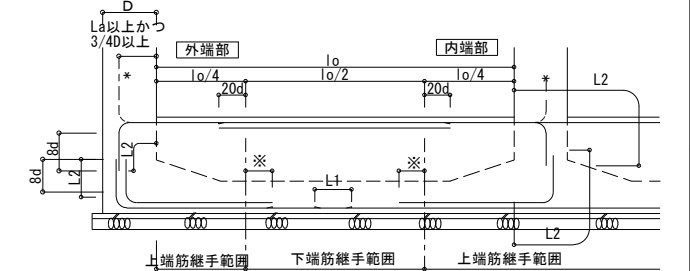
## 4. 地中梁

- (1) 独立基礎、杭基礎の場合（定着、継手）  
（長期荷重が支配的な場合の継手は6. (2) 大梁継手位置とする。）



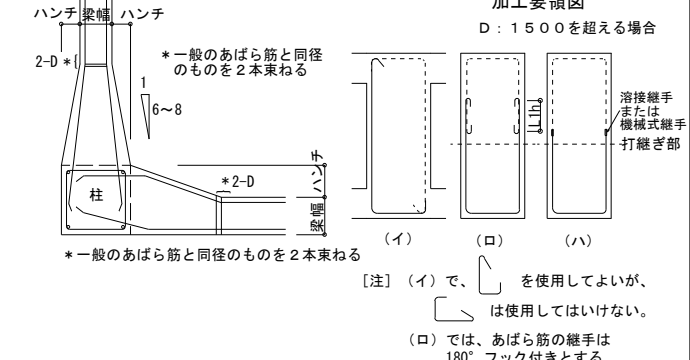
※主筋のカットオフ長さは $l_o/4+15d$ を基本とし、特別な長さを要する部分は6. 大梁の項に表6-1による。

- (2) 布基礎、べた基礎の場合（定着、継手）

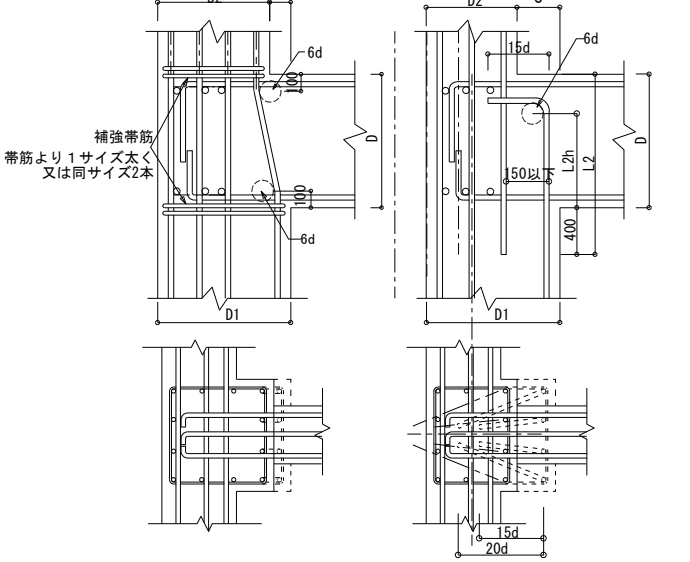


※主筋のカットオフ長さは $l_o/4+15d$ を基本とし、特別な長さを要する部分は6. 大梁の項に表6-1による。

- (3) 水平ハンチの場合のあばら筋加工要領 (4) せいの高い梁のあばら筋加工要領図

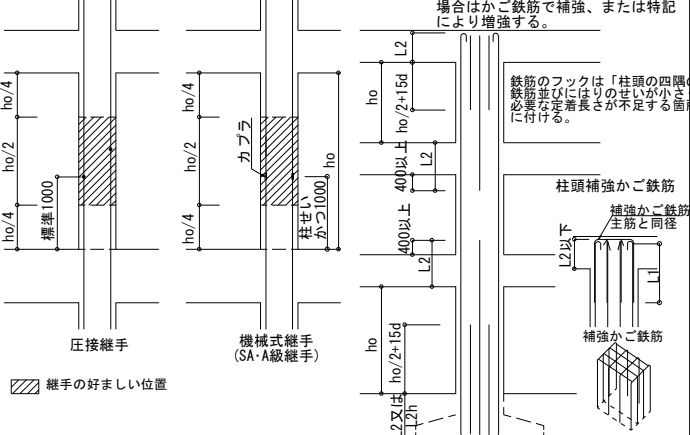


- (5) 絞り (a)  $e \leq D/6$  かつ  $150$  (b)  $150 \geq e > D/6$

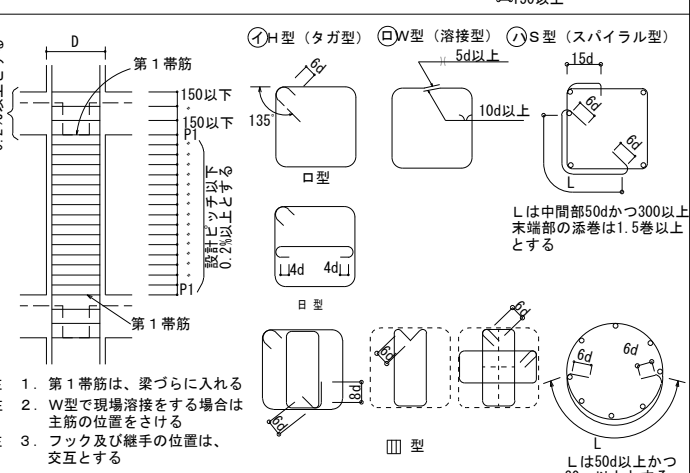


## 6. 柱

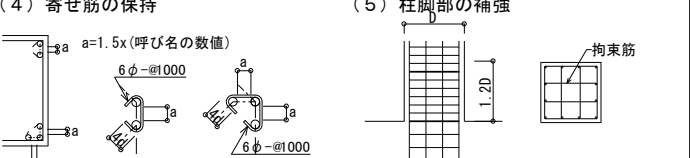
- (1) 柱主筋の継手位置 (2) 柱主筋の定着



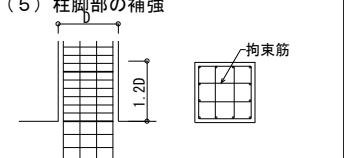
- (3) 帯筋



- (4) 寄せ筋の保持

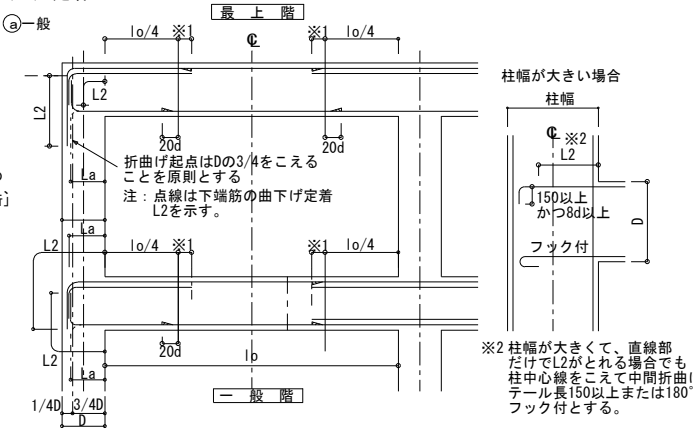


- (5) 柱脚部の補強



## 6. 大梁

- (1) 定着



- (2) ハンチがある場合

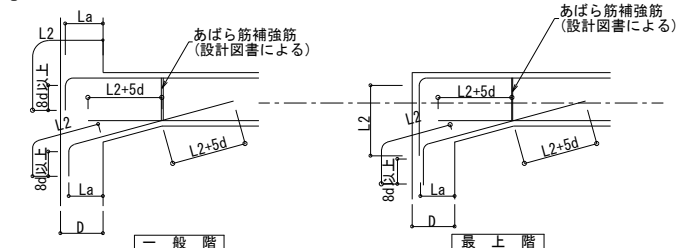
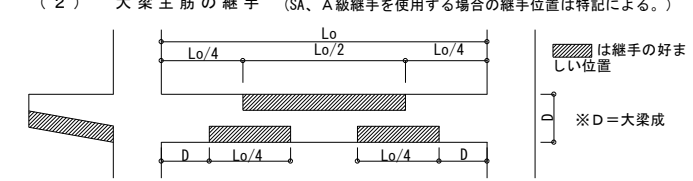


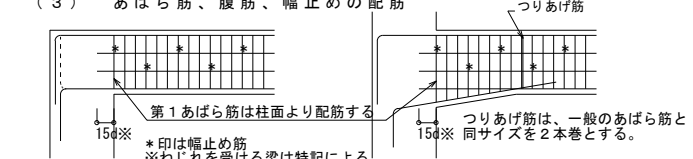
表6-1 特別なカットオフ長さを要する部材 (mm)

部 材 名	$l_o/4$ に加える長さ	部 材 名	$l_o/4$ に加える長さ
※大梁リストに依る。			

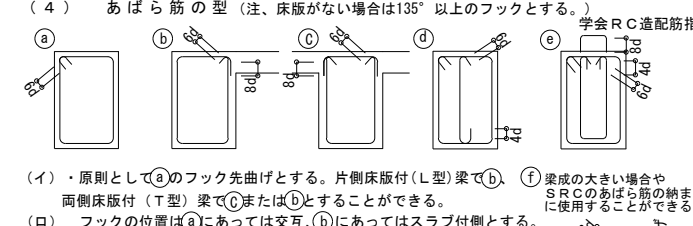
- (2) 大梁主筋の継手 (SA、A級継手を使用する場合の継手位置は特記による。)



- (3) あばら筋、腹筋、幅止めの配筋



- (4) あばら筋の型 (注、床版がない場合は135°以上のフックとする。)

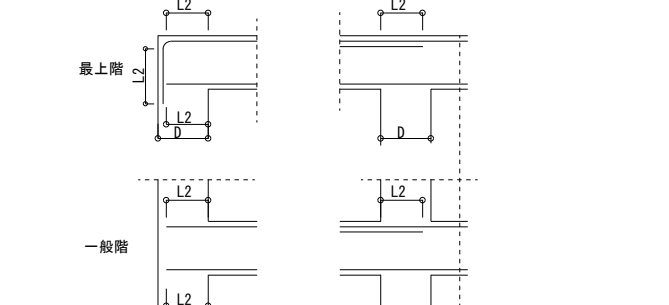


- (5) 幅止め筋の本数、加工

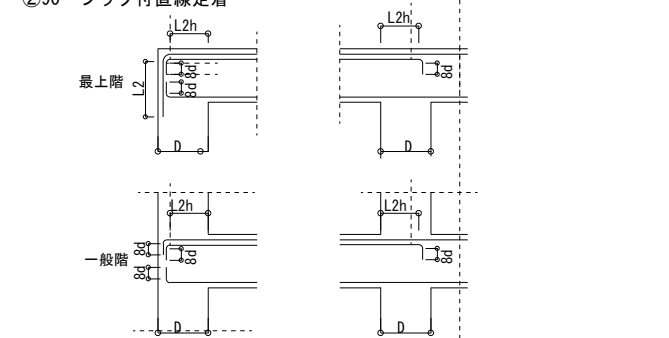
幅止め筋	幅止め筋
$D < 600$ 不要	
$600 \leq D < 900$ 2-D10 1段	
$900 \leq D < 1200$ 4-D10 2段	
$1200 \leq D$ D10@300以内	
$1200$ 以上 D13@300以内	
幅止め筋	D10@1000以内で割り付ける

## (6) 梁主筋の定着

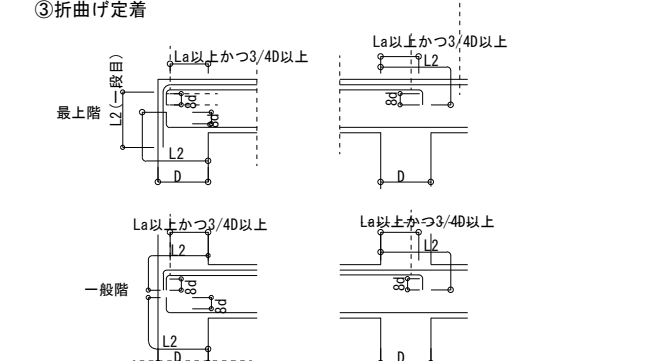
- ① 直線定着



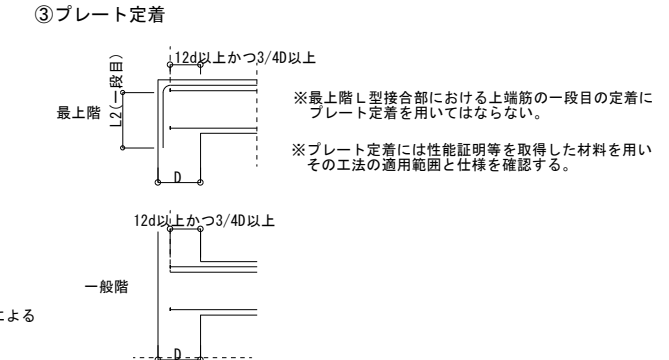
- ② 90° フック付直線定着



- ③ 折曲げ定着

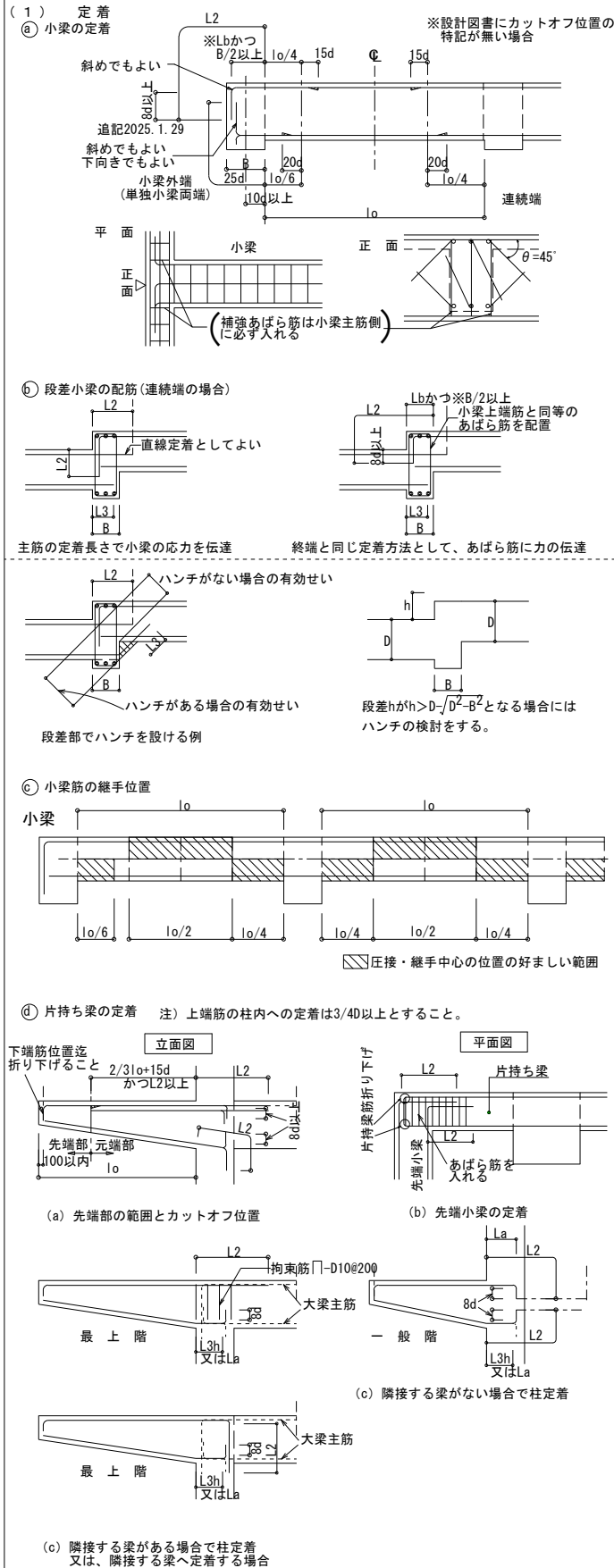


- ③ プレート定着



# 新鉄筋コンクリート構造配筋標準図（3）

## 7. 小梁、片持梁



土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 福平小学校校舎増築地盤調査業務委託  
事業名 または 工事名  
調査目的及び調査対象 建設 建築物基礎

ボーリング名	Bor.1	調査位置	鹿児島市平川町819番地の3	北緯	31° 28' 41.2"
発注機関	鹿児島県鹿児島市	調査期間	2024年 11月 11日 ～ 2024年 11月 12日	東経	130° 30' 4.9"
調査業者名	株式会社 アスコーリング 電話 099-254-0001	主任技師	北原 得太 登録番号 第24718号	調査員	北原 得太 登録番号 第24718号
孔口標高	1.0m	地盤深さ	10.00m	ポンプ	東邦製 BP-3C

標準貫入試験	試験採取	標準貫入試験	試験採取
深度-N値図	深度-N値図	深度-N値図	深度-N値図
1	1	1	1
2	2	2	2
3	3	3	3
4	4	4	4
5	5	5	5
6	6	6	6
7	7	7	7
8	8	8	8
9	9	9	9
10	10	10	10
11	11	11	11

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 福平小学校校舎増築地盤調査業務委託  
事業名 または 工事名  
調査目的及び調査対象 建設 建築物基礎

ボーリング名	Bor.2	調査位置	鹿児島市平川町819番地の3	北緯	31° 28' 41.2"
発注機関	鹿児島県鹿児島市	調査期間	2024年 11月 11日 ～ 2024年 11月 19日	東経	130° 30' 4.1"
調査業者名	株式会社 アスコーリング 電話 099-254-0001	主任技師	北原 得太 登録番号 第24718号	調査員	北原 得太 登録番号 第24718号
孔口標高	1.0m	地盤深さ	10.00m	ポンプ	東邦製 BP-3C

標準貫入試験	試験採取	標準貫入試験	試験採取
深度-N値図	深度-N値図	深度-N値図	深度-N値図
1	1	1	1
2	2	2	2
3	3	3	3
4	4	4	4
5	5	5	5
6	6	6	6
7	7	7	7
8	8	8	8
9	9	9	9
10	10	10	10
11	11	11	11

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 福平小学校校舎増築地盤調査業務委託  
事業名 または 工事名  
調査目的及び調査対象 建設 建築物基礎

ボーリング名	Bor.3	調査位置	鹿児島市平川町819番地の3	北緯	31° 28' 40.7"
発注機関	鹿児島県鹿児島市	調査期間	2024年 11月 6日 ～ 2024年 11月 7日	東経	130° 30' 4.9"
調査業者名	株式会社 アスコーリング 電話 099-254-0001	主任技師	北原 得太 登録番号 第24718号	調査員	北原 得太 登録番号 第24718号
孔口標高	1.0m	地盤深さ	10.00m	ポンプ	東邦製 BP-3C

標準貫入試験	試験採取	標準貫入試験	試験採取
深度-N値図	深度-N値図	深度-N値図	深度-N値図
1	1	1	1
2	2	2	2
3	3	3	3
4	4	4	4
5	5	5	5
6	6	6	6
7	7	7	7
8	8	8	8
9	9	9	9
10	10	10	10
11	11	11	11

基礎断面図

設計 G L : H=7.85m

▽設計 G L

△B. L : H=7.5m

B. L : H=7.61m

基礎断面図

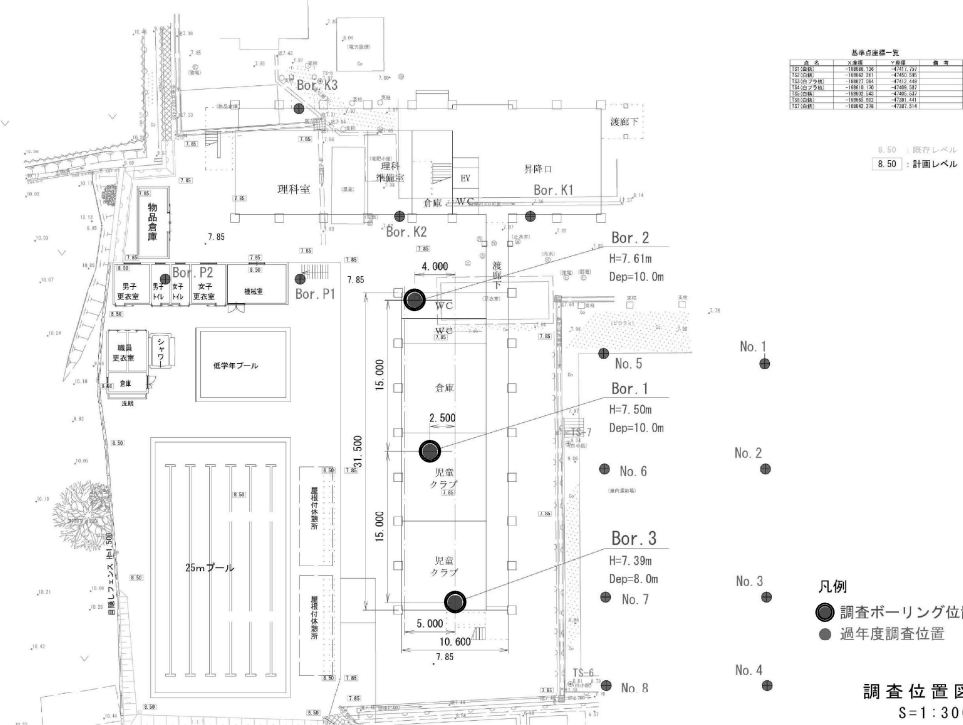
設計 G L : H=7.85m

▽設計 G L

△B. L : H=7.39m

B. L : H=7.39m

計画平面図 S=1:300



凡例  
● 調査ボーリング位置  
● 過年度調査位置

調査位置図  
S=1:300

一級建築士事務所 知事登録 第1-5-126号

有限会社 三島建築設計事務所

一級建築士 第278466号

三島 浩幸

福平小学校校舎増築その他本体工事

ボーリング柱状図

基礎断面図

1/200

S-06

鹿児島市建設局建築部建築課

一級建築士登録 第177422号 桑原 耕  
構造設計一級建築士 交付番号3186号 桑原 耕

# 深層混合処理工法特記仕様書

## 1. 工事概要

本地業は、スラリー状のセメント系固化材（以下、固化材液と称す）を地盤に注入しながら、共回り防止翼を装着した攪拌装置を用いて、原地盤土と機械的に攪拌混合し、固化材の固化反応により所要の強度を持つ改良柱体（以下、コラムと称す）を築造するものである。

## 2. 一般事項

本工事は、本特記仕様書によるほか「2018年版 建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針」（日本建築センター）（ベターリピング）による。

## 3. 特記事項

- コラムの径、掘削深度（設計コラム長＋空掘長）、本数配置等は設計図書による。ただし、コラムの径・長さ・本数・位置及び固化材液の配合等について土質や地盤状況により変更した方が適切だと判断される場合は、監督員の承認の下に変更することができる。
- コラムの設計基準強度はF<sub>c</sub>＝ 1200 kN/m<sup>2</sup>とする。
- 設計の要求する性能を確保するため、適切な配合管理および品質検査を実施する。
- 本工事は、改良体強度の品質が変動係数25%以下であることを「建設技術審査証明協議会（平成13年1月10日設立）」に属する機関で証明された技術審査証明取得工法とし、事前にその証明書を監理者に提出し、承認を得ることとする。  
又、品質確保の為、技術審査証明取得業者が常駐管理の元に施工を行う。

## 4. 施工計画

- 本工事施工業者は、本工法の施工技術に精通したものとす。
- 施工計画書  
工事に先立ち、施工計画書を監督員に提出する。施工計画書は、次の事項を明記する。

・工事件名及び工事場所	・施工管理項目
・コラム仕様及び数量	・固化材配合条件
〔コラム径、掘削深度（設計コラム長＋空掘長）、本数、設計基準強度〕	・施工機器
・工事期間及び工程	・品質検査
・工事の組織(建築請負業者の本工事責任者、コラム施工業者名及び責任者、各種作業の主たる従事者)	・安全衛生対策
・施工手順	・土質柱状図
	・コラム伏図
	・技術審査証明書（写）

## 5. 施工

- 作業地盤は、施工機械が傾斜・転倒しないよう養生する。
- 基本的な施工手順を以下に示す。施工の障害になる事項が出現した場合は、別途検討する。
  - 攪拌混合装置をコラム心に合わせる。
  - 固化材液を吐出せずに、空掘り部を所定の深度まで掘進する。
  - 固化材液を吐出しながら掘進・攪拌混合する。
  - 注入掘進工程が終了したら、固化材液の吐出を停止し先端部の練り返しを行う。
  - 先端練り返し工程が終了したら、攪拌軸を逆回転し引上げ攪拌混合する。
- 設計図書に示された支持地盤に着底する長さを実施コラム長という。
- 本工事により排出される発生残土は場内処分を原則とする。
- 施工に対して疑義が生じた場合は、ただちに監督員と協議し、その指示を受ける。

## 6. 施工機械

- 共回り現象を防止する機構を有し、固化材と原位置土を確実に攪拌混合できる攪拌装置を用いること。
- 所定の施工管理項目を計測、記録できる管理装置を用いること。
- 改良機本体は本工事の施工仕様を満足させる施工制御機器を装備したもので、自走式とする。
- ミキシングプラントは、所定吐出量を十分供給できるものとする。

## 7. 配合管理

- 固化材液に使用する材料は、セメント又はセメント系固化材とする。
- 配合強度  
変動係数を25%と想定し、9項に規定する抜き取り箇所N、合格確率 80%とした下表を用いて設定する。

N	1	2	3	4～6	7～8	9
α	2.163	1.918	1.815	1.719	1.651	1.594

X<sub>f</sub>＝α×F<sub>c</sub> 〔α：割り増し係数、X<sub>f</sub>：配合強度〕

- 室内配合試験  
固化材液の配合（W／C）と使用量（添加量）は、室内配合試験の結果に基づいて、現場室内強度比を考慮して、配合強度を満足するように決定する。あるいは正確に土質を把握し、かつその土質に対する既存データがある場合は、その結果を用いて添加量を決定する。  
設計段階で想定する添加量 【 400 kg／m<sup>3</sup> 】

## 8. 施工管理

- 施工の安定性を確保するため下記に示す項目について施工管理する。

① 形状・寸法	：鉛直性 コラム芯 掘削深度 コラム径	改良機本体のリーダー内に設置された傾斜計で管理する 事前にコラム芯にマークを設ける 深度計で計測し記録する 攪拌装置の形状・寸法を記録する
② 固化材	：材料計量 固化材液の密度 固化材液の添加量又はスラリーの吐出量	水、固化材の重量 マッドバランス等 スーパースystemによる施工管理又は流量計で計測し、記録する
③ 攪拌混合度	：攪拌混合回数又は掘進・引上げ速度	スーパースystemによる施工管理又は速度計で計測し、記録する
④ 支持地盤	：仕事量又は掘進速度・オーガー電流値（又はトルク値）	スーパースystemによる施工管理又は速度計・電流計（又はトルク計）で計測し、記録する （着底判定(仕事量・電流値・トルク値)は、先行コラムの施工状況により、監督員と協議して決定する）

- コラムの芯ズレ  
コラムの芯ズレが許容値を超えた場合は、監督員（監理者）と協議し、設計検討により応力照査を行った上、安全であると判断した場合、設計図書で示された仕様を満足しているものとする。
- 施工の立会い  
建築工事の請負者は、本地業責任者(請負業者の中から選定)及び施工責任者を定め、両者は本地業の施工中は立ち会うものとする。

## 9. 品質検査

- 検査対象群、検査対象層及び調査箇所数

① 検査対象群は概ねコラム300本を1単位とする。土層毎に検査対象層を決めるが、最小層厚を0.5mとする。
② 検査対象層は【礫混じりシルト質砂】 【砂質シルト】 【粘土質シルト】 であり、設計対象層を 【粘土質シルト】 とする。ただし、設計対象層以外の平均強度が設計対象層の平均強度より小さい場合は、最も小さい平均強度の層を設計対象層とする。
③ 調査箇所数（1検査対象群に対して） 頭部コア 100コラムに1ヶ所 深度コア 100コラムに1ヶ所 コア採取方法は、モールドコア採取とする。
- 可否の判定

① 設計対象層についての抜取箇所数をNとする。1ヶ所あたりは3個の供試体を採取し、その平均強度をその箇所の強度とする。
② 一軸圧縮試験は公的機関あるいは検査員立会いの下に行うものとする。
③ 検査手法は品質のバラツキを想定する場合の検査手法Aによる。
④ 検査手法Aによる品質検査 可否の判定は検査対象層におけるNヶ所（抜取箇所数）の一軸圧縮試験結果が下式を満足すれば合格とする。

$$\bar{X}N \geq XL = F_c + k_a \cdot \sigma$$

$\bar{X}N$ ： Nヶ所の一軸圧縮強度の平均値(kN/m<sup>2</sup>)

XL： 合格判定値(kN/m<sup>2</sup>)

F<sub>c</sub>： 設計基準強度(kN/m<sup>2</sup>)

k<sub>a</sub>： 合格判定係数

σ： 標準偏差(kN/m<sup>2</sup>)＝ $v \cdot \bar{q}_{ud}$ （ $v$ ：変動係数、品質確認書により想定する）  
 $\bar{q}_{ud}$ ：想定した平均一軸圧縮強さ(kN/m<sup>2</sup>)

抜き取りヶ所数N	1	2	3	4～6	7～8	9
合格判定係数 k <sub>a</sub>	1.9	1.7	1.6	1.5	1.4	1.3

## 10. 報告

工事完了後、次の項目について報告書をまとめ、監督員に3部提出する。

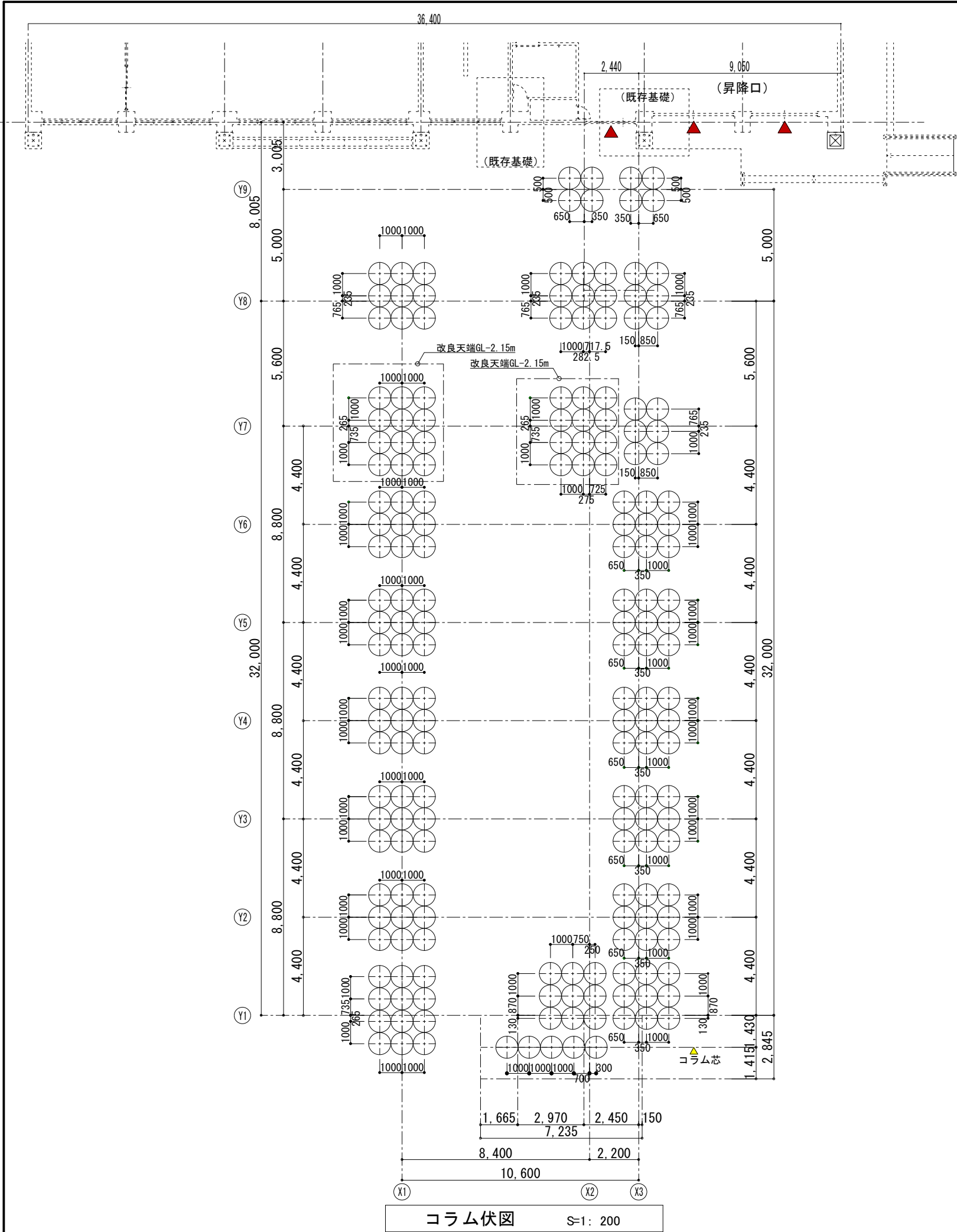
- |                         |                           |
|-------------------------|---------------------------|
| ① コラムの伏図及び番号            | ⑥ 仕事量又は、掘進速度及び電流値（又はトルク値） |
| ② コラムの施工日               | ⑦ 固化材液の配合と固化材の使用量         |
| ③ コラムの径及び実施コラム長         | ⑧ コア供試体の一軸圧縮強度試験結果        |
| ④ 掘削深度                  | ⑨ 可否判定結果                  |
| ⑤ 攪拌混合回数又は、掘進速度及び引き上げ速度 |                           |

## 11. 六価クロム溶出試験

本工事は、施工前において六価クロム溶出試験を行い、その結果が満足することを確認する。

一級建築士登録 第177422号 桑原 耕 構造設計一級建築士 交付番号3186号 桑原 耕	一級建築士事務所 知事登録 第1-5-126号	福平小学校校舎増築その他本体工事		
	有限会社 三島建築設計事務所	深層混合処理工法特記仕様書	NO. SCALE	S-07
	一級建築士 第278466号 三島 浩幸	鹿児島市建設局建築部建築課		

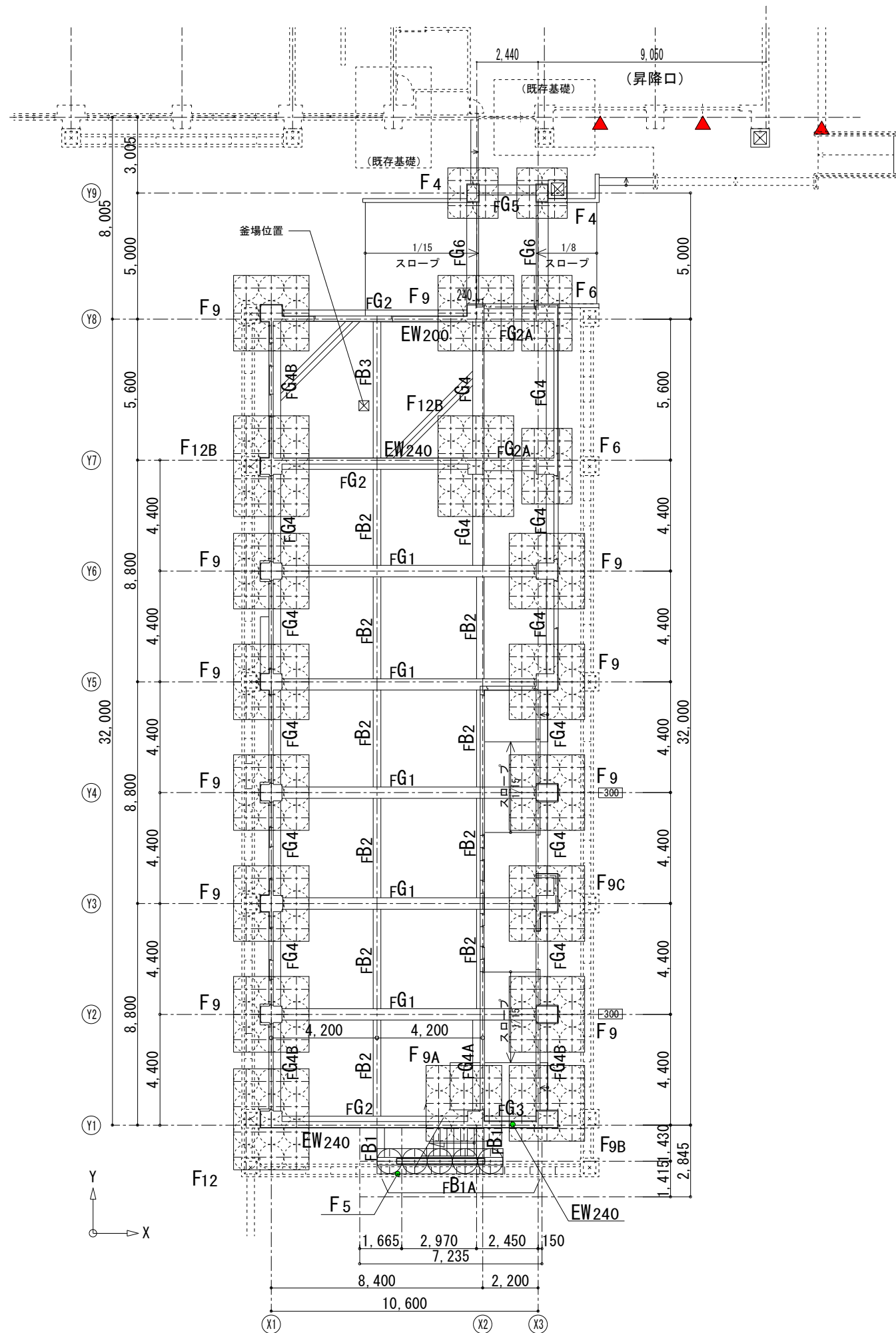




深層混合処理工法要領

設計基準強度KN/m <sup>2</sup>		1200						
現場平均強度KN/m <sup>2</sup>		2400						
添加量 kg/m <sup>3</sup>		400						
W／C (%)		※3						
符 号		F4	F6	F9	F12	F9A F9B	F12B	F5
改 良 径	mm	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000
屈 削 長	m	6.6	6.6	6.6	6.6	6.6	6.6	6.6
空 堀 長	m	1.85	1.85	1.85	1.85	1.85	2.15	1.85
改 良 長	m	4.75	4.75	4.75	4.75	4.75	4.45	4.75
本 数	本	8	12	108	12	18	24	5
合 計	本	187						

- ※1. 現地盤により改良長が変更になる場合があります。  
※2. 改良長は支持層を確認しながら決定の事。  
※3. 添加量・W／Cは配合試験により決定の事。  
※4. 本工事は、「建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針 改訂版」  
(日本建築センター)による。  
※5. 工事に先立ち、施工計画書を監督員に提出する。



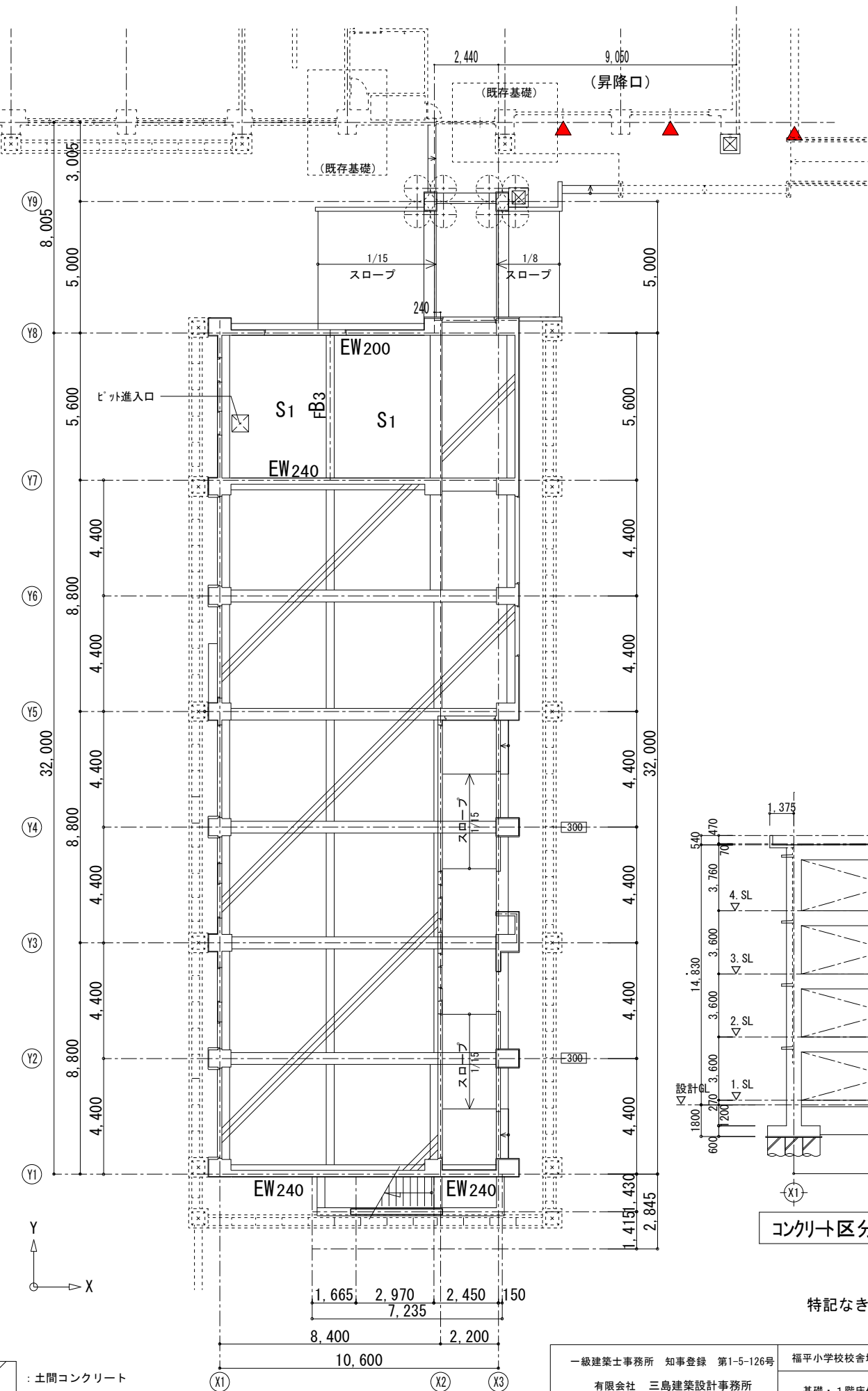
基礎伏図

S=1: 200

土間コンクリート

1階床伏図

S=1: 200



一級建築士事務所 知事登録 第1-5-126号

有限会社 三島建築設計事務所

一級建築士 第 278466 号

三島 浩幸

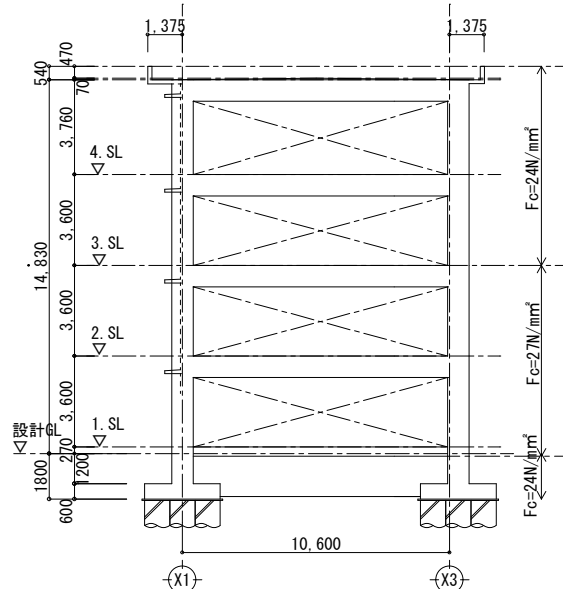
福平小学校校舎増築その他本体工事

基礎・1階床伏図

1/200

鹿児島市建設局建築部建築課

S-09

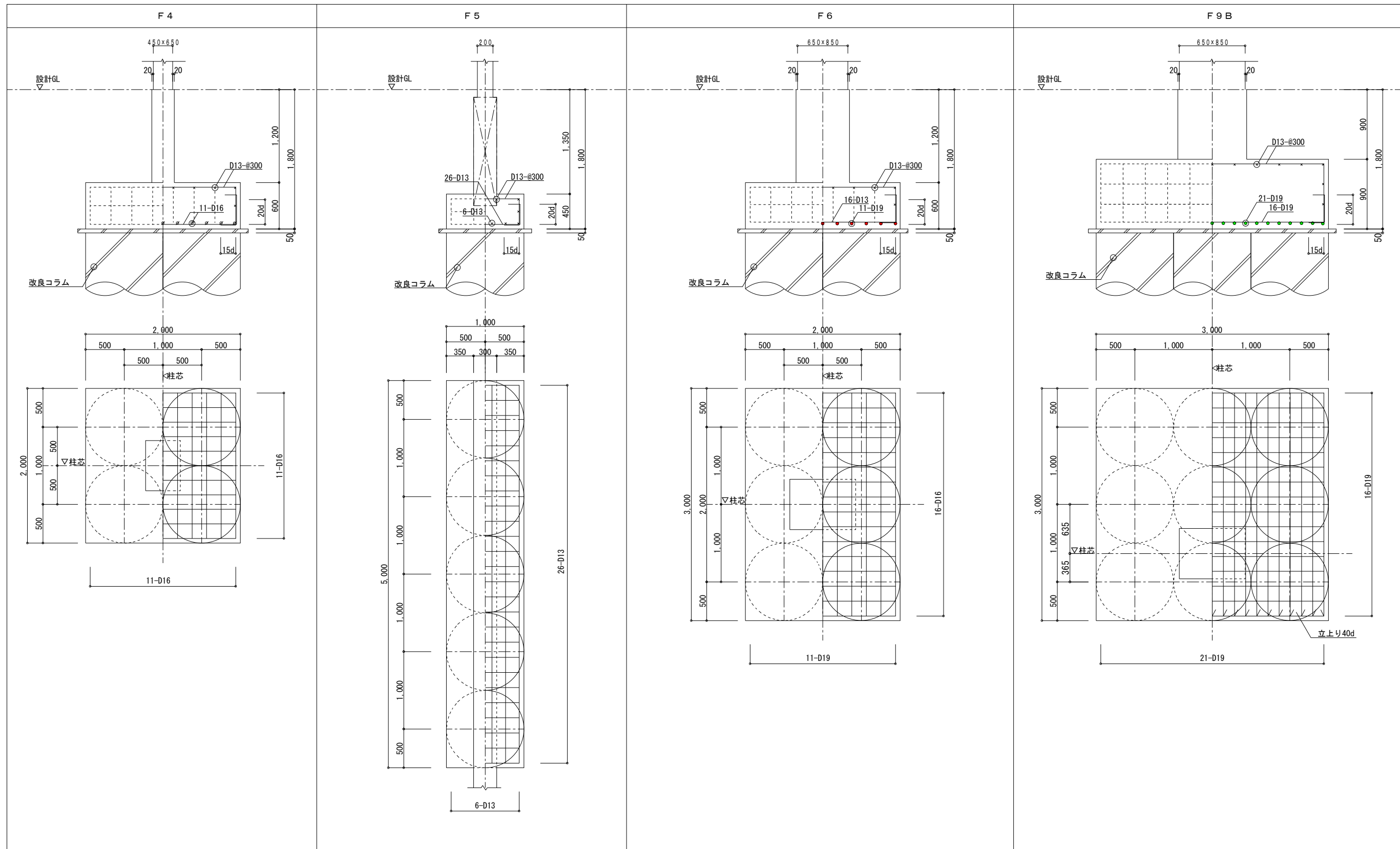


コンクリート区分図

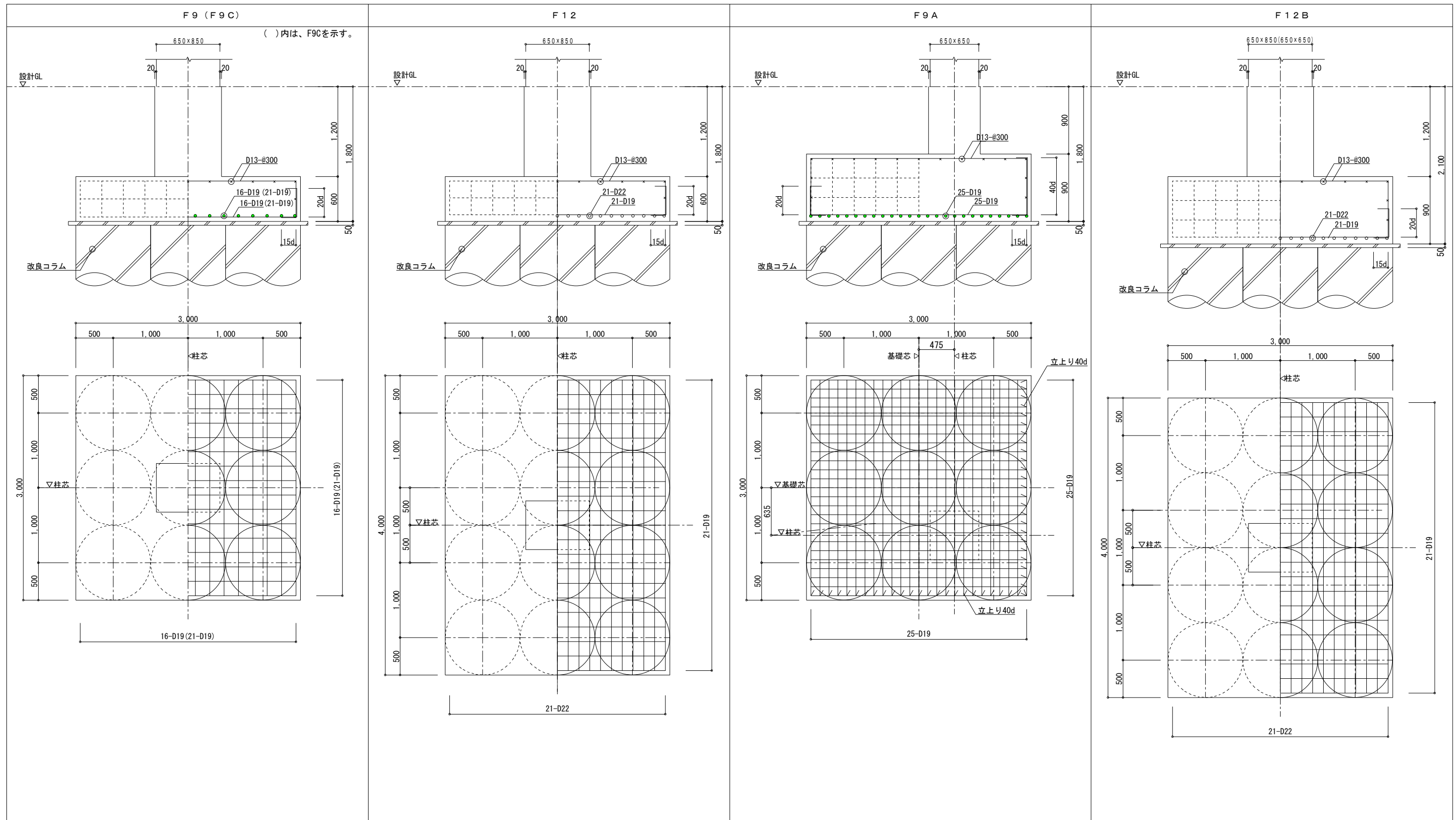
NQ SCALE

特記なき壁はW150とする

基礎リスト(1) S=1:50



基礎リスト(1) S=1:50

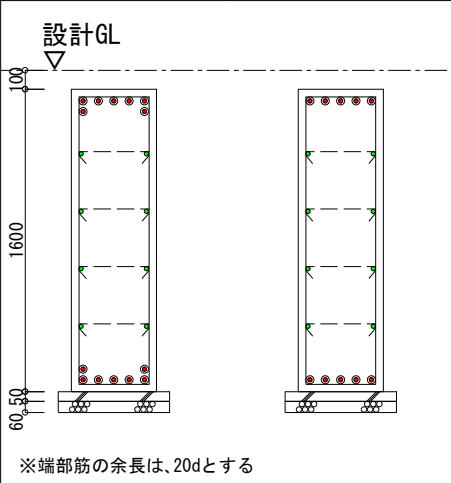
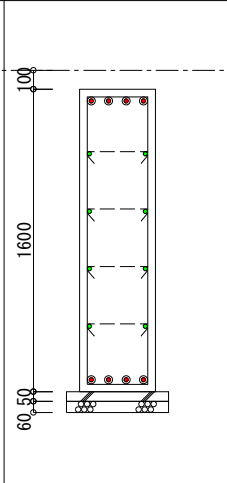
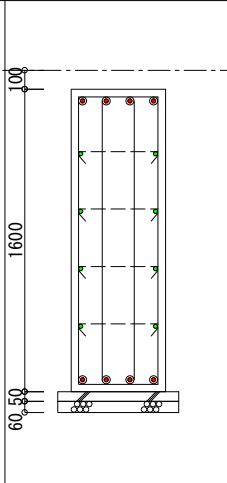
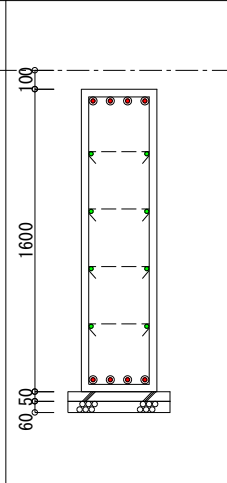
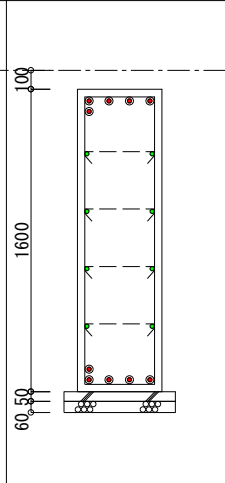
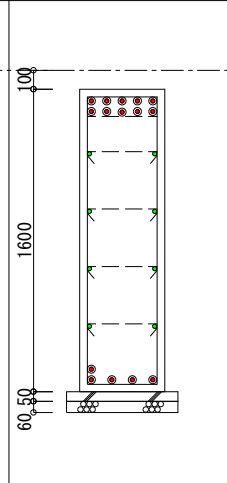
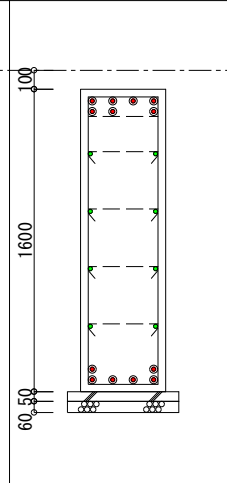
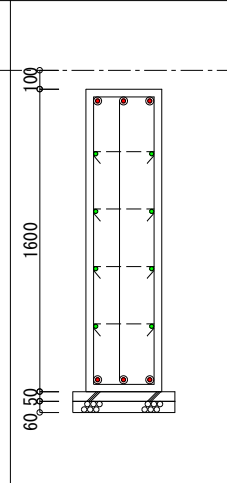
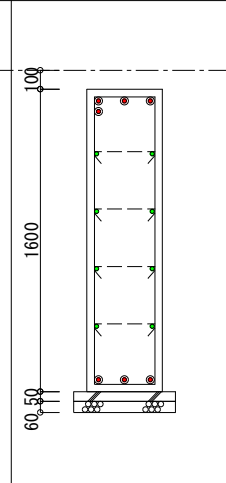
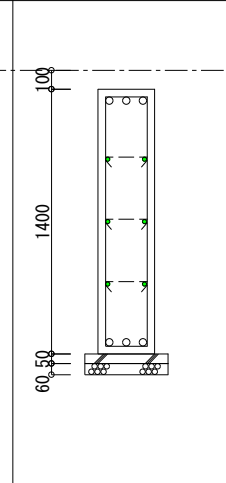
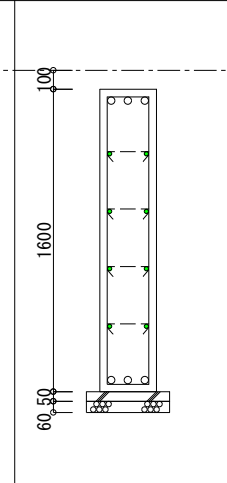


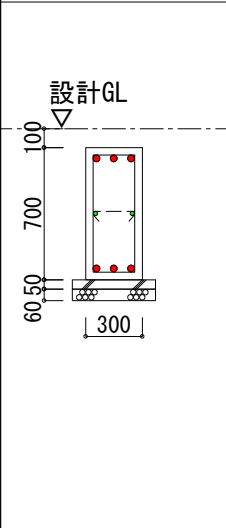
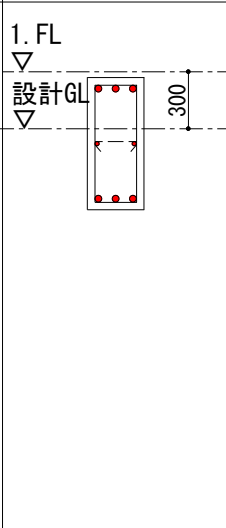
地中梁リスト

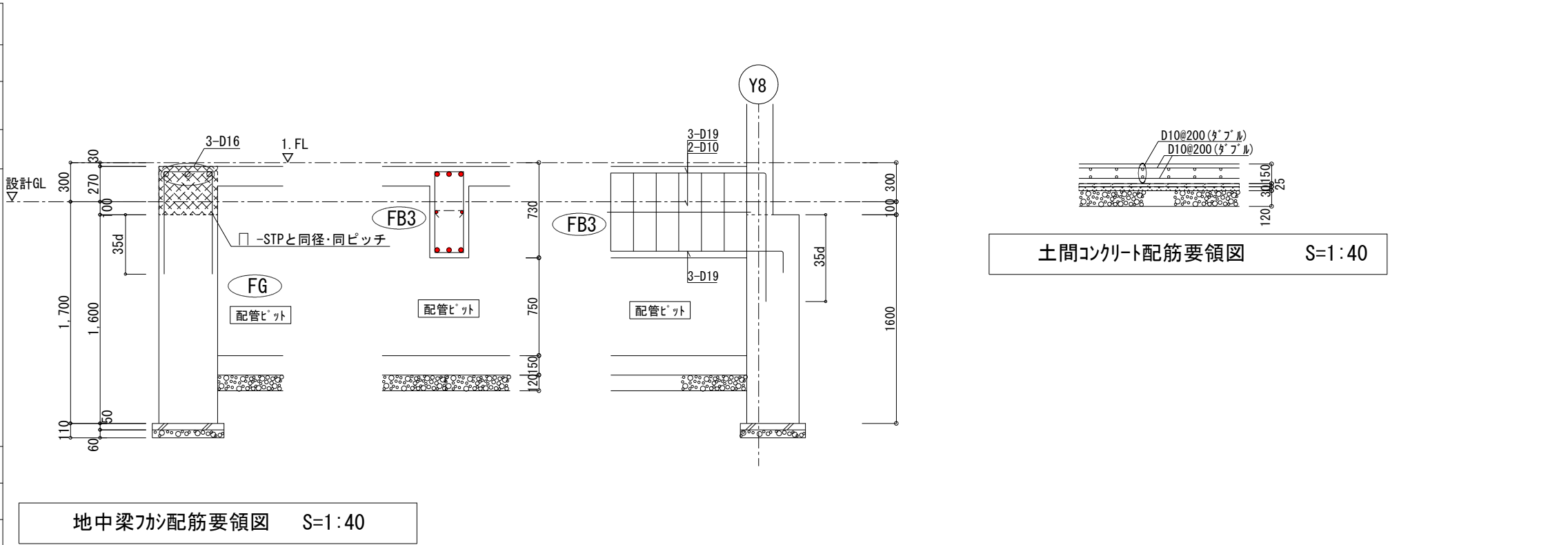
S = 1 : 4 0

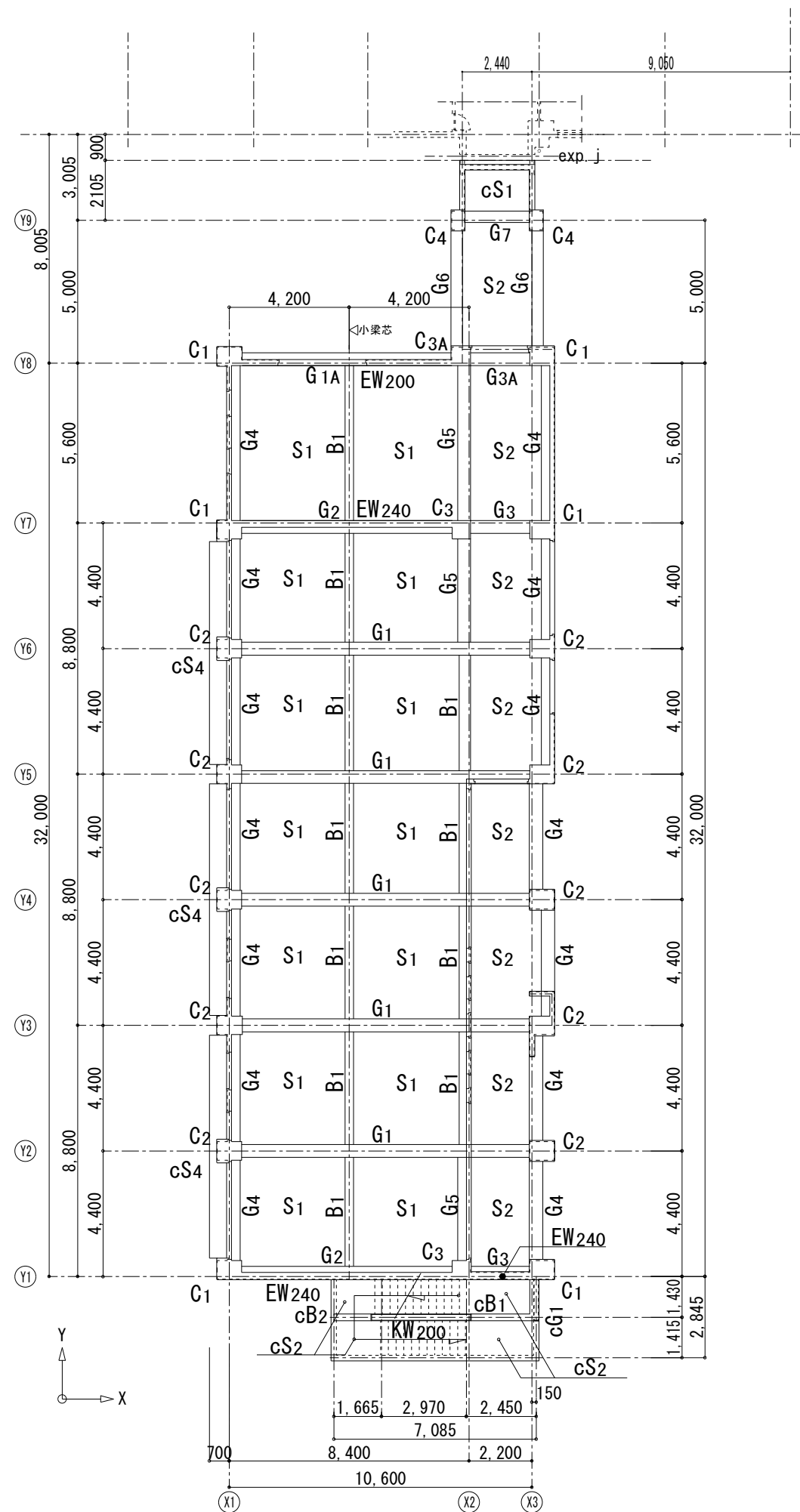
巾止め筋はD10-@1,000以下、2段筋のあきは1.5d（d：鉄筋径）とする。

主筋は、柱内へ40d定着の事。

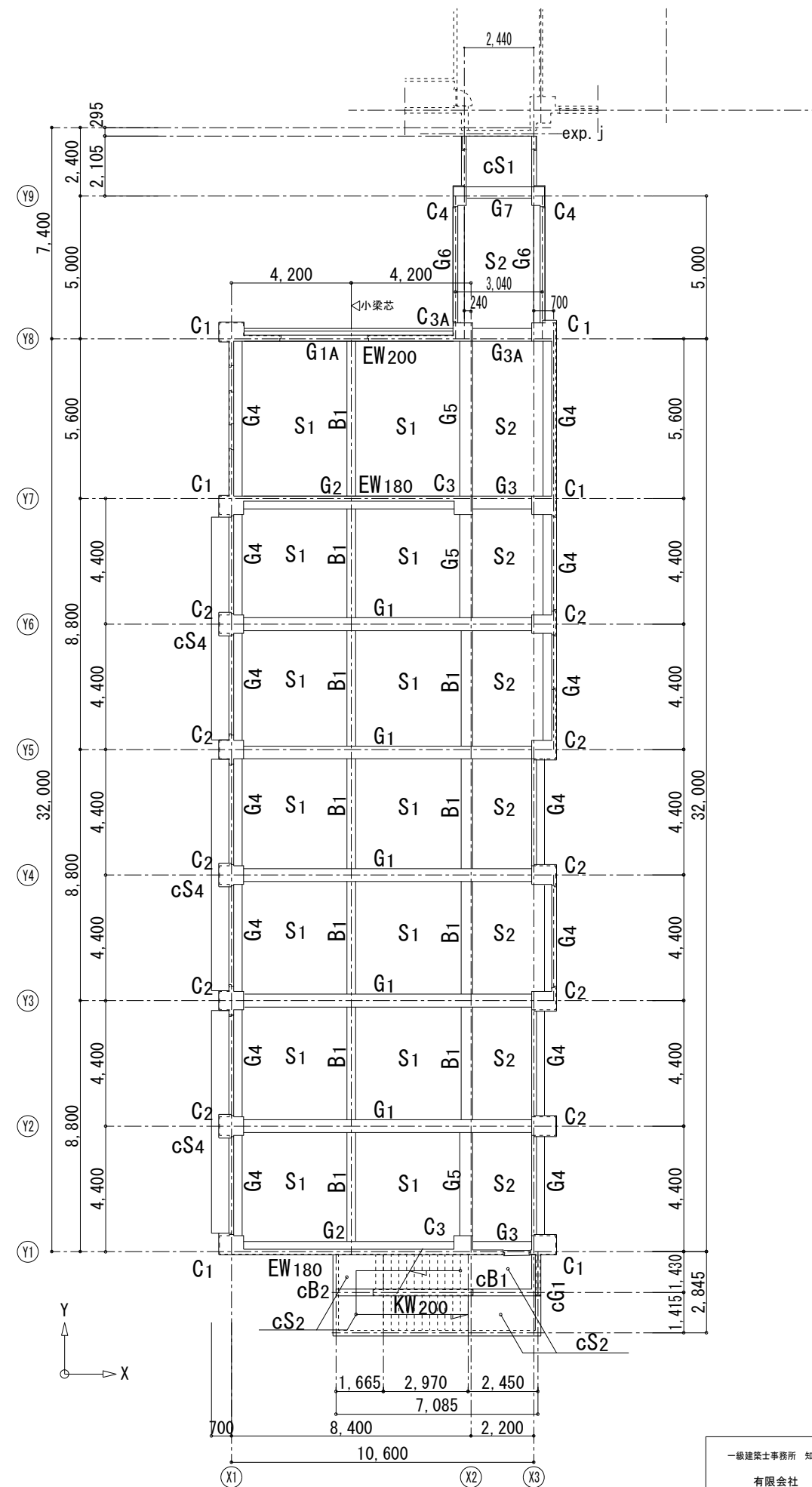
符 号	FG1		FG2	FG2A	FG3	FG4	FG4A	FG4B	FG5	FG6	FB1	FB1A
位 置	両 端	中 央	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面
断 面												
BxD	450 x 1600		400 x 1600	500 x 1600	400 x 1600	450 x 1600	450 x 1600	450 x 1600	400 x 1600	400 x 1600	300 x 1400	300 x 1600
上端筋	7-D25	5-D25	4-D25	4-D25	4-D25	5-D25	10-D25	7-D25	3-D25	4-D25	3-D22	3-D22
下端筋	7-D25	5-D25	4-D25	4-D25	4-D25	5-D25	5-D25	6-D25	3-D25	3-D25	3-D22	3-D22
S T P	□-D13-@200		□-D13-@200	▣-D13-@100	□-D13-@200	□-D13-@150	□-D13-@150	□-D13-@150	▣-D13-@100	□-D13-@200	□-D10-@200	□-D10-@200
腹 筋	8-D10		8-D10	8-D10	8-D10	8-D10	8-D10	8-D10	8-D10	8-D10	6-D10	8-D10

符 号	FB2	FB3
位 置	全断面	全断面
断 面		
BxD	300 x 700	300 x 700
上端筋	3-D19	3-D19
下端筋	3-D19	3-D19
S T P	□-D10-@200	□-D10-@200
腹 筋	2-D10	2-D10





1階柱2階梁床伏図 S=1: 200

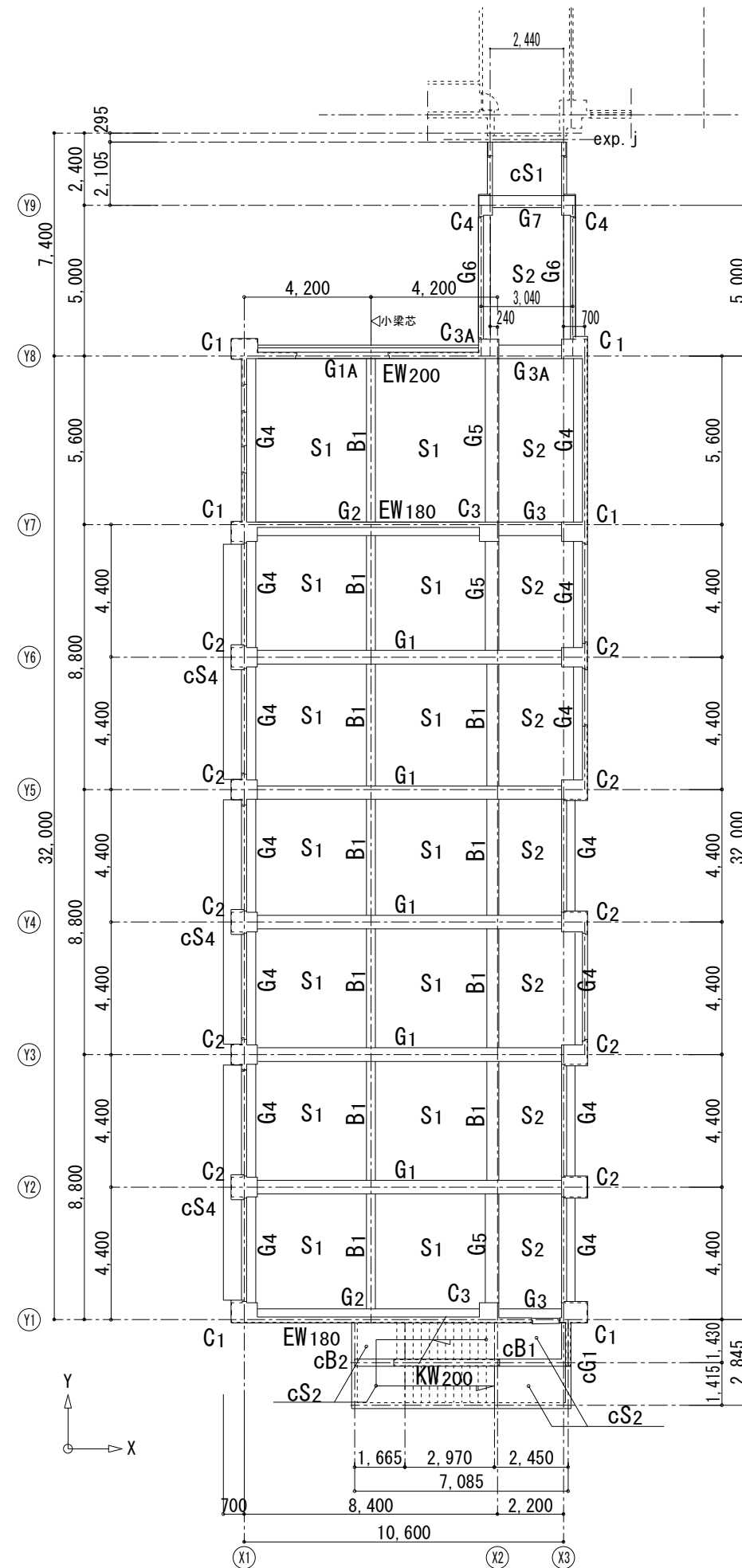


2階柱3階梁床伏図 S=1: 200

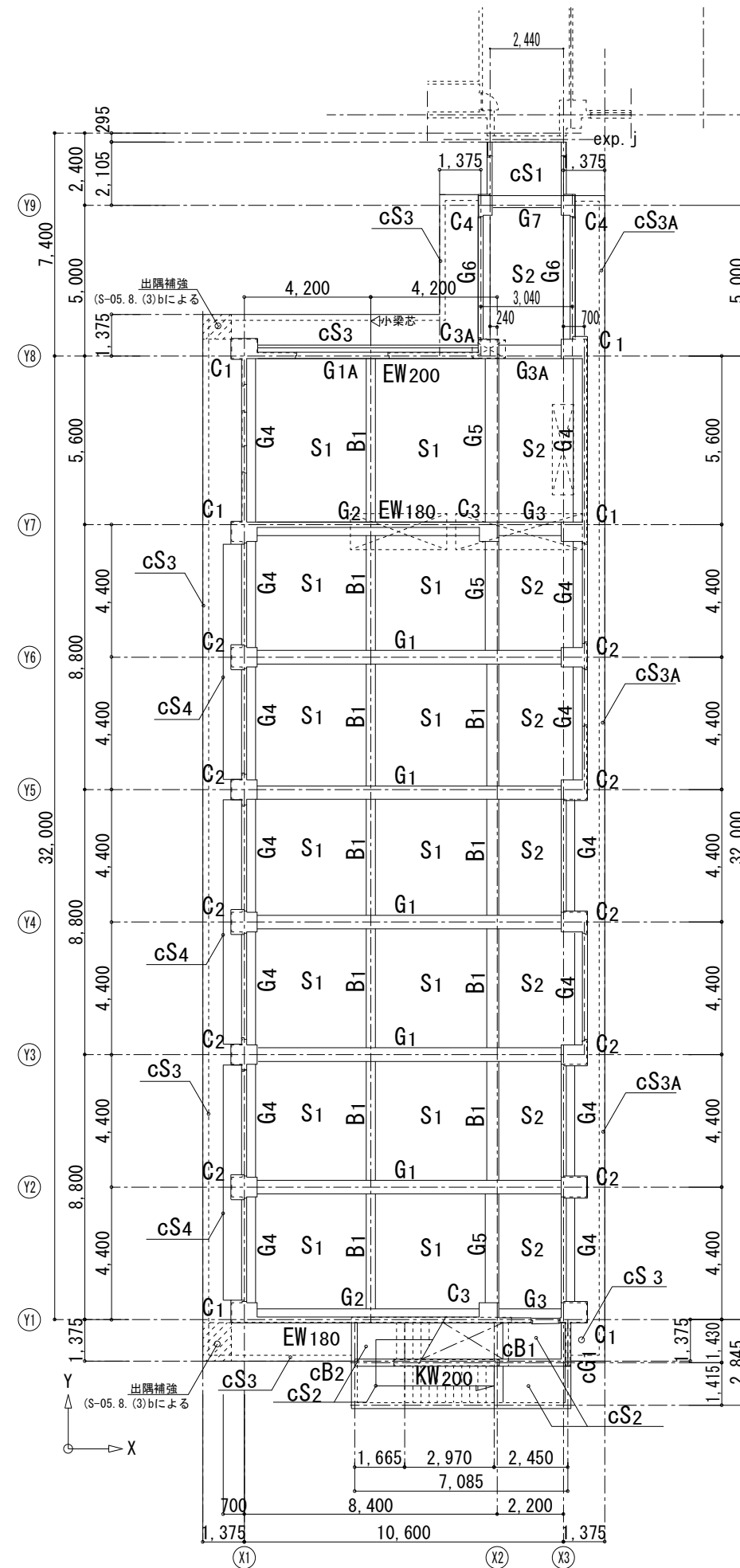
特記なき壁はW150とする

一級建築士事務所 知事登録 第1-5-126号		福平小学校校舎増築その他本体工事	
有限会社	三島建築設計事務所	1-2階柱2-3階梁床伏図	1/200
一級建築士	第278466号	S-13	
三島 浩幸		鹿児島市建設局建築部建築課	

一級建築士登録 第177422号 桑原 耕  
構造設計一級建築士 交付番号3186号 桑原 耕



3階柱4階梁床伏図 S=1: 200

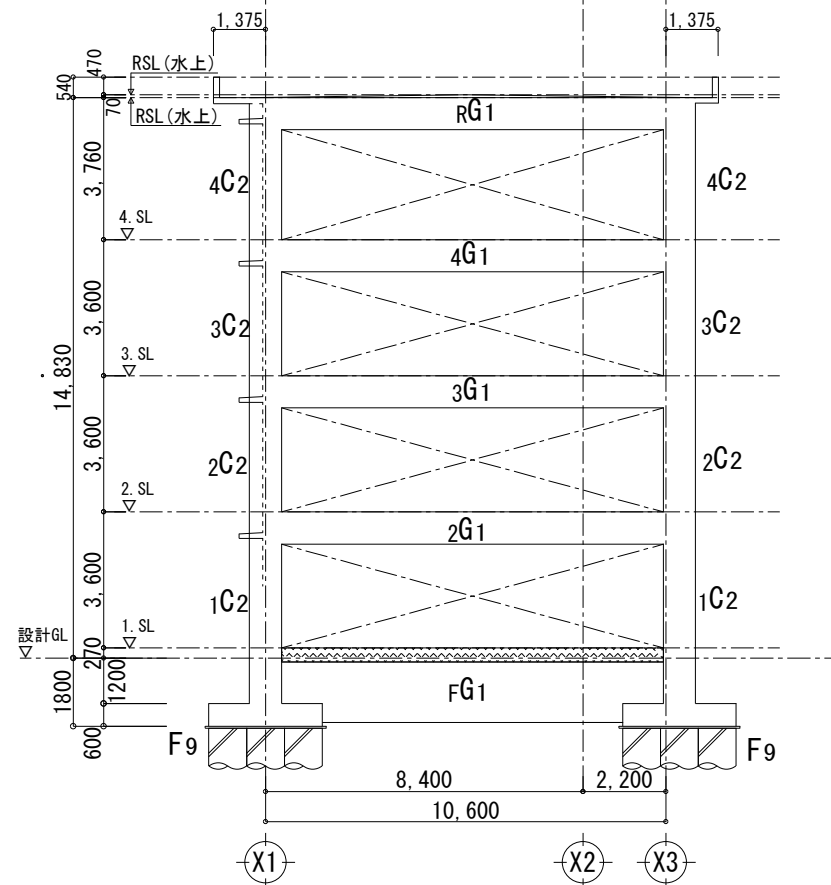


4階柱R階梁床伏図 S=1: 200

特記なき壁はW150とする

一級建築士事務所 知事登録 第1-5-126号		福平小学校校舎増築その他本体工事		
有限会社 三島建築設計事務所		3-4階柱4-R階梁床伏図	1/200	S-14
一級建築士 第278466号 三島 浩幸				
		鹿児島市建設局建築部建築課		

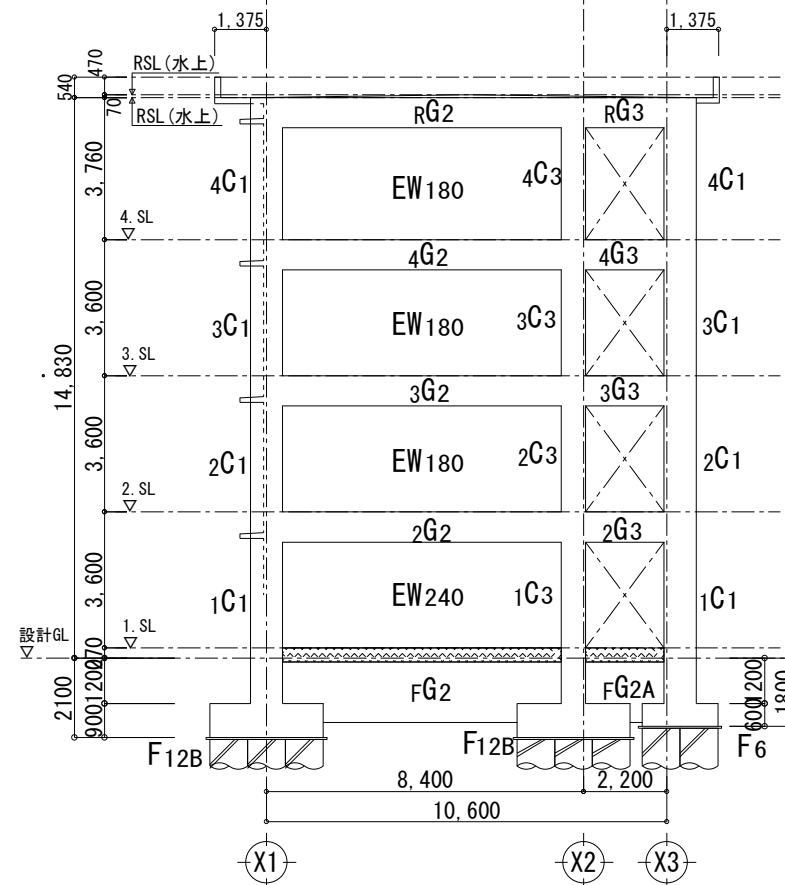
一級建築士登録 第177422号 桑原 耕  
構造設計一級建築士 交付番号3186号 桑原 耕



Y6通り 軸組図

S=1: 200

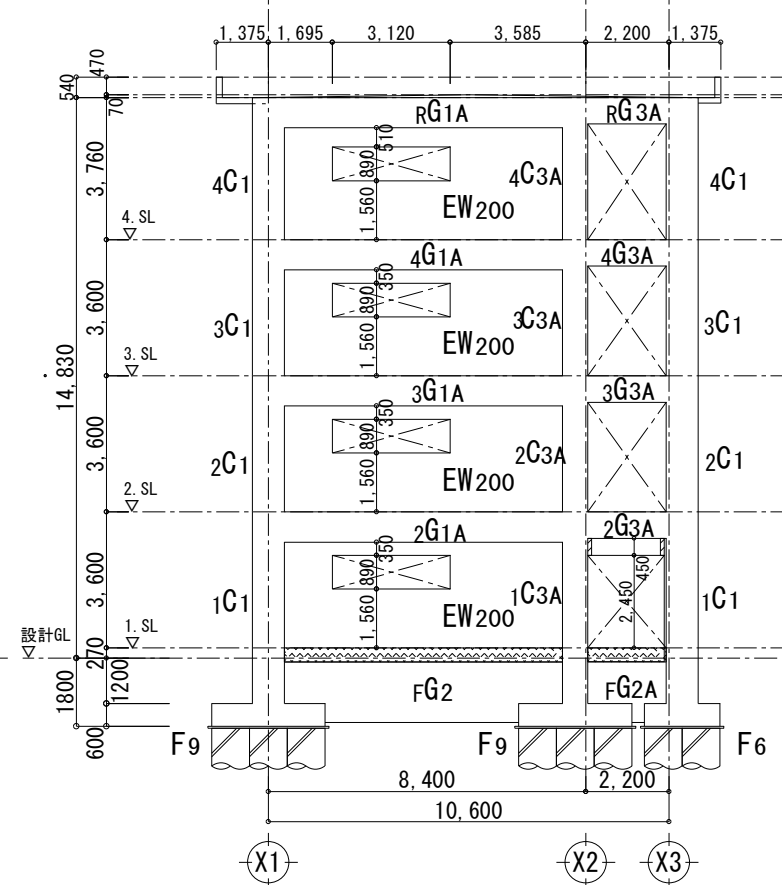
印は、フカシ部分を示す。



Y7通り 軸組図

S=1: 200

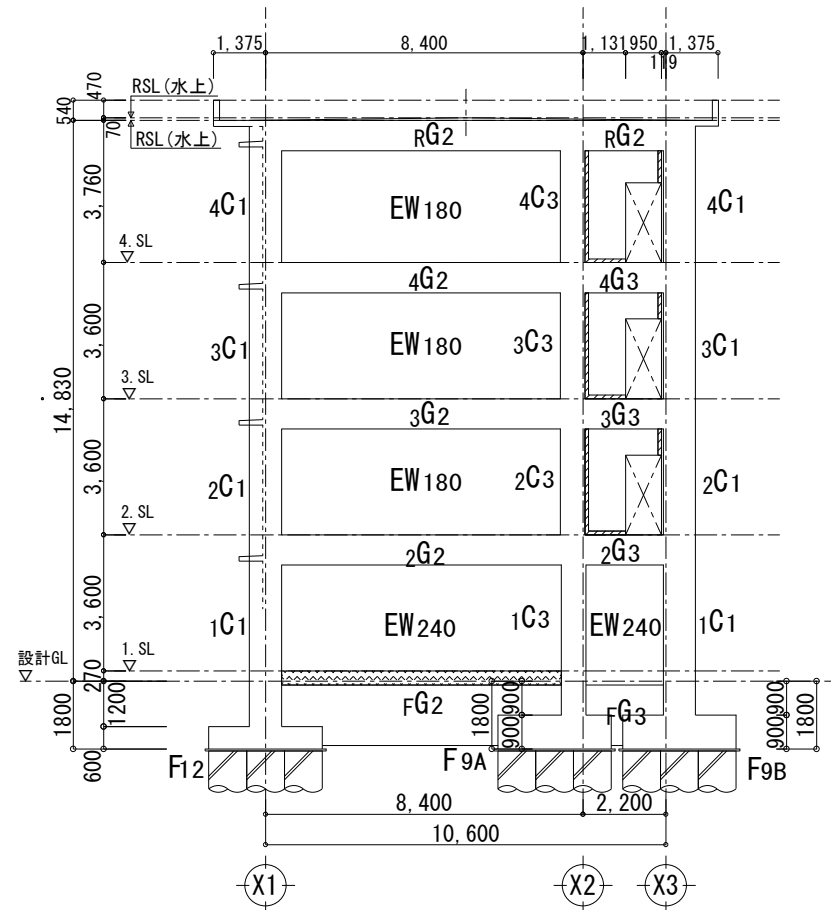
印は、フカシ部分を示す。



Y8通り 軸組図

S=1: 200

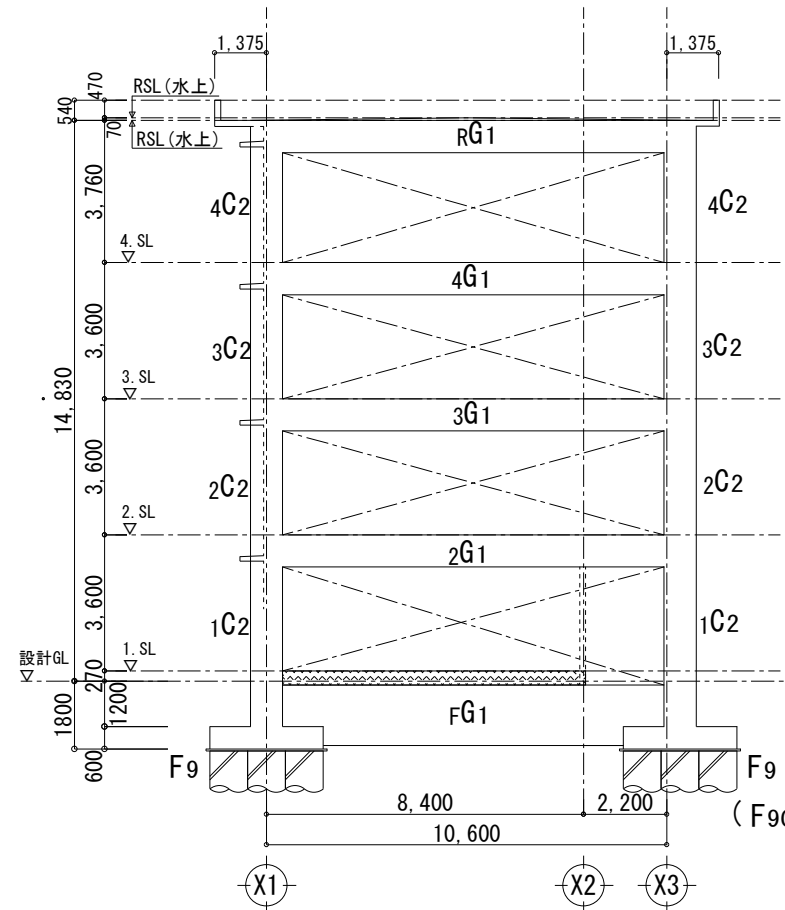
印は、構造スリット位置を示す。  
印は、フカシ部分を示す。



Y1通り 軸組図

S=1: 200

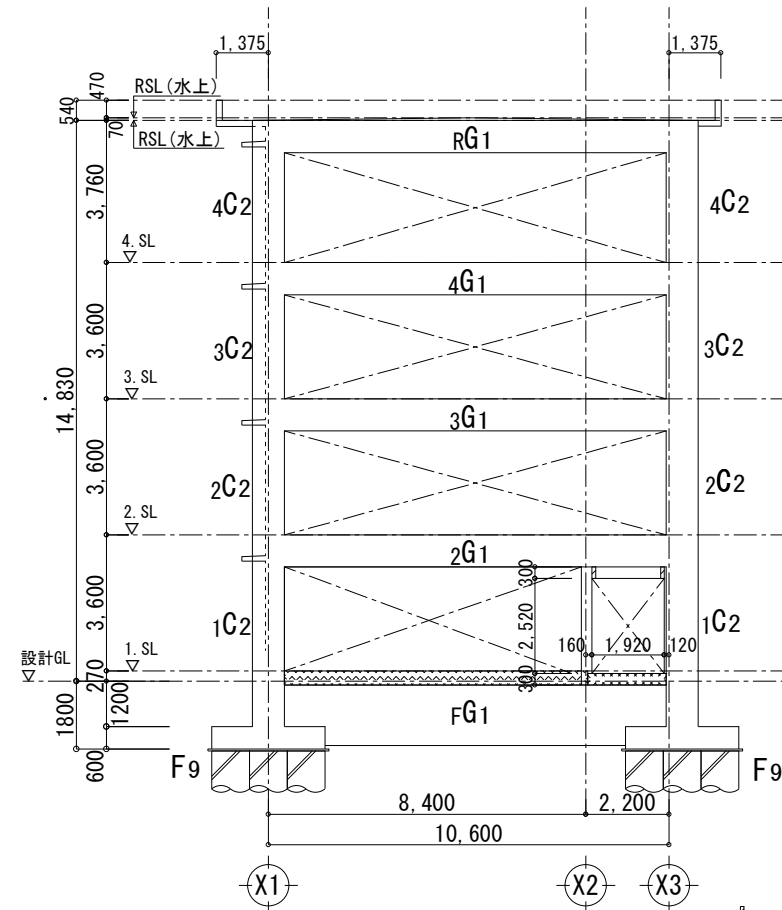
印は、構造スリット位置を示す。  
印は、フカシ部分を示す。



Y2～Y4通り 軸組図

S=1: 200

( )内は、Y3通りを示す。  
印は、フカシ部分を示す。

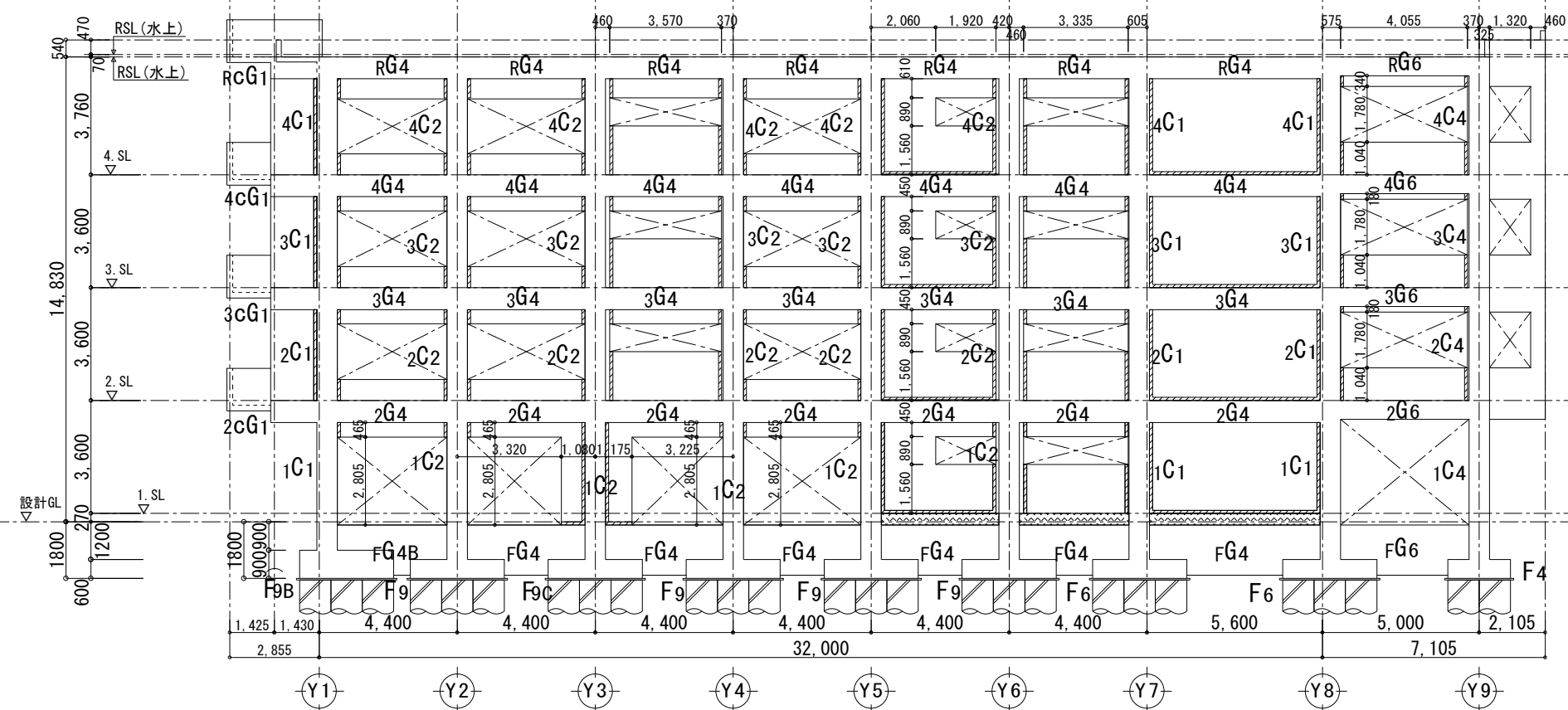


Y5通り 軸組図

S=1: 200

印は、構造スリット位置を示す。  
印は、フカシ部分を示す。



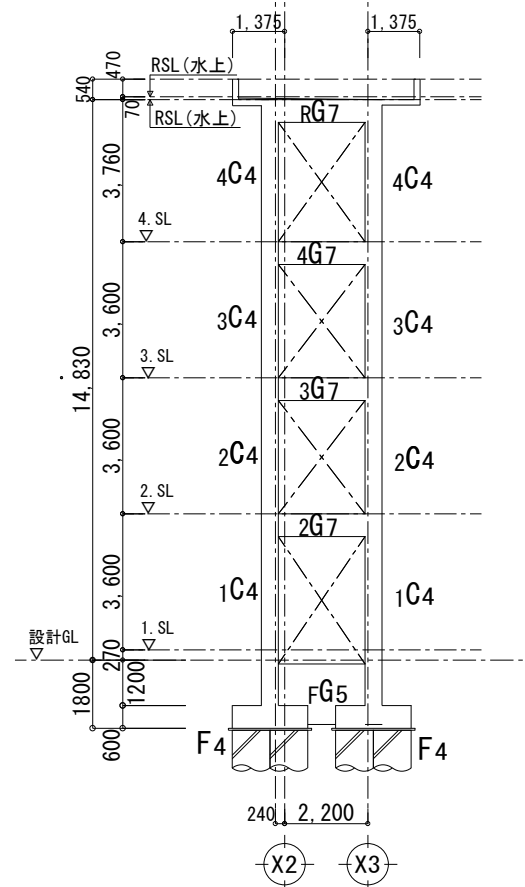


### X3通り 軸組図

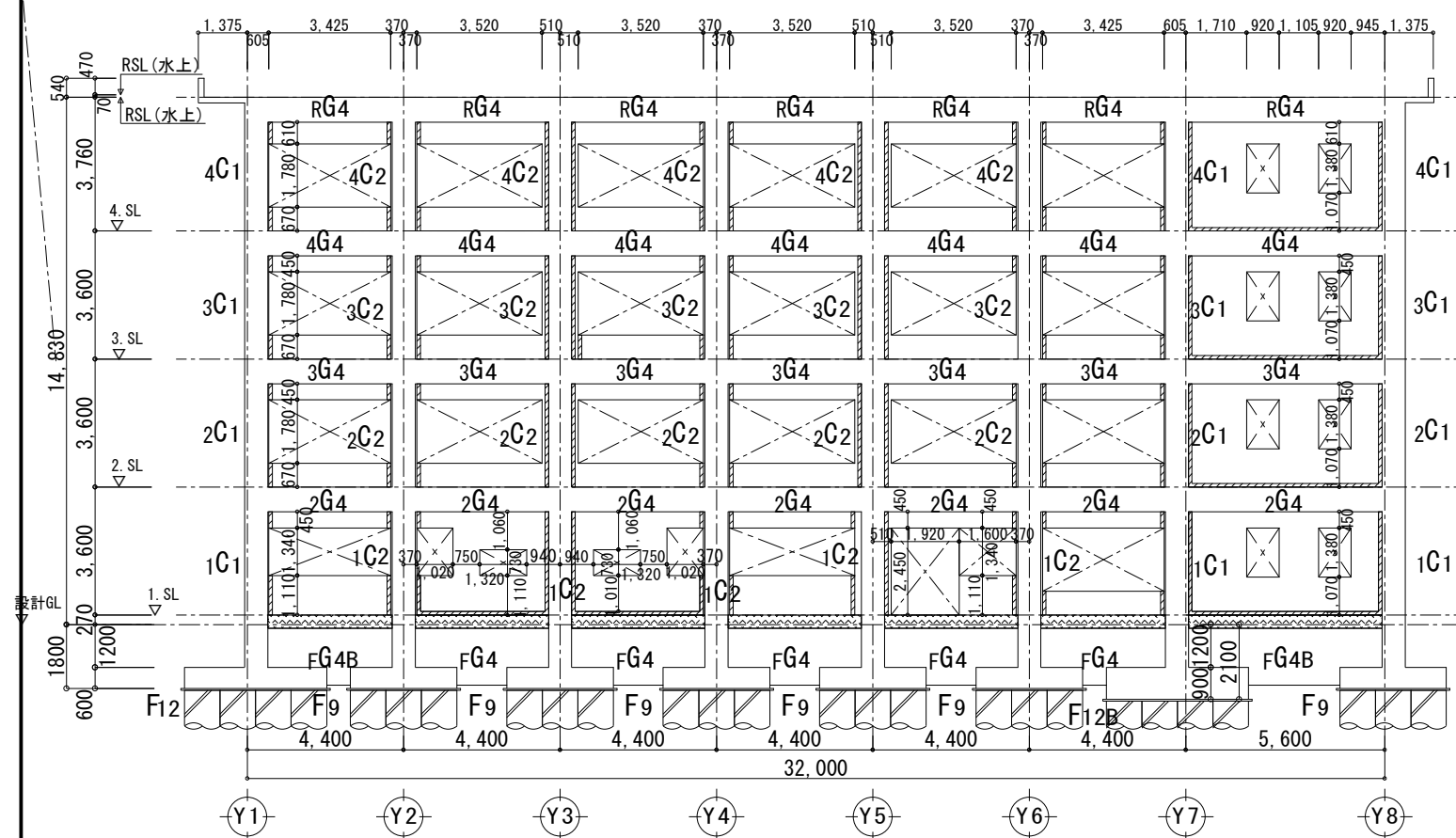
S=1: 200

印は、構造スリット位置を示す。

 印は、フカシ部分を示す。




Y9通り 軸組図

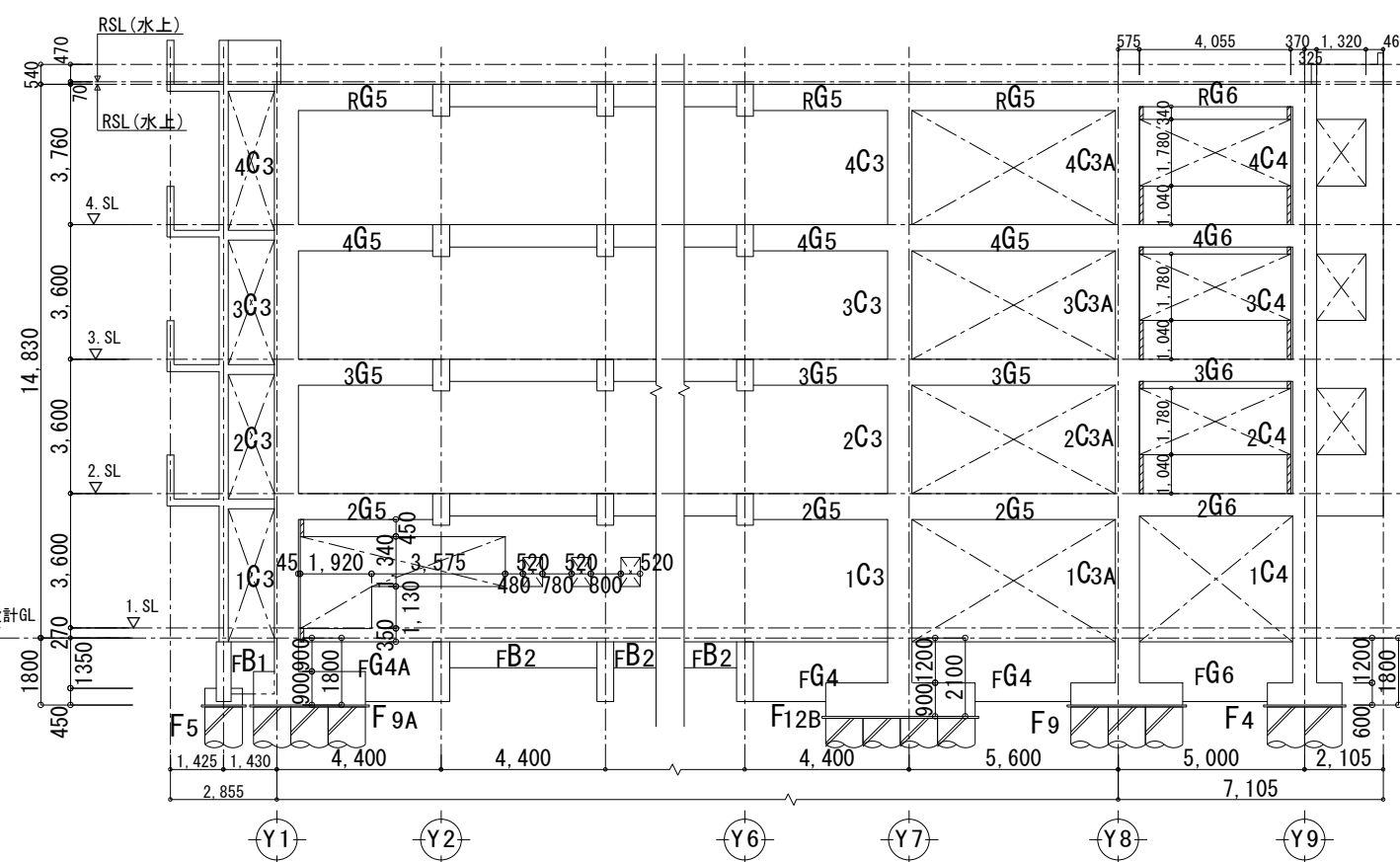
 $S=1: 200$ 

X1通り 軸組図

S=1 : 200

印は、構造スリット位置を示す。

 印は、フカシ部分を示す。



### X2通り 軸組図

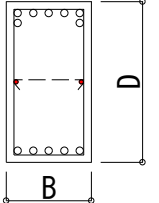
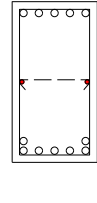
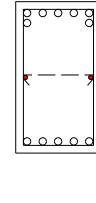
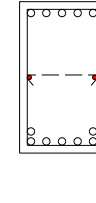
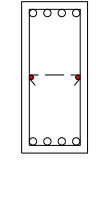
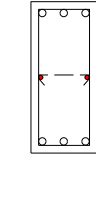
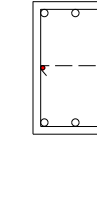
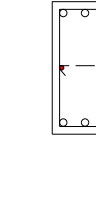
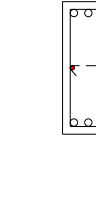
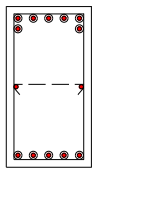
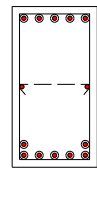
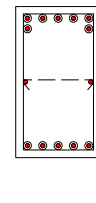
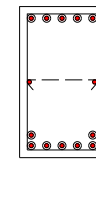
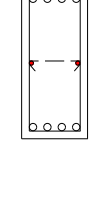
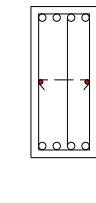
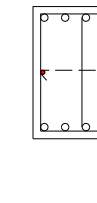
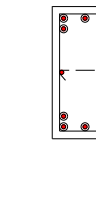
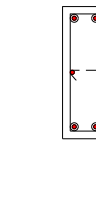
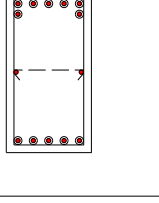
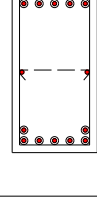
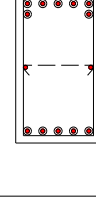
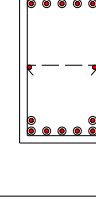
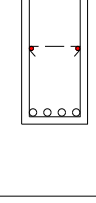
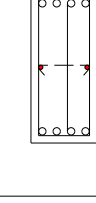
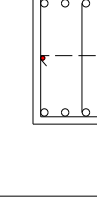

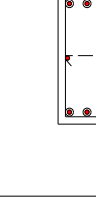
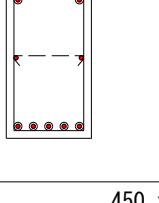
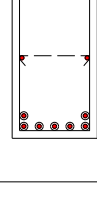
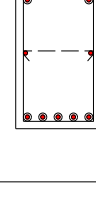
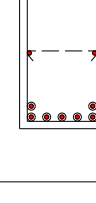
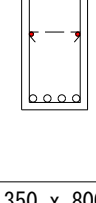
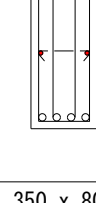
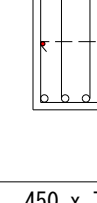
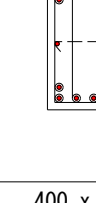
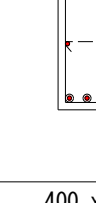
S=1: 200

印は、構造スリット位置を示す。

大梁リスト(1)

S = 1 : 40

巾止め筋はD 1 0－@ 1， 0 0 0 以下， 2 段筋のあきは1． 5 d（ d：鉄筋径）とする。 ※主筋は柱内へ40d定着の事。

符 号	G1		G1A		G2	G3	G3A	G4	G5
位 置	両 端	中 央	両 端	中 央	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面
R 階									
B x D	450 x 850		450 x 800		350 x 800	350 x 800	450 x 700	350 x 700	350 x 700
上端筋	7-D22	5-D22	7-D22	5-D22	4-D22	3-D22	3-D22	3-D22	4-D22
下端筋	5-D22	7-D22	5-D22	7-D22	4-D22	3-D22	3-D22	3-D22	4-D22
S T P	□-D13-@200		□-D13-@200		□-D13-@200	□-D13-@100	□-D13-@100	□-D13-@200	□-D10-@200
腹 筋	2-D10		2-D10		2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10
4 階									
B x D	450 x 850		450 x 800		350 x 800	350 x 800	450 x 700	350 x 700	350 x 700
上端筋	7-D25	5-D25	7-D25	5-D25	4-D22	4-D22	4-D22	4-D25	3-D25
下端筋	5-D25	7-D25	5-D25	7-D25	4-D22	4-D22	4-D22	4-D25	3-D25
S T P	□-D13-@200		□-D13-@200		□-D13-@200	□-D13-@100	□-D13-@100	□-D13-@100	□-D13-@200
腹 筋	2-D10		2-D10		2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10
3 階									
B x D	450 x 850		450 x 800		350 x 800	350 x 800	450 x 700	400 x 700	400 x 700
上端筋	7-D25	5-D25	7-D25	5-D25	4-D22	4-D22	4-D22	5-D25	4-D25
下端筋	5-D25	7-D25	5-D25	7-D25	4-D22	4-D22	4-D22	5-D25	4-D25
S T P	□-D13-@200		□-D13-@200		□-D13-@200	□-D13-@100	□-D13-@100	□-D13-@100	□-D13-@150
腹 筋	2-D10		2-D10		2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10
2 階									
B x D	450 x 850		450 x 800		350 x 800	350 x 800	450 x 700	400 x 700	400 x 700
上端筋	7-D25	5-D25	7-D25	5-D25	4-D22	4-D22	4-D22	5-D25	4-D25
下端筋	5-D25	7-D25	5-D25	7-D25	4-D22	4-D22	4-D22	5-D25	4-D25
S T P	□-D13-@200		□-D13-@200		□-D13-@200	□-D13-@125	□-D13-@100	□-D13-@125	□-D13-@150
腹 筋	2-D10		2-D10		2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10

大梁リスト(2)

S = 1 : 40

符 号	G6	G7
位 置	全断面	全断面
R 階		
B x D	400 x 600	400 x 600
上端筋	3-D22	3-D19
下端筋	3-D22	3-D19
S T P	□-D10-@150	□-D10-@150
腹 筋	2-D10	2-D10
4 階		
B x D	400 x 600	400 x 600
上端筋	4-D22	3-D22
下端筋	4-D22	3-D22
S T P	□-D10-@150	□-D10-@150
腹 筋	2-D10	2-D10
3 階		
B x D	400 x 600	400 x 600
上端筋	5-D22	3-D22
下端筋	5-D22	3-D22
S T P	□-D13-@100	□-D10-@150
腹 筋	2-D10	2-D10
2 階		
B x D	400 x 600	400 x 600
上端筋	5-D22	3-D22
下端筋	5-D22	3-D22
S T P	□-D13-@100	□-D10-@150
腹 筋	2-D10	2-D10

小梁リスト

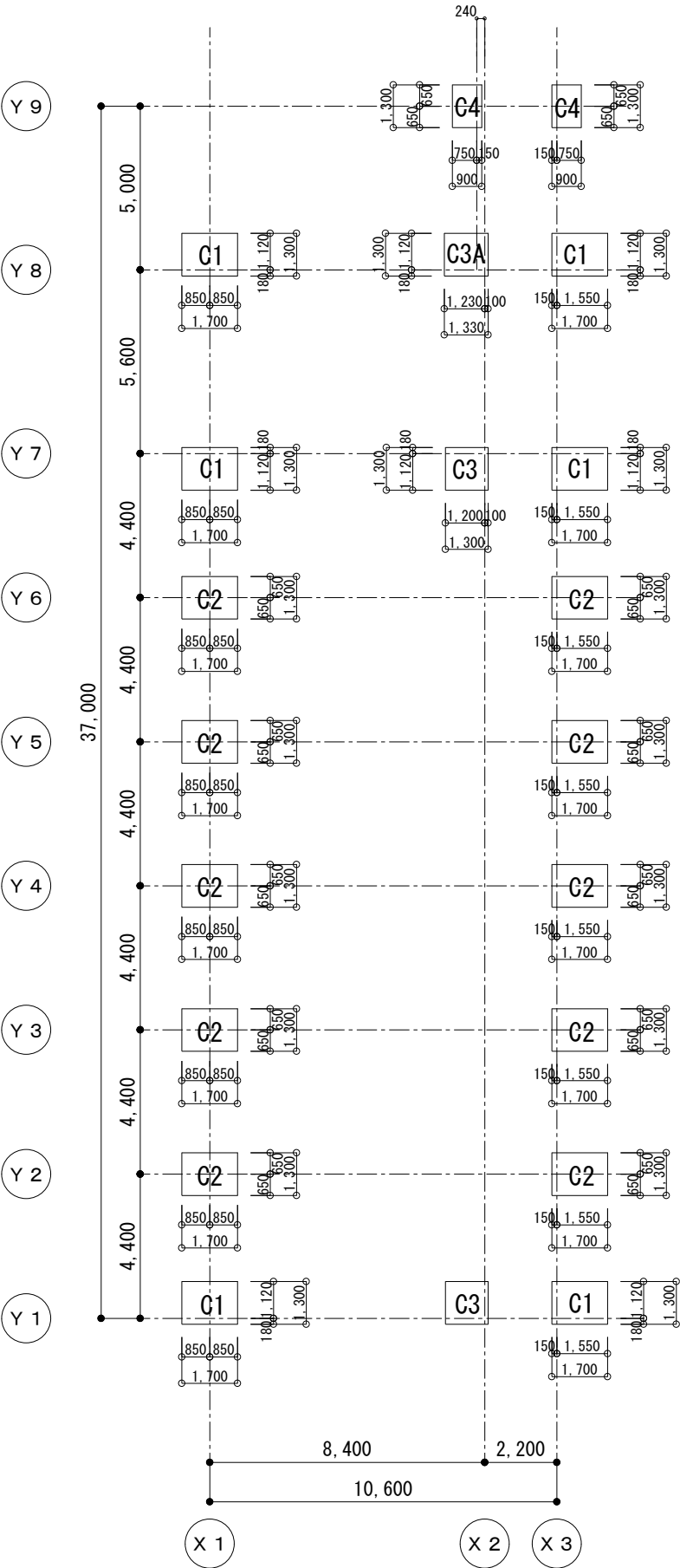
S = 1 : 40

巾止め筋はD 1 0－@ 1， 0 0 0以下， 2 段筋のあきは1． 5 d（d：鉄筋径）とする。

符 号	2-RB1	2-RcG1	2-RcB1	2-RcB2
位 置	全断面	全断面	全断面	全断面
断 面				
B x D	300 x 600	300 x 700	200 x 700	200 x 700
上端筋	3-D19	5-D19	4-D16	4-D16
下端筋	3-D19	5-D19	4-D16	2-D16
S T P	□-D10-@200	□-D10-@150	□-D10-@150	□-D10-@200
腹 筋	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10

柱リスト S=1:40

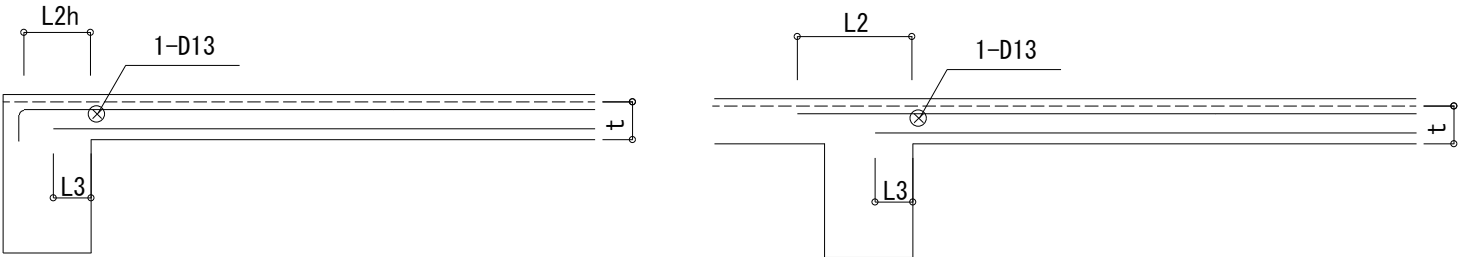
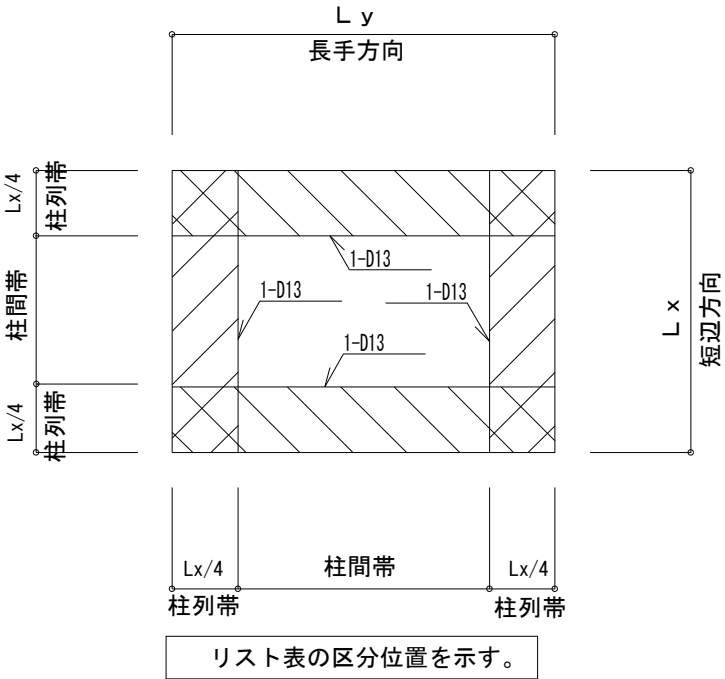
符 号	C1	C2	C3	C3A	C4
4 階					
B x D	850 x 650	850 x 650	650 x 650	665 x 650	450 x 650
主 筋	14-D22	18-D22	12-D22	10-D22	10-D22
H O O P	□-D13-@100	□-D13-@100	□-D13-@100	□-D13-@100	□-D13-@100
RG仕口	□-D13-@100	□-D13-@100	□-D13-@150	□-D13-@150	□-D13-@150
3 階					
B x D	850 x 650	850 x 650	650 x 650	665 x 650	450 x 650
主 筋	16-D25	16-D25	12-D25	12-D25	10-D22
H O O P	□-D13-@100	□-D13-@100	□-D13-@100	□-D13-@100	□-D13-@100
4G仕口	□-D13-@100	□-D13-@100	□-D13-@150	□-D13-@150	□-D13-@150
2 階					
B x D	850 x 650	850 x 650	650 x 650	665 x 650	450 x 650
主 筋	16-D25	16-D25	12-D25	12-D25	10-D22
H O O P	□-D13-@100	□-D13-@100	□-D13-@100	□-D13-@100	□-D13-@100
3G仕口	□-D13-@100	□-D13-@100	□-D13-@150	□-D13-@150	□-D13-@150
1 階					
B x D	850 x 650	850 x 650	650 x 650	665 x 650	450 x 650
主 筋	16-D25	16-D25	12-D25	12-D25	10-D22
H O O P	□-D13-@100	□-D13-@100	□-D13-@100	□-D13-@100	□-D13-@100
2G仕口	□-D13-@100	□-D13-@100	□-D13-@150	□-D13-@150	□-D13-@150
FG仕口	□-D13-@100	□-D13-@100	□-D13-@150	□-D13-@150	□-D13-@150

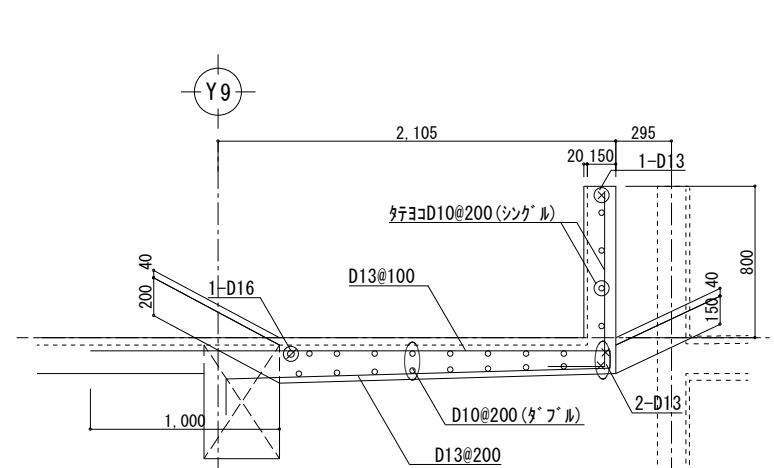


柱キープラン

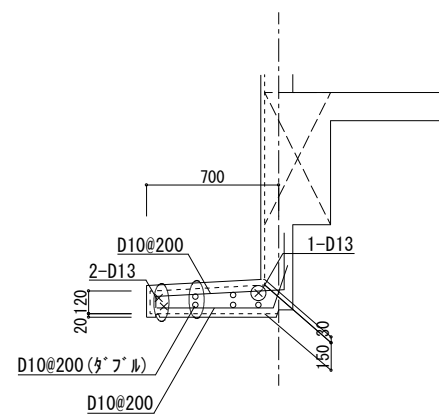
符 号	W150	EW180	EW180	EW200	EW240		開 口 補 強 要 領
断 面							
壁 厚	150	180	180	200	240		
配筋タイプ	チトリダブル	ダブル	ダブル	ダブル	ダブル		
縦 筋	D10 - @200	D10 - @125	D10 - @150	D10 - @175	D13 - @200		
横 筋	D10 - @200	D10 - @125	D10 - @150	D10 - @175	D13 - @200		
開 口 補 強	縦筋	2 - D13	4 - D13	4 - D13	4 - D16		
	横筋	2 - D13	4 - D13	4 - D13	6 - D16		
	斜筋	1 - D13	2 - D13	2 - D13	2 - D13		

符 号	厚 さ	位 置	短辺方向			長辺方向			備 考
			柱間帯		柱列帯	柱間帯		柱列帯	
			端 部	中 央	全 断	端 部	中 央	全 断	
RS1	150+40	上端筋		D10D13-@200			D10D13-@200		ワイヤメッシュ φ-6x150x150敷込ミ モチアミ配筋
		下端筋		D10-@200			D10-@200		
RS2	150+40	上端筋		D10D13-@200			D10-@200		ワイヤメッシュ φ-6x150x150敷込ミ モチアミ配筋
		下端筋		D10-@200			D10-@200		
1-4 S1	150	上端筋		D10D13-@200			D10D13-@200		モチアミ配筋
		下端筋		D10-@200			D10-@200		
2-4 S2	150	上端筋		D10D13-@200			D10-@200		モチアミ配筋
		下端筋		D10-@200			D10-@200		
		上端筋							
		下端筋							
		上端筋							
		下端筋							

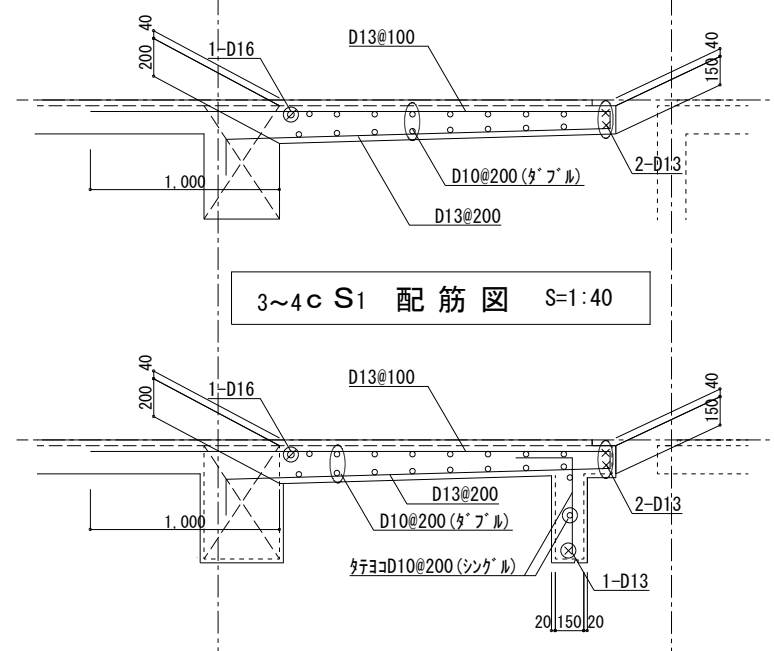




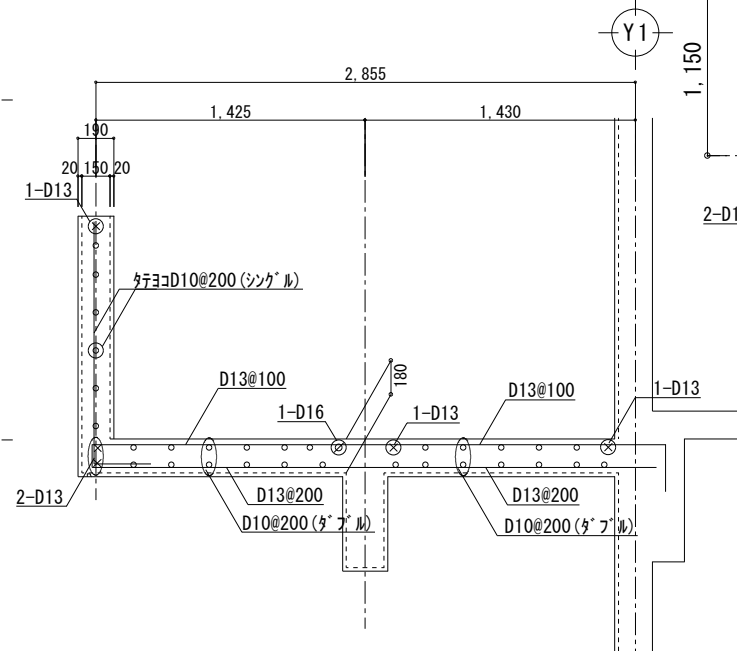
R C S1 配筋図 S=1:40



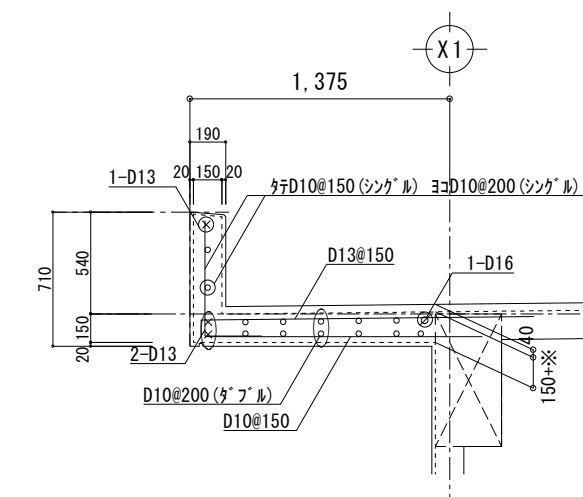
2~Rc S4 配筋図 S=1:40



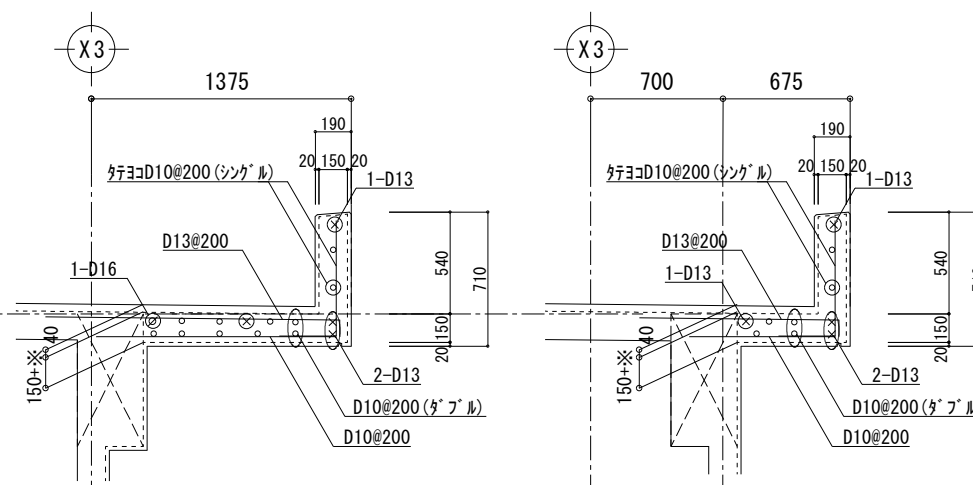
3~4c S1 配筋図 S=1:40



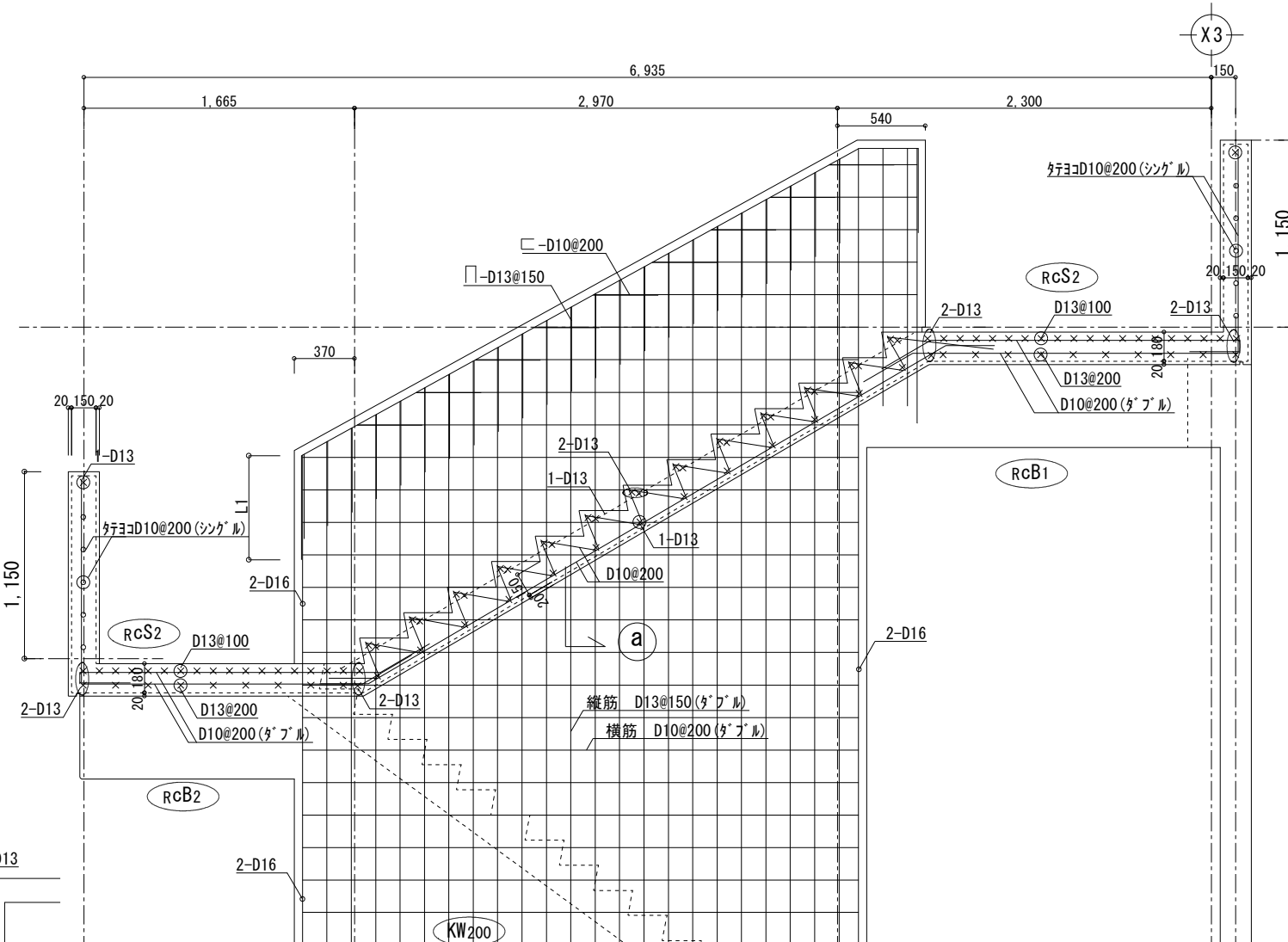
3~RC S2 配筋図 S=1:40



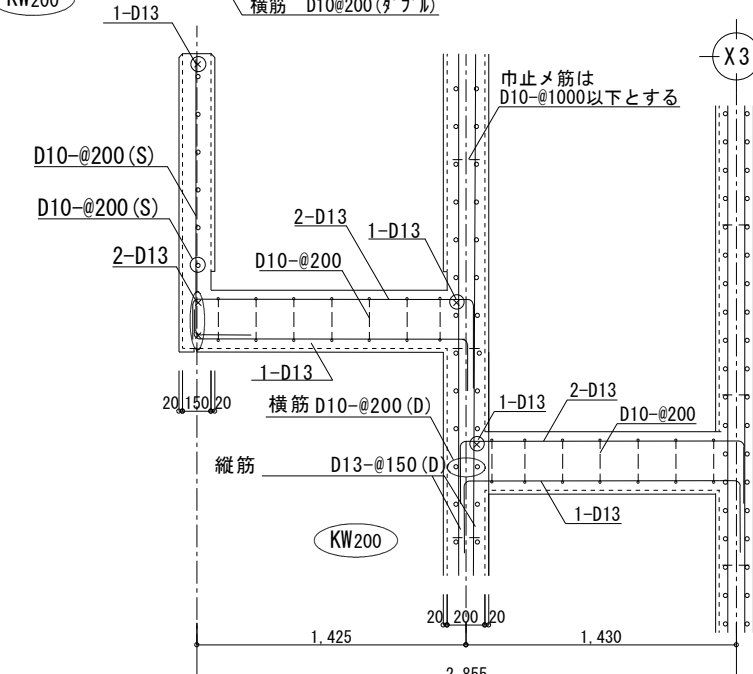
RC S3 配筋図 S=1:40



R C S3A 配筋図 S=1:40

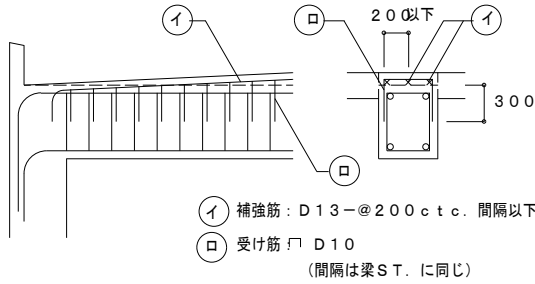


## 屋外階段 及びcS<sub>2</sub> 配筋図

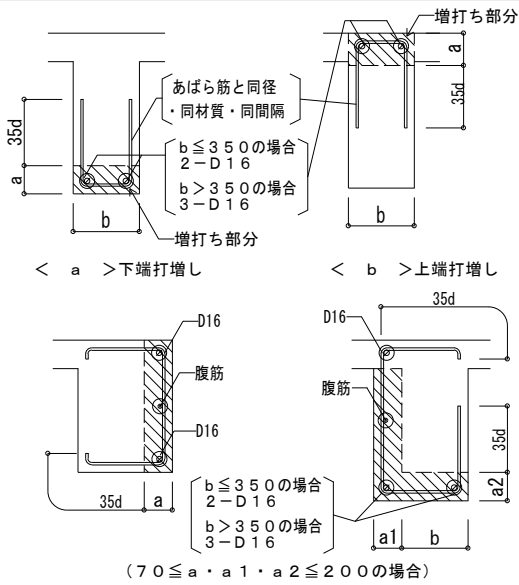


a) Section

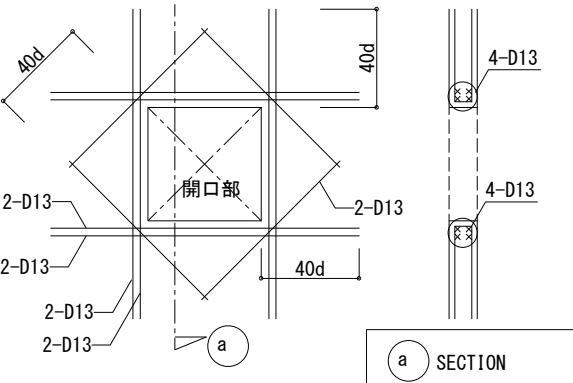
スラブ勾配による梁増打補強



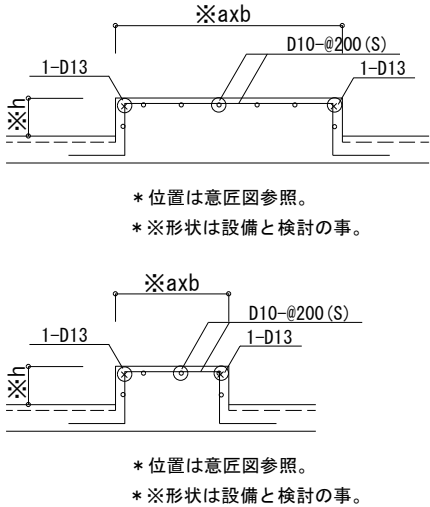
梁増打補強要図



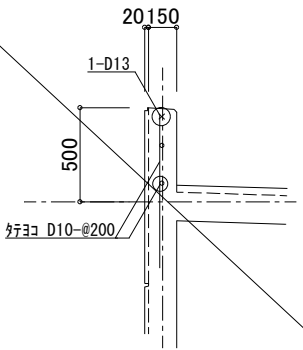
スラブ開口部補強要図



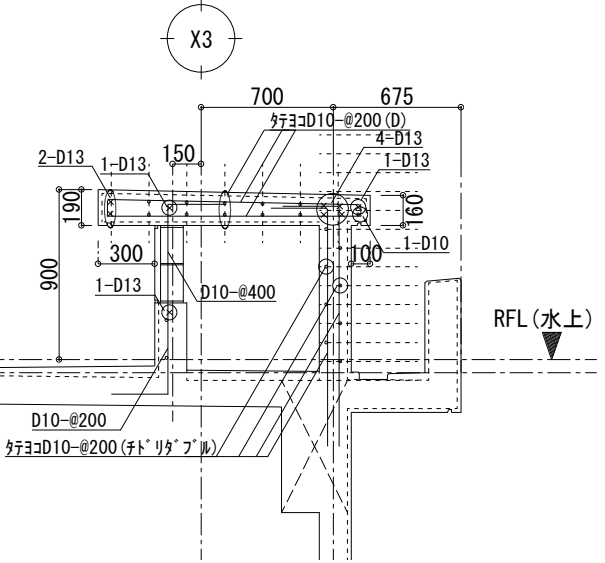
設備架台配筋図



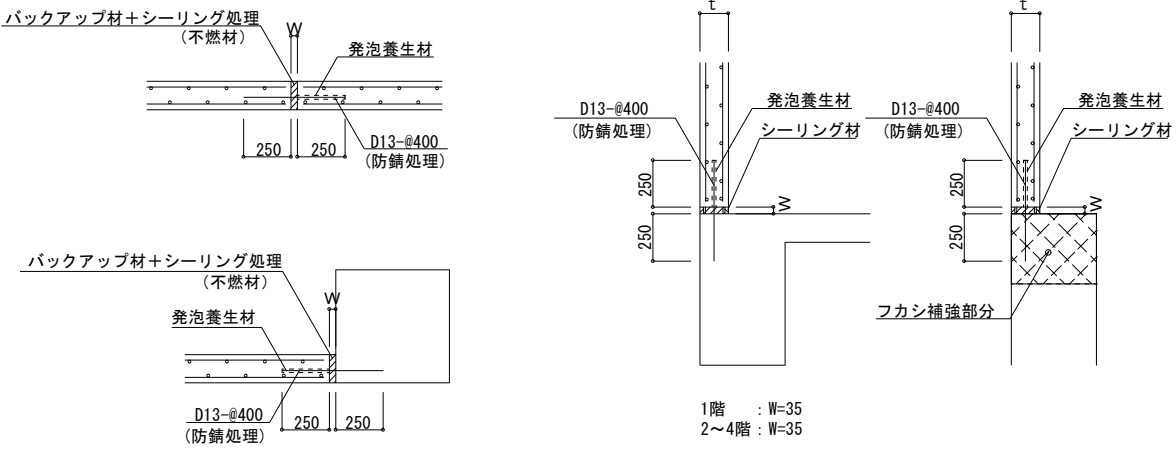
パラペット配筋図



ハト小屋配筋図



構造スリット要領図



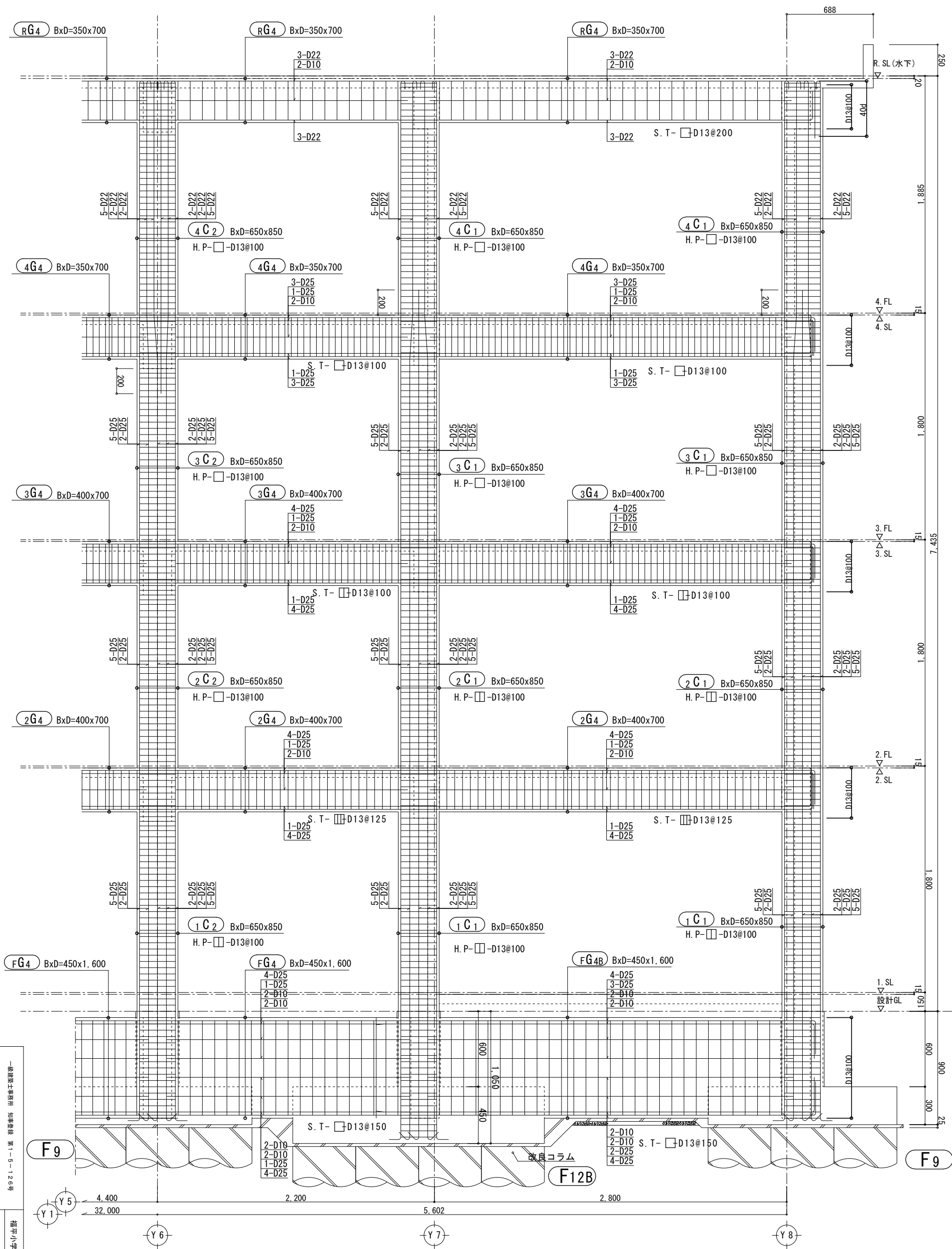
一級建築士事務所 知事登録 第177422号 桑原 耕  
構造設計一級建築士 交付番号3186号

一級建築士事務所 知事登録 第1-5-126号  
有限会社 三島建築設計事務所  
一級建築士 第278466号 三島 浩幸

福平小学校校舎増築その他本件工事  
X1通リ-1/4図  
鹿児島市建設局建築部建築課

1/30

S-23



X1 通リ-1/4図 S=1:30

※大梁主筋定着の折曲げ起点は、柱成(D)の0.75をこえること。